

市川市の図書館

2014



市川市立図書館

はじめに

市川市の図書館は昭和 25 年に市立市川小学校内に設置されたのを嚆矢とし、60 年を超える歴史を刻んでまいりました。昭和 32 年には葛飾八幡宮境内に初めて独立した図書館が設置され、読書会の育成や独自の件名配架、青少年を対象とした少年室など、先駆的かつ本格的な公立図書館サービスを開始しました。その後、自動車図書館による巡回サービスや、行徳、信篤、南行徳の各図書館、平田図書室の整備を経て、平成 6 年には市民の念願であった中央図書館が建設され、地域図書館の支援や、新時代に対応する図書館サービスを展開してまいりました。平成 21 年には指定管理者制度を導入し、J R 市川駅に直結する再開発ビル内に市川駅南口図書館を設置しました。

このほかにも小学校内に設置された市民図書室や公民館図書室、男女共同参画センターや情報プラザなどの市の機関との連携、または市内の大学図書館との相互利用や相互貸借、さらには民間事業者にもご協力いただきながら返却ポストを市内 12 個所に設置するなど利便性の向上に努めてまいりました。

ここ数年で本市図書館の蔵書収容力が限界に近づいたため、平成 24 年度の本市図書館全体の蔵書の増加は 3 千冊余りとなり、増加率は全蔵書の 0.3% を下回ることとなりました。この結果を受けて平成 25 年度は、中央図書館の書庫スペースの一部に可動式集密書架を中央図書館開館以来はじめて設置しました。図書館の蔵書数はまちの文化度を示すバロメーターのひとつです。今後も継続的に収容能力の拡大を図りながら、市民の書齋として多様化、高度化するニーズに応えることができるよう、蔵書とサービスの充実に努めてまいります。

ここに平成 25 年度の事業の結果をご報告し、ご理解とご支援をお願いいたします。

平成 26 年 10 月
市川市中央図書館
館長 松本 雅貴

目 次

はじめに		(11) 千葉県の公共図書館サービス指標	…42
1. 市川市の概要	… 1	(12) 関連施設統計	…43
2. 図書館の基本方針	… 2	(13) 蔵書回転率	…45
3. 図書館のあゆみ	… 3	10. 平成25年度事業概要	
4. 図書館組織図・委員会等	… 8	概況	…46
5. 図書館及び関連施設の配置図	…10	(1) 資料収集と利用状況	…46
6. 施設概要		(2) リクエストサービス	…47
(1) 中央図書館 こどもとしょかん	…11	(3) レファレンスサービス	…49
①中央図書館フロア案内図	…12	(4) 自動車図書館サービス	…49
②こどもとしょかんフロア案内図	…13	(5) 市民図書室	…49
③生涯学習センター（メディアパーク		(6) 類縁機関との連携	…50
市川）フロア案内図	…14	(7) 対象別サービス	
(2) 自動車図書館「みどり号」	…15	①児童サービス	…51
(3) 平田図書室	…16	②ヤングアダルトサービス	…52
(4) 行徳図書館	…17	③障害者サービス（図書館利用に障害	
(5) 信篤図書館	…18	のある利用者へのサービス）	…53
(6) 南行徳図書館	…19	④外国人利用者へのサービス	…54
(7) 市川駅南口図書館	…20	⑤団体へのサービス	…55
(8) 関連施設	…23	(8) 資料別サービス	
(9) 提携機関	…24	①地域資料	…55
7. 図書館コンピュータシステム	…25	②視聴覚資料	…56
8. 平成26年度予算	…29	(9) 主催事業	…56
9. 平成25年度統計		(10) 委員会等	…57
(1) 蔵書冊数	…32	(11) 図書館刊行物	…60
(2) 蔵書冊数の推移	…33	11. 新聞・雑誌一覧	
(3) 分類別貸出冊数	…34	(1) 購入雑誌一覧	…71
(4) 貸出点数の推移	…35	(2) 寄贈雑誌一覧	…79
(5) 登録者集計表	…36	(3) 中央図書館収集地域雑誌・定期	
(6) 延べ利用者数の推移	…36	刊行物一覧	…81
(7) 中央図書館月別利用者数・貸出点数		(4) 新聞ほか一覧	…84
の推移	…37	12. 市川図書館友の会	…85
(8) 受入・除籍冊数	…38	13. 視察・講師派遣等	…86
(9) 自動車図書館ステーション別統計		14. 市川市立図書館関係記事一覧	…87
	…40	15. 条例・規則等	…88
(10) 市川市の図書館サービス指標	…41	16. 資料	…111

1. 市川市の概要

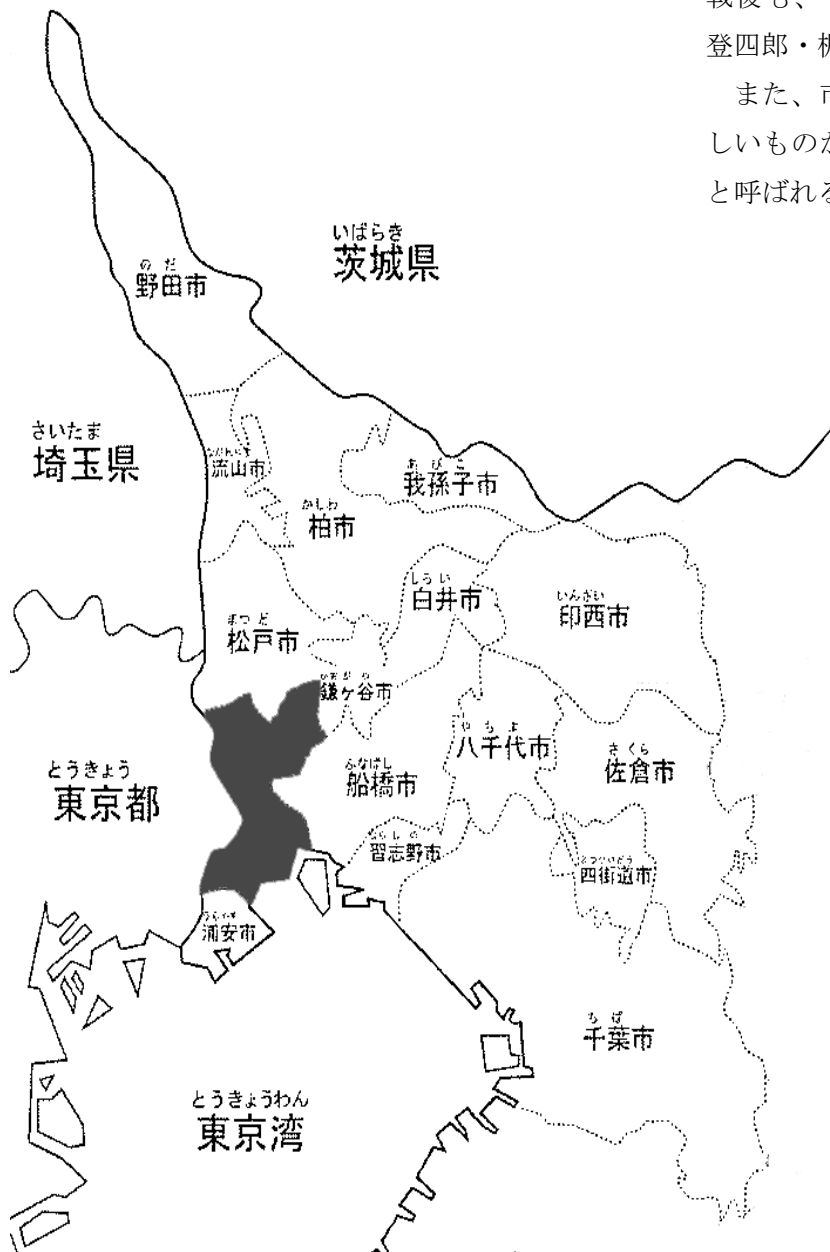
市川市は、千葉県の西部に位置し、北は松戸市、東は船橋市・鎌ヶ谷市、南は浦安市及び東京湾に各々面し、西は江戸川を隔てて東京都江戸川区・葛飾区と対峙している。

市域は南北に細長く、北部の台地上には50ヶ所に上る縄文貝塚、国分寺などがあり、中央には市川砂州上に千葉街道が走り、黒松に囲まれて葛飾八幡宮や中山法華経寺などが建つ。南部の低地には、旧江戸川に沿って、成田街道の面影を残す街並みや、塩田の名残をとどめる地名も多い。昭和9年に市制を施行した。

江戸・東京に近い市川市域は、自然環境にも恵まれ古くから豊かな文化を育んできた。古代には国府が置かれ、万葉時代から「真間の手児奈」伝説や「真間の継橋」が歌い継がれてきた。中世に活躍した日蓮の『立正安国論』（国宝）をはじめとする遺筆は、今も法華経寺に伝わる。近世には、市川の事蹟は『南総里見八犬伝』や『江戸名所図会』などにも記されてきた。

近代以降も、伊藤左千夫・正岡子規・郭沫若らが市川を題材にした作品を遺し、永井荷風・幸田露伴・東山魁夷・水木洋子・宗左近の終焉の地となった。戦後も、中野孝次・五木寛之・井上ひさし・能村登四郎・梶山俊夫らが住まい、活動の拠点となる。

また、市民による読書活動や芸術活動にもめざましいものがある。良好な「郊外住宅都市」「文化都市」と呼ばれる所以である。



位置 東経 139° 55′ 52″
北緯 35° 43′ 19″
(市庁舎)

面積 56.39 k m²
東西延長 8.2 k m
南北延長 13.4 k m

人口 470,285人
男 239,357人
女 230,928人
225,934世帯

(住民基本台帳人口
H26. 3. 31現在)

2. 図書館の基本方針

公共図書館は、社会を取り巻く様々な課題や個人の生き方について、市民一人ひとりが興味と関心に従って自由に学び、必要な知識を得て考え、意見を作り上げるための資料・情報と学習の場を提供する生涯学習機関です。

公共図書館はまた、歴史・芸術・文学などの幅広い優れた著作を収集し提供することによって児童・青少年の人格形成や、心の豊かさを求める成人市民の教養と楽しみに資するためのレクリエーション機関でもあります。

市川市立図書館はこれらの設置趣旨を基本方針として市民のための図書館運営に努め、たゆまぬサービスの向上をとおして、市民がいつでも、どこでも、誰でもが情報を得て学ぶことができ、また学習成果を発揮できるような環境を整備し、住みよい地域社会の形成に、さらには地方自治の基盤である市民の自立を支えることにより、本市の基本目標の一つである「真の豊かさを感じるまち」の実現に貢献します。

平成26年度の目標

(1) 市川市立図書館運営基本計画の策定と図書館評価の実施

市川市立図書館中期計画の後継として市川市立図書館運営基本計画を策定し、新たな計画に基づいた図書館活動の評価を行う。また、市政戦略会議の提言を検討し、将来の方向性を示す。

(2) 生涯学習センター20周年事業と市政施行80周年事業

両周年事業を一体的に推進する。

(3) 蔵書の収集と効率的な管理、保存について

より効果的な図書館サービスを展開するため、「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき、図書館資料の収集と更新を計画的に進めると同時に、以下の蔵書管理効率化事業を推進する。

- ① 中央図書館書庫への可動式集密書架の増設を図る。
- ② 効率的な管理と自動貸出機などサービスの向上を図るため I C タグの導入を推進する。
- ③ 収納スペース有効活用のため、郷土・行政資料を中心とした電子化を図る。

(4) 図書館サービスの向上について

より利便性と満足度の高い図書館サービスを提供するため以下の事業を実施する。

- ① さわやかな対応を心がけ、接遇能力を向上する。
- ② 利用者支援能力の向上とレファレンスサービスの充実に努める。
- ③ インターネット等を活用した情報発信機能の向上を図る。
- ④ 様々な機会を通して図書館の P R に努め利用を促進する。
- ⑤ あらゆる機会を捉えた研修を通して職員の資質向上を図る。
- ⑥ 図書館未設置地域への図書館サービスについて検討する。

3. 図書館のあゆみ

昭和25年	9月	創立開館（1日） 市立市川小学校に併設（2教室） 小暮貞次館長 職員数3名
28年	11月	館外貸出開始
30年	9月	市川市立図書館だより「まつかぜ」創刊（昭和48年3月58号まで刊行）
31年	4月	山岡寛章図書館長に就任
32年	4月	『市川市立図書館蔵書目録 昭和31年12月』発行
	5月	葛飾八幡宮境内に移転し独立館として開館（21日） 1階を使用、2階は教育委員会と市役所の一部が同居 職員数6名
33年	10月	お母さんの本棚開設
34年	7月	教育委員会と市役所の一部が新庁舎完成に伴い移転 図書館独自の建物となる
35年	6月	幼児用、児童用図書を件名配列 母と子の部屋、少年室を設置 全館使用開始
	11月	市川市読書会連絡協議会創立総会
36年	1月	うずしお読書会創立
37年	5月	夜間開館実施（1日） 本館1階19時30分 少年室18時 6名増員し職員数17名
38年	4月	書架室積層式書架に改造
39年	3月	市川市立図書館設置条例公布（31日）
	6月	行徳分館開館（1日） 徳願寺境内 18時まで開館 職員数3名
	10月	各読書会 読売ブッククラブに加入
42年	4月	貸出方式をブラウン方式に切替え 2冊2週間 村岡ゴム会長村岡信一氏より図書館建設のための指定寄付1,000万円
43年	5月	新館を境内本館隣の敷地に開館（11日） 本館1階19時30分 新館2階少年室 18時 新館3階集会室兼視聴覚室16時30分 新館1階母と子の部屋、本館2階 自習室17時
44年	8月	子ども会文庫に対し図書のセット貸出開始（青少年課と共同）（～平成9年度）
47年	10月	田村三雄図書館長に就任
48年	8月	冷暖房設備設置
50年	9月	移動図書館みどり号開設 京成自動車工業製造
51年	11月	移動図書館第2みどり号運行 東京特殊車体製造
53年	4月	石橋賢一図書館長に就任
54年	2月	信篤図書館開館（1日） 行徳分館を行徳図書館に改称
55年	4月	行徳図書館、移動図書館を本行徳公民館図書室に移転
56年	10月	行徳図書館新館開館（1日） 行徳支所4、5階 職員数5名
57年	8月	弘田稔図書館長に就任
58年	10月	南行徳図書館開館（1日） 職員数4名
60年	11月	市内5館をオンラインで結び、コンピュータによる貸出方式に移行（19日） 図書館システム名：富士通LIMS2 電算機本体：FACOM K-280
62年	4月	渡井章三図書館長に就任
	10月	平田図書室開室（11日） 職員数2名
63年	4月	断続的であった司書職の採用を毎年開始（～平成5年度）
	7月	第1みどり号更新 林田製作所製造（28日登録）
	10月	中央図書館等建設準備室仮設置 職員数4名
平成元年	1月	『市川市の図書館』刊行（以降年次報告書として毎年刊行）
	4月	行徳図書館新館開館（15日） 行徳支所隣に単独館5階建て 職員数10名 八幡、行徳でCDの貸出開始
	7月	中央図書館等建設準備室設置（管理部所属）
	9月	第2みどり号更新 京成自動車工業製造（29日登録）
	10月	『市川市図書館サービス網計画調査報告書』図書館計画施設研究所作成 中央図書館等（仮称メディアパーク市川）のコンペ当選作決まる（山下設計）
2年	7月	小川俊彦図書館長に就任
	11月	電算機本体、富士通FACOM K-280をFACOM K-670に更新
3年	10月	公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業の実験開始

3年	10月	有志によるアメリカ図書館の視察（2～14日）	
	11月	女性センター開館 情報資料室と書誌データベースを共有し貸出、返却を可能とする	
4年	11月	中央図書館開館準備プロジェクト（15部会）開始	
5年	7月	小学生向けおすすめの本のリーフレット「本のぼけっと」創刊	
6年	3月	『中央図書館開館準備プロジェクトー15部会の記録ー』まとめる	
	4月	『市川市図書館資料収集方針』まとめる	
7年	9月	市川図書館友の会創立（18日） 「市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例」制定（28日）	
	10月	八幡本館（葛飾八幡宮境内）休館（1日～） 電算機本体、富士通FACOM K-6900に更新 ソフトをLIMS-2からILIS/X-30に変更	
	11月	市川市中央図書館、こどもとしゃかん 複合施設である市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）1階に開館（1日） 職員数39名 市民、情報、児童の3係制 2階映像文化センター、3階教育センター図書室「まなびの広場」とオンライン化し、書誌データベースを共有 「図書館だより」（40号～「市川図書館だより」）「Young Adult通信」創刊	
	2月	中央図書館 郵政省盲人用録音物等発受施設に指定される	
	3月	中央図書館 郵政省聴覚障害者用小包郵便発受施設に指定される	
	9月	中央図書館第1回リサイクルブック市開催（10日試行、第2回 同年10月29日）	
	10月	公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業を本格実施	
	8年	3月	市川市読書会連絡協議会解散
		4月	小倉勸図書館長に就任 利用者登録の制限を実施 市川市在住、在勤、在学者及び隣接4市（船橋市、浦安市、松戸市、鎌ヶ谷市）の居住者に変更 予約受付サービスの変更 予約サービス対象者は、市川市在住、在勤、在学者とし、また予約無制限から1日5件合計20点までの点数制限
	9年	10月	中央図書館が日本図書館協会建築賞を受賞（第12回）
1月		館報『まつかぜ 市川市立図書館報』（合本復刻）を刊行	
4月		中央図書館に管理係を新設し、4係制 千葉商科大学付属図書館とのネットワーク事業開始 レファレンス事例集「参考業務月報」を刊行（平成10年度「参考業務季報」平成11年度～「新・参考業務月報」）	
10年	5月	学校、幼稚園への出張サービスを本格的に開始	
	9月	市川市ホームページ開設 同時に図書館ホームページ開設（15日）	
	2月	中央図書館開館以来3年3ヶ月で貸出冊数が500万冊越える	
11年	4月	太刀川寛図書館長に就任	
	4月	スタッフ制を導入し、それまでの係を班とする 市民図書室の所管を生涯学習課から図書館に移管	
	6月	夜間開館の試行（中央図書館は拡大：土曜日19時30分まで 行徳図書館は新規：火曜日から金曜日19時30分まで） 行徳図書館の開館を午前10時からに変更 予約受付サービスの変更 1日3件合計10点までの点数制限	
12年	1月	『市川市立図書館利用者アンケート集計結果報告書』まとめる	
	3月	中央図書館返却促進キャンペーン実施	
	4月	市民図書室での返却本の受取開始	
	8月	第1みどり号廃車	
	10月	電算システム更新 本体システムサーバを富士通GP7000Fモデル400Aに更新 図書館システムプログラムをILIS/X-30をiLiswing(Ver. 2.0)に変更 各端末にレシートプリンタを設置	

- インターネットで蔵書公開開始
- 12年 10月 館内OPACからの予約受付開始
中央図書館ビジネスルームでの持ち込みパソコンによるネット接続を開始
4市民図書室（福栄、塩焼、大柏、稲越）、2公民館図書室（大野、西部）に
図書館システムの端末を設置し、予約図書の貸出を開始（回線開通の遅れにより
西部のみ12月開始）
- 13年 3月 市川市立図書館開館50周年「市川手児奈文学賞」創刊記念シンポジウムを開催
（22日）
4月 鈴木小夜子図書館長に就任
図書館組織体制を見直し、中央図書館にアウトリーチサービス担当を新設
7月 中央図書館 郵政省心身障害者用冊子小包郵便発受施設に指定される
10月 楽山市との友好都市締結20周年記念として約300冊の寄贈を受け、「楽山市図書
コーナー」設立
- 14年 3月 『市川の文芸風土と図書館の未来 シンポジウム記録集』刊行
4月 漆原利一図書館長に就任
組織改変に伴い中央図書館長が地域館長を兼務 地域館勤務をローテーション
勤務とし、地域館サービス担当を設置 アウトリーチサービス担当を廃止 職員
数60名
中央図書館特別コレクションに星野道夫コーナーを開設
5月 携帯電話からの図書館資料検索サービスを開始
インターネットからのレファレンス受付開始
中央図書館試視聴ブースの一部にインターネット接続パソコン6台を設置 IT
ブースと称する
9月 うずしお読書会が1000回を迎え、11月には社団法人読書推進運動協議会より2002
年度第35回全国優良読書グループとして表彰される
11月 インターネットからの予約受付開始（図書、雑誌）
CD、ビデオの所蔵館以外での受取開始
第9回リサイクルブック市で賛助寄付金を初めて募る（2日）
- 15年 2月 情報プラザでの予約図書の受取開始
3月 第2みどり号廃車 自動車図書館車をCNG（圧縮天然ガス）車に更新 京成
自動車工業製造（27日登録）
4月 行徳図書館に責任者を配置 支援サービス担当を新設 職員数58名
6月 曾谷公民館図書室に図書館システムの端末を設置し、予約図書の貸出を開始
7月 情報プラザに図書館システム端末を設置し、予約図書の貸出を開始
CTIサーバを導入 中央図書館督促業務の自動化開始
8月 中央図書館予約連絡業務の自動化開始 中央図書館の電話応答案内システム稼動
開始
- 16年 2月 八幡市民談話室、情報プラザ、南行徳市民センター、歴史博物館、市川公民館に
寄贈専用箱を設置
4月 地域館のローテーション勤務を廃止 各館に責任者を置き、地域館サービス担当
を廃止 職員数55名（中央37 行徳11 信篤2 南行徳2 平田3）再任用職員
（司書）2名
図書館連絡車による市内物流使用務を全面委託
各図書館の予約連絡、督促業務の自動化開始
除菌機を中央図書館に試験的に設置
市川市在住、在勤、在学以外の利用者へのサービスを変更 図書、雑誌の貸出は
合わせて5点まで 視聴覚資料の貸出は不可
予約受付サービスの変更 延滞利用者からの新規予約受付を行わない
6月 東部公民館図書室に図書館システムの端末を設置し、予約図書の貸出を開始
中央図書館にカラーコピー機を1台設置

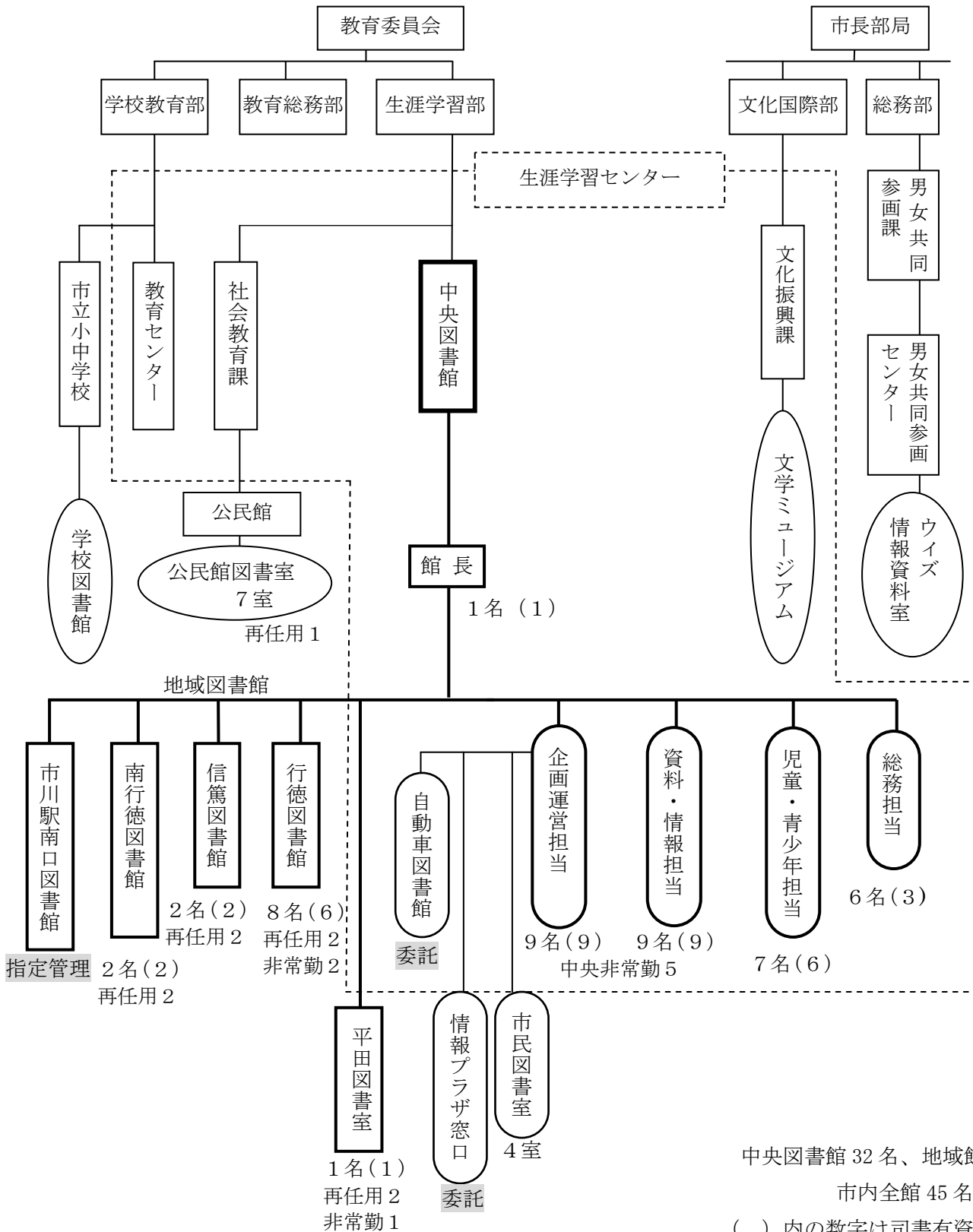
- 17年 4月 こどもとしょかんが「子どもの読書活動優秀実践図書館」として、文部科学大臣表彰を受賞 職員数55名（中央36 行徳11 信篤2 南行徳3 平田3）
- 7月 電算システム更新 図書館コンピュータシステム基幹サーバ、富士通PRIMERGY TX150S2に更新
図書館システムプログラムをiLiswing21/UX+に変更
図書館ホームページをリニューアル
曾谷公民館、東部公民館、情報プラザ以外の各図書館等の端末機器を入替え
中央図書館 I Tブース用パソコンをリース、保守契約し、ビジネスルームのインターネット接続を最大12台とする
視聴覚資料のインターネットからの予約受付開始
- 10月 千葉商科大学と協定締結 市川市立図書館の予約図書の出借を同大学付属図書館で開始
17年3月に閉館した教育センター「まなびの広場」を改修し、「文学プラザ」として開館
- 12月 ビデオテープの出借を1人2点までとする
- 18年 3月 図書館ホームページにSSL暗号化通信適用
- 4月 中央図書館の祝日開館試行開始に伴い臨時職員2名を採用
自動車図書館の出借、返却業務を委託
- 6月 中央図書館に韓国ソウル市特別区「江南区電子図書館閲覧コーナー」を設置
図書館利用マナー向上を呼びかけ特別展示「本が泣いています」が広く反響を呼ぶ
- 7月 韓国原州市からの寄贈図書受入開始 「原州市図書コーナー」を設置
- 10月 予約資料の宅配サービス開始
- 19年 3月 I SMSの認証取得
累積版冊子『本のぼけっと 1号～20号』刊行（20年3月カラー版刊行）
- 4月 行徳図書館の祝日開館試行
生涯学習センターの全館管理業務を映像文化センターから図書館に移管
管理担当を総務担当に名称変更し、施設管理第一担当を新設 支援担当を施設管理第二担当に名称変更 職員数58名（中央38 行徳11 信篤3 南行徳3 平田3）臨時職員3名
- 9月 インターネットからの貸出延長サービスを開始
- 11月 住基カードに図書館利用券機能を追加（9月議会で条例改正 10月定例教育委員会で施行規則制定）
中央図書館でDVDの出借開始（10月定例教育委員会で「市川市立図書館規則」一部改正）
- 20年 4月 露木芳輝図書館長に就任
図書館法改正に伴う国会議員文部科学委員会の現地視察（23日）
- 6月 「青空文庫」作成電子テキストの書誌データをWebサーバで一括検索開始
中央図書館ビジネスルーム5席 社会人席12席を追加
- 7月 和洋女子大学メディアセンターと相互協力に関する確認書を取り交わし、8月より和洋女子大学の資料を市立図書館で貸借可能とする
- 10月 闘病記所蔵資料－病名検索のページを開設（健康都市連合国際大会開催記念）
- 21年 4月 中央図書館、行徳図書館の祝日開館等の本実施（中央：土、日、祝日閉館時刻を18時に変更）これに伴い臨時職員3名を週35時間非常勤職員に変更し、新たに3名を採用
市川駅南口図書館開館（30日）
- 6月 行徳図書館3階に持ち込みPCを使用できるパソコンルーム開設（23年11月～無線でのネット接続環境を整備）
～12月 書誌データ整備実施（TRC-MARC T-type全件塗替え、雑誌MARC導入）
- 22年 2月 国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの参加において、礼状受理（以後、23・24・25・26年と5回連続して受理）

- 23年
- 7月 「24時間テレビ愛は地球を救う」からDAISY図書再生機器、携帯型拡大読書器、音声読書器等、障害者サービス用機器の寄贈を受ける
 - 2月 中央図書館利用者アンケート実施（以後、毎年満足度調査として実施）
 - 3月 東日本大震災により書架一部破損（11日） 計画停電に伴う臨時休館（14～18日）
計画停電に伴う閉館時間変更 全館17時閉館（19日～4月17日）
 - 4月 松本雅貴図書館長に就任
職員数55名（中央39 行徳8 信篤2 南行徳3 平田3）週35時間非常勤6名
再任用職員（4名）が地域図書館主幹として配属される
平成22年度に国から交付された「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用して資料の選定を開始
 - 7-9月 経済産業省の電力使用制限に伴い夏季節電実施
 - 10月 地域図書館利用者アンケート実施 eモニターで貸出冊数のアンケート実施
 - 11月 図書館システムをWebアプリケーションである富士通iLisfieraに変更 システムサーバ14台で構成 クライアントパソコン105台を更新
中央図書館に外部データベース検索結果印刷のコインベンダープリンタを導入
- 24年
- 3月 図書館メールマガジンの配信を開始
 - 4月 中央図書館長に行徳図書館、信篤図書館、南行徳図書館の館長兼務辞令交付
条例改正により個人の図書貸出冊数を無制限から20冊へ改める
規則の改正により図書館運営の評価とその開示に関して規定し、また条例と内規類との委任関係を明確化した
中央図書館 施設管理第一、第二担当を統合し施設管理担当とし、市民サービス担当を企画運営担当へ名称変更
 - 10月 ブックディテクションシステムの更新
- 25年
- 2月 『市川市の図書館 昭和編』を編集、発行
 - 4月 生涯学習センターの全館管理業務を図書館から社会教育課へ移管し、施設担当を廃止
職員数48名（中央33 行徳8 信篤2 南行徳3 平田2）週35時間非常勤8名
再任用職員6名（再任用職員（司書）2名を新たに地域図書館に配置）
中央図書館特別コレクションに渡邊二郎コーナーを開設
 - 7月 23年4月より休止していた宅配サービスを再開
 - 10月 中央図書館書庫に可動式集密書架設置
- 26年
- 2月 市川駅南口図書館のパソコンを更新
 - 4月 生涯学習センター全館管理業務が社会教育課から中央図書館へ再び移管となる
職員数45名（中央32 行徳8 信篤2 南行徳2 平田1）週35時間非常勤8名
再任用職員9名（再任用職員1名を新たに大野公民館図書室に配置）

4. 図書館組織図・委員会等

(1) 図書館組織図

(平成 26 年 4 月現在)



※ ○内の施設は、図書館と連携して事業を行っている関連施設

⋯⋯内は生涯学習センター内の施設

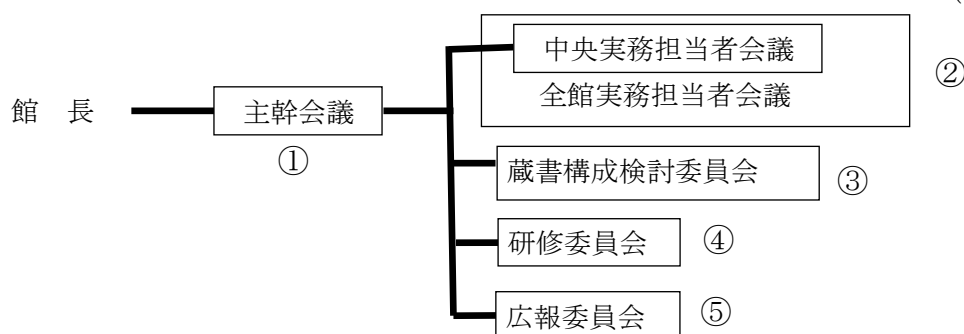
図書館正規職員数

館名	担当	人数	うち司書	
図書館長		1	1	
中央	企画運営担当	9	9	100 %
	資料・情報担当	9	9	100 %
	児童・青少年担当	7	6	85.7%
	総務担当	6	3	50 %
	合計	32	28	87.5%
平田		1	1	100 %
行徳		8	6	75 %
信篤		2	2	100 %
南行徳		2	2	100 %
全館		45	39	86.7%
【参考】市川駅南口※		18	15	83.3%

※市川駅南口図書館は指定管理者制度を導入

(2) 委員会・会議等

(平成 26 年 4 月現在)

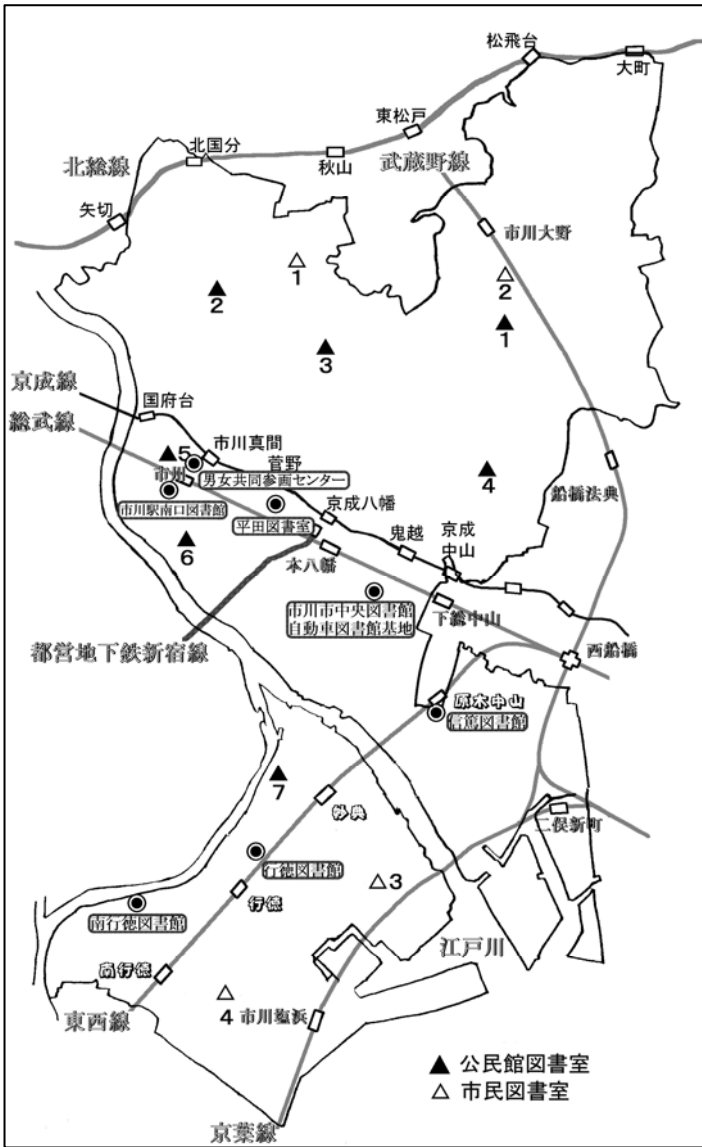


○各会議・委員会の役割

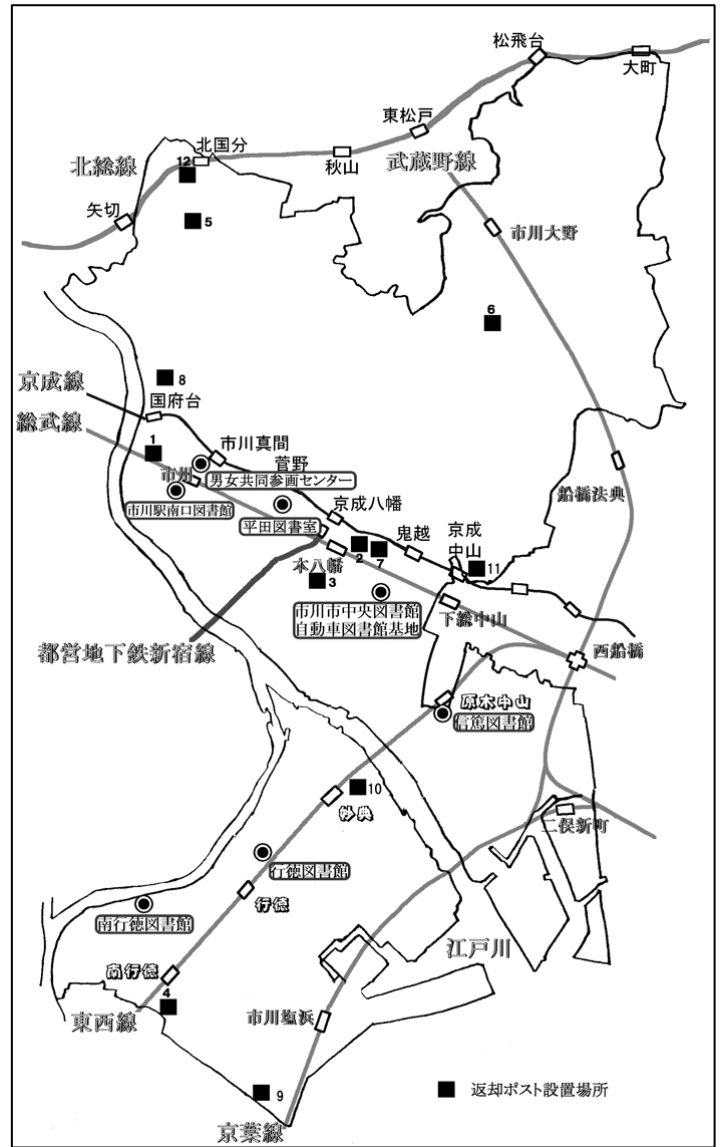
	会議名	討議内容
①	主幹会議	中央図書館、及び全館に関わる運営全般について協議・決定を行う。館長と主幹で構成される。
②	実務担当者会議	実務的な事項について、担当者が必要に応じて、連絡・調整・実施案の作成を行う。
③	蔵書構成検討委員会 (旧・資料委員会)	収集方針の検討、年度ごとの収集計画の立案、及び選書・蔵書構成や館内整理日の実施事項等について連絡・調整を行う。
④	研修委員会	全館の職員・非常勤職員・実習生等に対する研修のプログラムなどの企画・立案及びスタッフマニュアルの管理を行う。
⑤	広報委員会	「図書館だより」の編集や、「広報いちかわ」への情報提供等、図書館に共通の広報に関する企画・実務を行う。
その他、課題解決及び政策提案等のための対応会議を、プロジェクトを組み随時行っている。		

5. 図書館及び関連施設の配置図

図書館と関連施設の配置図



返却ポストの配置図



No.	公民館図書室 (▲)	所在地
1	大野公民館図書室	南大野2丁目
2	西部公民館図書室	中国分2丁目
3	曾谷公民館図書室	曾谷6丁目
4	東部公民館図書室	本北方3丁目
5	市川公民館図書室	市川2丁目
6	市川駅南公民館図書室	大洲4丁目
7	本行徳公民館図書室	本行徳12

No.	市民図書館 (△)	所在地
1	稲越市民図書館	稲越町518
2	大柏市民図書館	大野町2丁目
3	塩焼市民図書館	塩焼5丁目
4	福栄市民図書館	南行徳2丁目

No.	返却ポスト (■)	所在地	設置年
1	市川公民館	市川2丁目	H14. 5
2	八幡市民談話室	八幡2丁目	H14. 5
3	情報プラザ2階	南八幡4丁目	H14. 5
4	南行徳市民センター	南行徳1丁目	H14. 8
5	歴史博物館	堀之内2丁目	H15. 9
6	大柏出張所(大野公民館)	南大野2丁目	H16. 8
7	市川市役所	八幡1丁目	H17. 6
8	千葉商科大学付属図書館	国府台1丁目	H17. 10
9	塩浜市民体育館	塩浜4丁目	H18. 7
10	イオン市川妙典店	妙典5丁目	H19. 7 H20. 4 H25. 6
11	中山窓口連絡所	中山4丁目	H19. 7
12	ベルクス市川堀之内店	堀之内3丁目	H21. 4

6. 施設概要

館名	中央	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口
敷地面積	11,012㎡	-----	4,958㎡	-----	410㎡	-----
構造	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上4階 ／地下1階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上2階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上5階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上3階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上3階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上45階 (3階部分)
建築面積	6,164㎡	-----	674㎡	304㎡	120㎡	-----
延べ床面積	6,411㎡	256㎡	2,223㎡	912㎡	360㎡	573㎡
収容可能冊数	1,000,000冊	40,000冊	155,000冊	55,000冊	36,000冊	43,500冊
うち開架	200,000冊	39,000冊	100,000冊	45,000冊	23,000冊	43,500冊
うち書庫	800,000冊	1,000冊	55,000冊	10,000冊	13,000冊	-----
開館年月日	平成6.11.1	昭和62.10.11	昭和56.10.1	昭和54.2.1	昭和58.10.1	平成21.4.30
独立・併設	併設	併設	併設	独立	独立	併設
閲覧席	348席	20席	172席	29席	15席	61席
うち一般	196席	10席	120席	19席	9席	20席
うち児童	60席	10席	50席	10席	6席	11席
その他	92席	-----	2席	-----	-----	30席
駐車場	共有 99台	-----	共有 69台	共有 20台	-----	-----
利用者端末	(※1) 32台	1台	6台	1台	1台	(※2) 7台

※1：うちWeb-OPAC 3台、ITブース 9台、江南区電子図書閲覧パソコン 1台、新聞社サイト閲覧パソコン 1台、障害者専用 1台含む
 ※2：うち外部データベース閲覧 3台含む

(1) 中央図書館 こどもとしゃかん

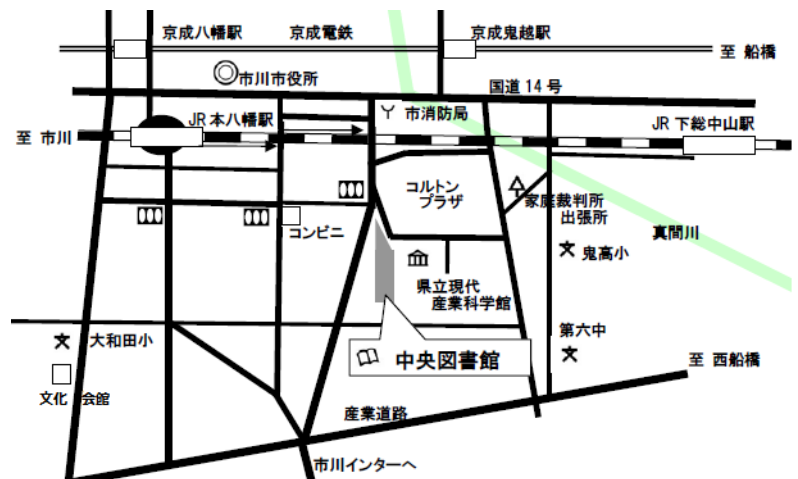
市川市鬼高 1-1-4 TEL 047 (320) 3333 (機械音声応答)
 047 (320) 3346 (直通)
 FAX 047 (320) 3351

- ・交通 JR本八幡駅、JR下総中山駅より徒歩15分
 京成線鬼越駅より徒歩13分
 (JR本八幡駅北口より
 コルトンプラザ行バス無料)

・地下駐車場 (99台)

・開館時間

火曜～金曜 10:00～19:30
 土・日・祝日 10:00～18:00
 こどもとしゃかん
 火曜～金曜 10:00～18:00
 土・日・祝日 10:00～17:00



①中央図書館フロア案内図



雑誌架別主題一覧表

ア-1	マスコミ	出版情報	図書館	
ア-2	読み物	総合誌	週刊誌	
ア-3	女性誌	タウン誌	生活情報	
ア-4	ファッション	消費生活	娯楽生活	
ア-5	インテリア	住まい	料理・美容	手芸
イ-1	健康	出産・育児		
イ-2	芸術	演劇	映画	
イ-3	アウトドア	マリンスポーツ	ホビー	
イ-4	相模・相模	ゴルフ・テニス	球技	
イ-5	外国語雑誌	Magazines		
ウ-1	旅行・レジャー	乗り物	時刻表	
ウ-2	釣り	写真	園芸	
ウ-3	模型・無線	テレビ・ビデオ	レクリエーション	
ウ-4	囲碁・将棋	ペット	自動車・バイク	
ウ-5	オーディオ	音楽		
ウ-6	文芸読み物	歴史読み物		
エ-1	ヤングアダルト			
エ-2	学習	語学・留学		
エ-3	国文学	詩・俳句・短歌	演劇	
オ-1	保育	教育一般	教育研究	
オ-2	歴史・地理	社会	行政	統計
オ-3	国際情勢	地方自治	法律	
カ-1	経済	ビジネス情報		
カ-2	経営	金融	会社情報	
キ-1	商業・広告	運輸交通	農林水産	
キ-2	食品	電気通信	IT/ITC	
キ-3	化学工業	公害	環境	
ク-1	建築	機械	その他産業	
ク-2	自然科学	物理	生物	
ク-3	厚生	社会福祉	医学・看護	
ケ-1	コンピュータ(総合)			
ケ-2	コンピュータ(ネットワーク)			
ケ-3	コンピュータ(ネットワーク)			
ケ-4	コンピュータ(ネットワーク)			
ケ-5	情報処理・情報管理			

ラベルの記号の見方

- T: 大型本
- R: 辞書・辞典
- I: 市民の郷土資料
- C: 千葉の郷土資料
- Y: 市民文庫
- Z: 特別コレクション
- G: 旅の本
- S: スポーツの本
- H: 趣味の本
- W: 戦争と平和の本
- X: 日本の現代文学
- J: ビジネスの本
- N: 環境の本
- 外国語: 外国の本
- 8: 言語の本
- M: 外国文学の本
- V: 新書
- B: 文庫
- A: ヤングアダルトの本
- L: 大活字本

新聞(当月・前月分)

新聞(当月・前月分)	雑誌架
新聞(当月・前月分)	雑誌架
新聞(当月・前月分)	雑誌架

ブラウジング・コーナー

ウ-1	雑誌架
ウ-2	雑誌架
ウ-3	雑誌架
ウ-4	雑誌架
ウ-5	雑誌架
ウ-6	雑誌架
イ-3	雑誌架
イ-4	雑誌架
イ-5	雑誌架

雑誌架別主題一覧表

ア-1	マスコミ	出版情報	図書館	
ア-2	読み物	総合誌	週刊誌	
ア-3	女性誌	タウン誌	生活情報	
ア-4	ファッション	消費生活	娯楽生活	
ア-5	インテリア	住まい	料理・美容	手芸
イ-1	健康	出産・育児		
イ-2	芸術	演劇	映画	
イ-3	アウトドア	マリンスポーツ	ホビー	
イ-4	相模・相模	ゴルフ・テニス	球技	
イ-5	外国語雑誌	Magazines		
ウ-1	旅行・レジャー	乗り物	時刻表	
ウ-2	釣り	写真	園芸	
ウ-3	模型・無線	テレビ・ビデオ	レクリエーション	
ウ-4	囲碁・将棋	ペット	自動車・バイク	
ウ-5	オーディオ	音楽		
ウ-6	文芸読み物	歴史読み物		
エ-1	ヤングアダルト			
エ-2	学習	語学・留学		
エ-3	国文学	詩・俳句・短歌	演劇	
オ-1	保育	教育一般	教育研究	
オ-2	歴史・地理	社会	行政	統計
オ-3	国際情勢	地方自治	法律	
カ-1	経済	ビジネス情報		
カ-2	経営	金融	会社情報	
キ-1	商業・広告	運輸交通	農林水産	
キ-2	食品	電気通信	IT/ITC	
キ-3	化学工業	公害	環境	
ク-1	建築	機械	その他産業	
ク-2	自然科学	物理	生物	
ク-3	厚生	社会福祉	医学・看護	
ケ-1	コンピュータ(総合)			
ケ-2	コンピュータ(ネットワーク)			
ケ-3	コンピュータ(ネットワーク)			
ケ-4	コンピュータ(ネットワーク)			
ケ-5	情報処理・情報管理			

ラベルの記号の見方

- T: 大型本
- R: 辞書・辞典
- I: 市民の郷土資料
- C: 千葉の郷土資料
- Y: 市民文庫
- Z: 特別コレクション
- G: 旅の本
- S: スポーツの本
- H: 趣味の本
- W: 戦争と平和の本
- X: 日本の現代文学
- J: ビジネスの本
- N: 環境の本
- 外国語: 外国の本
- 8: 言語の本
- M: 外国文学の本
- V: 新書
- B: 文庫
- A: ヤングアダルトの本
- L: 大活字本

新聞(当月・前月分)

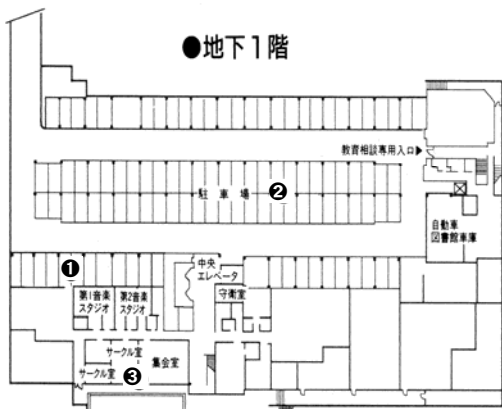
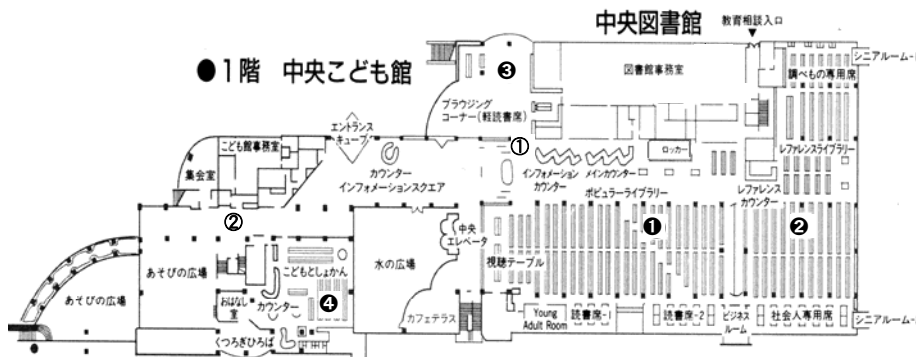
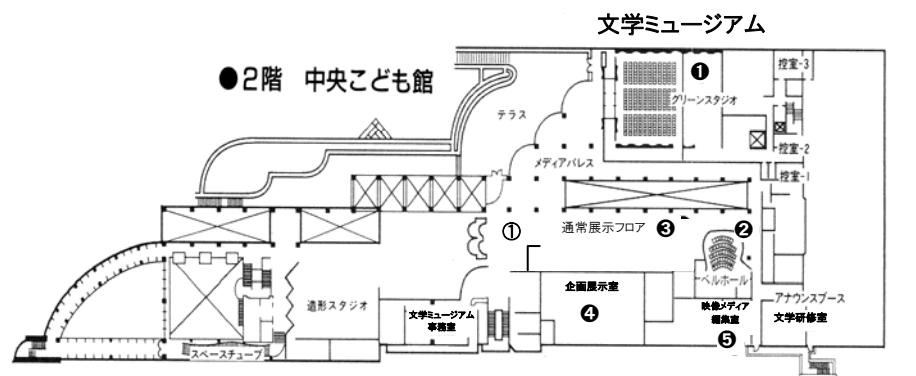
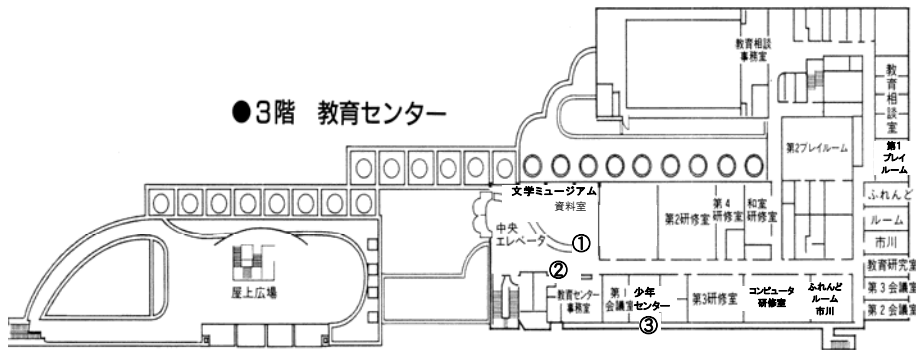
新聞(当月・前月分)	雑誌架
新聞(当月・前月分)	雑誌架
新聞(当月・前月分)	雑誌架

ブラウジング・コーナー

ウ-1	雑誌架
ウ-2	雑誌架
ウ-3	雑誌架
ウ-4	雑誌架
ウ-5	雑誌架
ウ-6	雑誌架
イ-3	雑誌架
イ-4	雑誌架
イ-5	雑誌架

③生涯学習センター(メディアパーク市川)フロア案内図

平成 26 年 6 月 1 日現在



3階

- ①文学ミュージアム資料室：2階文学ミュージアムの資料室。
- ②教育センター：教職員の研修を行う施設。
- ③少年センター：教育に関するいろいろな悩み、困りごとの相談を受け付ける施設。

2階

- ①文学ミュージアム：①～⑤
- ①グリーンスタジオ：講演会・演劇公演・コンサート・映画上映・朗読会が行える。最大で260人を収容し、車イスへの対応も可能。
- ②ベルホール：講演会・演劇公演・コンサート・映画上映・朗読会が行える。定員46名。
- ③通常展示フロア：映画・演劇・小説・詩歌・文芸に区分し、文学の街いちかわの魅力を展示品・写真・映像を交え、紹介。
- ④企画展示室：市川ゆかりの文学や映像文化に関する企画展や展覧会などを行う。
- ⑤映像メディア編集室：映像編集機器があり、映像や画像の編集が行える。

1階

- ①中央図書館：①～④
- ①ポピュラーライブラリー：小説・趣味・ビジネス書など、生活に役立つ資料を備えている。中高生のためのコーナーや、CD・ビデオ・DVDのコーナーも設けている。
- ②レファレンスライブラリー：調べものに役立つ、専門書・辞典・郷土資料などを集めたコーナー。調べものの相談にも対応。
- ③ブラウジングコーナー(軽読書席)：各種新聞や雑誌をくつろいだ雰囲気の中で読める、軽読書コーナー。
- ④こどもとしゃかん：紙芝居・絵本を含め、児童書3万点を揃え、定期的に「らっこの会・えほんの会・おはなし会」を開催。
- ②中央こども館：赤ちゃんから高校生まで、市川市に住む18歳未満の子どもたちのための遊び場。

地下1階

- ①音楽スタジオ：少人数の音楽練習に。(担当課：2階①文学ミュージアム)
- ②地下駐車場：99台収容。(担当課：1階①中央図書館)
- ③集会室・サークル室：読書会・図書館ボランティア活動等に使用。(担当課：1階①中央図書館)

(2) 自動車図書館「みどり号」

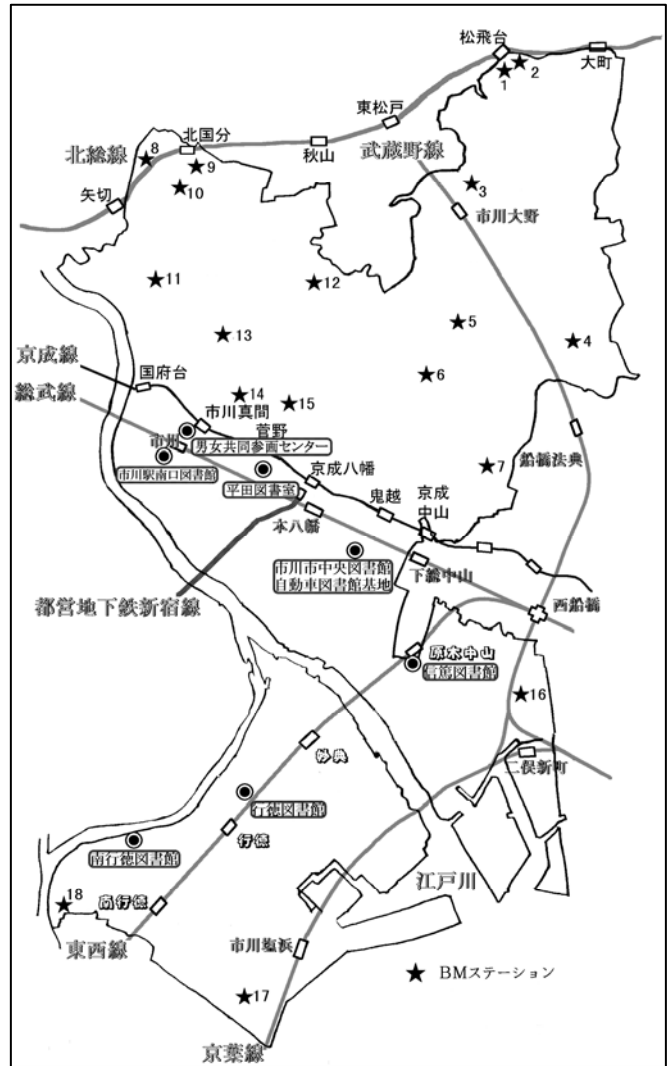
固定館だけでは補いきれない地域の方々のための図書館サービス。身体に障害のある方、ご高齢の方、または乳幼児のいる家庭、地理的障害のために固定館を利用できない方等のために、北部地域を中心に運行している。中央図書館地階を基地とし、駐車場と自動車図書館用書庫を有する。

ステーション数は全18箇所（北部地域15箇所、南部地域3箇所）で、1ステーション当たり30分から50分滞在し、主に図書の貸出、返却を行う。雨などの悪天候のときには巡回を中止する。

平成18年4月より、運転業務に加え、図書の貸出・返却業務も委託している。（3年の長期継続契約で、平成25年度より4回めの委託）

車両仕様

名称	みどり号
登録番号	習志野 800 さ 7405
車名	日野
型式	KK-X Z U412M
定員	5人
長さ	608cm
幅	206cm
高さ	271cm
燃料	CNG(圧縮天然ガス)
総排気量	4.10 k w
登録年月日	平成15年3月27日
製作	京成自動車工業
積載冊数	3,000冊



みどり号巡回表（平成25年度）

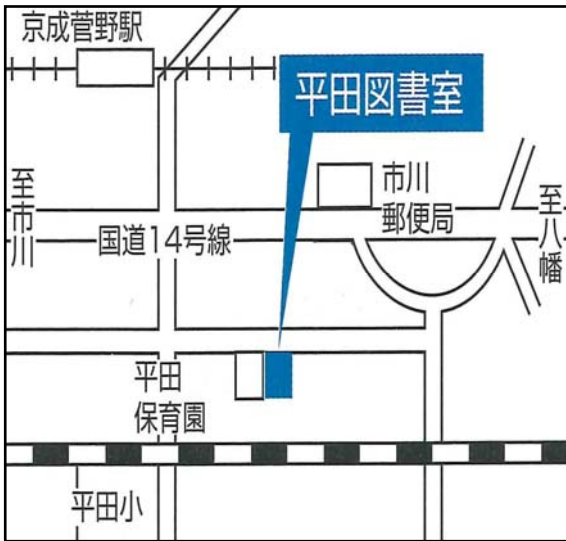
	曜日	午前		午後	
第1・3週	水	★16 二俣公務員宿舎 二俣678 10:30~11:20	★4 柏井小学校 柏井1-1149-1 2:00~2:40	★7 若宮児童公園 若宮3-20 3:10~3:50	
	木	★17 塩浜体育館 塩浜4-9-1 10:20~10:50	★3 養護老人ホームいこい荘 大町521 2:00~2:40	★12 山王公園 曾谷5-16 3:00~3:50	
	金	★15 (株)クボタ菅野ハイツ 菅野5-3-6 10:20~11:00	★9 堀之内公園 堀之内3-2 2:00~2:40	★14 菅野小学校 菅野6-14-1 3:00~3:40	
第2・4週	火		★17 塩浜体育館 塩浜4-9-1 1:30~2:20	★18 島尻西公園 島尻1 3:00~3:40	
	水	★9 堀之内公園 堀之内3-2 10:20~10:50	★2 市営大町第2団地 大町124 2:00~2:40	★6 宮久保小学校 宮久保5-7-1 3:10~3:50	
	木	★13 石橋下公園 国分2-9 10:20~11:00	★10 歴史博物館 堀之内2-27-1 2:00~2:40	★8 北国分2丁目公園 北国分2-27 3:00~3:40	
	金	★11 国府台児童公園 国府台5-8 10:20~11:00	★1 市営大町第1団地 大町95 2:00~2:40	★5 大野小学校 南大野1-42-1 3:00~3:40	

(3) 平田図書室

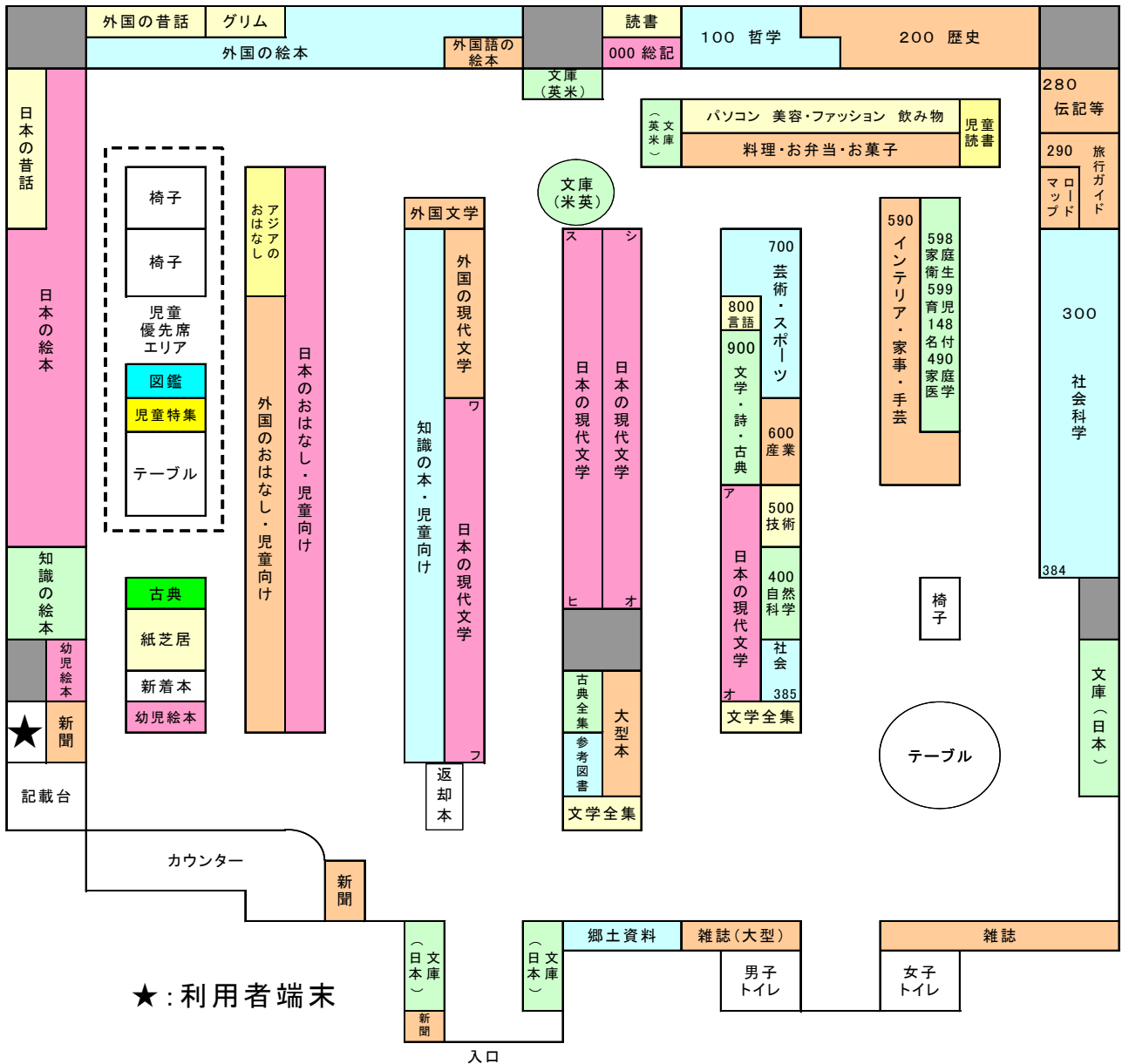
市川市平田 1-20-16

TEL 047 (321) 2243

FAX 047 (321) 2243



- ・ 交通 京成菅野駅より徒歩8分
JR本八幡駅より徒歩10分
- ・ 開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00



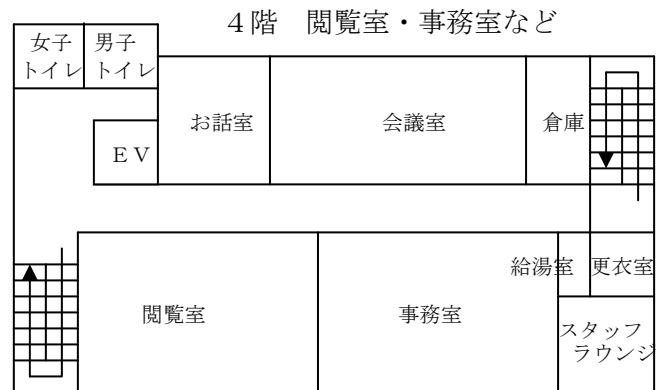
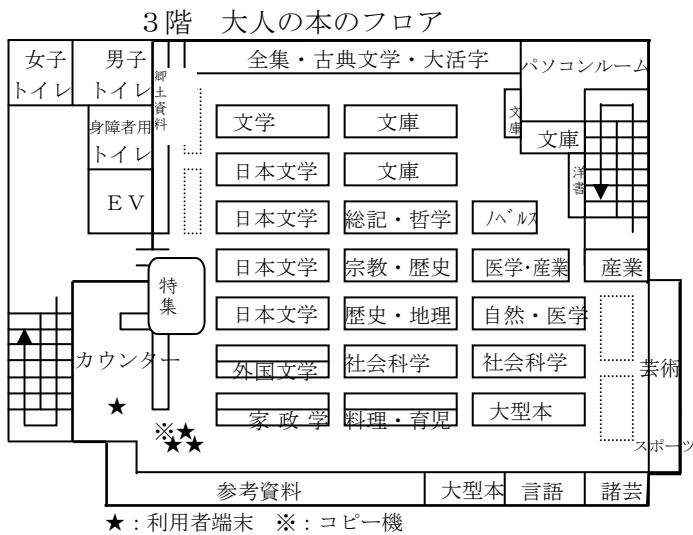
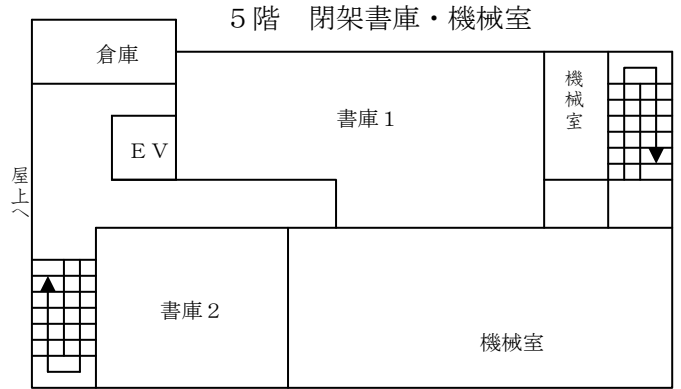
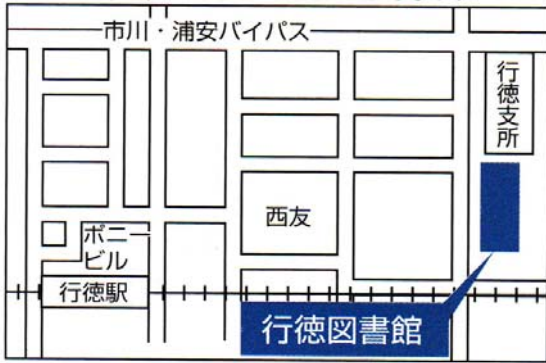
(4) 行徳図書館

市川市末広1-1-31

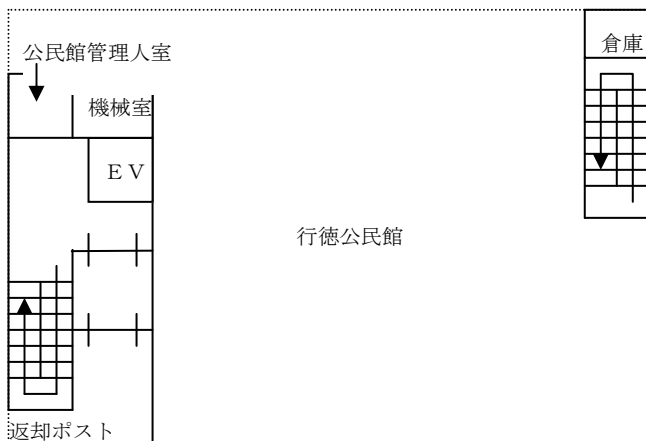
TEL 047 (358) 9011

FAX 047 (358) 9012

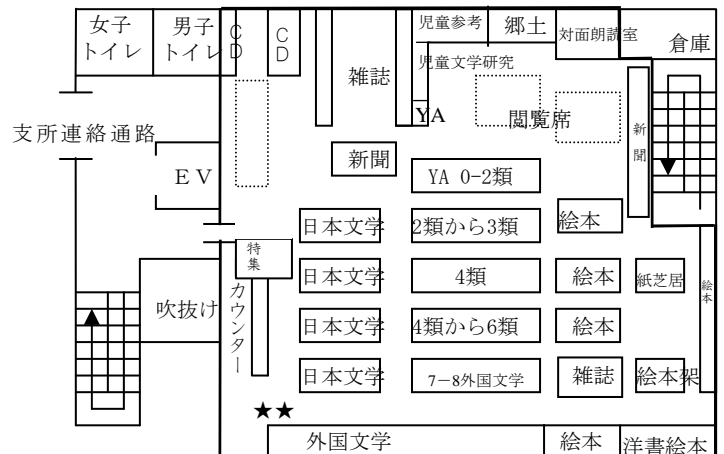
- ・交通 東西線行徳駅より徒歩5分
- ・開館時間 火曜～金曜 10:00～19:30
土・日・祝日 10:00～17:00



1階 エントランスホール・公民館



2階 子どもの本のフロア



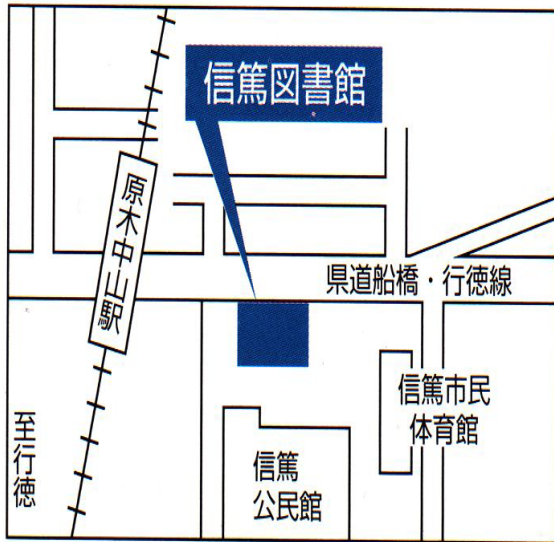
(5) 信篤図書館

市川市高谷 1-8-1

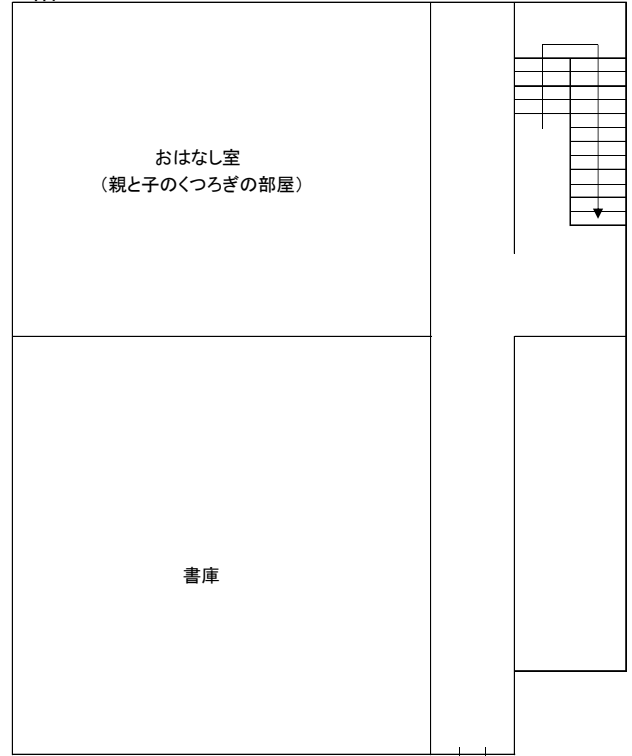
TEL 047 (328) 8831

FAX 047 (328) 8831

- ・交通 東西線原木中山駅より徒歩2分
- ・開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00

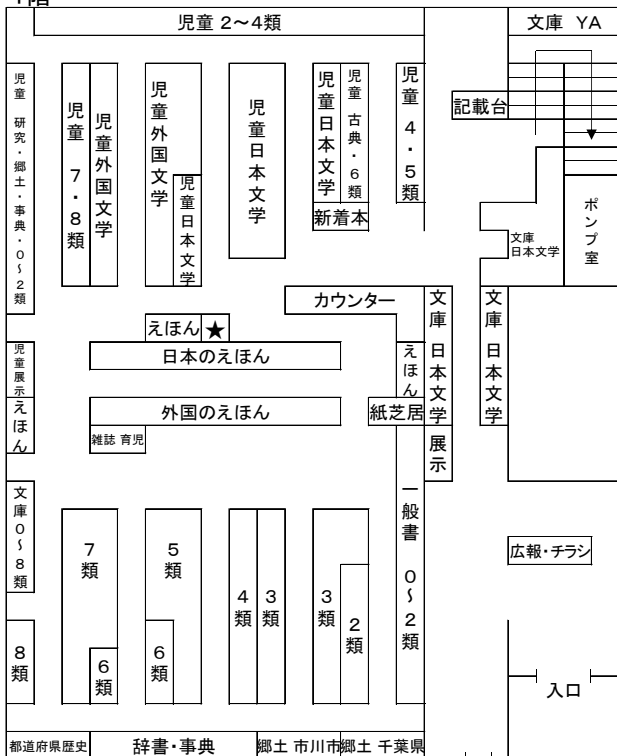


3階



非常階段

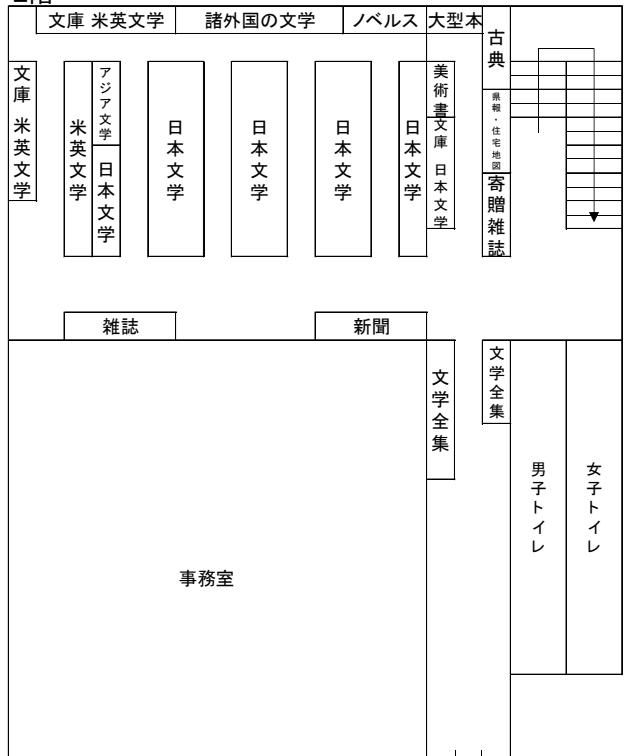
1階



★: 利用者端末

返却ポスト

2階



非常階段

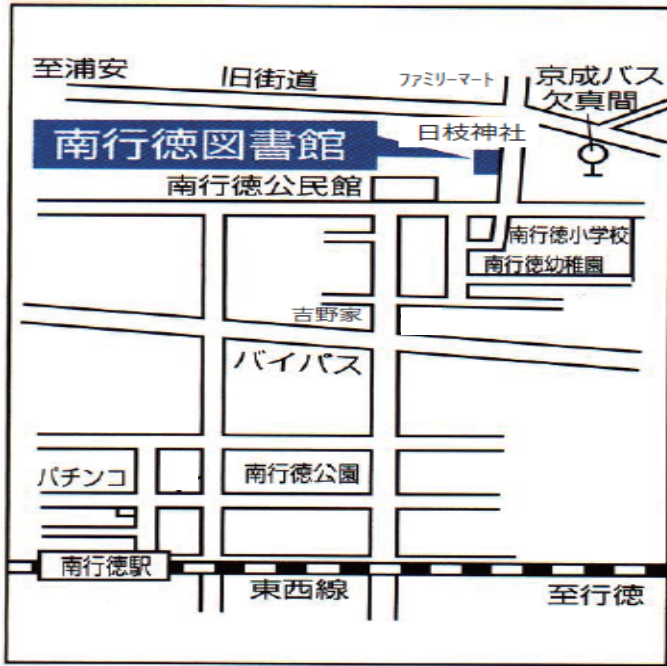
(6) 南行徳図書館

市川市相之川 1-2-4

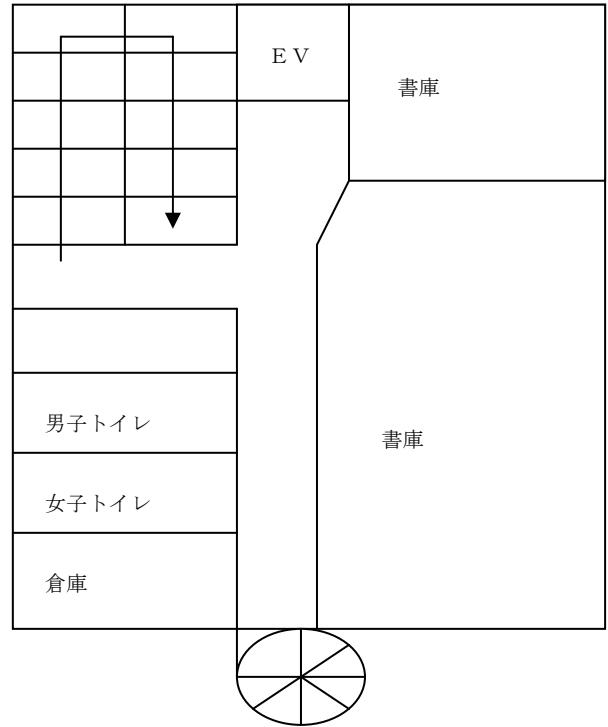
TEL 047 (357) 4188

FAX 047 (357) 4188

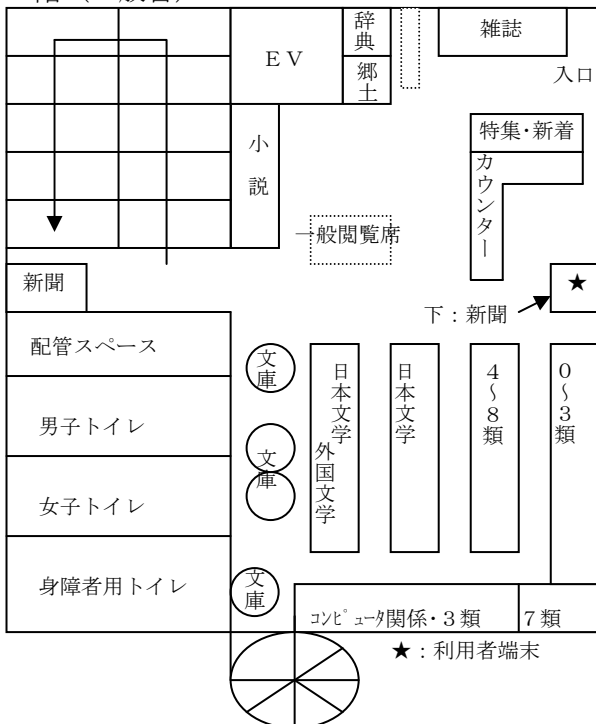
- ・交通 東西線南行徳駅より徒歩15分
JR本八幡駅より浦安駅行きバス
「欠真間」下車徒歩2分
- ・開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00



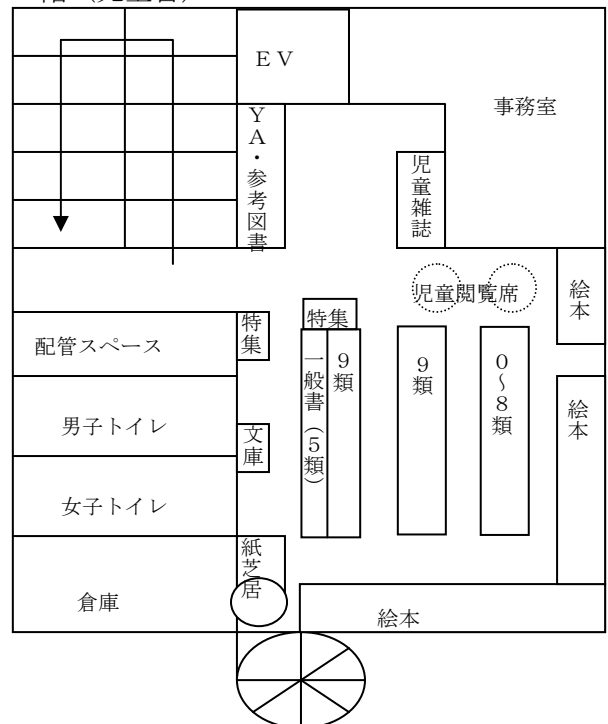
3階（書庫）



1階（一般書）



2階（児童書）



(7) 市川駅南口図書館

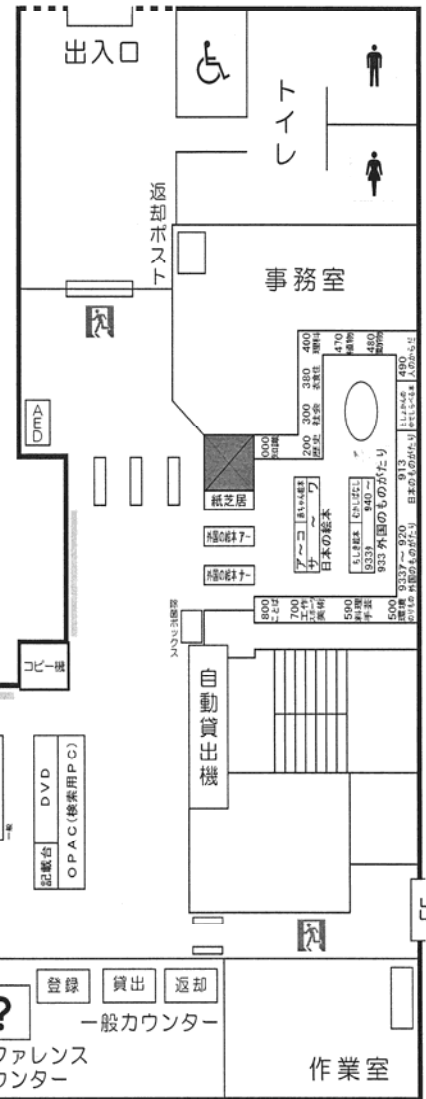
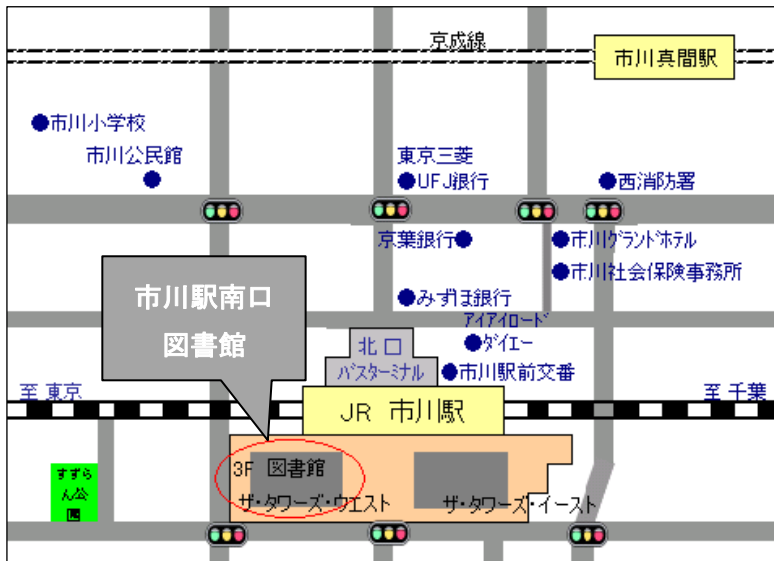
市川市市川南1-10-1

I-linkタウンいちかわ ザ タワーズ ウエスト3階

TEL 047 (325) 6241

FAX 047 (325) 6243

- ・交通 JR市川駅より徒歩2分
- ・開館時間 火曜～金曜 9:30～21:00
土・日・祝日 9:30～18:00



分類・事典・参考資料	全集	和山市	外国の小説
914	933		
24	23		
22	21		
20	19		
18	17		
16	15		
14	13		
12	11		
10	9		
8	7		
6	5		
4	3		
2	1		

データベース閲覧用PC、展示コーナー

自動貸出機

レファレンスカウンター

一般カウンター

返却ポスト

作業室

出入口

返却ポスト

事務室

トイレ

出入口

11～20はPC使用不可(読書専用)の席です。

1～10はPC利用可能な席です。

閲覧席

① 指定管理者制度導入の経過

- 平成19年 4月 南口図書館運営計画策定作業開始
10月 行政経営会議（3日）において、A棟3階（図書館・保育園）のレイアウト及び図書館運営形態（直営＋一部委託）の報告を行う
- 20年 9月 行政経営会議（17日）、指定管理者制度導入に関する会議（25日）において、市川駅南口図書館への指定管理者制度導入が正式に決定
11月 12月議会開催（28日）、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部改正についての議案〔市川駅南口図書館での設置及び指定管理者に管理を行わせること、行徳図書館の祝日開館他（第31号）〕、市川市立図書館設置条例の全部改正についての議案〔中央図書館と生涯学習センターの祝日開館（第32号）〕提出
12月 環境文教委員会（2日）、議案第31号否決、第32号可決
委員長報告・本会議議決（5日）、議案第31号及び第32号可決
- 21年 1月 指定管理者公募受付（16～23日）に4社応募。選定審査会による1次審査（26・27日）
2月 選定審査会による2次審査（2日）
定例教育委員会（5日）指定管理者の指定の議案に係る教育委員会の意見聴取
2月議会開会（16日）指定管理者の指定の議案（第84号）提出
3月 議案第84号継続審議可決（3日）
委員長報告・動議（11日）環境文教委員会審査期限付動議可決
環境文教委員会（12・16・18・19日）選定評価表の見直し、適正なモニタリングの実施、3年後の制度継続を含めた見直し等、条件付きで議案第84号可決（19日）
委員長報告・本会議議決（23日）議案第84号可決
指定管理者の指定及び告示（27日）㈱ヴィアックス
4月 指定管理期間の開始（3年間：21/4/1～24/3/31）年度協定書締結（1日）
開館準備及び指定管理者研修（1～29日） オープニングセレモニー（30日）

② モニタリング

- 平成22年 11月 21年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（8日）
評価項目は、大項目全18項目、評価視点（評価事項）全46項目138点を設定
- 23年 8月 22年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（22日）
評価項目を整理し、図書館サービスに直接関連する評価視点を3項目増
- 24年 8月 23年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（7日）
- 25年 2月 評価委員会による評価項目検討審査会（15日）評価項目は、大項目全16項目、評価視点（中項目）全38項目102点とし、図書館サービス部分を重視する傾斜配分に改める
3月 新評価項目での中央図書館モニタリング担当者による24年度上半期第1次評価（8日）
6月 中央図書館モニタリング担当者による24年度全期第1次評価（14日）
7月 評価委員会による24年度全期第2次評価（2日）
選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（31日）
- 11月 中央図書館モニタリング担当者による25年度上半期第1次評価（21日）
- 26年 6月 中央図書館モニタリング担当者による25年度全期第1次評価（13日）
評価委員会による25年度全期第2次評価（30日）
7月 「市川市指定管理者のモニタリングに関する実施要領」一部改正により第2次評価を選定審査会会長へ報告
8月 モニタリング評価の決定

③ 更新

- 平成23年 5月 公の施設の指定管理者候補者選定審査会（18日）
8月 指定管理者公募受付（7/31～8/11）に3社応募
10月 選定審査会による1次審査（7日）選定審査会による2次審査（19日）
11月 定例教育委員会（10日）指定管理者の指定の議案に係る教育委員会の意見聴取
12月議会開会（25日）指定管理者の指定の議案（第39号）提出
12月 委員長報告・本会議議決（2日）、議案第39号可決
指定管理者の指定及び告示（9日）㈱ヴィアックス
- 24年 4月 2回目の指定管理期間の開始（5年間：24/4/1～29/3/31）年度協定書締結（1日）

No.	大項目	評価視点	1か年度		上半期	
			評価	評価点	評価	評価点
1	職員の配置・補充体制に関すること	業務を遂行するための必要な従事者は確保され緊急時等の体制維持が図られているか?	B	2	B	2
2		要員配置及び司書有資格者は事業計画書通りか?	B	2	B	2
※3		労働関連法令を遵守した雇用を行っているか?	B	2	B	2
※4		組織の指揮命令系統・チェック機能が確保されているか?	B	2	B	2
5	個人情報の保護に関すること	市川市個人情報保護条例に基づき適正に取り扱われているか?	A	3	A	3
6		個人情報の管理に係るマニュアル及び研修体制は整備されているか?	B	2	B	2
※7	情報の公開に関すること	情報の公開に努めているか?	B	2	B	2
※8	指定管理者の経理に関すること	会計区分経理および事業決算は適切に行われているか?	B	2	B	2
※9		収支計画に沿った収支が行われているか?	B	2	B	2
※10	提出書類に関すること	文書の管理保管および書類提出は適切に行われているか?	B	2	B	2
☆11	施設賠償責任保険の付保に関すること	施設賠償責任保険に加入しているか?	B	2	B	2
☆12	第三者への一括委託に関すること	第三者への一括委託は行われていないか?(適切な委託が行われているか?)	B	2	B	2
13	指定管理者の経営状況に関すること	指定管理者の経営状況が安定しており指定施設の安定的な運営が可能か?	B	2	—	—
14	利用者アンケートの実施等に関すること	利用者へのアンケート調査などを実施し、結果に基づき改善を行っているか?	B	2	B	2
15	利用者の要望及び苦情に関すること	利用者の要望を聞く体制・苦情に関するマニュアルを整備し、利用者の要望や苦情等の対応は適切に行われているか?	B	2	B	2
16		職員の接客態度は適切か?(含、電話対応)	B	2	B	2
※17	施設・備品の維持管理・修繕に関すること	施設の維持・修繕、備品の管理は適切に行われているか?	B	2	B	2
※18	施設の状況に関すること	委託業務の適正な履行の確認・管理が行われているか(清掃・警備・各種保守点検)	B	2	B	2
19	事故・緊急事態の対応に関すること	事故等の緊急時・災害発生時の対応は確保されているか?(緊急時・災害時の体制)	B	2	B	2
※20		消防法に定められた消防計画の作成、防火管理者・防災管理者の配置、消防訓練の実施等は適正に行われているか?	B	2	B	2
21	公共性の尊重に関すること	公の施設及び公共図書館であることを認識した管理運営が従事者まで徹底されているか?	B	2	B	2
※22	法令等の遵守に関すること	開館日、開館時間等、設置管理条例及び施行規則に定める事項は守られているか?	B	2	B	2
23	図書館サービス業務に関すること	現場従事者等に対する研修は適切に行われているか?(含、配置前研修)	A	3	A	3
24		短時間滞在型の駅前情報拠点としての特色を生かしたサービスを展開しているか?(外部データベース・ICタグ)	B	2	B	2
25		ビジネス支援サービスを積極的に展開しているか?	A	3	A	3
26		健康・医療情報提供の充実を図るための工夫がなされているか?	B	2	B	2
27		地域との連携を図ることにより機能的な図書館サービスを展開しているか?	A	3	A	3
28		行事は適切に行われているか?	A	3	A	3
29		PR活動等の努力が行われているか?	B	2	B	2
30		開館・閉館準備業務は適切に行われているか?	B	2	B	2
31		利用者登録業務は適切に行われているか?	B	2	B	2
32		貸出返却業務は適切に行われているか?	B	2	B	2
33		予約業務は適切に行われているか?	B	2	B	2
34		資料案内・書架案内は適切に行われているか?(クイックレファレンス)	B	2	B	2
35		レファレンス業務は適切に行われているか? (対応・内容について)	B	2	B	2
36		レファレンス業務は適切に行われているか? (記録・報告について)	B	2	B	2
37		資料管理業務は適切に行われているか?	B	2	B	2
38		書架管理業務は適切に行われているか?(含む月末館内整理・蔵書点検)	B	2	B	2
合計点			81		79	
総合評価			優		優	

【注】評価方法について

①評価視点ごとの評価点

評価	評価点
A	3
B	2
C	1
D	0

※:B・C・Dの3段階で評価 → No.3,4,7~10,17,18,20,22

★:B・Dの2段階で評価 → No.11,12

②総合評価の方法

全38項目(平成25年度全期)

総合評価	合計評価点
優	102点~78点
良	77点~52点
可	51点~26点
改善	25点~0点

全37項目(平成25年度上半期)

総合評価	合計評価点
優	99点~75点
良	74点~50点
可	49点~25点
改善	24点~0点

○上半期はNo.13が確認できなかった為、全37項目での総合評価とした

(8) 関連施設

① 市民図書室

市民図書室は、コミュニティスクールの一環として市内小学校4校に設置された。

市民ボランティアの協力を得て、中央図書館所管の非常勤職員（週3日）が、本の貸出・返却・整理などを行っている。また、ボランティアが主体となって、おはなし会、絵本の読み聞かせ会、人形劇、古本市を行うなど、各市民図書室がそれぞれ地域に密着した特色あるサービスを展開している。

- ・利用（貸出）には、市立図書館とは別に、それぞれの図書室で登録が必要。借りた資料は、借りた図書室にのみ返却可能。
- ・図書館システムの端末が設置されており、市立図書館の蔵書が検索でき、市立図書館の図書・雑誌の返却や予約の受付・受取ができる。

（市立図書館の蔵書検索、返却、予約の貸出の手続きは非常勤職員が行っている。）

- ・市立図書館の物流便は毎週水・土曜日に巡回
- ・開室日 いずれも水・土・日曜
- ・開室時間 いずれも10:00～16:00

（平成11年度より生涯学習部生涯学習課から図書館へ所管変更）

② 男女共同参画センター情報資料室

・市川市市川1-24-2 市川西消防署4階

・TEL 047 (322) 6700

・交通 JR市川駅 京成市川真間駅より徒歩5分

・貸出日 火曜～日曜 9:30～17:00

（祝日・毎月最終火曜日は除く）

・月曜日等、情報資料室開館日で市立図書館が休館日の場合は、閲覧のみ可能

・市立図書館の物流便は、毎週水・木・金・日曜日に巡回する。

・床面積 93㎡

男女共同参画についての資料の収集と提供を行っている。図書館とオンライン化されており、市立図書館と共通の利用券で利用できる。また、市立図書館の図書・雑誌の返却や予約の受付・受取ができる。

（所管・総務部男女共同参画課）

③ 情報プラザ2階

・市川市南八幡4-2-5

・TEL 047 (314) 0811

・交通 JR本八幡駅南口より徒歩1分

・利用時間 火曜～金曜 10:00～19:30

土・日・祝日 10:00～18:00

（第4日曜日は除く）

図書館とオンライン化されており、図書館の予約図書・雑誌の受取ができる。また、図書館資料返却用のポストが設置されている。

（平成23年度より情報政策部情報政策担当から図書館へ所管変更）

市民図書室一覧

図書室名	住所・電話番号	床面積	開設年月日
塩焼市民図書室 （塩焼読書センター）	市川市塩焼5-9-8 047 (397) 6823	135.0 ㎡	昭和56年10月8日
稲越市民図書室 （ひばり図書室）	市川市稲越町518-2 047 (373) 6013	135.0 ㎡	昭和56年10月8日
福栄市民図書室	市川市南行徳2-2-1 047 (395) 5020	112.5 ㎡	昭和60年10月5日
大柏市民図書室	大野町2-1877 047 (338) 7897	315.0 ㎡	平成3年4月1日

④ 公民館図書室

7つの公民館（西部・東部・本行徳・市川駅南・大野・曾谷・市川）に公民館図書室が設置されている。図書購入の費用及び図書室業務用消耗品は図書館の費目となっているが、実際の運営は、社会教育課所管の社会教育指導員（図書室担当非常勤職員・週3日）があたっており、それぞれの地域に密着したサービスを提供している。なお、平成26年度より大野のみ中央図書館所管の再任用職員及び非常勤職員が運営にあっている。

市立図書館とは別にそれぞれの図書室で利用登録が必要で、借りた資料は借りた図書室にのみ返却可能。市立図書館は、各公民館図書室の活動の支援や、各公民館図書室で所蔵していない図書について利用者から要望があった場合には、公民館図書室を中継として市川市立図書館の図書を提供するなど、地域住民に対し間接的にサービスを行っている。

西部・東部・大野・曾谷公民館図書室には図書館システムの端末が設置されており、市立図書館の蔵書検索及び、図書館の図書・雑誌の返却や予約の受付・受取ができる。また、上記4室には市立図書館の物流便が毎週水・土曜（大野は火・水・土曜日）に巡回する。

大野公民館・市川公民館には市立図書館資料返却用のポストが設置されている。

（9）提携機関

① 千葉商科大学付属図書館

- ・所在地：市川市国府台1-3-1
- ・TEL 047 (373) 9798
- ・交通 JR市川駅より京成バス松戸方面行で約10分「和洋女子大前」下車徒歩2分、または京成国府台駅より徒歩10分。
- ・経済関係を中心とした約62万冊（平成26年3月末現在）の蔵書を有する。

② 和洋女子大学メディアセンター

- ・所在地：市川市国府台2-3-1
 - ・TEL 047 (371) 1111（代表）
 - ・交通 JR市川駅より京成バス北口1番「松戸営業所行」で約8分「真間山下」下車、または、京成国府台駅より徒歩10分。
 - ・服飾関係を中心とした23万2千冊（平成26年3月末現在）の蔵書を有する。
- （上記機関との詳しい提携内容については、p. 50を参照）

公民館図書室一覧（* はオンライン端末設置室）

公民館名	住所・電話番号	開室日	貸出日・時間	床面積
西部公民館図書室 *	市川市中国分2-13-8 047 (371) 2777	火曜～日曜 9:00～17:00	水曜～日曜 10:00～12:00 13:00～16:30	112.0㎡
東部公民館図書室 *	市川市本北方3-19-16 047 (337) 8886	火曜～日曜 9:00～17:00	水曜・土曜 10:00～12:00 13:00～16:30	81.0㎡
本行徳公民館図書室	市川市本行徳12-8 047 (359) 1351	水曜・日曜 9:00～17:00	水曜・日曜 10:00～12:00 13:00～16:30	170.0㎡
市川駅南公民館図書室	市川市大洲4-18-3 047 (370) 3564	火曜～日曜 9:00～17:00	水曜・日曜 10:00～12:00 13:00～16:30	105.2㎡
大野公民館図書室 *	市川市南大野2-3-19 047 (339) 3400	火曜～日曜 9:00～17:00	火曜～日曜 9:30～12:00 12:45～16:30	127.0㎡
曾谷公民館図書室 *	市川市曾谷6-25-5 047 (372) 2871	月曜～日曜 9:00～17:00 (最終月曜休室)	水曜・土曜 10:00～12:00 13:00～16:30	144.0㎡
市川公民館図書室	市川市市川2-33-2 047 (321) 1171	火曜～日曜 9:00～17:00	水曜・土曜 9:30～12:00 13:00～16:30	98.7㎡

7. 図書館コンピュータシステム

(1) 図書館コンピュータシステムの概要

市川市立図書館では昭和60年にコンピュータシステムを導入。平成6年に中央図書館開館に際して2回目の更新を行い、可変長MARCの採用、学校図書館とのパソコン通信連携を実施した。

平成12年10月に富士通社のiLiswing Ver2.0に3回目の更新、また平成17年7月に同社のiLiswing21/UX+に4回目の更新を行い、市内全域へのネットワーク拡大とインターネットでのサービス充実を行った。

平成21年4月に開館した市川駅南口図書館では、ICTタグによる蔵書管理システムiLiscompを導入し、セキュリティゲートや自動貸出機等を設置。窓口業務や蔵書点検業務の効率化を図った。

平成23年11月にiLisfieraに5回目の更新。

(2) インターネットでのサービス

平成

- 12年10月 インターネットでの蔵書情報の公開
利用者自らIDとパスワードにより、貸出状況・予約状況の照会が可能
- 14年5月 携帯端末での蔵書検索を実施
- 10月 メールでのレファレンス受付開始
図書館ホームページが財団法人高度映像情報センター(AVCC)の主催する公共ホームページGoodsite賞に選出
- 11月 インターネットでの図書・雑誌の予約受付を開始
- 15年7月 CTIサーバを導入し、段階的にeメール及び電話による督促通知、予約通知の自動連絡を開始する
- 17年7月 CD・ビデオのネット予約受付開始
図書館ホームページのリニューアル
TRC-MARCをUからTタイプに変更
蔵書検索で内容紹介、著者紹介等の項目が検索対象となる
- 18年3月 SSL暗号化通信を導入
市川市が韓国ソウル市江南区電子図書館の閲覧IDを配布開始
- 10月 予約資料の宅配サービスを開始

- 20年6月 「青空文庫」作成電子テキストの書誌データをWebサーバで一括検索開始
- 21年6月 TRC-MARCを全件Tタイプに塗替え
TRC雑誌MARCを導入

(3) ネットワークの拡充

平成12年からの市内ケーブル回線網の敷設及び全庁的なイントラネット構築に伴い、図書館未設置地区へネットワーク拠点を増設。

平成

- 12年10月 市立小学校に併設の市民図書室4室(塩焼・稲越・福栄・大柏)及び大野公民館図書室にオンライン端末を設置し、図書館の予約本を取り寄せて、貸出・返却を可能とする
- 12月 西部公民館図書室にオンライン端末を設置
- 14年5月 情報システム課が情報プラザに移転
本庁ー情報プラザー生涯学習センター間が100Mbpsの回線で接続される
- 15年2月 情報プラザ2階電子市役所での予約資料受渡しを実施
- 6月 曾谷公民館図書室に端末を設置
- 7月 情報プラザに端末を設置
- 16年6月 東部公民館図書室に端末を設置
- 17年10月 行徳支所まで100Mbpsの回線となり、図書館も支所より分岐して接続
千葉商科大学附属図書館に端末を設置
- 20年 全庁的にネットワーク再構築が実施される
- 21年4月 市川駅南口図書館開館に伴い、100Mbpsの光回線を接続し、業務端末9台、OPAC4台、自動貸出機3台、セキュリティゲート2基を設置
- 26年4月 大野公民館図書室でCD返却受付の試行開始

(4) 図書館内インターネット接続サービス等

平成					
12年 10月	館内利用者端末（タッチパネル式）を増設（全館26台、レシートプリンタ付） 〔中央図書館〕Web-OPAC（キーボード式）3台を新設 朝日新聞記事全文検索データベースを導入 ビジネスルームに持ち込みパソコンのインターネット接続環境を設置、有線LAN接続で4席 業務端末は全館全端末が本庁イントラ経由でインターネット常時接続が可能とし、相互協力やレファレンス業務等でインターネット上の情報源を利用できるようになる	18年 6月	〔中央図書館〕江南区電子図書館閲覧端末を韓国語資料の書架横に設置	21年 4月	〔市川駅南口図書館〕閲覧席20席に情報コンセント（電源、LAN）を設置、フリースポットでの無線接続も可能とする 外部データベース閲覧端末3台を設置、プリントアウトサービスを可能とする
14年 5月	〔中央図書館〕「ITブース」として、視聴覚ブースにインターネット用パソコンを6台設置、無線LANカード貸出により利用提供 ビジネスルームのネット接続を7席へ 朝日新聞記事全文検索データベースを館内Web-OPACで利用者に開放	10月	〔中央図書館〕毎日Newsパック、ヨミダス文書館、聞蔵Ⅱ、ブリタニカのオンラインデータベースを館内Web-OPACで利用者に開放	12月	〔中央図書館〕障害者専用パソコンを入替え、インターネット接続で、点訳及びDAISY等の音声資料対応
17年 7月	〔中央図書館〕日経テレコン21を導入 ビジネスルームのインターネット接続を12席対応に変更 「ITブース」をUSBキー貸出に変更	23年 11月	〔中央図書館〕コインベンダー式プリンタ導入 ビジネスルームにフリースポット導入、無線接続を可能とする 〔行徳図書館〕3階パソコンルームにフリースポット導入、無線接続を可能とする	26年 4月	〔中央図書館・市川駅南口図書館〕D1-Low.comを導入

オンライン・データベース導入一覧

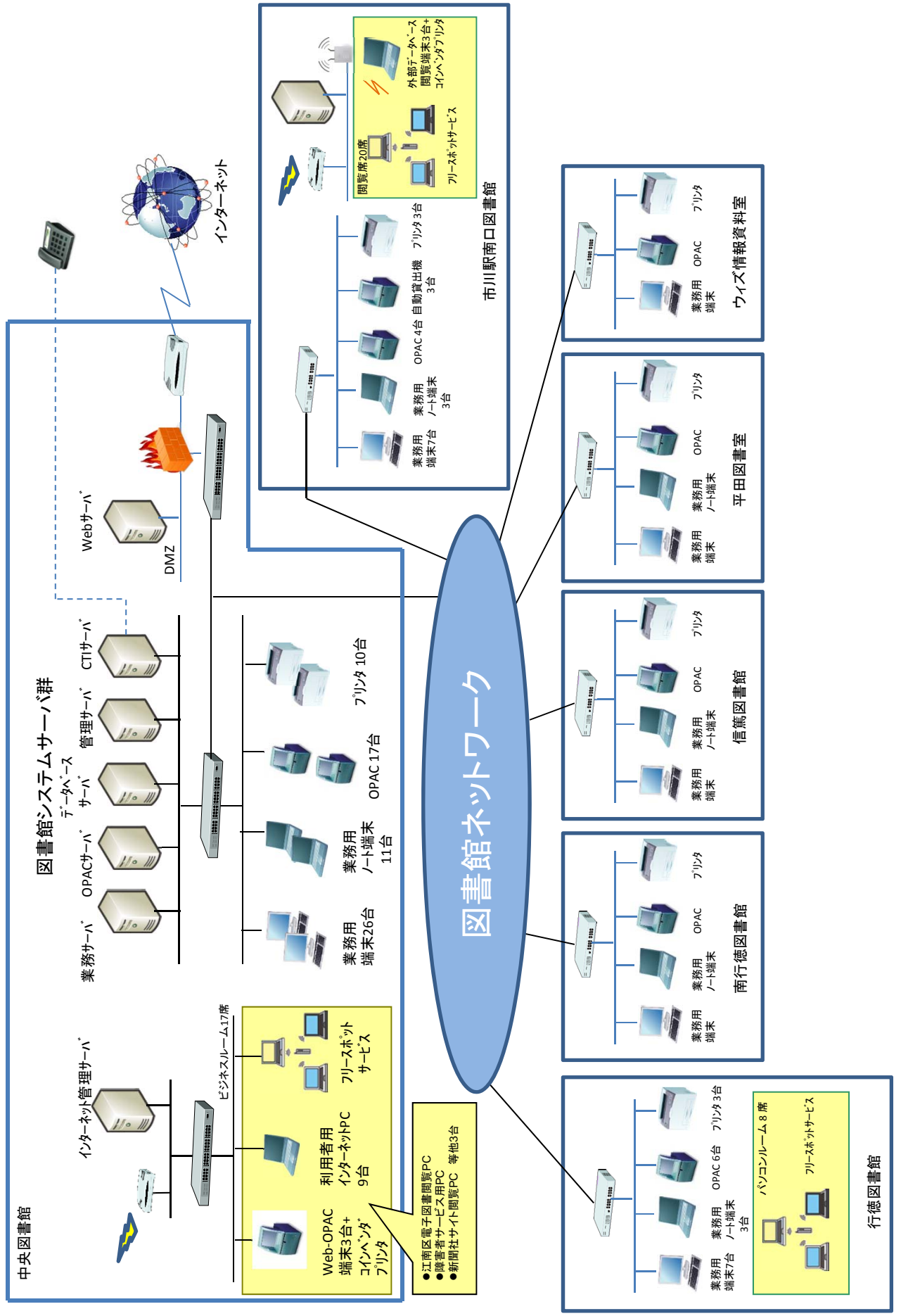
[平成26年4月1日現在]

	データベースタイトル	駅南		中央	
		業務	閲覧	業務	閲覧
①	聞蔵Ⅱ：朝日新聞社オンライン記事データベース	○	○	○	○
②	ヨミダス文書館：読売新聞記事データベース	○	○	○	○
③	毎日Newsパック：毎日新聞記事データベース	○	○	○	○
④	日経テレコン21〔図書館向け〕	○	○	○	○
⑤	LexisNexisJP：判例法令検索データベース	○	○	○	○
⑥	D1-Low.com：第一法規 法情報総合データベース	○	○	○	○
⑦	医学中央雑誌Web版	○			
⑧	官報情報検索サービス	○	○	○	○
⑨	ブリタニカオンラインジャパン	○	○	○	○
⑩	MAGAZINEPLUS（日外アソシエーツ）	○	○	○	○
⑪	BOOKPLUS（日外アソシエーツ）	○	○	○	○

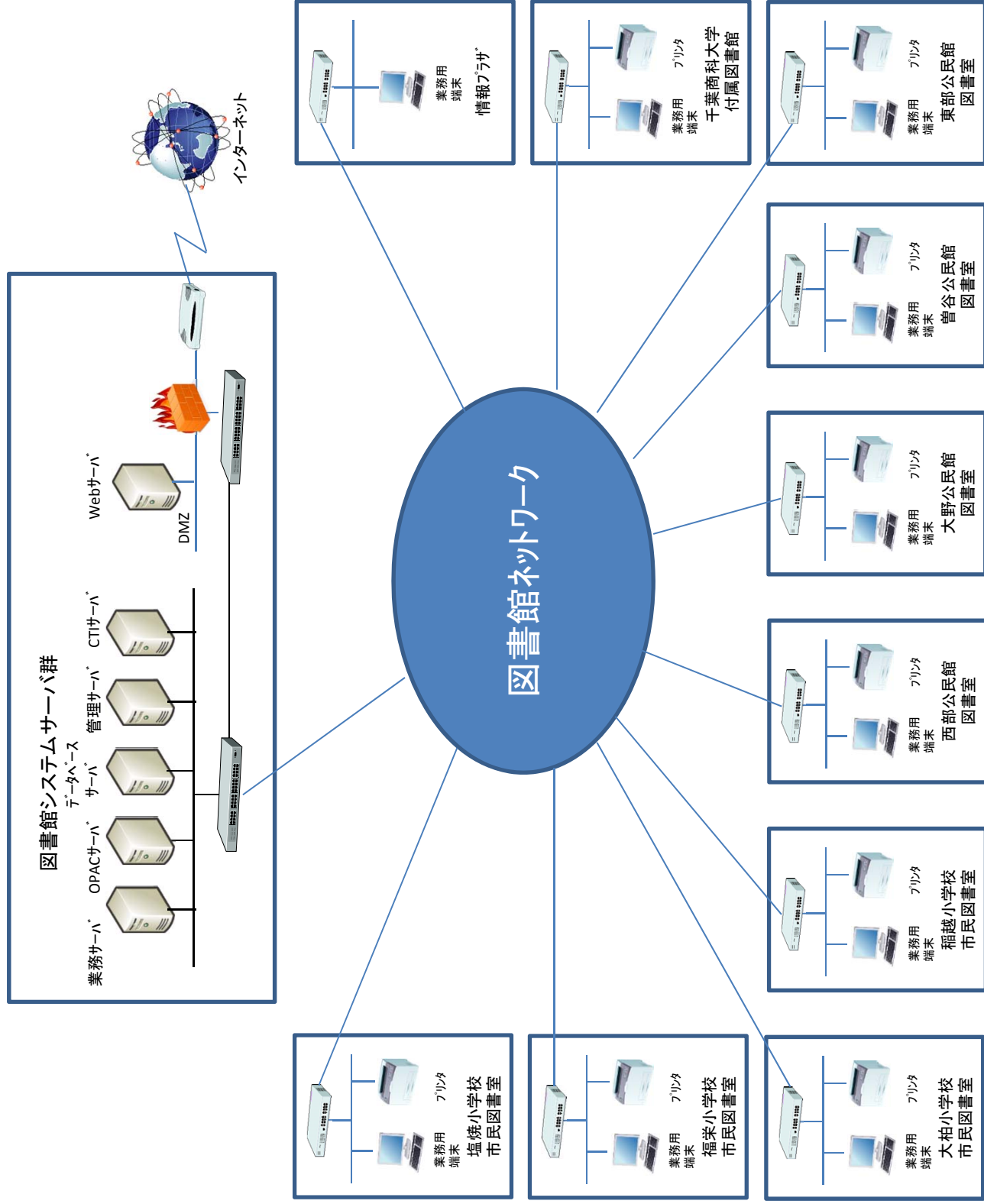
データベース・プリント枚数(平成25年度)

中央	1164	駅南	64
----	------	----	----

(5) 市川市立図書館システム構成図（中央図書館及び地域館）



(6) 市川市立図書館システム構成図 (関連施設)



8. 平成26年度予算

(1) 市の予算

(単位：千円)

項 目	平成26年度当初予算額	平成25年度当初予算額	対 前 年 度 比
総 額	221,302,000	212,580,000	8,722,000
一 般 会 計	131,100,000	127,100,000	4,000,000
特 別 会 計	88,198,000	82,545,000	5,653,000
公営企業会計	2,004,000	2,935,000	△931,000

(2) 教育費

(単位：千円)

科 目	平成26年度当初予算額	平成25年度当初予算額	対 前 年 度 比
一般会計のうち教育費 (一般会計の9.1%)	12,000,000	13,916,000	△1,916,000
教育費のうち図書館費 (教育費の2.9%)	348,179	349,321	△1,142

(3) 図書館費

(単位：千円)

	平成26年度当初予算額	細 節	平成25年度当初予算額
総 計	348,179		349,321
7. 賃 金	73,961	◎非常勤職員等雇上料 73,961	71,717
8. 報 償 費	78	◎報償金 28 ◎講師謝礼金 50	37
9. 旅 費	10	◎職員旅費 10	13
11. 需 用 費	102,179	◎消耗品費 82,651 ◎定期刊行物費 10,645 ◎印刷製本費 1,529 ◎光熱水費 3,034 ◎自動車修繕料 317 ◎施設修繕料 4,000 ◎医薬材料費 3	101,525
12. 役 務 費	23,446	◎通信運搬費 3,987 ◎手数料 19,459	21,964
13. 委 託 料	96,552	◎委託料 96,552	97,765
14. 使用料及び 賃借料	30,188	◎使用料 3,228 ◎賃借料 26,960	32,573
18. 備品購入費	12,892	◎事業用機械器具費 9,327 ◎図書費 3,565	14,500
19. 負担金補助 及び交付金	8,815	◎負担金 8,815	9,227
27. 公 課 費	58	◎自動車重量税 58	0

(4) 館別資料費

○ 図書館

(単位：千円)

館名	図書費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
中央	35,807 (35,840)	3,165 (4,050)	38,972 (39,890)	699 (560)	6,895 (6,895)	46,566 (47,345)
行徳	9,089 (8,000)	400 (400)	9,489 (8,400)	294 (0)	1,479 (1,479)	11,262 (9,879)
信篤	2,400 (2,400)	0 (0)	2,400 (2,400)	0 (0)	436 (436)	2,836 (2,836)
南行徳	2,400 (2,400)	0 (0)	2,400 (2,400)	0 (0)	486 (486)	2,886 (2,886)
平田	2,300 (2,300)	0 (0)	2,300 (2,300)	0 (0)	406 (406)	2,706 (2,706)
市川駅南口	7,766 (8,604)	0 (50)	7,766 (8,654)	931 (275)	735 (735)	9,432 (9,664)
全館 リクエスト	12,600 (13,000)	0 (0)	12,600 (13,000)	0 (0)	0 (0)	12,600 (13,000)
合計	72,362 (72,544)	3,565 (4,500)	75,927 (77,044)	1,924 (835)	10,437 (10,437)	88,288 (88,316)

○ 図書館類似施設

(単位：千円)

	図書費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
男女共同 参画センター	300 (300)	0 (0)	300 (300)	0 (0)	66 (66)	366 (366)

○ 公民館図書室（西部・東部・大野・本行徳・市川駅南・曾谷・市川の7図書室）

(単位：千円)

	図書費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
公民館 図書室	3,300 (3,300)	0 (0)	3,300 (3,300)	0 (0)	0 (0)	3,300 (3,300)

○ 市民図書室（塩焼・ひばり・福栄・大柏の4図書室）

(単位：千円)

	図書費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
市民 図書室	1,368 (1,368)	0 (0)	1,368 (1,368)	0 (0)	142 (142)	1,510 (1,510)

○ 資料費総計

(単位：千円)

	図書費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
総計	77,330 (77,512)	3,565 (4,500)	80,895 (82,012)	1,924 (835)	10,645 (10,645)	93,464 (93,492)

※ () 内は平成25年度当初予算額

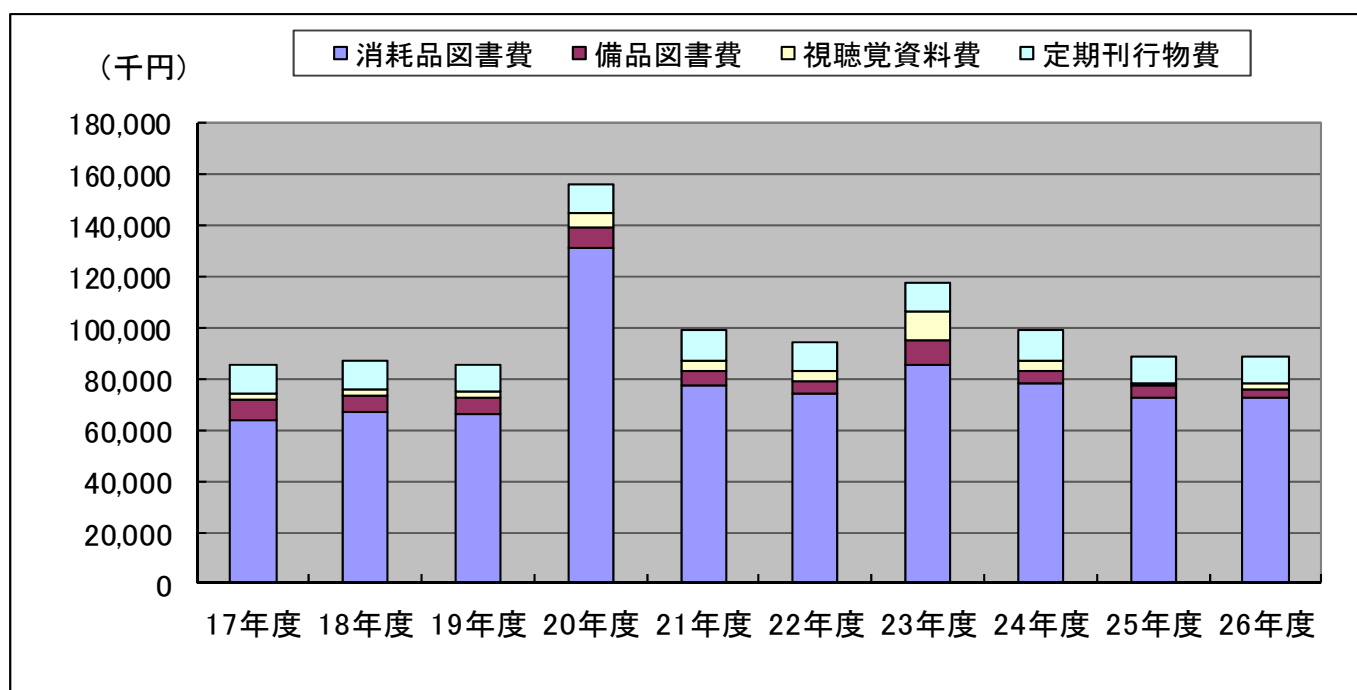
※ 定期刊行物費は、新聞、雑誌及び加除式図書追録代の合計額

※ 資料費のより一層の有効活用を図るため、各館のリクエスト図書購入費を一本化し、「全館リクエスト」として計上

○市川市図書館資料費当初予算額推移表

(単位：千円)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
図書費	71,802	73,670	72,253	139,453	83,385	79,274	95,357	83,377	77,044	75,927
消耗品図書費	63,925	67,148	66,361	131,307	77,457	73,889	85,797	78,377	72,544	72,362
備品図書費	7,877	6,522	5,892	8,146	5,928	5,385	9,560	5,000	4,500	3,565
視聴覚資料費	2,500	2,500	2,500	5,488	3,566	3,731	10,655	3,714	835	1,924
消耗品費	2,500	2,500	2,500	5,488	3,101	3,263	3,246	3,245	835	1,451
備品購入費	0	0	0	0	465	468	7,409	469	0	473
定期刊行物費	11,004	11,004	11,005	11,189	12,015	11,423	11,669	11,597	10,437	10,437
合計	85,306	87,174	85,758	156,130	98,966	94,428	117,681	98,688	88,316	88,288



9. 平成25年度統計

(1) 蔵書冊数 (平成25年度)

(単位：冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	10,772	69	375	2,231	587	394	298	14,726
1哲学	20,664	170	737	2,917	1,313	720	649	27,170
2歴史	28,659	312	1,692	7,865	2,480	1,953	2,895	45,856
3社会科学	52,473	334	2,397	13,922	3,421	2,727	1,542	76,816
4自然科学	23,762	284	1,390	5,744	1,902	1,529	962	35,573
5技術	18,099	1,353	3,158	7,675	3,808	2,974	5,927	42,994
6産業	8,105	162	766	2,454	771	714	874	13,846
7芸術	31,927	379	2,160	8,571	3,315	1,930	2,813	51,095
8言語	9,149	41	427	1,800	521	388	550	12,876
9文学	50,231	5,884	9,428	27,256	17,694	9,228	7,593	127,314
郷土行政	45,282	0	504	3,525	774	668	269	51,022
参考資料	23,594	0	148	1,904	579	235	414	26,874
外国語資料	13,587	0	0	806	0	0	0	14,393
障害者資料	10,124	243	0	536	0	0	0	10,903
コーナー別資料	238,544	0	3,962	22,212	11,421	5,874	41,577	323,590
一般計	584,972	9,231	27,144	109,418	48,586	29,334	66,363	875,048

中央	Aヤング	B文庫	V新書	M外国文学	N環境	Jビジネス
コーナー別資料	18,764	44,474	12,771	16,294	4,425	28,865
総数	X日本文学	W平和	H暮らし	D趣味	Sスポーツ	G旅行
238,544	47,093	8,822	25,584	16,394	4,478	10,580

(単位：冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	422	41	101	289	242	77	86	1,258
1哲学	475	21	83	208	100	64	65	1,016
2歴史	4,276	88	492	1,785	782	594	430	8,447
3社会科学	3,982	72	447	1,459	521	552	439	7,472
4自然科学	8,895	581	1,272	2,843	1,780	1,359	1,099	17,829
5技術	2,899	227	430	1,184	575	483	576	6,374
6産業	1,570	63	244	527	251	275	200	3,130
7芸術	3,877	352	589	1,552	825	660	734	8,589
8言語	812	22	145	307	132	169	121	1,708
9文学	27,659	2,162	4,008	10,866	5,923	5,051	3,154	58,823
E絵本	39,114	3,262	6,292	15,080	5,142	6,499	6,335	81,724
P紙芝居	958	154	248	594	180	257	276	2,667
児童郷土	1,305	1	6	276	108	8	0	1,704
児童参考	720	0	18	451	89	43	100	1,421
児童研究	2,657	0	0	694	176	130	0	3,657
児童計	99,621	7,046	14,375	38,115	16,826	16,221	13,615	205,819

図書計	684,593	16,277	41,519	147,533	65,412	45,555	79,978	1,080,867
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(単位：点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	37,825	0	1,394	6,773	1,548	1,761	1,373	50,674
ビデオ	4,544	0	0	49	0	0	0	4,593
DVD	1,661	0	0	0	0	0	899	2,560
CD	19,175	0	0	7,325	0	0	0	26,500
その他付録等	3,547	0	45	505	13	23	131	4,264
図書以外計	66,752	0	1,439	14,652	1,561	1,784	2,403	88,591

総計	751,345	16,277	42,958	162,185	66,973	47,339	82,381	1,169,458
----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(2) 蔵書冊数の推移

a) 一般書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成20年度	562,703	12,108	26,612	104,790	45,920	25,800	—	777,933
平成21年度	556,486	12,007	26,422	108,266	46,257	27,086	43,735	820,259
平成22年度	564,119	12,420	26,918	111,347	47,813	27,520	50,339	840,476
平成23年度	575,311	12,776	26,504	112,584	47,249	28,208	56,399	859,031
平成24年度	579,323	8,494	26,843	107,088	48,163	28,752	61,709	860,372
平成25年度	584,972	9,231	27,144	109,418	48,586	29,334	66,363	875,048

b) 児童書の推移

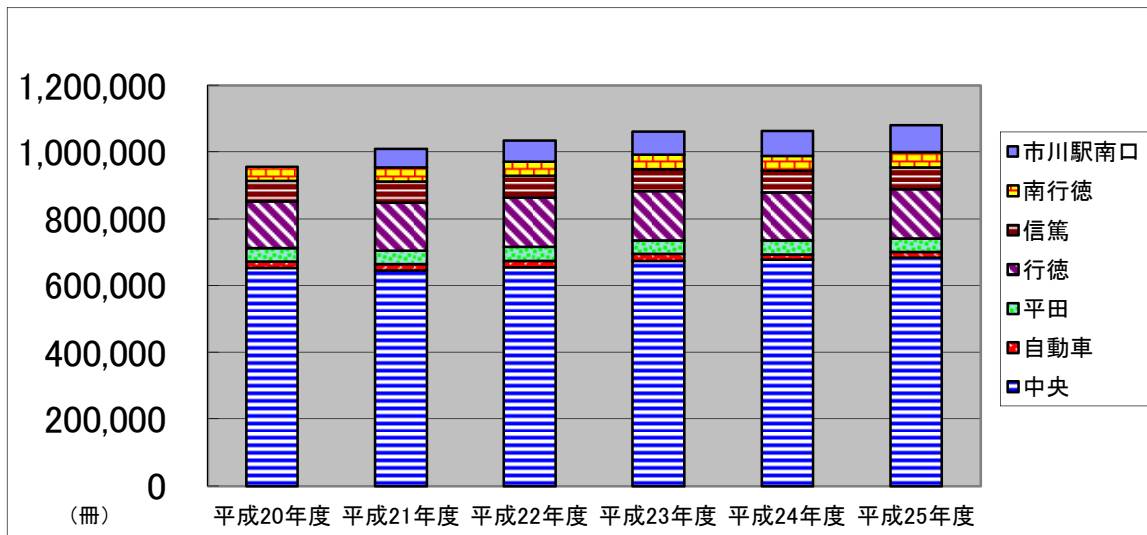
(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成20年度	90,772	7,002	13,691	36,225	15,489	15,543	—	178,722
平成21年度	90,209	6,704	13,624	36,583	16,031	16,193	11,110	190,454
平成22年度	92,179	6,923	13,984	37,157	16,370	16,229	11,894	194,736
平成23年度	99,957	7,250	13,915	36,237	16,836	16,065	12,449	202,709
平成24年度	99,794	7,069	14,019	37,393	17,184	15,990	13,041	204,490
平成25年度	99,621	7,046	14,375	38,115	16,826	16,221	13,615	205,819

c) 全体(図書)の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成20年度	653,475	19,110	40,303	141,015	61,409	41,343	—	956,655
平成21年度	646,695	18,711	40,046	144,849	62,288	43,279	54,845	1,010,713
平成22年度	656,298	19,343	40,902	148,504	64,183	43,749	62,233	1,035,212
平成23年度	675,268	20,026	40,419	148,821	64,085	44,273	68,848	1,061,740
平成24年度	679,117	15,563	40,862	144,481	65,347	44,742	74,750	1,064,862
平成25年度	684,593	16,277	41,519	147,533	65,412	45,555	79,978	1,080,867



(3) 分類別貸出冊数 (平成25年度)

(単位：冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	5,837	52	553	3,990	593	565	1,542	13,132
1哲学	28,545	286	1,516	13,367	2,245	2,244	7,753	55,956
2歴史	23,172	510	4,035	28,146	4,331	5,151	25,231	90,576
3社会科学	43,344	544	3,590	29,179	3,334	3,681	11,916	95,588
4自然科学	21,724	464	1,763	14,540	2,153	2,097	5,314	48,055
5技術	21,807	2,301	5,916	43,302	7,823	8,523	39,783	129,455
6産業	5,977	201	972	7,126	711	825	4,203	20,015
7芸術	26,999	302	2,112	14,921	3,239	2,139	13,820	63,532
8言語	16,410	116	599	5,402	855	721	4,070	28,173
9文学	28,888	5,876	14,720	76,486	17,134	16,768	51,394	211,266
郷土行政	4,394	22	232	609	117	190	757	6,321
参考資料	795	1	4	20	13	6	27	866
外国語資料	4,866	2	41	775	43	35	376	6,138
障害者資料	8,249	126	212	1,106	41	47	406	10,187
コーナー別資料	703,767	1,473	17,914	144,173	33,950	23,692	232,153	1,157,122
一般計	944,774	12,276	54,179	383,142	76,582	66,684	398,745	1,936,382

中央	Aヤング	B文庫	V新書	M外国文学	N環境	Jビジネス
コーナー別資料	47,678	186,786	13,670	11,035	1,867	48,701
総数	X日本文学	W平和	H暮らし	D趣味	Sスポーツ	G旅行
703,767	147,122	3,900	125,323	43,729	15,125	58,831

(単位：冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	673	45	102	496	68	119	241	1,744
1哲学	1,303	59	136	624	47	128	429	2,726
2歴史	5,445	65	363	2,387	373	496	1,433	10,562
3社会科学	7,543	91	330	3,723	351	683	1,911	14,632
4自然科学	14,324	1,096	1,032	9,134	946	1,532	4,086	32,150
5技術	7,791	573	805	5,762	1,111	1,924	3,514	21,480
6産業	1,717	203	276	1,011	208	475	616	4,506
7芸術	12,002	874	1,297	7,141	1,475	1,870	4,965	29,624
8言語	1,530	47	123	960	118	227	631	3,636
9文学	70,011	4,726	8,240	44,648	7,112	9,937	22,781	167,455
E絵本	166,388	8,580	12,941	99,697	16,113	19,029	54,058	376,806
P紙芝居	6,129	398	460	4,034	315	528	2,061	13,925
児童郷土	636	7	1	58	18	4	10	734
児童参考	132	0	0	37	1	3	1	174
児童研究	1,255	0	26	259	22	20	61	1,643
児童計	296,879	16,764	26,132	179,971	28,278	36,975	96,798	681,797

図書計	1,241,653	29,040	80,311	563,113	104,860	103,659	495,543	2,618,179
-----	-----------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	-----------

(単位：点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	53,912	114	4,974	24,749	5,045	6,579	11,500	106,873
ビデオ	6,956	0	13	174	28	59	121	7,351
DVD	19,982	0	166	1,193	175	236	6,040	27,792
CD	84,083	0	970	26,058	592	932	5,951	118,586
その他付録等	25,445	137	549	5,742	452	441	29,708	62,474
図書以外計	190,378	251	6,672	57,916	6,292	8,247	53,320	323,076

総計	1,432,031	29,291	86,983	621,029	111,152	111,906	548,863	2,941,255
----	-----------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	-----------

塩焼市民図書室	2,813	西部公民館図書室	10,780	男女共同参画センター	9,135	図書館以外	83,317
稲越市民図書室	1,759	東部公民館図書室	4,651	情報プラザ	27,355	市民図書室	
福栄市民図書室	4,674	大野公民館図書室	14,536	千葉商科大学図書館	862	公民館図書室	
大柏市民図書室	2,249	曾谷公民館図書室	4,397	宅配	106	その他	
市民図書室計	11,495	公民館図書室計	34,364	その他計	37,458	合計	

他施設含む総計 **3,024,572**

(4) 貸出点数の推移 (平成25年度)

a) 一般書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成20年度	1,194,357	18,072	85,583	411,574	80,733	75,584	—	1,865,903
平成21年度	1,155,709	16,365	71,667	431,543	82,923	82,391	341,847	2,182,445
平成22年度	1,119,800	15,707	62,321	423,279	86,316	85,281	395,176	2,187,880
平成23年度	1,077,994	12,778	58,177	411,149	85,495	81,496	400,585	2,127,674
平成24年度	1,006,087	13,652	57,919	392,445	79,288	71,860	409,068	2,030,319
平成25年度	944,774	12,276	54,179	383,142	76,582	66,684	398,745	1,936,382

b) 児童書の推移

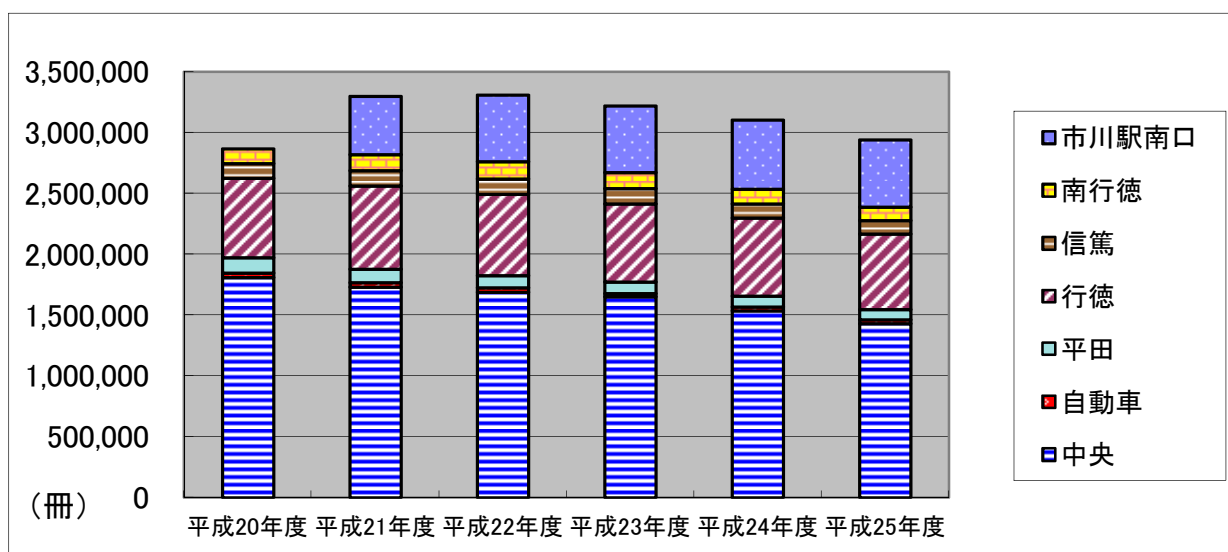
(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成20年度	336,956	18,573	32,796	166,188	31,727	37,401	—	623,641
平成21年度	315,993	18,066	31,085	174,994	36,075	40,658	95,028	711,899
平成22年度	326,869	18,543	29,515	175,437	36,475	42,677	101,287	730,803
平成23年度	330,760	16,263	25,936	167,976	33,850	39,026	98,533	712,344
平成24年度	308,505	19,622	25,672	186,205	32,316	38,366	105,116	715,802
平成25年度	296,879	16,764	26,132	179,971	28,278	36,975	96,798	681,797

c) 一般、児童書、視聴覚、雑誌等合計の推移

(単位：点)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成20年度	1,808,740	36,982	127,895	654,751	119,665	121,616	—	2,869,649
平成21年度	1,734,060	34,912	110,312	683,733	126,702	133,532	479,102	3,302,353
平成22年度	1,691,867	34,738	98,348	669,592	130,101	138,044	547,670	3,310,360
平成23年度	1,651,839	29,395	91,330	644,132	126,612	130,685	549,940	3,223,933
平成24年度	1,535,588	33,747	90,536	639,863	117,613	119,334	568,646	3,105,327
平成25年度	1,432,031	29,291	86,983	621,029	111,152	111,906	548,863	2,941,255



(5) 登録者集計表

(単位：人)

	年度	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	ウイズ	全館
新規登録者数	平成22年度	17,742	183	201	4,319	546	715	4,075	20	27,801
	平成23年度	15,065	167	185	3,598	477	640	3,184	26	23,342
	平成24年度	12,961	228	197	3,403	434	520	3,099	14	20,856
	平成25年度	10,800	161	173	3,220	370	520	2,812	14	18,070
	(計)	56,568	739	756	14,540	1,827	2,395	13,170	74	90,069
有効登録者数		82,116	747	1,625	22,669	3,282	3,809	22,234	87	136,569
内12歳以下		6,114	418	206	2,445	400	652	1,341	14	11,590
実利用者数		40,453	509	1,268	14,399	2,172	2,435	14,791	63	76,090
累積登録者数										528,110
更新者数										17,647

※新規登録者数：一年間に新しい利用券番号の付与を受けた登録者数。

※有効登録者数：有効期限内の登録者数。(有効期限は3年)

※実利用者数：一年間に資料の貸出をした利用者数。

※累積登録者数：電算導入の昭和60年度より登録者の累積件数。二重登録なども含む。(長期未利用者のデータは平成19年度削除)

※更新者数：平成25年度に更新した登録者数

※数値には団体登録等も含む

パスワード申請数 (単位：人)

平成13年度 ～	31,176
平成19年度	6,753
平成20年度	9,489
平成21年度	7,604
平成22年度	6,057
平成23年度	5,791
平成24年度	5,138
累計	72,008

有効期限内隣接地域登録者

(単位：人)

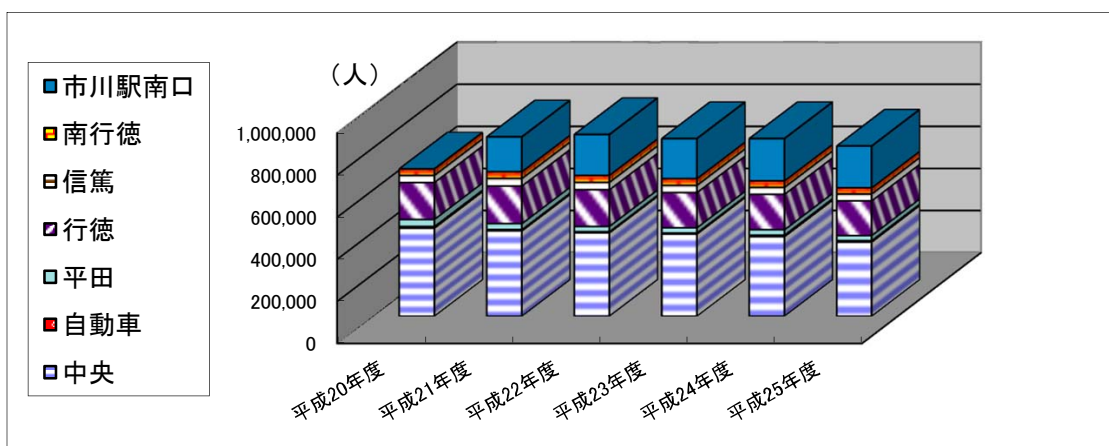
	隣接	在勤	在学	障害	計
船橋市	7,301	567	274	6	8,148
松戸市	1,156	164	111	3	1,434
鎌ヶ谷市	209	47	9	2	267
浦安市	192	38	16	0	246
計	8,858	816	410	11	10,095

(6) 延べ利用者数の推移

※平成13年度11月より受付(累計)

(単位：人)

年度	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成20年度	418,570	7,627	33,571	175,501	34,169	30,026	—	699,464
平成21年度	405,596	5,938	28,071	179,016	35,781	32,229	165,399	852,030
平成22年度	396,277	5,262	25,277	173,953	35,681	32,959	193,906	863,315
平成23年度	390,507	5,459	24,409	166,914	34,609	31,853	190,177	843,928
平成24年度	378,081	7,434	25,040	168,605	33,299	30,566	200,824	843,849
平成25年度	352,590	6,565	24,326	164,681	32,705	28,984	198,485	808,336

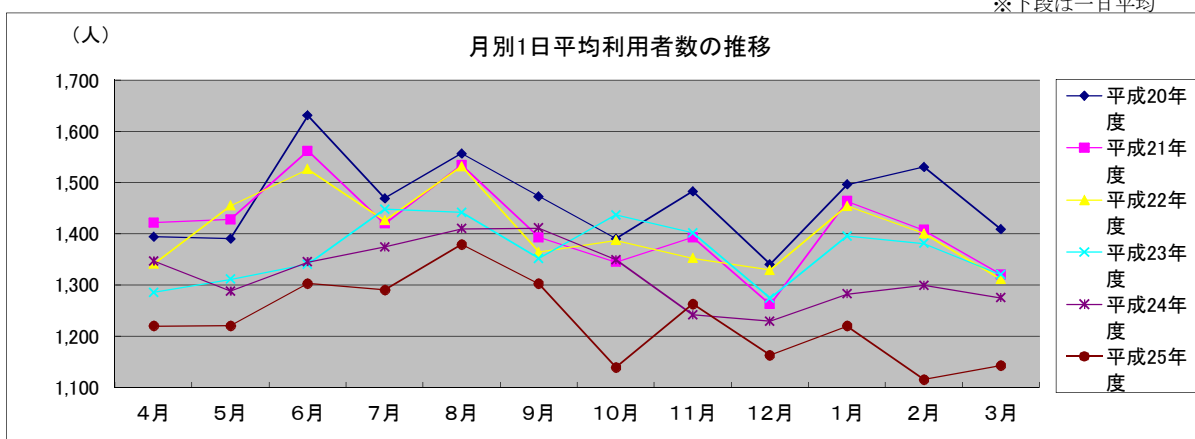


(7) 中央図書館月別利用者数・貸出点数の推移

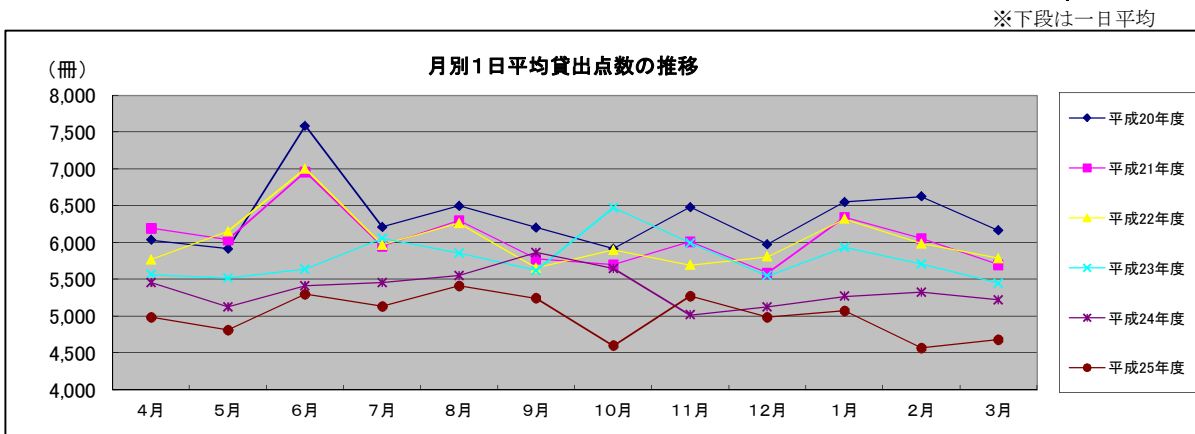
※地域館では年間の開館日数が違うため、中央図書館のみの統計とした。
 ※震災による臨時休館あり

開館日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	蔵書点検 休館月
平成20年度	25	26	15	26	27	24	26	25	23	22	23	25	287	6月
平成21年度	25	26	15	26	26	25	26	24	24	23	23	25	288	6月
平成22年度	25	25	16	26	26	25	26	24	23	22	23	* 21	282	6月
平成23年度	25	25	25	26	26	25	26	13	23	22	24	26	286	11月
平成24年度	25	25	25	25	27	25	15	25	23	22	23	26	286	10月
平成25年度	24	26	25	25	27	24	26	21	18	22	23	25	286	11月

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
平成20年度	34,869	36,156	24,472	38,204	42,046	35,363	36,164	37,088	30,848	32,928	35,212	35,220	418,570	
平成21年度	1,395	1,391	1,631	1,469	1,557	1,473	1,391	1,484	1,341	1,497	1,531	1,409	1,458	101.4%
平成22年度	35,554	37,146	23,435	36,927	39,902	34,834	34,973	33,439	30,309	33,677	32,376	33,024	405,596	
平成23年度	1,422	1,429	1,562	1,420	1,535	1,393	1,345	1,393	1,263	1,464	1,408	1,321	1,408	96.9%
平成24年度	33,539	36,386	24,421	37,094	39,830	34,108	36,080	32,463	30,589	32,006	32,222	27,539	396,277	
平成25年度	1,342	1,455	1,526	1,427	1,532	1,364	1,388	1,353	1,330	1,455	1,401	1,311	1,405	97.7%
平成20年度	32,149	32,788	33,513	37,660	37,500	33,806	37,364	18,224	29,317	30,706	33,157	34,323	390,507	
平成21年度	1,286	1,312	1,341	1,448	1,442	1,352	1,437	1,402	1,275	1,396	1,382	1,320	1,365	98.5%
平成22年度	33,677	32,209	33,627	34,363	38,076	35,290	20,245	31,045	28,279	28,221	29,893	33,156	378,081	
平成23年度	1,347	1,288	1,345	1,375	1,410	1,412	1,350	1,242	1,230	1,283	1,300	1,275	1,322	96.8%
平成24年度	29,287	31,746	32,578	32,267	37,250	31,269	29,628	26,533	20,939	26,849	25,658	28,586	352,590	
平成25年度	1,220	1,221	1,303	1,291	1,380	1,303	1,140	1,263	1,163	1,220	1,116	1,143	1,233	93.3%



貸出点数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
平成20年度	150,910	153,811	113,856	161,590	175,466	148,901	153,836	162,149	137,468	144,173	152,425	154,155	1,808,740	
平成21年度	6,036	5,916	7,590	6,215	6,499	6,204	5,917	6,486	5,977	6,553	6,627	6,166	6,302	102.4%
平成22年度	154,879	157,126	104,409	154,846	163,862	144,488	148,265	144,306	134,151	145,867	139,383	142,478	1,734,060	
平成23年度	6,195	6,043	6,961	5,956	6,302	5,780	5,703	6,013	5,590	6,342	6,060	5,699	6,021	95.9%
平成24年度	144,192	153,785	112,054	155,205	162,989	141,411	153,474	136,723	133,630	139,082	137,760	121,562	1,691,867	
平成25年度	5,768	6,151	7,003	5,969	6,269	5,656	5,903	5,697	5,810	6,322	5,990	5,789	6,000	97.6%
平成20年度	139,160	138,034	140,986	157,440	152,274	140,637	168,349	77,996	127,623	130,544	137,064	141,732	1,651,839	
平成21年度	5,566	5,521	5,639	6,055	5,857	5,625	6,475	6,000	5,549	5,934	5,711	5,451	5,776	97.6%
平成22年度	136,386	128,240	135,398	136,516	149,864	146,746	84,736	125,490	117,952	115,950	122,484	135,826	1,535,588	
平成23年度	5,455	5,130	5,416	5,461	5,551	5,870	5,649	5,020	5,128	5,270	5,325	5,224	5,369	93.0%
平成24年度	119,777	125,219	132,474	128,436	146,224	125,891	119,620	110,817	89,816	111,623	105,111	117,023	1,432,031	
平成25年度	4,991	4,816	5,299	5,137	5,416	5,245	4,601	5,277	4,990	5,074	4,570	4,681	5,007	93.3%



(8) 受入・除籍冊数 (平成25年度)

一般書	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	213	14	137	-26	64	4	0	0	0	4	13	0	15	-8	-10	97	5	103	-2	-3
1哲学	539	18	630	32	-41	7	0	0	-1	6	51	8	37	-26	-4	214	17	254	-1	-24
2歴史	625	34	255	10	414	46	4	3	0	47	178	6	255	-20	-91	527	10	376	4	165
3社会科学	1,468	20	2,533	-58	-1,103	52	0	2	0	50	169	16	144	-30	11	886	32	615	4	307
4自然科学	782	10	649	23	166	42	0	1	0	41	104	6	99	-16	-5	499	16	128	1	388
5技術	576	20	234	55	417	117	1	7	0	111	220	5	181	-23	21	859	32	509	40	422
6産業	233	7	63	11	188	23	0	3	0	20	40	1	25	-9	7	252	5	134	-1	122
7芸術	733	40	985	23	-189	42	0	8	1	35	80	3	73	7	17	319	10	173	15	171
8言語	294	2	656	10	-350	3	0	0	0	3	6	1	12	0	-5	51	4	22	6	39
9文学	296	16	343	113	82	416	22	19	-3	416	482	22	347	-6	151	1,226	77	1,131	-303	-131
郷土行政	458	1,247	84	541	2,162	0	0	0	0	0	4	24	45	-4	-21	16	133	9	-35	105
参考資料	551	38	557	-11	21	0	0	0	0	0	3	0	2	1	2	65	10	7	2	70
外国語資料	235	63	129	0	169	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	7	60	1	-40
購書者資料	255	127	44	-12	326	0	0	2	6	4	0	0	0	0	0	32	7	0	0	39
ポピュラー	11,915	510	9,185	83	3,323	0	0	0	0	0	313	234	327	8	228	1,544	618	1,479	17	700
一般計	19,173	2,166	16,484	794	5,649	752	27	45	3	737	1,663	326	1,562	-126	301	6,599	983	5,000	-252	2,330

中央 ポピュラー内訳					Aヤング					B文庫					V新書				
					772	101	499	2	376	3,400	212	2,559	30	1,083	345	1	213	1	134
X日本文学					W平和					H暮らし					D趣味				
2,224	98	1,915	26	433	71	5	25	13	64	1,662	34	963	-5	728	751	3	873	-44	-163

児童書	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	37	0	5	-7	25	0	0	3	0	-3	4	0	3	-1	0	17	0	1	-3	13
1哲学	17	0	12	5	10	0	0	3	0	-3	1	0	0	0	1	12	0	1	-9	2
2歴史	107	6	130	0	-17	2	0	3	0	-1	35	1	25	0	11	31	0	63	8	-24
3社会科学	124	13	88	5	54	7	1	2	1	7	12	0	0	3	15	39	0	45	3	-3
4自然科学	230	14	210	6	40	25	0	21	1	5	48	2	12	0	38	106	2	76	4	36
5技術	153	10	157	2	8	28	0	17	1	12	15	6	2	1	20	82	7	52	4	41
6産業	57	5	32	7	37	4	0	5	-1	-2	6	3	1	0	8	37	2	19	-3	17
7芸術	170	12	162	12	32	23	1	8	0	16	47	1	12	0	36	58	0	25	5	38
8言語	35	0	27	3	11	2	1	0	0	3	2	3	5	0	0	19	0	0	1	20
9文学	826	236	1,075	39	26	93	8	144	23	-20	216	6	138	-6	78	363	7	189	1	182
E絵本	1,720	92	2,418	53	-553	140	10	176	-20	-46	339	21	207	-2	151	861	25	553	-3	330
F紙芝居	60	0	43	0	17	9	0	1	1	9	0	0	0	0	0	64	0	7	0	57
児童郷土	1	52	1	8	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	-2	7	
児童参考	14	1	5	2	12	0	0	0	0	0	1	0	3	0	-2	6	0	4	-1	1
児童研究	42	17	10	16	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	3	3	5	
児童計	3,593	458	4,375	151	-173	333	21	383	6	-23	726	43	408	-5	356	1,699	53	1,038	8	722

図書計	22,766	2,624	20,859	945	5,476	1,085	48	428	9	714	2,389	369	1,970	-131	657	8,298	1,036	6,038	-244	3,052
-----	--------	-------	--------	-----	-------	-------	----	-----	---	-----	-------	-----	-------	------	-----	-------	-------	-------	------	-------

図書以外	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
雑誌	4,605	150	4,103	133	785	0	0	0	0	0	559	1	357	76	279	1,754	20	1,430	0	344
ビデオ	0	0	204	0	-204	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
DVD	35	14	53	1	-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CD	27	71	121	4	-19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	0	20	0	26	
その他付録等	139	3	275	1	-132	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	19	0	9	0	10
図書以外計	4,806	238	4,756	139	427	0	0	0	0	0	560	1	357	76	280	1,819	20	1,459	0	380

総計	27,572	2,862	25,615	1,084	5,903	1,085	48	428	9	714	2,949	370	2,327	-55	937	10,117	1,056	7,497	-244	3,432
----	--------	-------	--------	-------	-------	-------	----	-----	---	-----	-------	-----	-------	-----	-----	--------	-------	-------	------	-------

(単位:冊)

信箋					南行徳					市川駅南口					全館				
購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
26	0	24	-1	1	21	0	12	-3	6	23	0	0	-6	17	397	19	291	-46	79
65	15	10	0	70	42	5	9	0	38	59	2	6	0	55	977	65	946	4	100
98	5	70	2	35	167	6	189	-4	-20	310	1	69	0	242	1,951	66	1,217	-8	792
132	21	105	6	54	144	17	51	2	112	195	4	62	-11	126	3,046	110	3,512	-8	-443
150	7	98	-6	53	100	10	19	0	91	135	0	5	1	131	1,812	49	999	3	865
218	8	258	21	-11	242	7	291	2	-40	643	2	86	-26	533	2,875	75	1,566	69	1,453
40	2	43	-1	-2	39	1	19	-5	16	86	1	7	-1	79	713	17	294	-6	430
102	9	119	-4	-12	101	8	20	9	98	199	4	8	-1	194	1,576	74	1,386	50	314
15	3	10	1	9	16	0	2	2	16	67	0	4	0	63	452	10	706	19	-225
496	77	496	4	81	479	13	554	-7	-69	520	2	91	-74	357	3,915	229	2,981	-276	887
4	7	19	1	-7	9	29	8	1	31	11	38	0	-7	42	502	1,478	165	497	2,312
10	0	14	-7	-11	19	2	5	-2	14	25	1	6	-9	11	673	51	591	-26	107
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	247	70	189	1	129
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	287	134	46	-6	369
457	228	512	-10	163	481	125	322	5	289	3,308	36	534	-6	2,804	18,018	1,751	12,359	97	7,507
1,813	382	1,778	6	423	1,860	223	1,501	0	582	5,581	91	878	-140	4,654	37,441	4,198	27,248	285	14,676

M外国文学				N環境				Jビジネス						
388	6	293	-1	100	71	1	39	12	45	1,156	40	735	50	511
Sスポーツ				G旅行				W1ウ行政						
229	3	401	5	-164	846	6	670	-6	176	0	0	0	0	0

(単位:冊)

信箋					南行徳					市川駅南口					全館				
購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
2	0	55	-1	-54	1	0	3	1	-1	4	0	0	2	6	65	0	70	-9	-14
3	1	4	-2	-2	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	35	1	21	-6	9
3	3	32	0	-26	31	0	9	0	22	10	0	0	-5	5	219	10	262	3	-30
11	0	14	3	0	13	1	7	1	8	22	0	0	1	23	228	15	156	17	104
29	4	83	-2	-52	30	2	13	0	19	25	0	2	-1	22	493	24	417	8	108
31	4	113	-1	-79	20	6	8	0	18	51	0	12	0	39	380	33	361	7	59
8	1	29	-5	-25	9	2	3	0	8	8	0	1	0	7	129	13	90	-2	50
45	4	58	-3	-12	21	3	9	-4	11	25	0	3	2	24	389	21	277	12	145
2	0	8	-1	-7	13	0	0	0	13	6	0	1	4	9	79	4	41	7	49
319	47	302	-45	19	221	42	203	41	101	148	1	11	-40	98	2,186	347	2,062	13	484
276	17	372	-27	-106	354	15	369	34	34	444	1	60	-35	350	4,134	181	4,155	0	160
0	0	10	0	-10	0	0	5	0	-5	0	0	1	0	-1	133	0	67	1	67
0	1	1	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	1	64	2	6	69
1	0	0	0	1	2	0	0	-1	1	4	0	8	-5	-9	28	1	20	-5	4
1	0	7	1	-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	18	20	20	65
731	82	1,088	-83	-358	716	73	630	72	231	748	2	99	-77	574	8,546	732	8,021	72	1,329

2,544	464	2,866	-77	65	2,576	296	2,131	72	813	6,329	93	977	-217	5,228	45,987	4,930	35,269	357	16,005
-------	-----	-------	-----	----	-------	-----	-------	----	-----	-------	----	-----	------	-------	--------	-------	--------	-----	--------

(単位:点)

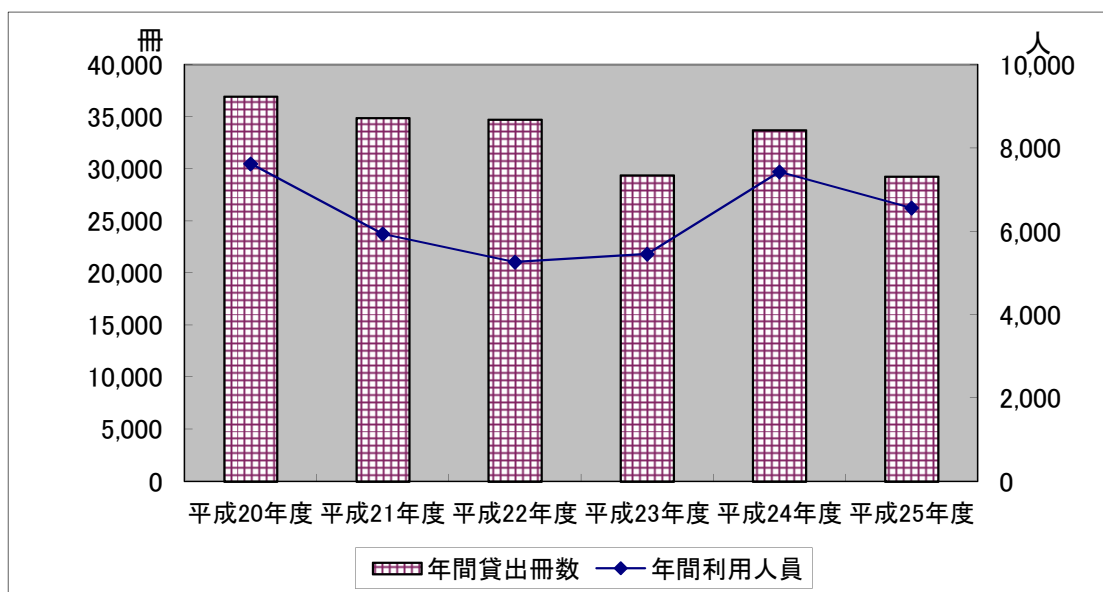
信箋					南行徳					市川駅南口					全館				
購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
550	0	784	17	-217	599	1	409	-1	190	728	0	608	-154	-34	8,795	172	7,691	71	1,347
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	204	0	-204
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	7	2	0	15	45	21	55	1	12
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73	71	141	4	7
0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	161	4	287	1	-121
550	0	784	17	-217	599	2	410	-1	190	740	7	612	-154	-19	9,074	268	8,378	77	1,041

3,094	464	3,650	-60	-152	3,175	298	2,541	71	1,003	7,069	100	1,589	-371	5,209	55,061	5,198	43,647	434	17,046
-------	-----	-------	-----	------	-------	-----	-------	----	-------	-------	-----	-------	------	-------	--------	-------	--------	-----	--------

(9) 自動車図書館ステーション別統計 (平成25年度)

	ステーション名	巡回数	貸出冊数		利用人員			
			一日平均	前年度比(%)	一日平均	前年度比(%)		
1	市営大町第1団地	22	1,108	50.4	117.1	205	9.3	123.5
2	市営大町第2団地	22	1,127	51.2	77.4	259	11.8	77.1
3	養護老人ホームいこい荘	19	395	20.8	92.7	105	5.5	101.9
4	柏井小学校	20	2,203	110.2	68.6	731	36.6	71.2
5	大野小学校	23	2,236	97.2	130.7	717	31.2	128.5
6	宮久保小学校	21	1,490	71.0	98.3	220	10.5	88.0
7	若宮児童公園	21	588	28.0	64.3	142	6.8	65.1
8	北国分2丁目公園	23	2,080	90.4	111.0	395	17.2	106.2
9	堀之内公園	40	4,729	118.2	80.1	1,009	25.2	79.8
10	歴史博物館	21	1,111	52.9	87.4	174	8.3	76.3
11	国府台児童公園	25	1,417	56.7	132.6	281	11.2	159.7
12	山王公園	20	774	38.7	89.7	149	7.5	86.1
13	石橋下公園	21	1,235	58.8	106.6	265	12.6	96.4
14	菅野小学校	19	1,529	80.5	95.0	355	18.7	103.8
15	櫛クボタ菅野ハイツ	20	2,097	104.9	58.3	428	21.4	60.7
16	二俣公務員宿舎	19	876	46.1	83.5	124	6.5	67.4
17	塩浜体育館	41	2,389	58.3	87.5	597	14.6	98.4
18	島尻西公園	23	1,879	81.7	79.3	389	16.9	88.2
	ステーション外利用	-	28	-	40.6	20	-	222.2
	合計	420	29,291	69.7	86.8	6,565	15.6	88.3

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
年間巡回日数	153	152	152	150	156	155
年間巡回ステーション数	422	401	391	366	429	420
年間貸出冊数	36,952	34,912	34,738	29,395	33,747	29,291
一日平均	241.5	229.7	228.5	196.0	216.3	189.0
一ステーション平均	87.6	87.1	88.8	80.3	78.7	69.7
年間利用人員	7,627	5,938	5,262	5,459	7,434	6,565
一日平均	49.8	39.1	34.6	36.4	47.7	42.4
一ステーション平均	18.1	14.8	13.5	14.9	17.3	15.6



(10) 市川市の図書館サービス指標

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	貸出点数	2,964,879	3,389,228	3,394,889	3,308,891	3,190,633	3,024,572
	人口	474,313	475,576	474,443	469,603	468,318	470,236
人口1人当たりの貸出点数(点)		6.25	7.13	7.13	7.05	6.81	6.43
	登録者数	139,446	154,722	163,971	159,635	150,463	136,569
	人口	474,313	475,576	474,443	469,603	468,318	470,236
登録率(単位:%)		29.4	32.5	34.6	34	32.1	32.1
	貸出点数	2,964,879	3,389,228	3,394,889	3,308,891	3,190,633	3,024,572
	登録者数	139,446	154,722	163,971	159,635	150,463	136,569
実質貸出密度(点)		21.3	21.9	20.7	20.7	21.21	22.2
	貸出点数	2,964,879	3,389,228	3,394,889	3,308,891	3,190,633	3,024,572
	資料点数	1,046,462	1,102,979	1,129,444	1,148,219	1,152,412	1,169,458
蔵書回転率(単位:回)		2.8	3.1	3.0	2.9	2.8	2.6
	年間購入点数	*91551	61,241	57,724	64,239	58,285	55,061
	人口	474,313	475,576	474,443	469,603	468,318	470,236
人口1人当たりの年間購入点数(点)		0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	資料点数	1,046,462	1,102,979	1,129,444	1,148,219	1,152,412	1,169,458
	人口	474,313	475,576	474,443	469,603	468,318	470,236
人口1人当たりの資料点数(点)		2.2	2.3	2.4	2.4	2.5	2.5
	資料購入費:A	160,774,224	103,497,193	102,363,376	121,377,871	102,657,936	91,387,452
	人口	474,313	475,576	474,443	469,603	468,318	470,236
人口1人当たりの資料費(円)		339	218	216	259	219	194
	資料購入費:B	158,494,766	100,712,537	99,382,403	118,352,704	99,671,548	88,425,661
	÷購入点数	*91551	61,241	57,724	64,239	58,285	55,061
	×貸出点数	2,964,879	3,389,228	3,394,889	3,308,891	3,190,633	3,024,572
	-総経費	1,016,506,413	1,076,151,691	1,030,425,232	1,155,147,819	1,034,271,710	763,320,301
行政効果(単位:円)		4,116,346,350	4,497,528,529	4,814,495,888	4,941,089,624	4,421,940,527	4,094,015,714
	総経費	1,016,506,413	1,076,151,691	1,030,425,232	1,155,147,819	1,034,271,710	763,320,301
	貸出点数	2,964,879	3,389,228	3,394,889	3,308,891	3,190,633	3,024,572
貸出コスト(単位:円)		342.8	317.5	303.5	349.1	324.2	252.4

※資料購入費:Bは、資料購入費:Aより新聞費・マイクロフィルム費を除いたもの。

※資料点数・貸出点数・購入点数はAV・雑誌を含む。

※総経費は、図書館費と人件費(職員)を足したもの。

※登録者数は、有効登録者数(有効期限3年内の登録者)とした。

※平成20年度購入点数を修正する。(平成24年度より)

(11) 千葉県の公共図書館サービス指標 (平成25年度)

項目	個人貸出率 登録率	人口1人あたり			人口千人 あたり 年間受入冊数		
		個人貸出冊数	蔵書冊数	図書費 (25年度決算)			
県平均 (5,910,075人)	36.1% (2,135,930人)	6.00冊 (35,447,593冊)	3.47冊 (20,501,488冊)	170円 (1,007,540千円)	119.3冊 (704,779冊)		
横芝光			14.95	横芝光	773	横芝光	457.6
成田			10.66	成田	773	成田	392.1
浦安			8.78	浦安	650	浦安	322.8
白井			7.15	白井	508	白井	276.5
袖ヶ浦			7.11	袖ヶ浦	443	袖ヶ浦	266.6
君津	80.7	12.66	7.10	君津	428	君津	263.2
匝瑳	70.6	11.87	5.88	匝瑳	414	匝瑳	216.1
佐倉*	61.2	10.89	5.83	佐倉	328	佐倉	203.7
木更津	54.8	10.15	5.37	木更津	290	木更津	179.5
袖ヶ浦*	47.8	9.36	5.15	袖ヶ浦	240	袖ヶ浦	175.7
松戸*	46.6	8.81	4.25	松戸	227	松戸	163.8
横芝光*	45.0	8.67	4.23	横芝光	223	横芝光	161.2
市原	44.2	7.42	3.89	市原	212	市原	152.7
我孫子	43.4	6.78	3.68	我孫子	210	我孫子	145.6
八街	43.1	6.15	3.63	八街	194	八街	144.3
船橋	41.9	6.03	3.51	船橋	190	船橋	137.2
山武	41.8			山武	171	山武	131.0
富里	36.3			富里	170	富里	124.3
白井	36.2			白井		白井	
習志野	36.1			習志野		習志野	
大多喜*	34.2	5.84	3.17	大多喜	169	大多喜	119.2
印西*	33.8	5.44	3.15	印西	165	印西	119.0
鎌ヶ谷	32.9	5.41	3.04	鎌ヶ谷	153	鎌ヶ谷	114.0
酒々井*	32.9	5.31	3.01	酒々井	151	酒々井	112.2
野田*	32.1	5.28	2.74	野田	146	野田	109.0
成田	31.7	5.11	2.70	成田	139	成田	108.3
四街道	31.2	5.02	2.64	四街道	129	四街道	94.7
流山	30.7	4.79	2.61	流山	127	流山	93.7
銚子	29.1	4.65	2.58	銚子	124	銚子	93.3
市川	29.0	4.60	2.49	市川	122	市川	93.1
香取	28.6	4.10	2.37	香取	120	香取	88.9
千葉	28.1	4.09	2.35	千葉	111	千葉	87.6
東金	27.6	4.01	2.30	東金	109	東金	84.5
浦安*	27.5	3.57	2.30	浦安	108	浦安	84.3
旭	26.1	3.39	2.23	旭	105	旭	84.0
鴨川	23.9	3.32	2.23	鴨川	100	鴨川	77.5
八千代	23.3	3.13	2.16	八千代	96	八千代	70.6
柏	21.7	2.73	2.11	柏	94	柏	66.6
勝浦	20.8	2.65	1.88	勝浦	90	勝浦	65.0
南房総*	19.4	2.21	1.50	南房総	83	南房総	60.0
東庄	19.2	2.13	1.37	東庄	66	東庄	
茂原*	17.7	1.85	1.19	茂原		茂原	
館山	15.9	1.66		館山		館山	
		1.30					
		0.93					

(注) 1 複数館ある市町村は、一つにまとめた
 2 人口の数値は、千葉県毎月常住人口調査月報より(平成26年4月1日現在)
 3 県平均欄の()内の数値は、38市町村の合計である
 4 図書費には、臨時的経費のうち図書費を含む

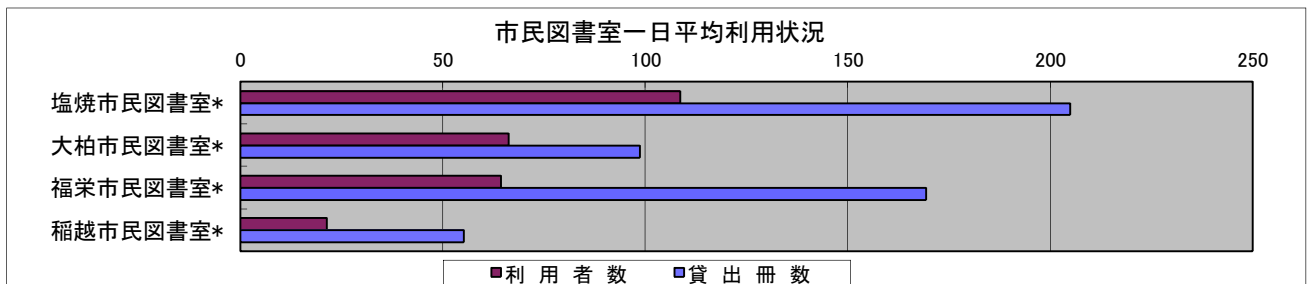
5 個人貸出登録率は累計で自治体内数か自治体外数を含めるかは自治体による (*印は、自治体内数)
 6 個人貸出冊数には、近隣自治体住民に対する貸出冊数が含まれる自治体がある

(12) 関連施設統計 (平成25年度)

①市民図書館

	開室 日数	利用者数		貸出 日数	貸出冊数		受入 冊数	除籍 冊数	蔵書冊数
			一日平均			一日平均			
塩焼市民図書館	148	16,070	108.6	148	30,323	204.9	747	223	22,232
稲越市民図書館	145	3,096	21.4	145	7,993	55.1	380	410	15,849
福栄市民図書館	147	9,462	64.4	147	24,881	169.3	881	420	17,282
大柏市民図書館	145	9,594	66.2	145	14,294	98.6	376	200	18,306
計	585	38,222	65.3	585	77,491	132.5	2,384	1,253	73,669

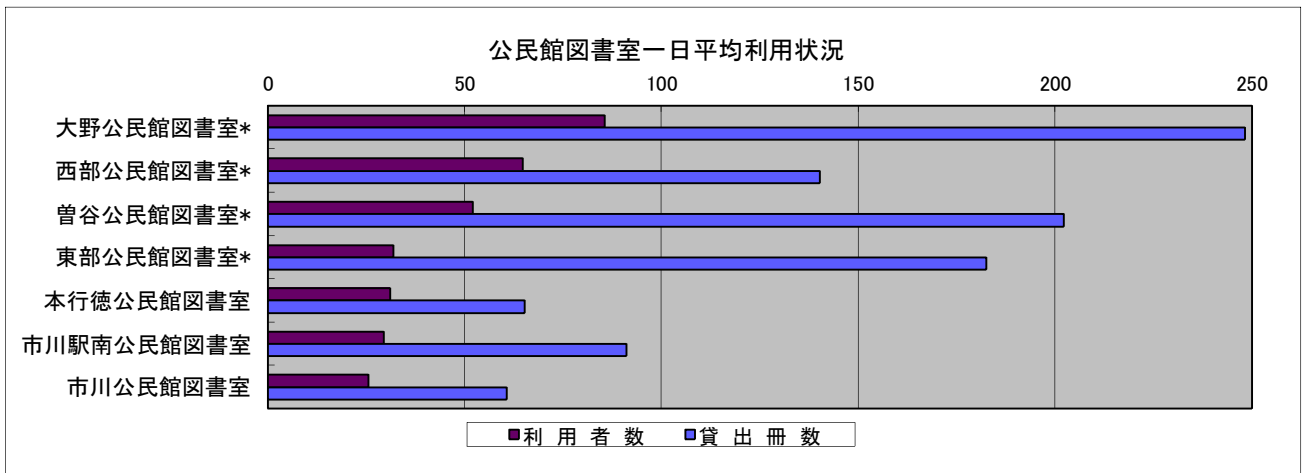
※貸出冊数は各施設の蔵書利用と図書館資料利用の合算



②公民館図書館

	開室 日数	利用者数		貸出 日数	貸出冊数		受入 冊数	除籍 冊数	蔵書冊数
			一日平均			一日平均			
西部公民館図書館*	294	19,034	64.7	244	34,217	140.2	384	413	16,172
東部公民館図書館*	298	9,510	31.9	100	18,254	182.5	447	176	14,482
本行徳公民館図書館	103	3,194	31.0	102	6,644	65.1	370	142	16,601
市川駅南公民館図書館	297	8,744	29.4	100	9,101	91.0	378	258	14,406
大野公民館図書館*	118	10,087	85.5	99	24,566	248.1	532	548	11,229
曾谷公民館図書館*	275	14,319	52.1	83	16,781	202.2	446	492	16,674
市川公民館図書館	297	7,574	25.5	99	6,004	60.6	322	51	17,108
計	1,682	72,462	43.1	827	115,567	139.7	2,879	2,080	106,672

※ *印の施設の貸出冊数は各施設の蔵書利用と図書館資料利用の合算

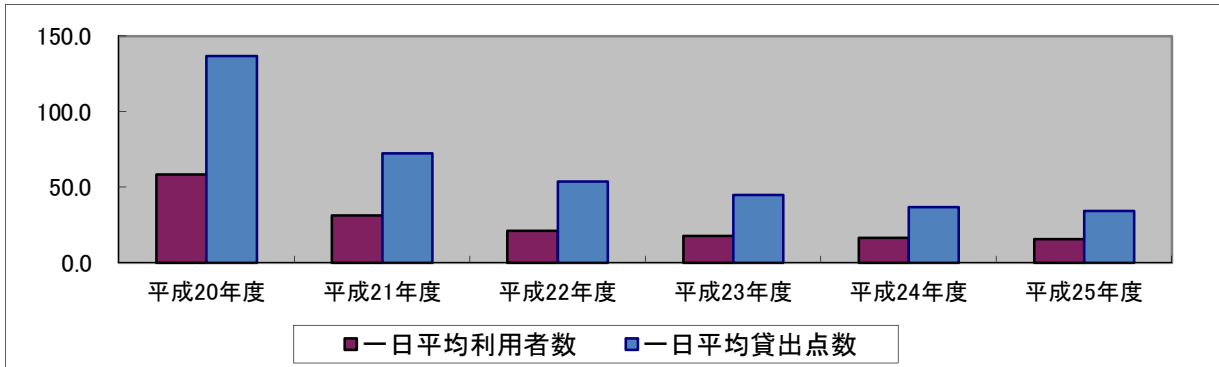


(上記のうち、市民図書館・公民館図書館での図書館資料の利用統計)

	利用者数	貸出	返却	予約
塩焼市民図書館	1,370	2,813	3,637	2,582
稲越市民図書館	480	1,759	2,456	848
福栄市民図書館	1,943	4,674	5,099	4,032
大柏市民図書館	961	2,249	3,440	2,274
市民図書館小計	4,754	11,495	14,632	9,736
西部公民館図書館	4,363	10,780	14,485	9,574
東部公民館図書館	1,791	4,651	9,608	3,681
大野公民館図書館	6,484	14,536	28,756	13,281
曾谷公民館図書館	1,890	4,397	8,775	4,089
公民館図書館小計	14,528	34,364	61,624	30,625
合計	19,282	45,859	76,256	40,361

③男女共同参画センター情報資料室

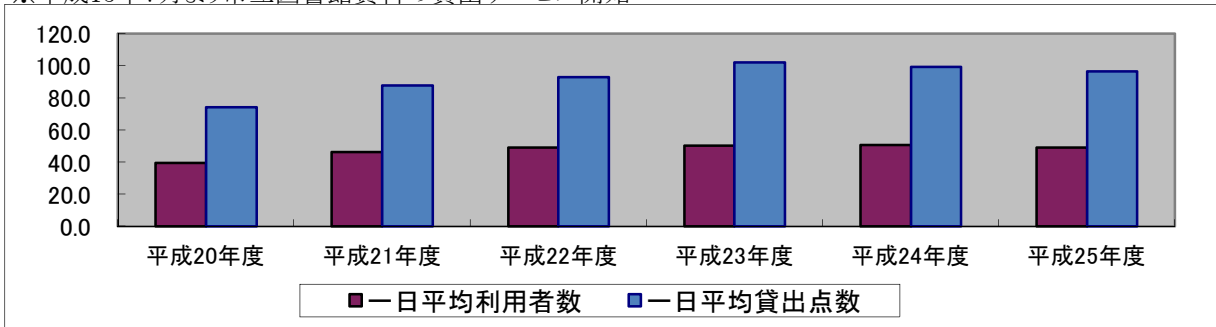
	開館日数	利用者数		貸出点数		受入冊数	除籍冊数	蔵書冊数
			一日平均		一日平均			
平成20年度	269	15,713	58.4	36,773	136.7	317	186	15,799
平成21年度	268	8,328	31.1	19,329	72.1	333	414	15,718
平成22年度	265	5,621	21.2	14,280	53.9	433	108	16,043
平成23年度	263	4,634	17.6	11,779	44.8	243	5	16,281
平成24年度	265	4,316	16.3	9,748	36.8	291	488	16,084
平成25年度	268	4,228	15.8	9,135	34.1	290	577	15,797



④情報プラザ

	開館日数	利用者数		貸出点数	
			一日平均		一日平均
平成20年度	297	11,732	39.5	22,073	74.3
平成21年度	298	13,801	46.3	26,130	87.7
平成22年度	288	14,166	49.2	26,819	93.1
平成23年度	274	13,800	50.4	28,016	102.2
平成24年度	284	14,428	50.8	28,190	99.3
平成25年度	283	13,853	49.0	27,355	96.7

※平成15年7月より市立図書館資料の貸出サービス開始



⑤千葉商科大学付属図書館(市立図書館所蔵資料の貸出数)

	開館日数	利用者数		貸出点数	
			一日平均		一日平均
平成21年度	251	428	1.7	1,277	5.1
平成22年度	248	355	1.4	1,131	4.6
平成23年度	253	387	1.5	1,090	4.3
平成24年度	253	367	1.5	1,015	4.0
平成25年度	251	328	1.3	862	3.4

※平成17年10月より市立図書館資料の貸出サービス開始

④宅配(参考)

	利用者数	貸出点数
平成21年度	163	551
平成22年度	195	868
平成23年度	休止	
平成24年度	休止	
平成25年度	17	106

※平成18年10月より宅配サービス開始

※一時休止後、平成25年7月より再開

(13) 蔵書回転率＝貸出冊数÷蔵書冊数（平成25年度）

(単位：回)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	0.54	0.75	1.47	1.79	1.01	1.43	5.17	0.89
1哲学	1.38	1.68	2.06	4.58	1.71	3.12	11.95	2.06
2歴史	0.81	1.63	2.38	3.58	1.75	2.64	8.72	1.98
3社会科学	0.83	1.63	1.50	2.10	0.97	1.35	7.73	1.24
4自然科学	0.91	1.63	1.27	2.53	1.13	1.37	5.52	1.35
5技術	1.20	1.70	1.87	5.64	2.05	2.87	6.71	3.01
6産業	0.74	1.24	1.27	2.90	0.92	1.16	4.81	1.45
7芸術	0.85	0.80	0.98	1.74	0.98	1.11	4.91	1.24
8言語	1.79	2.83	1.40	3.00	1.64	1.86	7.40	2.19
9文学	0.58	1.00	1.56	2.81	0.97	1.82	6.77	1.66
郷土行政	0.10	---	0.46	0.17	0.15	0.28	2.81	0.12
参考資料	0.03	---	0.03	0.01	0.02	0.03	0.07	0.03
外国語資料	0.36	---	---	0.96	---	---	---	0.43
障害者資料	0.81	0.52	---	2.06	---	---	---	0.93
ポピュラー	2.95	---	4.52	6.49	2.97	4.03	5.58	3.58
一般計	1.62	1.33	2.00	3.50	1.58	2.27	6.01	2.21

中央	Aヤング	B文庫	V新書	M外国文学	N環境	Jビジネス
ポピュラー	2.54	4.20	1.07	0.68	0.42	1.69
総数	X日本文学	W平和	H暮らし	D趣味	Sスポーツ	G旅行
2.95	3.12	0.44	4.90	2.67	3.38	5.56

市川駅南口	Jビジネス	H健康・医療	B文庫	V新書
コーナー別資料	3.07	3.99	9.84	2.42

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	1.59	1.10	1.01	1.72	0.28	1.55	2.80	1.39
1哲学	2.74	2.81	1.64	3.00	0.47	2.00	6.60	2.68
2歴史	1.27	0.74	0.74	1.34	0.48	0.84	3.33	1.25
3社会科学	1.89	1.26	0.74	2.55	0.67	1.24	4.35	1.96
4自然科学	1.61	1.89	0.81	3.21	0.53	1.13	3.72	1.80
5技術	2.69	2.52	1.87	4.87	1.93	3.98	6.10	3.37
6産業	1.09	3.22	1.13	1.92	0.83	1.73	3.08	1.44
7芸術	3.10	2.48	2.20	4.60	1.79	2.83	6.76	3.45
8言語	1.88	2.14	0.85	3.13	0.89	1.34	5.21	2.13
9文学	2.53	2.19	2.06	4.11	1.20	1.97	7.22	2.85
E絵本	4.25	2.63	2.06	6.61	3.13	2.93	8.53	4.61
P紙芝居	6.40	2.58	1.85	6.79	1.75	2.05	7.47	5.22
児童郷土	0.49	7.00	0.17	0.21	0.17	0.50	---	0.43
児童参考	0.18	---	0.00	0.08	0.01	0.07	0.01	0.12
児童研究	0.47	---	---	0.37	0.13	0.15	---	0.45
児童計	2.98	2.38	1.82	4.72	1.68	2.28	7.11	3.31

図書計	1.81	1.78	1.93	3.82	1.60	2.28	6.20	2.42
-----	------	------	------	------	------	------	------	------

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	1.43	---	3.57	3.65	3.26	3.74	8.38	2.11
ビデオ	1.53	---	---	3.55	---	---	---	1.60
DVD	12.03	---	---	---	---	---	6.72	10.86
CD	4.39	---	---	3.56	---	---	---	4.47

総計	1.91	1.80	2.02	3.83	1.66	2.36	6.66	2.52
----	------	------	------	------	------	------	------	------

市民図書室・公民館図書室・情報プラザへの市立図書館所蔵資料の貸出数含む総計⇒⇒ 2.59

10. 平成25年度事業概要

概況

・集密書架の設置

平成6年の中央図書館開館以来の懸案事項であった、中3階書庫への可動式集密書架の設置を平成25年度より開始した。書架本数12本（全予定面積の約6%分）、約32,500冊の収容冊数の増加となった。これに伴い、書庫資料の大規模な再配置を行い、保存や利用に向けた効果的な蔵書管理を進めた。

・I C タグによる蔵書管理

行徳図書館では、新規購入図書にI C タグの貼付を開始していくこととした。（平成26年4月より）

・市川駅南口図書館のパソコン更新

平成21年に開館した市川駅南口図書館のパソコンについては、5年のリース期間満了、及びOSのサポート期限切れに伴い、平成26年2月に更新し、適正な図書館業務システムの整備を図った。

・Web-OPACの利便性の向上

利用者蔵書検索システム（OPAC）での貸出延長や予約変更の方法を改善し、利用者の利便性を高めた。

・C T I システムの改修

中央図書館休館時に各館が開館している場合にもC T I 送信を可能とし、利用者への連絡機能の向上を図った。

・「渡邊二郎」コーナーの新設

新たな特別コレクションとして、ご遺族から寄贈を受けた資料や草稿類等による「渡邊二郎」コーナーを中央図書館に設置した。

・連携企画と情報発信機能の拡充

展示や講座開催等において、関連各種機関等との連携を進め、市の公式フェイスブックの活用を通じた情報発信を開始した。

（1）資料収集と利用状況

① 図書館の利用状況

平成25年度の図書館及び図書館関連施設（市民図書室・公民館図書室・情報プラザ・ウィズ・千葉商科大学付属図書館）の貸出点数は、3,024,572点、延べ利用者数は844,759人で、いずれも平成24年度の数値には届かなかった。

図書館及び図書館関連施設の図書・雑誌・視聴覚資料のリクエスト総数は508,686件で、平成24年度より1万5千点強の減少となった。

② 資料収集

平成25年度の全館の図書費は、8,201万円で、平成24年度予算8,856万円より減少した。（平成26年度予算はp.29に掲載）

平成25年度は可動式集密書架の増設に伴い、蔵書点検期間中に資料の大幅な移動を行った。平成26年度以降の書架の増設も視野に入れた書庫資料の再配置を行い、書庫の収容能力を十分に生かせるよう配慮した。また、利用の少ない法律・判例の加除式資料の加除を中止し、平成26年度からこの分野を補えるデータベースを導入することを決定するなど、限られた予算の有効な活用を行った。

中央図書館では蔵書構成検討委員会を設置し、年度ごとの収集計画の立案、選定会議の運営、逐次刊行物の選定等を協議している。資料の収集については、「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき「市川市図書館分野別資料収集基準」、各年度ごとの「資料収集計画」という体系のもとで行っている。

中央図書館では毎週選定会議を行い、中央図書館と市川駅南口図書館の購入資料の選定及び全館分の最終的な選書確認を行った。中央図書館では、書架の棚揃えを管理する書架担当制度を設け、各担当で積極的に既刊本の買い替えや不足分野の補充などを行った。

(2) リクエストサービス

① リクエストサービス

平成24年度と比べると、リクエスト件数は図書館合計で2.43%、関連施設を含めた総計で2.49%の減少となり、平成25年度ではじめて減少に転じた。

関連施設では、西部公民館図書室・大野公民館図書室・曾谷公民館図書室の予約が平成25年度よりやや減少しているが、市民図書室の予約は大幅に増えている。なお、大野公民館図書室は平成24年12月から平成25年11月まで図書室の休室により、大柏出張所内の臨時図書受付での対応（火～金の週4日）となった。また、曾谷公民館図書室は平成25年10月から11月まで図書室の休室により、同公民館事務室の臨時図書受付での対応となった。

ウィズは利用者が市川駅南口図書館に流れているのか、減少傾向にある。

平成24年度は休止していた宅配での予約受け取りは平成25年度から再開した。

平成25年度リクエスト資料別総数

図書・雑誌	視聴覚資料	合計
484,920	23,766	508,686

平成25年度リクエスト受付方法別総数
(図書・雑誌・視聴覚資料)

受付方法	件数	
窓口	83,045	
館内OPAC	35,637	425,641
携帯電話	11,217	
インターネット	378,787	
合計	508,686	

リクエスト処理別件数(図書・雑誌)の推移

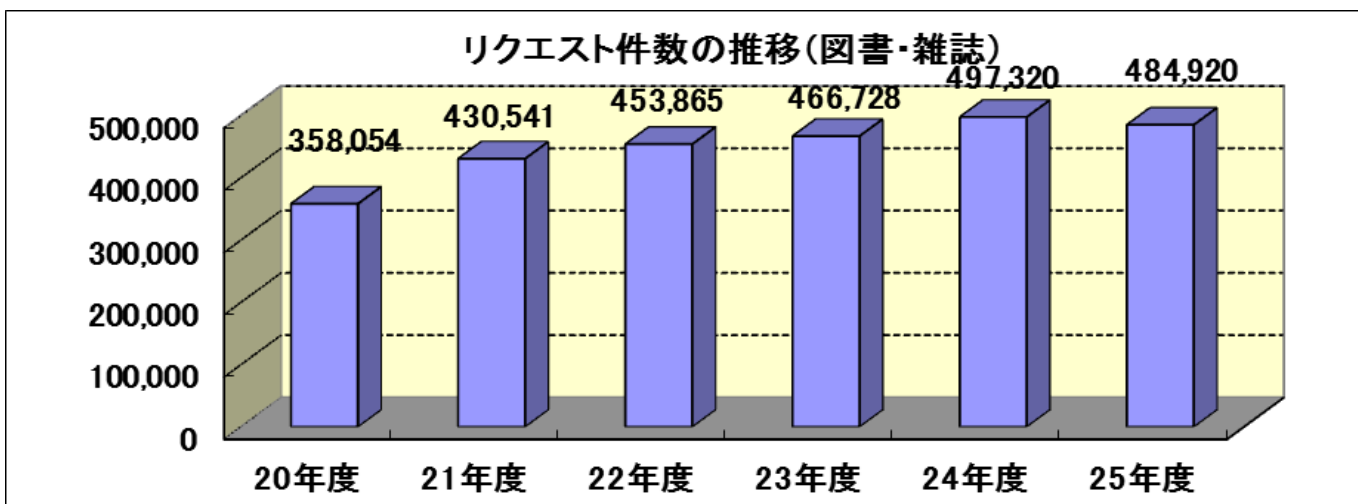
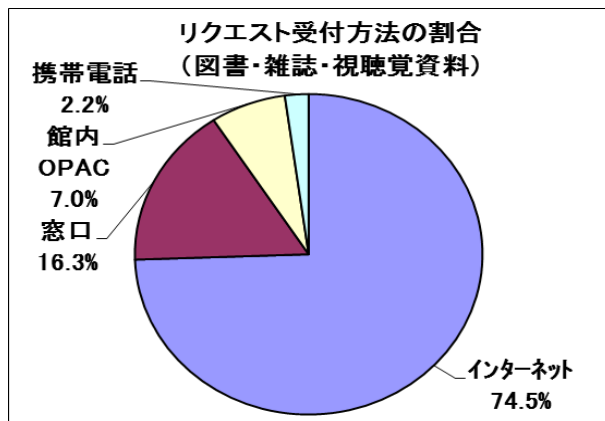
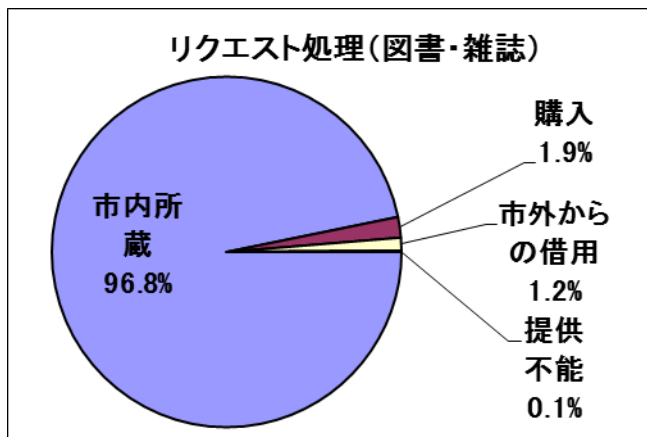
	市内所蔵	購入	市外借用	提供不能	合計
20年度	343,967	8,609	5,004	474	358,054
21年度	415,087	9,183	5,658	613	430,541
22年度	437,677	9,954	5,611	623	453,865
23年度	450,300	10,020	5,886	522	466,728
24年度	480,337	10,278	6,196	509	497,320
25年度	469,375	9,224	5,723	598	484,920

平成25年度リクエスト受付施設別件数
(図書・雑誌)

受取館	提供件数	構成比	前年比
中央	130,173	26.84%	95.04%
自動車	3,055	0.63%	82.43%
平田	16,391	3.38%	95.75%
行徳	106,410	21.94%	98.69%
信篤	21,784	4.49%	106.82%
南行徳	23,075	4.77%	90.47%
市川駅南口	111,176	22.93%	100.32%
図書館合計	412,064	84.98%	97.57%
ウィズ	5,699	1.18%	91.51%
情報プラザ	25,749	5.31%	94.72%
塩焼市民	2,582	0.53%	113.79%
稲越市民	848	0.17%	153.62%
福栄市民	4,032	0.83%	104.02%
大柏市民	2,274	0.47%	118.50%
西部公民	9,574	1.97%	99.56%
東部公民	3,681	0.76%	118.51%
大野公民	13,281	2.74%	91.58%
曾谷公民	4,089	0.84%	87.86%
千葉商大	948	0.20%	86.97%
宅配	99	0.02%	—
関連施設合計	72,856	15.02%	97.15%
総計	484,920	100%	97.51%

リクエスト資料別件数(視聴覚資料)の推移

	CD	ビデオ	DVD	合計
20年度	19,278	2,323	1,280	22,881
20年度	22,517	2,100	2,340	26,957
21年度	20,717	1,597	2,692	25,006
22年度	20,369	1,169	3,949	25,487
24年度	21,722	699	4,942	27,363
25年度	19,470	425	3,871	23,766



②国・県・市町村図書館との相互協力

平成25年度は、市川市から県内市町村図書館への貸出冊数は3,299冊、県内市町村図書館からの借用冊数は4,587冊となった。貸出借用ともに前年度比8.6%の減少である。また国立国会図書館や県立図書館・県外の市町村図書館を含む全体では借用冊

数は8%減少した。これはリクエスト総数の減少が相互協力にも影響したと思われる。なお、この現象は本市図書館だけではなく、県内半数の市町村図書館も借用冊数が平成24年度より減少している。

借用冊数館別内訳

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	合計
平成24年度	2,404	151	423	1,249	217	288	1,464	6,196
平成25年度	2,153	101	443	1,090	312	272	1,352	5,723

市町村借用・貸出冊数(県内)

	貸出	借用
平成24年度	3,611	5,021
平成25年度	3,299	4,587

借受先別借用冊数(県内外)

	国会	県立	他市	その他	合計
平成24年度	25	1,543	4,601	27	6,196
平成25年度	19	1,322	4,360	22	5,723

(3) レファレンスサービス

平成25年度は、平成24年度より5千件ほど多い69,348件の質問が寄せられた。

これまでに受けた質問及びその調査過程・回答を「レファレンス記録票」に記録し、質問の主題のNDC分類順にファイル化し、過去の事例について参照できるようにしている。

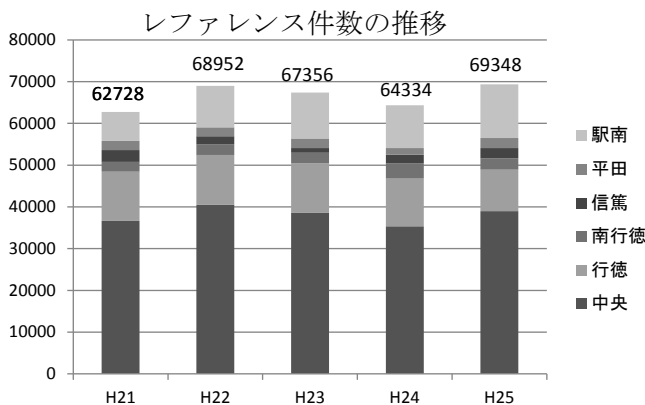
参考業務のPRと館内研修、情報共有化のため、毎月のレファレンスの統計と、寄せられた質問や提供した資料を簡単に紹介した「新・参考業務月報」を発行している。平成24年度の月報1年分を合冊した『新・参考業務年報 2012年度』も発行し、関係部署へ配布した。

「新・参考業務月報」を「レファレンス事例集」としてホームページ上に掲載し、同じ事例データを、国立国会図書館のレファレンス協同データベースにも提供している。レファレンス協同データベースは一般公開されており、レファレンス事例提供数が多かったこと（年間登録件数213件）と、市川市のレファレンス事例に多くのアクセスがあったことの両面から、国会図書館より5度目の礼状が贈られた。

中央図書館と市川駅南口図書館では、レファレンスの用に供するため、11種類のデータベースを導入している。（p.26参照）また、地域館のレファレンスを中央図書館がバックアップするなどし、小規模館においても、様々な市民の資料相談に応えられる体制を整えている。

レファレンス受付館別件数

中央図書館	38,991	信篤図書館	2,453
行徳図書館	9,925	平田図書館	2,357
南行徳図書館	2,737	市川駅南口図書館	12,885
		合計	69,348



(4) 自動車図書館サービス

平成25年度は、平成24年度に引続き市内18ヶ所のステーションへの巡回を行った。

1年間の巡回日数は155日（156日）、同新規登録者数は161人（228人）、同延べ利用者数は6,565人（7,434人）、同延べ貸出冊数は29,291冊（33,747冊）で、全体的に平成24年度より減少した。（（ ）内は平成24年度の数値）（p.15「みどり号巡回表」参照）

(5) 市民図書室

- 塩焼市民図書室**（塩焼読書センター）
 読み聞かせの会 対象：幼児～小学生の親子
 毎週土曜日 午後1時30分～
 あそびの広場 毎月最終土曜日
 読み聞かせの会終了後
- 稲越市民図書室**（ひばり図書室）
 読み聞かせの会 対象：幼児～小学生の親子
 毎開室日 午前10時15分～
 午後2時15分～
- 福栄市民図書室**
 読み聞かせの会 対象：幼児～大人
 第4水曜日 午後2時45分～
- 大柏市民図書室**
 読み聞かせの会 対象：幼児～小学生の親子
 第1・3水曜日 午後3時15分～
 第3土曜日 午前11時～

地域住民へのサービスに加えて、併設された学校が授業の一環として利用するなど、学校との連携をとりながらのサービスも展開した。

また、4図書室合わせて約240名の市民ボランティアが読み聞かせの会や貸出・返却・整理業務への協力を行うなど地域住民の活動の場ともなっている。

(6) 類縁機関との連携

①「学校図書館支援センター事業」に参加

公共図書館と学校図書館、また学校図書館相互が連携し図書資料や情報を流通させることにより、各図書館の所蔵資料を広く有効に活用し、学校での「調べ学習」、読書等の諸活動を活発に展開させ、「自ら学ぶ力」を養い、生涯にわたって学び続ける児童・生徒の育成をめざす。

ア. 参加校

小学校39 中学校16 幼稚園8 特別支援学校1

イ. ネットワーク用資料の構築

複数の学校からの要望にも対応するため、中央図書館や各図書館所蔵の資料を提供するほかにネットワーク専用資料12,692冊（平成26年3月現在）を中央図書館で管理している。平成25年度は専用図書費として中央図書館に46万円を配分し、175冊を購入した。

ウ. 資料提供

学校現場の教職員からの請求により、各校の学校司書（常勤）・学校図書館員（非常勤）が取りまとめ、公共図書館や市内の公立小中学校に対してeメールで貸出依頼を行う。依頼を受けた学校（図書館）は、自校（館）の資料の中から依頼内容に沿った資料を選び、物流便で配送する。物流は、業者委託による週2回・各2台の運搬車が公共図書館と小中学校全校を結んでいる。

エ. 指導研究・調整事務

教育センター・指導課共催の公共図書館・学校図書館双方の実務担当者によるネットワーク会議を3回実施した。

物流回数	70回
貸出冊数	5,692冊
依頼件数	533件 (小学校406件) (中学校123件) (幼稚園3件) (特別支援学校1件)

② 大学図書館及び他機関

とのネットワーク事業

ア. 千葉商科大学付属図書館

18歳以上の市内在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、市立図書館窓口で紹介状の発行を申し込むことで千葉商科大学付属図書館の利用が可能となる。紹介状は中央図書館より大学図書館に送られ、現年度有効の図書館利用券が発行される。これにより同大学付属図書館の資料の閲覧、複写、貸出が可能となる。また、市立図書館所蔵の図書、雑誌の受取、及び大学付属図書館内に設置されている返却ポストへの返却が可能である。

平成25年度紹介状申込み104件。新規申込みは92名。平成24年度利用者で更新手続きを行った利用者は、148名。

イ. 和洋女子大学メディアセンター

市川市在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、和洋女子大学メディアセンター（図書館）所蔵の図書を市立図書館（中央・平田・行徳・信篤・南行徳・市川駅南口）の館内で閲覧することができる。市立図書館に所蔵がない図書が対象で、市立図書館のカウンターで申し込む。閲覧期間は2週間以内である。なお、雑誌・視聴覚資料・貴重書・館内閲覧資料は除く。相互間の物流は、毎週金曜日に中央図書館との間で行っている。

	件数	冊数
和洋への貸出	1件	3冊
和洋からの借受	3件	3冊

ウ. その他

上記以外の大学図書館は1回（1日）の閲覧ごとに紹介状が必要である。学生の場合は基本的に所属する大学の図書館からの紹介状による。平成25年度に紹介状を発行した大学は以下の通り。

清泉女子大学附属図書館

東洋大学白山図書館

(7) 対象別サービス

① 児童サービス

子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような児童書の選定・収集に努め、ブックリストの作成や読み聞かせの会などを実施している。さらに、教育センターや学校、こども館などと連携し、サービスの拡大を図っている。

ア. ブックリスト

子どもの発達段階に応じたブックリストを作成し、配布している。

「本のぼけっと」基本版1号及び26号
(小学生用ブックリスト)

「本のぼけっと」号外(夏休み)

「本のぼけっと」付録(読み聞かせリスト)

「新一年生の保護者の皆様へ」

「よんであげたいえほん」

(0～2才) (3・4才) (5・6才)

イ. 館内特集展示

こどもとしゃかんや、地域館の児童コーナーに展示スペースを設け、季節やテーマに沿った本の展示を行っている。

特集展示(こどもとしゃかん)			
3月 4月	むかしむかし	11月 12月	ふゆのおたのしみ
5月 6月	のりもの	1月 2月	スポーツ
7月 8月	本のぼけっと大集合	3月 4月	ともだち
9月 10月	おみせやさん		

ウ. 読み聞かせ等

中央・行徳・信篤の各図書館で、絵本の読み聞かせや素話の会を定例化して行っている。

平田図書室では、平田保育園に出向いて読み聞かせを行っている。

読み聞かせ統計

	中央図書館			行徳図書館			信篤図書館		
	対象年齢	回数	参加人数	対象年齢	回数	参加人数	対象年齢	回数	参加人数
おはなし会	5歳～	11	43	5歳～	8	27			
えほんの会	4歳～	93	718	4歳～	33	289	3歳～親子	7	25
らっこの会	3・4歳親子	91	879						

エ. 館内行事

(中央図書館)

定例で行っているおはなし室での読み聞かせ等のほかに、くつろぎひろばにおいて親子で参加できるイベントを季節ごとに実施している。8月にはこどもとしゃかんのフロア全体を利用したラリー形式のイベントも開催した。1月には、子ども向け「本の福袋(ワクワクいっぱいふくぶくろ)」の貸出も行い、好評だった。

「はるかぜえほんの会」

(子ども読書の日関連行事) 参加人数 20人

「夏のおたのしみ会」 参加人数 78人

「小学生のための怖いおはなし会」(3回)

参加者数 85人

「秋空えほんの会」 参加人数 62人

「冬のおたのしみ会」 参加人数 28人

「えほんのせかいであそぼう」 参加人数 26人

「としゃかんラリー」 参加人数約1,160人

「本の福袋」(4～6才)(小学校低学年)(小学校中学年)(小学校高学年) 合計 80セット

(行徳図書館)

「夏のおたのしみ会」(2回) 参加人数 29人

「冬のおたのしみ会」(2回) 参加人数 21人

(南行徳図書館)

「冬のおたのしみ会」 参加人数 11人

「春休みえほんの会」 参加人数 13人

(信篤図書館)

「冬のおたのしみ会」 参加人数 6人

オ. 出張サービス

市内の公立小学校を対象に「出張おはなし会」を行っている。

(中央図書館) 7校 8回 698人

カ. 学級招待

クラスや学年単位で図書館に来館した子ども達に対して読み聞かせなどを行っている。

(中央図書館) 3校 4回 84人

(信篤図書館) 1校 2回 136人

キ. まちたんけん

市内の小学生が授業の一環として行う「まちたんけん」として来館。

(中央図書館) 2校 50人

(行徳図書館) 1校 22人

(南行徳図書館) 1校 11人

(平田図書室) 1校 25人

ク. 学級文庫 (中央図書館)

市内公立小中学校に、対象年齢に応じたセット貸出を行った。(学校ネットワーク物流便利用)

平成25年度貸出 小学校 4,680冊
(内特別支援 240冊)
中学校 220冊
(内特別支援 60冊)

ケ. 乳幼児サービス

市川市版のブックスタート事業である、こども館事業の「たのしく絵本! はじめの一步」に選書面などで協力している。

② ヤングアダルトサービス

ア. 中央図書館

中学生・高校生を中心とした世代を、児童サービスの対象としてではなく、Young Adult (若い大人) としてとらえサービスを行う。児童書、一般書の枠にとらわれず対象資料を集めたYoung Adultコーナーを、一般書のコーナー (ポピュラーライブラリー) の中に設けている。

また、グループで調べ学習等の活動ができるYoung Adult Roomに掲示板を設置し、情報発信の場としている。そこでは図書館で職場体験学習をした中学生のおすすめの本のメッセージやイラストを掲示している。

・「Young Adult通信」

中高生向けのブックリストとして年3回作成。各号、市内公立中学校のいずれかの学年の全生徒に学校ネットワーク物流便を通じて配布。同内容を図書館のホームページ上にも掲載している。

また、「Young Adult通信」に1年を通じて掲載する年間キャラクターを市内の中学生から募集している。(平成25年度応募数 50件)

館内では、Young Adultコーナーにおいて「Young Adult通信」とタイアップした形で本の展示を行っている。展示ポスターは市内の中学生から募集し、作成してもらっている。

平成25年度展示

展示月	特集タイトル
4月～6月	ぼくらのSchool Life
7月～9月	宙 (そら)
10月～12月	Ride & Go
1月～3月	イチオシ本

・「Young Adult通信 入門編」

中学生・高校生向けの利用案内として図書館内で配布するほかに、夏休み前に市内公立中学校1年生全員を対象に、学校ネットワーク物流便を通じて配布している。

・「Young Adult通信 号外」

春休み前に、市内公立中学校3年生全員に、学校ネットワーク物流便でお薦めの本のリストを配布している。

・夏休み対策

夏休みの宿題支援のため7、8月は課題図書、自由研究コーナーを作る。課題図書は貸出期間を一週間とする等の対処を行っている。

イ. 地域館

地域館においては、児童サービスの延長として、中学生向けのサービスを行っている。

資料は、中学生向け児童書とヤングアダルト向け文庫が中心である。

・行徳図書館

2階の子どもの本のフロアに、知識の本を中心としたヤングアダルトのコーナーを設置している。

・信篤図書館

階段コーナーにヤングアダルト向け文庫のコーナーを設置している。

・南行徳図書館

2階の児童書閲覧室に、ヤングアダルト向けコーナーを設置している。

③ 障害者サービス（図書館利用に障害のある利用者へのサービス）

心身等、図書館を利用する上で何らかの障害がある方を対象として、それぞれの状況に応じ、最も図書館を利用しやすいように配慮したサービスを提供することを目的とする。

・一般の図書の形態（墨字資料）での読書が困難な方に対して、点字図書、音訳図書、DAISY図書、大活字図書、CDブック、布の絵本・布のおもちゃ等を、ボランティア団体が製作し、または購入して提供している。ほかに、障害者資料として文芸カセットや字幕・手話付きビデオの蔵書もある。

・来館困難者へのサービスは、郵送貸出や代理人

貸出による資料の提供を行い、更に視覚障害者に対しては、対面朗読も実施している。

・市内公立小学校の特別支援学級と、こども発達支援センター内にある通園施設「あおぞらキッズ」「おひさまキッズ」へ、布の絵本・布のおもちゃ計26点を貸し出した。

・新年度は布の絵本・布のおもちゃの個人利用の促進を図るため、市内公立小・中学校の特別支援学級並びに須和田の丘支援学校・県立市川特別支援学校の保護者等を対象として案内パンフレットを製作し、配布する。

(1) 登録者数

() は平成25年度新規登録者数

	視覚障害者	聴覚障害者	内部疾患・ 肢体不自由者	外出困難者・ その他	合計
累積登録者数	90 (1)	128 (2)	125 (5)	61 (6)	404 (14)

(2) 資料の所蔵館と所蔵冊（点）数

	点字 図書	音訳 図書	DAISY 図書	大活字 図書	CD ブック	文芸 カセット	布の絵本 布のおもちゃ	合計
中央図書館	3,119	2,690	400	2,554	846	369	113	10,091
自動車図書館				243				243
行徳図書館				529				529
全館	3,119	2,690	400	3,326	846	369	113	10,863

(3) 貸出冊（点）数

		点字 図書	音訳 図書	DAISY 図書	大活字※ 図書	CD※ ブック	文芸※ カセット	布の絵本・ 布のおも ちゃ	一般資料 (墨字図書・ 音楽CD等)	合計
中央 図書館	窓口※	216	0	78	3,693	3,812	405	39	6	8,249
	郵送※	328	12	125	0	183	0		289	937
自動車図書館					126					126
平田図書室					102	107	3			212
行徳図書館		3			857	232	14			1,106
信篤図書館					21	19	1			41
南行徳図書館		1			29	14	3			47
市川駅 南口図書館		3			83	314	3		3	406
全館		551	12	203	4,911	4,681	429	39	298	11,124

※窓口は郵送のうち、電算による貸出手続きをしたものも含む。

※郵送は相互協力による借用資料を含む。

※大活字図書・CDブック・文芸カセットの貸出は、健常者への貸出を含む。

④外国人利用者へのサービス

国際化社会に対応した多文化サービスの実現を目的とする。市川市に居住する外国人を図書館サービスの対象者として明確にとらえ、日本での生活・学習・娯楽に役立つ図書や行政機関による外国人向けの資料を重点的に収集している。

平成25年度は前年度に引き続き、英語図書の寄贈受入れと追加購入を行う（英語資料7,376冊のうち、774冊は行徳図書館の所蔵）とともに、中国語、フランス語、スペイン語を中心に購入した。

ア. 楽山市図書コーナー

平成13年、友好都市締結20周年にあたり、楽山市から中国語図書約300冊の贈呈を受けて設置した。なお経年による本の劣化等により、平成18年に従来の中国語資料と併せて縮小した。

イ. 江南区電子図書コーナー

市川市は、平成17年、大韓民国ソウル特別市江南（カンナム）区と情報化分野及び職員交流に関する

協定を締結。その一環として、江南区がインターネット上で運営している電子図書館のID1万件の贈呈を受けた。これにあわせて中央図書館では、韓国語資料約700冊を購入追加してコーナーの充実を図り、その一画に平成18年電子図書館閲覧コンピュータを1台設置した。

ウ. 原州市寄贈韓国語資料

市川市と同じく健康都市連合に加盟している（大韓民国江原道）原州（ウォンジュ）市より、韓国語資料の8回目の贈呈を受けた。平成25年には、原州市から12冊の寄贈があり、市川市からは14冊の贈呈を行っている。

エ. 逐次刊行物（平成25年度：市内全館）

雑誌（所蔵タイトル数）

英語10／中国語2

新聞（所蔵タイトル数）

英語5／中国語1／韓国語1

市内在住外国人の国籍別順位(95ヵ国11,442人)

平成25年9月現在

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
国籍	中国	韓国	フィリピン	ネパール	インド	タイ	ベトナム	ペルー	アメリカ	台湾
人数	4,962	1,471	1,311	421	418	392	268	234	228	160

平成25年度 言語別蔵書冊数

平成26年3月末現在

	英語	中国語	韓国語	ドイツ語	フランス語	スペイン・ポルトガル語	イタリア語	西洋の諸言語※	東洋の諸言語※	総計
所蔵冊数	7,376	3,836	1,602	108	309	432	219	49	462	14,393

外国語による児童書は含まない 洋書絵本約2,800冊所蔵

※西洋の諸言語：ロシア語・エスペラントなど

※東洋の諸言語：タガログ語・インドネシア語・ヴェトナム語・タイ語・マレーシア語など

東南アジア中心

⑤団体へのサービス

ア. 団体としての利用

読書活動に関わる団体及び市内福祉施設・学校等で図書館資料を利用する団体へのサービス。

・登録・貸出

市川市内在住・在勤・在学者を主な構成者とし、利用に際し継続性があり図書館資料を営利目的として利用しないことを登録要件とする。更新は年度ごととする。

貸出期間は貸出日を含め図書は31日、CDは15日である。貸出冊数は図書が無制限、CDは3点。

予約は窓口のみで受け付ける。1日5タイトル、累計20点まで。団体の予約において新規の購入はしない。十冊文庫のみ相互協力が可能である。

・活動場所の提供

生涯学習センター内の集会室・サークル室等は全て有料であるが、中央図書館では、図書館関連の団体に活動場所として集会室・サークル室を提供している。以下の5団体については館長の認める団体として、利用料の減免を行っている。

市川図書館友の会 市川点訳朗読友の会
点訳ビーアイ うずしお読書会
子どもの本を考える会

イ. 読書会サポート

・資料の提供

読書会で使用するため同タイトルの資料が複数必要となる場合は、市内図書館の所蔵冊数内で希望冊数を用意する。原則として受取希望日の3週間前から予約を受け付ける。

千葉県立図書館において「十冊文庫」の名称で読書会向けに同じタイトルの本が10冊ずつ準備されている。市川の図書館を窓口にして取り寄せる。

登録団体数・貸出冊(点)数

	登録団体数	貸出冊(点)数
平成23年度	38	4,343
平成24年度	41	4,305
平成25年度	44	4,703

(8) 資料別サービス

①地域資料

ア. 地域行政資料

地域行政資料(市川市、千葉県に関する資料)の収集、整理を行った。地域行政資料は、独自の地域区分、資料分類を付与し、地域の歴史を後世に伝えるため永年保存としている。

7月の文学ミュージアムの開館に併せて、「市川の文学：小説編」のテーマ展示を行った。2000年以降に出版された、市川が登場する小説を集めて展示し、市川言及箇所をまとめた展示リストを作成した。

イ. 市民文庫(市川市民による著作)

ホームページからの情報発信として「市川ゆかりの人検索」を更新した。

ウ. 特別コレクション(永井荷風・東山魁夷・星野道夫・渡邊二郎の著作及び関連著作)

特別コレクションは論文や記事、また新刊書から古書まで積極的に収集し、整理を行った。特に永井荷風については、市民からの関心も高く、レファレンスも多く寄せられている。

平成24年度に市内在住で東京大学名誉教授の哲学研究者、故・渡邊二郎氏のご遺族から著書や原稿、所蔵資料の寄贈を受けた資料を整理し、平成25年より特別コレクションとして公開した。

地域資料所蔵数(平成25年度)

	市川市 関連	千葉県 関連	市民 文庫	特別 コレクション	合計
中央	15,060 (14,392)	19,786 (19,099)	5,033 (4,877)	5,403 (4,752)	45,282 (43,120)
行徳	2,099 (2,018)	1,426 (1,402)	—	—	3,525 (3,420)
信篤	447 (447)	327 (334)	—	—	774 (781)
南行徳	426 (413)	242 (224)	—	—	668 (637)
平田	361 (384)	143 (141)	—	—	504 (525)
市川駅 南口	192 (169)	77 (58)	—	—	269 (227)
全館	18,585 (17,823)	22,001 (21,258)	5,033 (4,877)	5,403 (4,752)	51,022 (48,710)

※()は平成24年度 ※児童の地域資料は含まず

②視聴覚資料

視聴覚資料は、流通する記録媒体の変化から、時代により市民要求も変化してきている。映像資料については、ビデオテープからDVDへの移行を図っている。平成25年度は、市民より寄贈されたCDを活用すべく整備を行い、中央図書館及び行徳図書館において受け入れた。

ア. 視聴覚資料(CD・ビデオ・DVD)の収集・提供に関すること

・貸出点数

1人CD3点、ビデオ2点、DVD1点。貸出期間は、貸出日を含む15日間。視聴覚資料の貸出対象及び試聴ブースの利用対象は、中学生以上の市内在住・在勤・在学者。

イ. 試聴ブースに関すること

・中央図書館：CD・カセットテープはヘッドホンを貸し出すことによる管理。

利用時間は、1回30分以内。

[ブース数]

CD用(6台) カセットテープ用(3台)

CD・カセットテープ兼用〔車椅子対応型〕(1台)

カセットテープ用〔車椅子対応可能〕(1台)

・行徳図書館：ヘッドホンと図書館利用券の交換制による管理。

[ブース数] CD用(3台)

(9) 主催事業

①リサイクルブック市

図書館の不用図書(除籍図書、寄贈された図書のうち既に受け入れているものや、資料収集方針に沿わない等の理由で受け入れないもの)を有効に再活用するため利用者に無償で提供するリサイクルブック市を、中央図書館と行徳図書館は「市川図書館友の会」との共催事業として開催している。

中央図書館は市川市生涯学習センター内グリーンスタジオを、行徳図書館では隣接する公民館レクリエーションホールを会場として開催した。平成14年度より「市川図書館友の会」が図書館支援のための募金活動を行っている。

そのほかの図書館でも、小規模であるが、リサイクルブック市の単独開催及びリサイクルコーナーを設置している。

平成25年度リサイクルブック市等実施状況

	実施日	対象及び参加者数	準備冊数及び提供冊数(提供率)	備考
中央 (第20回)	平成25年11月1日(金)	104団体	準備:19,960冊 提供:15,183冊 (提供率:76.1%)	市川図書館友の会との共催
	平成25年11月2日(土)	一般市民 1,024名		
行徳 (第16回)	平成26年2月1日(土)	一般市民 435名	準備:12,241冊 提供:8,841冊 (提供率:72.2%)	
信篤 (第15回)	平成25年10月19日(土)～ 平成25年10月20日(日)	一般市民 200名	準備:2,819冊 提供:1,724冊 (提供率:61.2%)	信篤公民館の文化祭と併せて実施
平田	平成25年6月1日(土)～ 平成25年6月2日(日)	集計なし	準備:2,926冊 提供:2,082冊 (提供率:71.2%)	
南行徳	平成25年5月10日(金)～5月17日(金) 平成25年7月3日(水)～8月2日(金) 平成25年8月6日(火)～8月23日(金) 平成25年9月19日(木)～9月22日(日) 平成26年2月5日(水)～2月23日(日)	集計なし	準備:1,501冊 提供:1,478冊 (提供率:98.5%)	

②歴史講座

中央図書館のテーマ展示「戦国武将・軍師から学ぶ」の実施にあわせ、千葉県文書館の事業である出前講座を活用して講師を招き、市民向けの講座を開催した。図書館主催の一般向け講座は初めての試みであったが多数の参加があった。

中央図書館・秋の歴史講座

「戦国大名の実像～安房里見氏を中心に」

講師：千葉県文書館嘱託 柴 裕之氏

日時：平成25年11月15日（金）

場所：メディアパーク市川 地下集会室

参加者：34名

③戦争と平和講演会

行徳図書館で平成24年度に引き続き、「戦争と平和」に関するパネルと図書の特別展示を行い、市川市在住で戦争体験者の女性を講師に招き、講演会を開催した。

テーマ：女性からみた戦争と当時の生活

日時：平成25年8月4日（日）

場所：行徳公民館 3階第2研修室

参加者：41名

(10) 委員会等

①研修委員会

〔設置目的〕

- ・職員（非常勤職員を含む）一人ひとりの知識やサービス水準を一定以上に保つ。
- ・職員集団としての図書館員全体の資質の向上を目指す。

〔主な役割〕

- ・研修的要素を持つ事項でのイニシアティブ

- ・職場内研修の企画・立案・実施
- ・職場研修推進員と連携し、県立図書館主催などの外部研修への参加募集、申込み
- ・図書館評価の研修部分を担当
- ・他機関からの研修生の受入れ

〔25年度実績〕

ア. 異動者研修

図書館外からの異動職員2名を対象に、4月2日に図書館業務の基本についての研修を実施した。

イ. 大学等との連携研修会

千葉県公共図書館協会職員研修委員会と共催で、「図書館におけるビジネス支援サービス」をテーマに研修会を10月に開催した。市川市の図書館職員32名と他市図書館員8名、計40名が参加した。

ウ. 非常勤職員研修

平成25年度に採用された図書館スタッフ5名を対象に、6月に第2回、2月に第3回研修を実施した。

3月には平成26年4月に新規採用される図書館スタッフ8名を対象に新任研修を行った。

エ. 図書館実習

8月1日から14日にかけて、大学生2名（慶應義塾大学2名・専修大学1名）を対象に図書館実習を実施した。

オ. 職場体験学習・職場訪問

市内の小・中学生を受け入れ、職場体験指導等を行った。

カ. その他の研修

教育センター主催による市内教職員を対象とした「社会体験研修会」のうち「公共図書館研修会」として教諭3名、県教委主催「悉皆研修」のうち「社会奉仕体験研修」として教諭4名を受け入れた。

児童・生徒の職場体験学習、教職員の体験研修の受入れ（平成25年度）

月日	所属〔実施場所〕	人数	目的
7/2	福栄中学校〔中央〕	3	職場体験学習
7/5	妙典中学校〔行徳〕	4	職場体験学習
7/11～12	大洲中学校〔平田〕	3	職場体験学習
8/6	千葉県教育委員会〔中央〕	1	社会奉仕体験研修
8/8～9	市川市教育センター〔中央〕	3	社会体験研修会
10/24～25	第八中学校〔中央〕	5	職場体験学習
11/12	千葉県教育委員会〔中央〕	1	社会奉仕体験研修
11/12	第七中学校〔行徳〕	3	職場体験学習

11/14~15	下貝塚中学校〔中央〕	5	職場体験学習
11/15	稲荷木小学校〔中央〕	3	職場体験学習
11/19	第二中学校〔中央〕	6	職場体験学習
11/20~21	第三中学校〔中央〕	6	職場体験学習
11/21~22	昭和学院中学校〔中央〕	4	職場体験学習
12/5	高谷中学校〔中央〕	6	職場体験学習
1/17	千葉県教育委員会〔行徳〕	2	社会奉仕体験研修
2/21	第七中学校〔行徳〕	6	職場訪問
計	12校 2団体 22日	61名	

平成25年度 研修参加実績

実施日	研修名	主催者	人数	延
4/2	図書館異動者対象研修	市川市中央図書館研修委員会	2	2
5/15	公共図書館等新任職員研修会	千葉県立中央図書館	2	2
5/29	公共図書館職員研修大会	千葉県公共図書館協会	4	4
6/6、6/13 7/4、10/3	児童サービス基礎研修会	千葉県立中央図書館	3	6
6/21	レファレンス研修会（レファレンス基礎研修）	千葉県立中央図書館	2	2
6/17~28	図書館司書専門講座	国立教育政策研究所社会教育実践 研究センター	1	10
6/20	障害者サービス研修会	千葉県立西部図書館	2	2
6/24~29 9/30~10/4 10/6~9	児童図書館員養成専門講座	日本図書館協会	1	15
6/28、 9/26、11/28	スキルアップ研修会 （コース別/運営・サービス研究）	千葉県公共図書館協会児童奉仕研 修部	1	3
7/3	地域行政資料研修会	千葉県立中央図書館	1	1
7/4	レファレンス協同データベース事業担当者研修会	国立国会図書館	1	1
7/24~26	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁	2	6
7/5 or7/11	女性副主幹研修	市川市男女共同参画課	6	6
7/12	第1回課題解決支援サービス研修会 （医療情報サービス）	千葉県立西部図書館	1	1
8/20	公立図書館と学校の連携を図るための研修会	千葉県生涯学習課	1	1
8/22	講演会「何を読むかで世界の表情は違って見える」	葛南地区教育委員会連絡協議会	1	1
8/29 or8/30	定数外職員等の「接遇対応研修」	市川市人材育成担当室	3	3
9/4	デジタル化資料の図書館等への送信に関する説明会	国立国会図書館	1	1
9/6	音楽資料・情報担当者セミナー	国立国会図書館	1	1
10/2	CEATEC JAPAN2013 視察研修	情報通信ネットワーク産業協会	1	1
10/11	公共図書館中堅職員研修会	千葉県立中央図書館	1	1
10/11	ヴィアックス永田治樹顧問講演会	株式会社ヴィアックス	1	1
10/29	第2回障害者サービス研修会	千葉県立西部図書館	4	4

10/29・30	図書館総合展	図書館総合展運営委員会	2	2
10/31	大学等との連携研修会	千葉県公共図書館協会職員研修委員会、市川市中央図書館	30	30
11/5	講演会「東日本大震災－図書館活動から見えてくるもの」	千葉県図書館情報ネットワーク協議会	1	1
11/11・12	国際こども図書館児童文学連続講座	国立国会図書館国際こども図書館	1	2
12/4	第2回課題解決支援サービス研修会	千葉県立西部図書館	1	1
12/26	講演会「回想法『聴く』・『話す』－心の健康づくりと世代間交流－」	市川市健康都市・ガーデニング推進課	1	1
1/18	児童文学講座「子どものこころ詩のこころ」	松戸市立図書館	1	1
1/22	公開セミナー「仕事と人生を切り拓くつなげる力」	千葉県自治研修センター	1	1
2/2	ビブリオバトル講演会	千葉県読書推進運動協議会	3	3
2/8	第2回先進図書館運営研修会（武蔵野プレイス見学）	千葉県公共図書館協会職員研修委員会	2	2
2/13	第2ブロック研修会 講演「まちづくりの拠点としての図書館」	千葉県公共図書館協会 鎌ヶ谷市立図書館	1	1
3/3	子ども読書連携フォーラム	国立国会図書館国際こども図書館	1	1
3/4	児童サービスワークショップ	国立国会図書館国際こども図書館	1	1
	遠隔研修講座「図書館と著作権」	国立国会図書館	5	5
	遠隔研修講座「経済産業情報の調べ方」「科学技術情報－概論」	国立国会図書館	1	2
計	38件 70日		95名	129名

② 広報委員会

- ・「図書館（年間）カレンダー」の作成（A5版裏表）
- ・「市川図書館だより」の編集・発行（第81号～84号）（p.61～62参照）
- ・「市川市の図書館2013」の編集（本誌）
- ・市川市立図書館ホームページの作成、市川市のホームページへの掲載
- ・「市川市立図書館メールマガジン」の発行（月2回）（第26号～49号）
- ・「広報いちかわ」への記事の提供
- ・市川市公式Facebookへの記事の提供
- ・新聞社への記事の提供（市役所記者クラブにて）
- ・地域ミニコミ誌・放送局等への情報提供

③ 蔵書構成検討委員会

- ・資料収集・蔵書構成に関する検討
- ・蔵書点検・館内整理の計画
- ・特集展示の計画の立案と実施及び時節に対応した展示の実施

[平成25年度特集展示]

展示月	特集タイトル	連携・関連講座
4月～5月	はじめの一步 —入門書紹介—	
5月～6月	動物と暮らす	市川市動植物園と連携
6月～7月	国際キヌア年	国際連合食糧農業機関連携
7月～8月	民族と領土	
8月～9月	市川の文学：小説編	市川市文学ミュージアムと連携
9月～10月	心の健康と自殺予防 ～自殺予防週間にちなんで	市川市保健センター及び千葉県市川健康福祉センター（市川保健所）と連携
10月～11月	“働く”を考える	市川市雇用労政課と連携
11月～12月	戦国武将・軍師から学ぶ	秋の歴史講座（千葉県文書館講師）開催
12月～1月	知性と品格	
1月～2月	冬を楽しむ	
2月～3月	3年を想う —東日本大震災—／今、ふくしま。	福島県立図書館「東日本大震災福島県復興ライブラリー」より資料借り受け 日本図書館協会「東日本大震災被災地図書館」の写真セット借り受け
3月～4月	美しい本	

上記のほか、緊急ミニ展示として

7月「富士山」（富士山の世界遺産登録）

9月「祝！東京開催決定」（オリンピック東京開催決定）

(11) 図書館刊行物

	タイトル	形態	発行	刊行頻度	掲載頁
①	市川市の図書館	A4・製本冊子	中央図書館	1回／年	本誌
②	市川図書館だより	A4・1枚	中央図書館	4回／年	p. 61～62
③	新・参考業務月報	A4・1枚	中央図書館	1回／月	
④	新・参考業務年報	A4・製本冊子	中央図書館	1回／年	
⑤	Young Adult通信	A4・二つ折り	中央図書館	3回／年	p. 63～65
⑥	本のぼけっと 1・2年生におすすめする本 3・4年生におすすめする本 5・6年生におすすめする本	A4・各1枚	市川市立図書館	1回／年	p. 66～67
⑦	よんであげたいえほん (0～2才) (3・4才) (5・6才)	A4・各1枚 三つ折り	中央図書館 こどもとしょかん	1回／年	p. 68～70

「市川図書館だより」(No. 81~No. 84)

URL<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/db/1008.html>

市川図書館だより No.81

発行：市川市中央図書館 編集：広報委員会 〒272-0015 市川市見島1-1-4 社. 047-320-3346

本を大切に

図書館の資料は市民の大切な財産です。貸出期間を守った定たとともに、図書館の資料を未永く、また気持ちよくご利用いただけますよう、ご協力をお願いいたします。



一度濡れた本は、乾かしても膨らんでしまい元に戻りません・・・

雨天時などにはご配慮をお願いいたします。借りている期間に濡らしてしまったり、ペーパーにかじられた場合は弁償の対象となります。

資料の汚損・破損がひどく、元の状態に戻すことが極めて困難であり、次の利用者へ提供できないと判断される場合は、原則として同じ資料を購入していただく「現物弁償」となります。

Q. 現金で弁償はできないの？

A. 図書館にその資料を受け入れた当時と、現在の金額が異なる場合があるため、同じ資料を購入しての弁償とさせていただきます。また会計上、現金の場合は市への繰入金となり図書館資料としてすぐに還元できず、次に利用される方への提供が遅れることから現物の弁償としています。

Q. 古い本を失くした場合は、減価償却で弁償免除にならないの？

A. 図書館の資料は原則として長期に渡って利用・保存されるものです。失くした本を再び購入する場合、古書店での販売価格が発売時の価格を上回る場合もあることから一般的に減価償却という考え方はしておりません。

書き込みやアンダーラインは、次の方の迷惑となります・・・

図書館の本は当然のことながら公共の財産です。書き込みやページを折るなど意図的に汚すことは絶対にやめてください。本への書き込みについては返却時に資料を点検しておりますが、全てのページを点検することはできません。お借りになった資料に、既に汚れ・書き込み・切り取りなどがあった場合には、お手数ですが返却の際に図書館職員にお知らせください。

本のページが破れたり、汚れが付着したりしたときは、専門の道具で修理しますので、ご自身では修理せずに図書館へお持ちください。ただし、汚れや破れの箇所が多く今後の利用に耐えられない場合には、弁償していただくことがあります。

Q. 同じ本が売切れて入手できないときは、ネットワークションや新古書店等で購入して、弁償してもいいの？

A. 本の状態によって判断させていただきます。購入の際に商品の状態の問い合わせや、実物の確認をご自身でお願いたします。また、あらかじめ品切れ等で入手困難な場合は、同じ著者や同じ分野の本で金額が近い本を代替として図書館で指定させていただいております。

Q. DVD やビデオも現物弁償できるの？

A. 図書館で貸出している映像資料 (DVD・ビデオ) は、著作権者に補償金を支払うことで特別に貸出の許諾を得たものであり、市販価格に著作権料を上乗せした価格で購入しています。著作権の処理は個人では難しいため、映像資料を弁償される場合は、著作権処理の手続を行っている納入業者への支払い (口振振込) となります。

特別コレクション 渡邊 二郎

渡邊二郎氏は、東京大学教授、放送大学教授を歴任され(後に東京大学名誉教授、放送大学名誉教授)、哲学研究の分野では常に第一線で活躍され、2008年に76歳で亡くなられるまで、市川市宮久保の地を愛し、そこで思索や研究を深められました。

ドイツ概念論、ニーチェ、フッサール、ハイデッガー等の研究で名高く、これらの哲学原典の翻訳のほか、ご自身の独創的著述も高い評価を得ています。また、後援執筆書「渡邊二郎著作集 全12巻」が刊行されています。

渡邊氏が生前、研究に使われていた資料や草稿等を市民に公開することにより、哲学を志す方々の指南になることや哲学を身近に感じてもらえるようになることを願い、昨年、ご遺族より中央図書館に氏の蔵書が寄贈されました。



6~7月 中央図書館の特集展示

国際キヌア年

キヌアとはアンデス地方で数千年前から食されてきた穀物で、栄養価に優れていることから「スーパーフード」と呼ばれています。「国際キヌア年」は、キヌアが食糧危機の解決の助けになると期待されることから、その役割に世界の注目を集めようとする国際的な活動です。キヌアという穀物に注目することで、私たちの食や貧困、食糧不足を克服する良い機会になるのではないのでしょうか。世界では、その日の食糧にも困っている人がいます。私たちに出来ることから始めてみませんか？

「市川図書館だより」は年4回の発行です。次回の発行は9月を予定しております。

URL<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/db/1008.html>

市川図書館だより No.82

発行：市川市中央図書館 編集：広報委員会 〒272-0015 市川市見島1-1-4 社. 047-320-3346

子どもとしゃかんってどんなところ？

市川市中央図書館には、児童書や絵本が並んでいる「子どもとしゃかん」があります。一般の方にはあまり馴染みがない「子どもとしゃかん」についてご案内いたします。

どんな本があるの？

子どもたちの好奇心・遊び心を刺激する物語、調べもの本、絵本や紙芝居があります。また、より一層本に親しんでもらえるよう毎回さまざまなテーマで本を集め、展示を行っています。児童文学に関する研究コーナーもあります。洋書絵本なども取り揃えていますので、どうぞお気軽にご利用ください。

えほんの会って？

毎週、3歳から小学生までを対象に年齢別に本の読み聞かせの会を行います。「えほんの会」に入るのが不安なお子さまのために、おうちの方が一緒に参加する日もあります。「秋空えほんの会」など季節のイベントも開催しています。たくさんのご参加をお待ちしています。なお、詳しい日程などは子どもとしゃかんまでお問合せください。

どんな本を選べばいいの？

子どものためにどんな本を選べばいいのか迷ってしまう、おすすの本があれば教えてほしい、そんな方のために、子どもとしゃかんでは豊富な読書体験ができるように各種ブックリストを作成しています。

子どもとしゃかん

児童書・一般書の枠にとらわれず中高生向けの資料を集めた Young Adult(若い大人) コーナーを一般書フロアに設けています。また、グループで調べ学習等のできる Young Adult Room では、中学生のおすすの本のメッセージやイラストを掲載、中高生向けのお便り「Young Adult 通信」とタイアップした形での本の展示も行っています。展示がスターは市内の中学生から募集し、作成してもらっています。また、市内の中学生を確体体験学習として受入れています。中学生図書館委員の姿を見かけたら、応援してあげてください。

Young Adult Room

図書館は「学校図書館支援センター事業」で、小中学校の「調べ学習」や読書活動等をサポートしています。さらに、市内の公立小中学校を対象としたセット貸出し「学級図書」や、クラスや学年単位で来館した子どもたちに読み聞かせなどを行う「学級招待」、直接学校で行う「出張おはなし会」など子どもたちの読書環境をつくるお手伝いをしています。

予約資料の宅配受取サービスを再開しました！

図書館に出向かなくても、予約資料を宅配(有料)でお届けするサービスを再開しました。料金は着払いで、市内1部圏内順次500円(5kg以内)、市川市シルバー人材センターのシルバー会員が、ご利用できた資料から順次お届けします。

■利用できる方：市川市の図書館利用券があり、市内在住・在勤・在学の方。(予約サービスの対象者と同様です)

■お届け先は、登録事項に記された市内の住所に限りです。

■1部圏の目安は40×30×10cmのボックスです。

■障害者手帳をお持ちの方は、障害者向けの宅配サービスをご利用になることができます。別途ご相談ください。(事前に図書館での登録が必要です)

困ったときは、ひとりで悩まず相談しよう

9月10日は、WHO(世界保健機関)の「世界自殺予防デー」。そして、9月10日から18日は国の「自殺予防週間」です。日本の年間自殺者は、平成10年から14年連続して3万人を超え、大きな社会問題になっています。市川市では「困ったときは、ひとりで悩まず相談しよう」をスローガンに、私たち一人ひとりが自殺や精神疾患を正しく知り、誤解や偏見をなくし、命の大切さを考え、自殺の危険を示すサインや危険に気づいたときの対応方法等を知るためのさまざまな活動を行っています。

中央図書館でも、9月から10月の特集展示コーナーで、その予防や対応を考える手助けとなる資料を集めました。

市川市の図書館は、年一回の本点検(蔵書点検)のため下記の日程で休館させていただきます。休館期間中は大変ご不便をおかけいたしますが、皆様のご協力をお願いいたします。

図書館名	休館期間
行徳図書館	2013年10月7日(月)~10月17日(水)
信濃図書館	
南行徳図書館	2013年10月28日(月)~11月1日(金)
平田図書館	
ワズ情報資料室	2013年10月29日(火)~11月1日(金)
中央図書館	2013年11月25日(月)~12月6日(金)
子どもとしゃかん	*市民図書館休館中も、自動書留サービスは運行いたします。 *千葉県立大学付属図書館での市立図書館のリクエスト資料の受取りを休止いたします。
市川駅前図書館	2014年2月17日(月)~2月19日(水)

市民図書館・公民館図書室・情報プラザについては、通常どおり開館いたします。

*予約した資料は、受取館が休館期間中は受け取る事ができません。

*予約した資料は、休館中の図書館の蔵書の場合、手配が滞ることがあります。

*図書館が休館期間中でも、本・雑誌は返却ポストをご利用いただけます。

(実際のデータの返却は、休館中の図書館が開始してからになります。あらかじめご了承ください。)

「市川図書館だより」は年4回の発行です。次回の発行は12月を予定しております。

市川図書館だより No.83

発行：市川市中央図書館 編集：広報委員会 〒272-0015 市川市亀高1-1-4 電話：047-320-3346

図書館ホームページ使いこなし術!

「図書館ホームページ」は「検索検索をするためのもの」と思っている方も多いのではないでしょうか? 市川市立図書館ホームページ (<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/>) には、蔵書情報以外にも様々な情報が満載。今回はその一部をご紹介します。



こんな資料を探したい

- ① 検索・予約 から
 - 市内の図書館で所蔵しているDVDのタイトルを調べたい
 - ⇒「所蔵DVD・ビデオ検索画面」で検索の一覧をご覧ください。
 - ② サービス案内 から
 - はじめて子どもに本を読んでもあげたいけどなんかいかがしいか
 - ⇒資料相談フォルダ内の「メディアカルカードサービス」を調べたい場合は、市川市立図書館が提供する年別印刷のブックリストを見ることが出来ます。絵本を採り手助けとしてご利用ください。
 - ③ データベース から
 - 市内の図書館で所蔵している新聞や雑誌を知りたい
 - ⇒所蔵情報フォルダ内の「市川市立図書館所蔵雑誌タイトル一覧」「市川市立図書館所蔵新聞タイトル一覧」をご覧ください。
 - 特定の病気の調剤記を探みたい
 - ⇒所蔵情報フォルダ内の「メディアカルカードサービス」を調べたい場合は、市川市立図書館が提供する年別印刷のブックリストを見ることが出来ます。
 - ⇒地域情報フォルダ内の「市川の文学データベース」で、市川市を舞台とした作家と、市川市に関連する文学作品を調べることが出来ます。
 - ⇒地域情報フォルダ内の「古地図はどんなものを見たいのか」「地域情報フォルダ内の「中央図書館所蔵・市川市関連地図資料」でご確認ください。

図書館の最新情報を知りたい

- 図書館からの最新情報を定期的に知らせてほしい
- ⇒図書館では定期的にメールマガジンを発行しています。メールマガジンには図書館からのお知らせのほかにも本に関する情報を掲載しています。ぜひご購読ください。
- ※購読には事前のメールアドレス登録が必要です。
- 関心のある「言葉」や「著者」「テーマ」等の条件にあつた「新着図書」が入ったら知らせてほしい
- ⇒新着図書検索お知らせ(SDD)サービスを設定してください。
- ※設定には事前のメールアドレス登録が必要です。

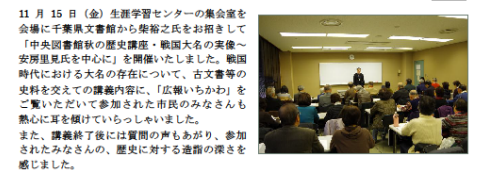
予約や貸出の延長がしたい

事前にパスワードを登録しておけば、図書館まで行かなくてもWebサービスメニューから予約や借りている資料の確保、貸出期間の延長をすることができます。

※予約や貸出期間の延長は一定の条件があります。

パスワードは市民証・住票・在勤の中学生以上の氏名で登録することができます。お近くの図書館窓口でお申し出ください。

秋の歴史講座を開催



中央図書館の特集展示

戦国武将・軍師から学ぶ

11~12月

群雄割拠の戦国時代、日本の覇者を目指し、様々な戦術を駆使して乱世を勝ち抜いてきた戦国武将たち。織田、豊臣など主要な武将から、千鳥丸にゆかりのある足尾氏、次期大河ドラマでスポットを浴びる黒田官兵衛まで、その生き様や戦い方などを通して、現代を生きている私たちにも活かすことのできる知恵や、リーダーシップを学ぶと共に、戦国武将たちの素顔に触れてください。

知性と品格

12~1月

現代人に求められる知性と品格とはどのようなものなのでしょうか。

林屋は「知性の磨きかた?」と題して「知性とはそもそも何であるか?」について述べています。その見方は斬新です。佐々木正人は「知性はどこに生まれるか?」で「水や光について、願ではなく手や足や皮膚が持つ知性と何だろうか」と問う。尾田幸雄は「品格の真実?」で「品格とは何か?」を問う。「日本運命」を訳した。他方、鳥羽洋子は「品格バカ」が多すぎる」と題して、「品格なくないで」と題して、皆さんは、現代社会に求められる品格をどのように考えますか?

図書館からのお知らせ

中央図書館でリサイクルブック市を開催しました

中央図書館第20回リサイクルブック市が、11月2日(土)生涯学習センター2階のグリーンスタジオにて「市川図書館友の会」の共催で開催されました。

当日は1,024人の方にご来場いただき、用意した19,960冊のうち15,183冊をお持ち帰りました。

リサイクルブック市は、図書館で使わなくなった本を無料で提供し、有効利用するために年に1回開催されています。

「市川図書館だより」は年4回の発行です。次回の発行は3月を予定しております。

市川図書館だより No.84

発行：市川市中央図書館 編集：広報委員会 〒272-0015 市川市亀高1-1-4 電話：047-320-3346

平成25年度図書館利用者アンケート実施報告

図書館では、平成25年度も、図書館の利用目的や利用した成果、満足度や要望などをアンケートにより1月24日、25日の両日、各図書館で調査いたしました。ここにアンケート結果の一部をご報告いたします。お寄せいただいたご意見につきましては今後の図書館運営に活かしてまいります。

アンケート結果

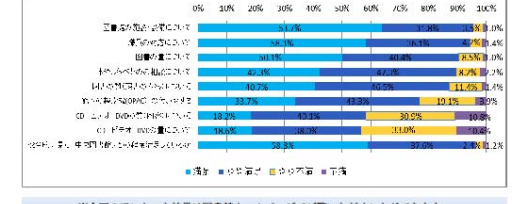
設問のひとつである、図書館を利用している総合的な満足度で中央図書館で「満足」と「やや満足」の合計で96.3%の満足度となりました。以下、行徳図書館で88.6%、信原図書館85.7%、南行徳図書館92.5%、平田図書館94.6%、全体では94.1%と、概ね高い回答を得ることができました。

また、職員への対応については全ての図書館で9割以上の満足度が得られました。

蔵書に 대해서는、中央図書館での満足度の高さに比較して地域図書館では低いものの、図書館を利用した成果として「探していた情報を知ることができた」「面白い本に触れて充実した時間が過ごせた」と感じている方が多数であり、地域に密着した図書館として概ね満足してご利用いただいているとの回答をいただきました。

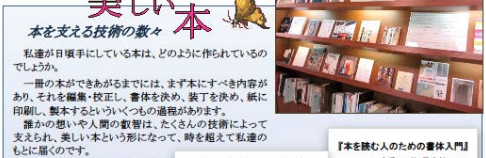
小規模の図書館でも、予約やホームページの利用などにより、中央図書館やほかの図書館の資料が利用できるという、より便利に図書館を利用する知識や、図書館を利用することで生活が豊かになることなど、今後PRしてまいりたいと思います。

中央図書館の満足度



※今回のアンケート結果は図書館ホームページでご覧いただくことができます。

美しい本



私達が日頃手にしている本は、どのように作られているのでしょうか。

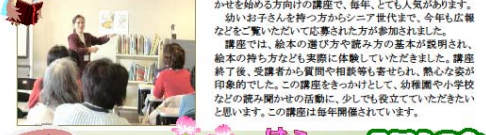
一冊の本ができるまでには、まず本にするべき内容があり、それを編集・校正し、書体を決め、装丁を決め、紙に印刷し、製本するという一連の流れがあります。

昔からの思いや人間の感性は、たくさんの技術によって支えられ、美しい本という形になって、時を超えて私達の手に届くのです。

【本づくりの歴史・非常識】
野村博幸/著 印刷学会出版部 2007
一冊の本をつくるために必要な工程は? 奥付印刷社で本づくりの歴史を学ぶ。印刷技術の発展、紙の進化、活字の進化、製本技術の進化、電子書籍に関する本や、愛書家のこだわりである蔵書票に関する本なども集めました。

本づくりに関する様々な技術や進化を知ること、本という美しい存在の新たな魅力を再確認し、本を手にする喜びを感じていただければ幸いです。

読み聞かせ講座を開催



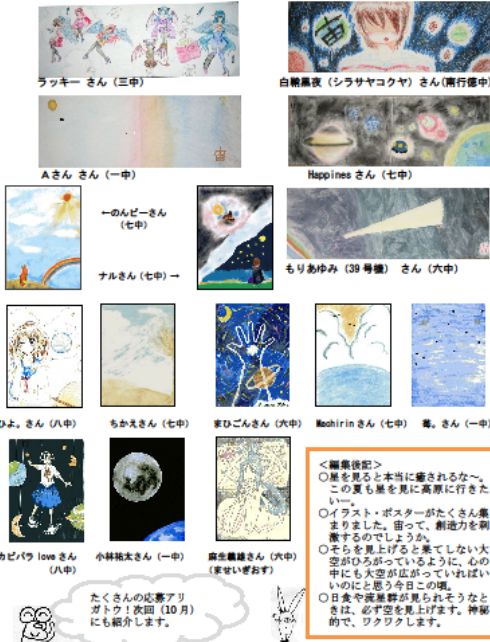
3月6日(木)、生涯学習センターの第3研修室を会場に、ことし上旬の職員を講師として「平成25年度読み聞かせ講座(初心者向け)」を開催いたしました。初めて、読み聞かせを始める方向けの講座で、毎年、とても人気があります。幼いお子さんを持つ方からシニア世代まで、今年も広範囲にご意見をいただきありがとうございました。

講座では、絵本の選び方や読み方の基本が説明され、絵本の持ち方なども実際に体験していただきました。講座終了後、受講者から質問や相談も寄せられ、熱心な方が印象的でした。この講座をきっかけとして、幼稚園や小学校などの読み聞かせの活動に、少しでも役立てていただきたいと思います。この講座は毎年開催されています。

【予約】平成26年4月26日(土)午後2時～ 会場：こととしよかん かつら広場
対象：3歳～小学生(未就学児は保護者同伴) 申込：事前申込なし 自由参加

「市川図書館だより」は年4回の発行です。次回の発行は6月を予定しております。

「宙」ポスター&イラスト展 市内中学生の皆さんが描いて下さいました。YAコーナーで展示中です。是非、ご覧ください。



ラッキーさん(三中)

白帆黒夜(シラサヤコクヤ)さん(南行徳中)

Aさんさん(一中)

Happinessさん(七中)

一のんピーさん(七中)
ナルさん(七中)

もりあゆみ(39号機)さん(六中)

ひよ.きん(八中)
ちかえさん(七中)

まひごんさん(六中) Washirinさん(七中) 霧.さん(一中)

カビバウ loveさん(八中)

小林祐太さん(一中)

高生観雄さん(六中)
(まきいざおす)

<編集後記>
 ○星を見ると本当に癒されるな〜。この星も星を見に高原に行きたい。
 ○イラスト・ポスターがたくさん集まりました。届って、創造力を刺激するのでしょうか。
 ○そらを見上げると果てしない大空がひろがっているように、心の中にも大空が広がってほしいのにとさう今日この頃。
 ○日食や流星群が見られそうなきは、必ず空を見上げます。神秘的で、ワクワクします。

たくさんのお返事がトウ! 次回(10月)にも紹介します。

発行:市川中央図書館 市川市夷高1-1-4 TEL047-320-3346
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/db/1050.html>

Young Adult 通信 vol. 65

平成 25年 7月

そら

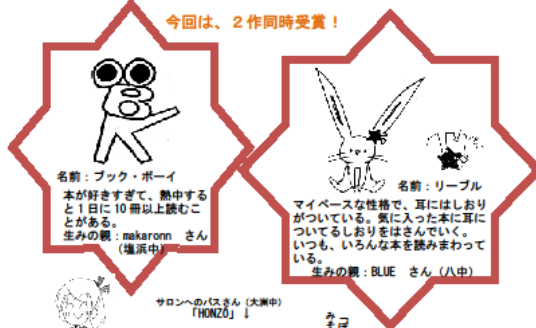
Young Adult 通信は中学生・高校生向けのお便りです

テーマ

「宙」

決定 25年度キャラクター大賞!

今回は、2作同時受賞!



名前:ブック・ボーイ
 本が好きすぎて、熱中すると1日に10冊以上読むことがある。
 生みの親:mekaronn さん(塩浜中)

名前:リーブル
 マイペースな性格で、耳にはしおりがついている。気に入った本に耳につけてしおりをはさんでいく。いつも、いろんな本を読みまわっている。
 生みの親:BLUE さん(八中)



サロンへのバスさん(大塚中)「HONZO」!

「しおり子」!もこ!?さん(三中)

「しおり」!ナギサさん(八中)

「しおり」!新井あゆみさん(八中)

「ドラ本」!かいそうさん(七中)

「ぼんぼん」!

「はなはな」!

「はなはな」!

「はなはな」!

「はなはな」!

「本太(本ッ太)」!江崎美菜さん(七中)

「はなはな」!

「はなはな」!

「はなはな」!

「はなはな」!

「はなはな」!

「はなはな」!

「青空のむこう」アレックス・シアラー/著
 金原瑞人/訳 求龍堂

主人公のハリーは、姉さんのエギーと大げんかをして自転車で出かけるが、交通事故にあい、そのまま死んでしまう。人はみんな、死んだあとには楽になるだろうと思うらしい。だけど、死んだ後の世界では、先に来ているたたくさんの大人たちにいろいろな意見を言われ、心休まることなんてない。ハリーにだってやり残したことがいっぱいいて、このまま「彼方の青い世界」に向かうことができない。ハリーはやり残したことができるのか、やり残したことができた後、彼はどこに向かうのだろうか。

「アンナの土星」
 益田ミリ/著 安藤和真/監修
 メディアファクトリー

14歳のアンナは、両親とお兄ちゃんの4人家族。アンナはごく普通の中学生で、部活はバスケット。学校生活は朝晩だけ、仲のよい友達もいてたまには恋の話もしたり…。でも、だんだんまわりの人間関係も複雑になって悩んだり、辛いこともあり楽しい事ばかりじゃない。そんなアンナは、毎晩のように屋上の望遠鏡で星を見ている天文おたくのお兄ちゃんが話してくれる、宇宙の話をきくのが好きだ。「なあ、アン。宇宙がはじまって百三十七億年と言われているんだけどね。一度だって同じ夜だったことがないんだ」お兄ちゃんの宇宙のいろいろな話はアンに癒しと発見を毎夜してくれるのだった。イラストレーター益田ミリの初小説。

「宇宙においてよ!」
 野口聡一/著 林公代/文
 植田知成/イラスト 講談社

無音の宇宙空間に浮かぶISS(国際宇宙ステーション)。船外活動の最終日に。そのてっぺんより登って見た地球は青く輝き、ゆっくりと回転をしながら、まるで地球という大海原を航海する船のマストの上に、自分が立っているようだった。ISSでの生活はもとより、ISSやスペースシャトルの仕組みだけではなく、野口さんの小さい頃の事、宇宙飛行士になるまでの訓練や試練、心構えなどが、わかりやすいイラストと共に書かれている。野口さんの「この経験がどうしても、伝えきれずにはいられない」という思いが伝わってくる宇宙案内記。



「星空に魅せられた男 間重富」
 鳴海風/作 高山ケンタ/画 くもん出版

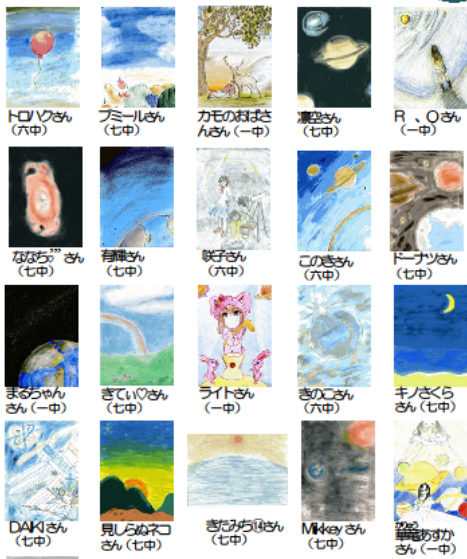
幼い頃から天文学に興味を持っていた大阪の質屋「十一屋」の主人、間重富は、天文暦学の私塾「先事館」に入門して、武士や学者の仲間とともに西洋天文学を学びます。そこで彼は、生涯の友、高橋至時に出会います。そして1763年(宝暦13年)、暦にはない部分日食が起こりました。日食の予報が外れるという事は、その暦は正確ではないということです。そこで、間重富は幕府の命を受け、高橋至時とともに新しい暦作りにも挑みます。これが後の「寛政の改暦」と言われる暦です。

「星をまく人」 キャサリン・バターソン/著
 岡本浜江/訳 ポプラ社

主人公のエンジェルは11歳の少女。父は刑務所に服役中。育児放棄気味の母を助け、幼い弟の世話をしていた。ある日、母に曾祖母の家に連れて行かれたが、母は姉弟を置いて出て行ってしまふ。それから次々と辛すぎる出来事がエンジェルに降りかかる。けれども、そんな状況の中、何万光年の光が届けてくれる星を眺め、その星の存在が彼女の絶望的な気分や不安を和らげてくれるのだった。困難にあっても一生懸命、ひたむきに生きていくエンジェルに、生きていく勇気をもらえる1冊。

エンジェルが読んだ一冊、『星の使者 ガリレオ ガリレイ』もオススメです。

「宙」イラスト展 PART2

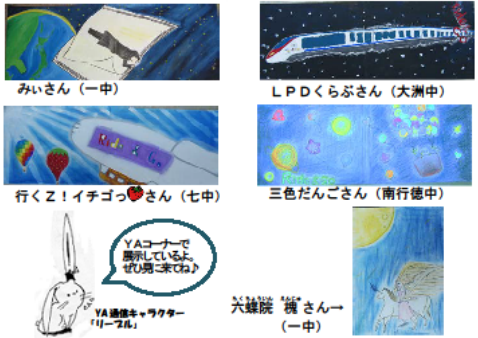


<編集後記>
 ○船は苦手けど小笠原に行ってみたい！
 ○飛行機苦手ですが、海外行きたいです〜。
 ○自力でドライブできるようにになりたいです☆
 ○お天気のいい日に自転車でお散歩したいですね〜。

発行：市川市中央図書館 市川市電高1-1-4 TEL047-320-3346
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/dh/1030.html>

Young Adult通信 vol. 66
 平成 25 年 10 月発行
 Young Adult 通信は中学生・高校生向けのお便りです
 Ride&Go

Ride&Go ポスター&イラスト展



YA通信イラスト大賞 佳作作品を紹介！PART2



くるくるコンパス

越谷 オサム/著 ホブブ社

中学3年のカズト、シンヤ、ユーイチは、転校した羽根部の仲間、佳織に会いに行く計画を立てる。修学旅行先の京都から抜け出して、バスや地下鉄などを乗り継いで佳織の住む大阪に行くのだ。

ちょっとした冒険のはずが、同じ班の女子に計画をばらされそうになったり、初めての土地で道に迷ったりと予想外の出来事が起こる。さらに、不良に路地裏で殴られたうえ、カメラとお金を盗られそうになるなどの散々な目もある。

この小さな冒険は、3人組の未来に大きな影響を与えるものだった。くるくるコンパス(方位磁石)のように、人生もほんの小さなきっかけや、たったひとつの経験で変わってくるもの、かもしれないよ。



おまけ

前号の特集「宙」が好評だったので、今回は宙に関する本を少しだけ紹介します。

- 「宇宙飛行士になる勉強法」 山崎 直子/著 中央公論新社
 - 「ドキュメント宇宙飛行士選抜試験」 大雄 良一 小原 健右/著 光文社
 - 「宇宙就職案内」 林 公代/著 筑摩書房
- 宇宙にあこがれるあなたにこの3冊を贈ります。宇宙の仕事といっても探検で、宇宙開発などの実態を知ることが将来の選択肢の礎になります。
- もちろん宇宙飛行士ってどんな試験？という、やじ馬のあなたが読んでも面白いです。宇宙飛行士とは特別な人ではなく、ちょっとした違いと情熱だということに気がかされるかもしれません。

レガッタ! 水をつかむ

濱野 京子/著 一瀬 礼九/画 講談社

有名進学女子高に入学した1年生の有里は強豪部に入部したが、伝統ある新人歓迎行事に行きそこねたことをきっかけに、他の部員たちから浮いてしまう。ぬるい友情なんて、いらない。つらく当たられるとつい意地を張りがちな有里だが、きつい陸上トレーニングにも音も上げず、ひたむきに練習に取り組む姿に、しだいに理解者が増えていく。仲間にならな、よけいな力みを取れたとき、本来の選手のパワーを発揮した有里のオールが水をつかんでいく。シリーズ全3巻。

トリガール! 中村 航/著 角川マガジンス 角川グループパブリッシング(発売)

鳥山ゆきなは、受験浪人をして唯一受かった工業大学で、人力飛行機を制作し鳥人間コンテストに参加するサークルに、巻き込まれるように入部する。メカニックには興味を持って、気軽な気持ちでパイロット班に所属した。ところが、先輩の事故により、急速パイロットとしてコンテストの出場を迫られる。しかも相手は、2年前のフライトを失敗し、そのトラウマを抱えた伝説の男だ。人力飛行機のパイロットは機体のエンジンそのもの。ひたすらペダルを漕ぎ続け、出力を上げていく。自分が飛ぶためのかどうかさわからないゆきなだったが、皆の思いを受けてトレーニングを続けるうちに、迷うよりもその先にあるものを探してたひたすら漕ぎ続けようとする。そして本番がやってきた。全員の方で一秒でも長く空を飛ぶんだ!



66号特集
 Ride & Go
 コン・ティキ号探検記

トル・ヘイエルダール/著 水口 志計夫/訳 河出書房新社

人類学者であるトル・ヘイエルダールが、「ポリネシア人の祖先は、南米から海を渡って移民してきた」という自分の学説を証明するために、当時の機を再現して太平洋横断に挑戦する冒険物語。一緒に挑戦するのは、ヘルマン、エリック、クヌート、トルステイン、ベンクトの5人の仲間。後の名前は、古代インカの英雄である「太陽のティキ」こと「コン・ティキ号」。

原始的な機を作ることから始まり、ベルーから航海に出発。無謀とも思える航海の中、次々と降りかかる試練を乗り越えていく。主人公たちの命をかけた大冒険を生き生きと描いた長編だが、挑戦することの大切さを感じさせる作品である。

「本のぽけっと」(第26号)

平成25年7月 第26号
本のぽけっと
1・2年生に
おすすめの本
市川市立図書館

キュッパのはくぶつかん
オースル・カンスタ・ヨンセン/さく ひだれいこ/やく 福音館書店
キュッパはもりにすむ、まるたのおこのこです。キュッパのたのしみは、もりで、はっぱやいしの、おもしろいものをひろいあつめることです。あつめたものは、ぜんぶゆかにひろげてから、ひとつずつせりりしていきます。ところがそのうち、あつめたものをしまわばしょがなくなっていました。こまったキュッパは、ものしりのおばあちゃんに、どうすればいいかそうだんします。すると、おばあちゃんは、「おまえもはくぶつかんをつくってみたらどうだい?」といいました。そこでキュッパは、じぶんだけのはくぶつかんづくりにもちようせんすることにしたのです。

中をそうぞうしてみよ
なか どうなっているのかな? 佐藤健二/ユウフラテス/作 福音館書店
ひょうしんのすのしゃんをみてみよう。このすにはたくさんのかぎがつかわれているんだって。いったいなんぼんささているのかな。「エックスせんしゃん」でみると、ふつものしゃんではみえない甲がすけてみえるよ。たとえば、ぶたのちよきんばこの中には、コインがたまっているのがみえる。ほかにあかあおえんぴつ、ボールペンなどのいろいろな「エックスせんしゃん」がある。まずはふつものしゃんをみて、中をそうぞうしてみよう。

トミーは大いそぎ
おおい トミーは、まどからおつかいのおこの子がじてんしゃではしつてくるのを見ていました。すると、じてんしゃは、木にぶつかってこわれてしまいました。おとこの子は、笑いそぎでしちようさんとどけるだじなてがみもっていたのです。トミーは、「はくがとどけてあげよう」といって、てがみうけると、いそいでかかれました。バスにとびのり、つぎにぎゆうにゆうはいたつくるまに、トラックにものって、しちようさんのいえまきました。ところが、しちようさんはたつたいま、くるまでおでかけしたところでした。トミーは笑いそぎで、おいかけます。

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/d0104.html>

本のぽけっと 第26号

ふらいばんじいさん 神楽利子/作 葛岡隆二/絵 あかね書房
ふらいばんじいさんは、たまごをやくのがだいすきです。いつもこどもたちのために、きんいろのおひさんのようなめだまきやいていました。ところが、おくさんがあたらしいなべをかかってきたので、もうたまごをやかせてもえません。そこでじいさんはたびにでて、ひろいよなかで、なにかやれることをさがすことにしました。じゃんぐるや、さばくや、おおきなうみで、たくさんのどうぶつたちとであいます。そして、ながいながいたびのおわりに、じいさんはすばらしいごとをみつめました。

はじめてのおてっだい
ジャネット・マクナイル/作 佐藤正子/訳 福音館書店
メアリーは、かぜをひいた次おふさんのかわりに、ひとりでかいものにいくことになりました。雨がふりだしたのでかきもっていくようにいわれましたが、かきもつのはいやです。そのかきは、えのさきが、ながいくちばがついたあひるの頭のかたちにくずってあつてうんざりです。でも、あひるの頭のかきは、お店のかいものをたすけてくれたり、どろんこのみちにおちそうな手紙をくわえてくれました。この本には、ほかにマジという女の子が、おとなりておてっだいをするおはなしがはっています。

「本のぽけっと」は、図書館から小学生のみなさんにおすすめしている本のリストです。年に2回、最新号と基本版を各市立小学校に配布、市立図書館、関連施設でも配布しているほか、バックナンバーはホームページでもご覧いただけます。また、ここで紹介している本は市川市の図書館で借りることができます。
中央図書館 平田図書室 自動車図書館 行徳図書館 信篤図書館 南行徳図書館 市川駅南口図書館

平成25年7月 第26号
本のぽけっと
3・4年生に
おすすめの本
市川市立図書館

ピトゥスの動物園
どうぶつえん 新緑の星だちをたすけよう
サブステイア・スリバス/著 宇崎祐美/訳 スギヤマカナヨ/絵 あすなろ書房
スペインのバルセロナに、なかしら6人組の男の子がいました。その中の一人、人なつこくて町の人気者であるピトゥスが難病にかかってしまいました。病気をなおすには、遠くのえらい先生のところに行くしかありません。そのためにはたくさんのお金が必要です。しっかり者のリーダー、タネットは、以前にみんなでいった動物園が楽しかったことを思い出しました。そこで、自分たちで1日だけの動物園をつくってお金を集めようとなかまに提案します。実行委員会をつくり、町じゅうの子どもたちにもよびかけました。集合した53人が動物班・ボスター班・会場班にわかれ、動物園づくりが始まります。

いたずらおばあさん 斎藤芳子/作 幸島宏子/絵 フレーベル館
えらい発明家エラババ先生は84歳です。1まい着ると、1歳わくなるという透明の服を発明しました。この発明は、先生と68歳の弟のヒヨコさんだけのひみつです。ある日、この服をエラババ先生は76まい、ヒヨコさんは60まい着ました。すると二人はたちまち8歳の女の子になったのです。そして、「夢見る少女の会」のしつたいなおばさんたちを公園の芸術作品の展覧会に連れてはじをかせたり、デザートで子どもしか注文できないパンダ館のプリンとピエロの顔のアイスクリームがついたおやつセットを食べて、あちこちでいろいろないたずらをして、大に楽しみます。

小さなバイキングピッケ
ルネ・ユンソン/作 エヴゲット・カールソン/絵 石濱利雄/訳 評論社
ピッケはバイキングです。でもぜんぜんバイキングらしくありません。ほかのバイキングや親のハルバル父さんのようには、勇ましくない力もないです。ただピッケは頭で勝負します。ハルバル父さんと石はこび競争をしたときも、神童といっしょに大きな落とし穴に落とされてしまったときも、とびきりの知恵でたちまち切りぬけます。ちよつと勝負だけど、頭の回転が速くてやさしいピッケが、お父さんや仲間たちといっしょに冒険の旅に出かけて活やくします。ほかにシリーズが4冊あります。

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/d0104.html>

本のぽけっと 第26号

お笑い一番星
お笑い一番星
佐藤正子/作 種井砂を美/絵 くもん出版
ひっこみじんの4年生のトシオのお笑い芸人になること、大好きな芸人ヒルショーのステージを見にい、夢じ夢を持つトビ太と知り合う。そしてコンビを組み練習をして、お笑い養成学校の入学試験コンテストを受けることになった。コンテストは、早口でつばしっているうちにネタ見せが終わってしまったが、なんとか合格、養成学校に入学できた。そして、ネタづくりに歌にダンスにと、大変だけど本気のレッスンが毎日が始まった。そんなある日、トシオの小学校で楽しいバトルがおこなわれることになった。最初はのり気なかったトビ太も、練習のつもりで出場することにさんざんしていた。さあ、お笑い一番星をめざしてがんばるぞ。

月へ アポロ11号のはるかなる旅
はるか 38万4000キロメートルの旅
ブライアン・フロッカー/作 藤 昌華/訳 朝日新聞社
1969年7月、3人の男たちが宇宙船アポロ11号に乗って宇宙へ飛びだしていった。これまでだれもいかなかったことのない、寒くて冷たい未知の土地へ旅した。3人の宇宙飛行士ニール・阿姆斯特朗、マイケル・コリンズ、バズ・オールドリンは、世界中の人びとがテレビで見守るなか、人類初の月面着陸を果たした。かざられた瞬間と燃料での危険な任務であった。阿姆斯特朗たちは、たくさんの写真を撮り、月の石や土を持って、地球に帰還してきたのだ。ロケット打ち上げから地球にもどるまでの様子が、くわしい絵とわかりやすい文でかかれた本。

「本のぽけっと」は、図書館から小学生のみなさんにおすすめしている本のリストです。年に2回、最新号と基本版を各市立小学校に配布、市立図書館、関連施設でも配布しているほか、バックナンバーはホームページでもご覧いただけます。また、ここで紹介している本は市川市の図書館で借りることができます。
中央図書館 平田図書室 自動車図書館 行徳図書館 信篤図書館 南行徳図書館 市川駅南口図書館

本のぼけっと

平成28年7月 第24号

5・6年生に
おすすめする本

市川市立図書館

二丁目の犬小屋盗難事件

夏休みだけ探偵団



オレは和声。ワトソンとよばれている。夏休みのある日、夏の友だちの飛田達「トン」が、犬小屋が盗まれたと言う。よく聞くと、トンの家がある二丁目では犬小屋が合計4つ盗まれたそうだ。そこで、オレと同じクラスで「夏休みだけ探偵団」を結成している双子姉妹、芽と麗に調査をたのんだ。その後、オレとトンも団員になって調べているうちに、この二丁目では宝石盗難事件も発生していることがわかった。もしかすると、宝石は犬小屋にかくされていたのだろうか？

子ども文様ずかん

小学館 / 著 小学社

敵は、平安時代から伝わる日本の美しい「かたち」です。私たちの祖先は、動物や草花、天気などの身近な四季の自然を「かたち」にして、きもの文様に描き、平和な暮らしや慶事をいのちの気持ちをこめました。かき氷の旗に描かれている波とたわむれて飛ぶちどりや、ラーメン丼のぐるぐる模様も人も自然のいのちを表現しています。文様には、ひとつひとつに意味があり、物語がいつまでもつづいているのです。

後ろのページに型紙がついているので、江戸時代の子どもたちが遊んだように、紙を折って型紙のとおりに切り抜くと敵ができる「もんきりあそび」が楽しめます。

ピートのスケートレース

第二次世界大戦下のオランダで



戦争によりドイツに占領されたオランダで、10歳の少年ピートはスケートに夢中だ。「エルフステudentホト」という世界屈指のスケートレースに出ることが将来の目標で、強くて勇敢なスケーターになりたいと思っていた。

ある冬の日、ピートの1学年下の少女ヨハンナの父親がドイツ軍に連行された。ヨハンナとその弟にも危険がせまっていた。そこで、二人は16キロ先のベルギーのおばあさんの家へ逃げることに。ピートは裏切者をまかされた。ドイツ兵の目をまかすため、遊んでいるふりしながら、凍った運河を必死にスケートですべて行くことになったのだ。

<http://www.city.schikawa.lg.jp/library/db/1014.html>

本のぼけっと 第24号

オオサンショウウオの夏

角田夏見 / 著 かみやしん / 絵 校成出版社



夏休み、小学4年生のユウスケはお父さんといっしょに広島のおじいちゃんの家に出かけた。おじいちゃんとお父さんは釣りを楽しんでいるが、釣りに全然興味がないユウスケはゲームさんま。

ある夜、ユウスケが一人で散歩していると、川にふしぎな少年がいるのを見つけた。少年は川の中を歩き、カジカ釣りをしているのだった。ユウスケは、その少年と初めて食べたと思えないほど仲良くなって、釣りを教えてもらい夢中になる。そんなある日、トモに秘密の場所を案内され、家族にないしよで天然記念物のオオサンショウウオをねらうのだった。オオサンショウウオはつかまえられるのか。そして、コンピュータゲーム機を知らないというトモは、いったい誰なのだろうか。



1/12の冒険

マリアン・マロン / 作 橋本重 / 訳 ほるが出版

ある日、ルーシーとジャックは学校の社会科見学でシカゴ美術館に行った。そこには「ソーン・ミニチュアールーム」が展示されている。68部屋もあるミニチュアールームはすべて実物の十二分の一で作られ、細部まで完璧に、豪華に再現されているのだ。ジャックは偶然にもミニチュアールームの裏で金色に輝く鍵を手に入れた。しかし、それは触れると、体が縮んでしまう魔法の鍵であった。そのことに気づいた二人はある晩、夜の美術館にしのびこみミニチュアールームの部屋を冒険する。

続編に「1/12の冒険2 消えた鍵の謎」もあります。



「本のぼけっと」は、図書館から小学生のみなさんにおすすめしている本のリストです。

年に2回、最新号と基本版を各市立小学校に配布、市立図書館、関連施設でも配布しているほか、

バックナンバーはホームページでもご覧いただけます。また、ここで紹介している本は市川市の図書館で

かりることができます。

中央図書館 平田図書室 自動車図書館 行徳図書館 信篤図書館 南行徳図書館 市川駅南口図書館

「よんであげたいえほん」

どうぶつのごもたち

小森厚／ぶん 数内正幸／え
福音館書店



きりんのこどもたちは、きょうそうしてあそびます。ぞうのこどもたちは、はなをからませてあそびます。他の動物のこどもたちは、どんな遊びをしているのかな。

ちいさなうさこちゃん

ディック・ブルーナ／ぶん・え
いしいもこ／やく
福音館書店



ふわふわさんとふわおくさんに、あかちゃんが出来ました。うさこちゃんと名づけられた赤ちゃんのお祝いに動物達が次々とやってきましたが…。

どんどこもんちゃん

とよたかずひこ／さく・え 童心社



どんどこ どんどこ どんどこ どんどこ。ももんちゃんが急いでいます。くまさんとおせんぼされてもなんのその。ももんちゃん、そんなに急いでどこ行くの？

わらべうたってなにかな？

わらべうたとは、こどもに大人が遊んであげる昔からの遊びです。市川市の小さい子向けの絵本の会では、色々なわらべうたを紹介しています。お母さんやお父さんの腕の中やおひざの上で歌いながら、子どもの笑顔がほほえみます。体をつかった遊びやわらべうたでスキンシップをしながら、親子で楽しくすごすのは、とても大切な時間です。

さよなら あんころもち



手でおだんごをつくるまねをしながら、「さよなら あんころもち またきなこ」とうたいます。さよならのわらべうたです。

「にほんのわらべうた①～④」

近藤信子／著 柳生弦一郎／著 福音館書店
「あかちゃんとお母さんのあそびうたえほん」
小林衛色子／編 犬島妙子／絵 のら書店
「もちっこやいて」
やぎゆうげんいちろう／さく 福音館書店
「みんなであそぶわらべうた」
近藤信子／編・遊び方指導 梶山俊夫／絵 福音館書店

☆ここで紹介している本は、市川市の図書館で借りることができます。

平成26年3月発行
編集・発行 市川市中央図書館 こどもとしょかん
〒272-0015 市川市堤高1丁目1番4号
TEL 047(320)3346

よんであげたいえほん

0～2才



いないいないばあ

松谷みよ子／文 瀬川康男／え
童心社



いない、いない、ばあ。にやあにやが、くまちゃん、いない、いない、ばあ。赤ちゃんとコミュニケーションにぴったりな1冊です。

くだもの

岸山和子／さく
福音館書店



ももぶどうなしりんご。おいしそうな果物の絵本です。「さあどうぞ」と読んでいると、子ども達が思わず本物とまちがえ手をのぼしてしまうほど写実的な絵です。

おつきさまこんばんは

林明子／さく
福音館書店



夜になったら、まんまるいおつきさまが「こんばんは」と顔をだしたよ。でも、雲がおつきさまをかきしめちゃった。あつ、笑顔のおつきさまがでてきたよ。あかちゃんもにっこりする絵本です。

がたんごとんがたんごとんざぶんざぶん

安西水丸／さく
福音館書店



がたんごとんがたんごとん 乗せてください。電車にのって、ぼうしやビーチボールはいったいどこにいくのかな？ざぶん。海に到着～す。

うずらちゃんのかくれんぼ

きもともこ／さく 福音館書店



うずらちゃんと、ひよこちゃんがかくれんぼをはじめました。「じゃんけんぼん！」うずらちゃんのかち！最初はうずらちゃんがかくれます。さてさて、どこにかくれたかな。

ももこもこ

谷川俊太郎／作
元永室正／絵 文研出版



ももここ によきによき。なんだか不思議な言葉のリズムとカラフルな色が子どもの五感に響きます。乳幼児から小学生まで幅広く楽しめる絵本です。

ねないこだれだ

せなけいこ／さく・え
福音館書店



とけいになります、ボンボン。こんな時間におきているのはだれだ？ねないこはおばけにされて、お空につれていられるぞー。

しろくまちゃんのほっとけーき

わかやまけん／え こぐま社



ぼたあん びちびち ぶつ ぶつ べたん。しろくまちゃんがおかあさんと、フライパンでホットケーキを焼いています。さあ、おいしくできたかな。

ありのあち

つちはしとしこ／さく
福音館書店



とってもいいにおいに つられたあちは、バナナのすべりだいでつるつる遊んで、お煎餅やビスケットをつまみぐい。こんどはしゅうしゅうと音のする方に近づいたら…。

びよーん

まつおかたつひで／作・絵
ポプラ社



かえるが…びよーん。こねこが…びよーん。いろいろな動物がジャンプするかな。さあ、みんなでびよーん。

こぎつねキッコ

松野正子/文 桃山俊夫/絵 童心社



幼稚園の裏山に、こぎつねキッコがあさんとすんでいました。子ども達がいない夏休み、キッコは幼稚園へ行ってぶらんこに乗ります。前から乗ってみたいって思っていたのです。

やさいのおなか

きうちかつ/さく・え 福音館書店



二つに割った、いろいろなやさいの断面が出てきます。ねぎやれんこん、きゅうりにトマト。何のやさいのおなかか、あてっこをしてみましょう。

あおくんときいろちゃん

レオ・レオニ/作 藤田圭雄/訳 至光社



あおくんが一番の仲良しは、きいろちゃん。ある日お留守番をしていたあおくんは、きいろちゃんと遊びたくなりました。まちかどであった二人は、うれしくてうれしくて…。

おすすめの かかぐのほん

しろいかみのサーカス

たにうちつねお/さく 福音館書店
いちかわかつひろ/しゃしん 福音館書店



切ったり折ったり、まるめたり。重ねたり、のっけてみたり。白い紙が一枚あれば、色々な遊びができるんです。試してみたくなる科学の絵本です。

こんな本もあります

おなら

長新太/さく 福音館書店

よもぎだんご

さとうわきこ/さく 福音館書店

ふゆめがっしょうだん

福成忠夫、茂木透/写真 長新太/文 福音館書店

ベッドのしたにはなにがある？

マイク・マニング/さく
ブライタ・グラントローム/さく
せなあいこ/やく 評論社

☆ここで紹介している本は、市川市の図書館で借りることができます。

平成26年3月発行
編集・発行 市川市中央図書館 こどもとしよかん
〒272-0015 市川市鬼高1丁目1番4号
TEL 047(320)3346

よんであげたい えほん

3・4才



おおきなかぶ

A.トルストイ/再話 内田莉莎子/訳
佐藤忠良/絵 福音館書店



おじいさんがかぶをうえました。あまい、げんきのよい、とてつもなくおおきなかぶができました。うんとこしょ、どっこいしょ。かけ声が楽しい昔話絵本です。

三びきのやぎのらがらどん

マーシャ・ブラウン/え せたていじ/やく 福音館書店



むかし三びきのやぎがいました。名前は何れもがらがらどん。草薺へいこうと山へのぼりますが、途中の橋の下にきみのわるいトロールが住んでいます。

ぐりとぐら

中川幸枝子/さく 天料百合子/え 福音館書店



のねずみのぐりとぐらは、森の中でとても大きなたまごを見つけました。ふたりはかすてらをつくらうと、材料や道具を準備します。

はらぺこあおむし

エリック=カール/さく もりひさし/やく 偕成社



ある朝、たまごからちっほけなあおむしが生まれました。おなががぺこぺこのあおむしは、食べるものを探します。月曜日はりんご一つ、火曜日はなしを二つ。水曜日は…。

パンやのくまさん

フィービとセルビ・ウォージントン/さく・え まさきりこ/やく 福音館書店



くまさんは朝早く起きると、かまどに火を入れてお茶を飲みます。これからパンやケーキをやいて、車で売りに行くのです。そのあとはお店番。パンやのくまさんの1日のお話です。

ちびゴリラのちびちび

ルース・ボーンスタイン/さく いわたみみ/やく ほんぶ出版



ちびゴリラのちびちびは、森の人気者です。ある日ちびちびに、大変な事がおこります。小さなちびちびが、大きくなりはじめたのです！

なにをたべてきたの？

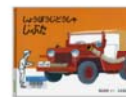
岸田裕子/文 長野博一/絵 佼成出版社



おながが空いたしろぶたくんは、なにかを食べに出かけます。まずは、おいしそうなきれいなりんご。食べた後のしろぶたくんのおなかは、どうなってるのかな？

しょうぼうじどうしゃじぶた

渡辺茂男/さく 山本忠男/え 福音館書店



ある町に、ちびっこ消防車のじぶたがいました。じぶたは、自分が小さいことを気にしていました。ある日、消防署の電話がりりりりりーんとなりました。山小屋が火事です！

ぞらまめくんのベッド

なかやみわ/さく・え 福音館書店



ぞらまめくんは、すてきなふわふわのベッドを持っています。みんなうらやましているのですが、ぞらまめくんは貸してあげません。そんなある日、ベッドがなくなってしまいます。

すてきな三にんぐみ

トミー・アンゲラー/さく いまえよしと/やく



黒マントに黒いぼうしの三人組。ある夜、いつものようにどろぼうしようと馬車を止めます。ところが、乗っていたのは、ひとりぼっちのティファニーちゃんだけでした。

おおきなカエルティダリク

加藤チャコ／再話・絵 福音館書店



かんかん照りが続いて残り少なくなった池や川の水を、大きなカエルティダリクが飲み干してしまい、他の動物達は大弱り。ティダリクを笑わせたなら水をふきだすかも、とおかしな芸をしますが・・・

おふろだいすき

松岡享子／作 林明子／絵 福音館書店



まこちゃんは、おふろが大好きな男の子です。ある日、いつものおふろの底から動物がでてきました。ペンギン、かめ、オットセイ、かば、くじら。みんなおふろが大好きです。

こぎつねコンとこだぬきボン

松野正子／文 二俣英五郎／画 童心社



つばき山のこぎつねコンとすぎのき山のこだぬきボンは、家族仲良く暮らしています。偶然出会った2人は友達になろうとしましたが、親に反対されてしまいます。2人はそれぞれ親に化け方を教わりますが・・・

おすすめの かかくのほん

たんぼぼ

ひらやまかずこ 平山和子／ぶん・え 北村四郎／監修 福音館書店



身近な花、たんぼぼの生態のしくみを学び、不思議さを発見できる本です。実物大に描かれた地面の下の根っこ
の迫力には驚かされます。

こんな本もあります

●ピーナッツなんきんまめらっかせい

こうやすずむ／文 中島陸子／絵 福音館書店

●よわいかみつよいかたち

かこさとし／著・絵 童心社

●絵巻えほん 川

前川かずお／著 ぐくま社

●はなのあなのはなし

やぎゆうげんいちろう／さく 福音館書店

☆ここで紹介している本は、市川市の図書館でかりることができます。

平成26年3月発行
編集・発行 市川市中央図書館 こどもとしょかん
〒272-0015 市川市鬼高1丁目1番4号
TEL 047(320)3346

よんであげたい えほん

5・6才



ねえ、どれがいい？ 新版

ジョン・バーニンガム作 まつかわまゆみ／やく 評論社



どれにならおいかけられてもいい？かに、牛、ライオン。おおかみ。ねえ、どれがいい？いろいろな場面を設定して子どもに問いかける、楽しく笑える絵本。

おおかみと七ひきのごやぎ グリム童話

フェリクス・ホフマン／え せたていじ／やく 福音館書店



おおかみはお母さんやぎの留守中に七ひきのごやぎをだまして丸飲みしてしまいました。けれども隠れていたごやぎが、お母さんやぎと一緒におおかみのお腹をはさみで切って・・・

ももたろう

まついただし／ぶん あかばすえきち／え 福音館書店



昔、おじいさんとおばあさんが、川に流れてきた桃を拾うと、中から元気な男の子がでてきました。名前はももたろう。大きくなったももたろうは動物達と鬼退治にむかいます。

だいくとおにろく

松居直／再話 赤羽末吉／画 福音館書店



とても大きな、流れるはやい川に橋を架けることを頼まれた大工は、どうしたらよいか困っていた。すると鬼が、橋をかけてやるかわりに目玉をよこせという。ユーモラスいっばいの昔話絵本。

まあちゃんのながいかみ

たかどのほうこ／さく 福音館書店



まあちゃんの髪はおかつぱです。まあちゃんは、「もっともつとばすんだから」といいました。のびた髪の毛で、あら不思議。魚を釣ったり、洗濯物も干したりできるんだよ！

どろぼうがっこう

加古里子／絵と文 偕成社



まぬけな校長先生とまぬけな生徒達がくりひろげるおかしなどろぼう学校のお話です。ある真夜中、先生とみんなは遠足にでかけ、大きな建物にしのごびます・・・

11びきのねこ

鳥場のぼる／著 ぐくま社



11びきのはらべこのねこたちが、山の向こうの湖の怪物みたいな魚をつかまえにく物語。どんな大きな怪物だって、みんなで力を合わせればつかまえられるぞ。

おちやのじかんにきたとら

ジュディス・カー／作 晴海耕平／訳 児童館出版



「おちやのじかんにごいっしょさせていただけませんか」と、おなかをすかせた大きなとらがやってきました。とらはお菓子やサンドイッチだけでは足りなくて、家中の食べ物を食べつくしてしまいました。

ラチどらいおん

マレーク・ペロニカ／ぶん・え とくながやすとも／やく 福音館書店



ラチは世界中で、一番弱虫な男の子です。大すきなおんのお絵を見て、「ほくにこんならいおんがいたら、なんにもこわくないんだけどなあ」と思っていました。

もりのなか

マリー・ホール・エッツ／ぶん・え まさきりこ／やく 福音館書店



紙の帽子をかぶり、ラッパを持って森へ散歩に出かけた男の子。ラッパの音をきいて、ライオン、ゾウ、クマ、カンガルー、コウノトリ、サル、ウサギが次々と散歩の仲間になります。

11. 新聞・雑誌一覧

(1) 購入雑誌一覧

平成26年7月1日現在

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦の下2桁)
アイ	Eye-Ai [英語]	リバーフィールド社	月刊	③							イ-5	毎月 1日	13年4月号で中止
アイ	愛犬の友	誠文堂新光社	隔月刊	①							ウ-4	偶月 25日	
アイ	アイデア	誠文堂新光社	隔月刊	⑤							キ-1	偶月 10日	
アイ	AERA	朝日新聞社	週刊	③		①					ア-2	毎週月曜日	
アイ	AERA with Kids	朝日新聞社	季刊	③							イ-1	3・6・9・12月5日	
アイ	AERA with Baby	朝日新聞社	隔月刊	③							イ-1	奇月 15日	
アキ	アクセス	地方小出版流通センター	月刊	①							ア-1	毎月 1日	
アコ	あごら	あごら	不定期							◎		不定期	12年9月号で休刊
アサ	アサヒカメラ	朝日新聞社	月刊	◎		③					ウ-2	毎月 20日	
アス	アスキー・ドットPC	アスキー・メディアワークス	月刊			①						毎月 24日	「アスキーPC」へ変更
アス	アスキーPC	アスキー・メディアワークス	月刊			①						毎月 24日	13年8月号で休刊
アス	明日の友	婦人之友社	隔月刊						③			偶月 5日	
アニ	アニメージュ	徳間書店	月刊	③							エ-1	毎月 10日	
アネ	Ane Can	小学館	月刊						②			毎月 7日	
アン	an'an	マガジンハウス	週刊	①		①					ア-3	毎週水曜日	
アン	&Premium	マガジンハウス	月刊	①							ア-3	毎月 20日	
アン	アントレ	リクルート	季刊	①							カ-2	3・6・9・12月27日	
イキ	いきいき	ユーリীগ	月刊	①							ア-3	毎月 10日	
イロ	NHK囲碁講座	NHK出版	月刊		①							毎月 16日	
イツ	一個人	KKベストセラーズ	月刊					①				毎月 26日	
イナ	いなか暮らしの本	宝島社	月刊	⑤							ア-5	毎月 3日	
イン	ENGLISH JOURNAL	アルク	月刊	①							エ-2	毎月 6日	13年4月号で中止
ウア	25' ans	ハースト婦人画報社	月刊	①							ア-4	毎月 28日	
ウイ	We	フェミックス	隔月刊							◎		偶月 10日	
ウイ	with	講談社	月刊					①				毎月 28日	
ウイ	ウイメンズブックス	ウイメンズブックストアゆう	季刊							◎	ア-1	2・5・8・11月25日	06年3月号で休刊
ウイ	We learn	日本女性学習財団	月刊							◎		毎月 1日	
ウィ	WiLL(月刊ウィル)	ワック出版	月刊	③							ア-2	毎月 26日	
ウエ	WEDGE(ウェッジ)	ウェッジ	月刊						③			毎月 20日	
ウエ	VERY(ヴェリイ)	光文社	月刊	①		①		①			ア-3	毎月 7日	
ウオ	VoCE(ヴォーチェ)	講談社	月刊	①							ア-3	毎月 23日	
ウツ	潮	潮出版社	月刊	③							ア-2	毎月 5日	
ウツ	美しいキモノ	ハースト婦人画報社	季刊	③		③					ア-4	2・5・8・11月20日	
エイ	HR(エイチアール)	グラフィティ	隔月刊	①							エ-1	偶月 10日	
エイ	栄養と料理	女子栄養大学出版部	月刊	③		①			②		ア-5	毎月 9日	
エキ	Expert Nurse	照林社	月刊						⑤			毎月 20日	
イク	eclat(エクラ)	集英社	月刊						②			毎月 1日	
エコ	エコノミスト	毎日新聞社	週刊	③			①				カ-1	毎週月曜日	
エコ	The Economist [英語]	輸入元:OCS	週刊	③							イ-5	毎週土曜日	
イス	SFマガジン	早川書房	月刊	◎							ウ-6	毎月 25日	
イス	Esquire [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 28日	
エド	edu(エドュー)	小学館	月刊		①			①				毎月 18日	
エッ	ESSE	フジテレビジョン	月刊	①			①	①			ア-4	毎月 7日	
エム	MJ無線と実験	誠文堂新光社	月刊	①							ウ-3	毎月 10日	
エル	ELLE DÉCOR	ハースト婦人画報社	隔月刊			③			②			奇月 7日	
エン	園芸ガイド	主婦の友社	季刊	⑤							ウ-2	3・5・9・12月8日	
エン	演劇界	演劇出版社	月刊	◎							イ-2	毎月 5日	
オオ	おおきなポケット	福音館書店	月刊	③							子供	毎月 3日	11年3月号で休刊
オカ	月刊お母さん業界新聞	トランタンネットワーク	月刊							③		毎月 1日	13年3月8日号で中止
オン	おしゃれ工房	NHK出版	月刊	③							ア-4	毎月 21日	10年3月号で休刊
オズ	oz magazine	スターツ出版	月刊	①		①	①				ア-3	毎月 12日	
オソ	おそい・はやい・ひくい・たかい	ジャパンマシニスト社	隔月刊	◎		③					オ-1	奇月 25日	
オト	男の隠れ家	三栄書房	月刊	①							ア-4	毎月 27日	
オト	おとなの週末	講談社	月刊		①	①						毎月 15日	
オム	OHM	オーム社	月刊	③							キ-3	毎月 5日	
オル	オール投資	東洋経済新報社	月2回	①							カ-2	第1・3月曜日	12年10月15日号で休刊
オル	オール読物	文藝春秋	月刊	◎	①	①	①	①			ウ-6	毎月 22日	
オレンジ	オレンジページ	オレンジページ	月2回	①	①	①		①			ア-5	毎月2・17日	
オン	音楽の友	音楽之友社	月刊	③		③					ウ-5	毎月 18日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦の下2桁)
オン	女も男も	労働教育センター	年2回							◎		5・12月25日	12年120号で中止
カイ	会社四季報	東洋経済新報社	季刊	⑤							図書	3・6・9・12月中旬	09年より図書登録
カイ	会社四季報未上場会社版	東洋経済新報社	年2回	⑤							図書	3・9月下旬	09年より図書登録
カカ	化学	化学同人	月刊	③							キ-3	毎月 18日	
カカ	科学	岩波書店	月刊	③							ク-2	毎月 28日	
カカ	化学と工業	日本化学会	月刊	⑤							キ-3	毎月 1日	13年3月号で中止
カカ	かがくのとも	福音館書店	月刊	◎		◎	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
カク	岳人	東京新聞出版局	月刊	③							イ-3	毎月 15日	
カサ	casa BRUTUS	マガジンハウス	月刊	③							ア-5	毎月 10日	
カク	かぞくのじかん	婦人之友社	季刊	③	②	③					イ-1	3・6・9・12月5日	
カク	学校図書館	全国学校図書館協議会	月刊	◎							ア-1	毎月 7日	
カク	CUT(カット)	ロッキング・オン	月刊				①					毎月 19日	
カツ	活字倶楽部	雑草社	季刊	⑤							イ-1	1・4・7・10月25日	「かつくら」へ変更
カツ	かつくら	新紀元社	季刊	⑤							イ-1	1・4・7・10月25日	13年春号より図書登録
カヘ	家庭画報	世界文化社	月刊	③		①					ア-3	毎月 1日	
カハ	ガバナンス	ぎょうせい	月刊	③							オ-3	毎月 1日	
カハ	からだの科学	日本評論社	季刊						③			3・6・9・12月27日	13年夏号no.278で休刊
カン	考える人	新潮社	季刊	③							イ-3	1・4・7・10月4日	
カン	環境と公害	岩波書店	季刊	◎							キ-3	1・4・7・10月25日	
カン	看護学雑誌	医学書院	月刊	③							ク-3	毎月 1日	10年12月号で休刊
カン	韓国語ジャーナル	アルク	季刊	③							イ-2	3・6・9・12月中旬	13年春号で休刊
カン	がんサポート	エビデンス社	月刊						③			毎月 16日	
カン	関東東北じゃらん	リクルート	月刊	①							ウ-1	毎月 1日	
キカ	機械技術	日刊工業新聞社	月刊	③							ク-1	毎月 25日	
キキ	起業塾	ケイチーム	月刊						③			毎月 7日	10年1月号で休刊
キキ	企業診断	同友館	月刊						⑤			毎月 27日	
キネ	キネマ旬報	キネマ旬報社	月2回	◎		③					イ-2	毎月 5・20日	
キャ	CAPA	学研マーケティング	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
キャ	GALAC	放送批評懇談会	月刊	③							キ-1	毎月 6日	
キャ	Cancam	小学館	月刊			①						毎月 23日	
キュ	CUTiE	宝島社	月刊	①							イ-1	毎月 12日	
キョ	教育ジャーナル	学研マーケティング	月刊	◎							オ-1	毎月 1日	
キョ	共同参画21	ぎょうせい	隔月刊							◎		奇数月1日	07年3月号で休刊
キョ	NHKきょうの健康	NHK出版	月刊	①	①	①	①		②		イ-1	毎月 21日	
キョ	NHKきょうの料理	NHK出版	月刊	③	①	③	①	①			ア-5	毎月 21日	
キレ	きれいの魔法	NHK出版	月刊	③		①					ア-5	毎月 21日	13年3月号で休刊
キン	銀花	文化出版局	季刊	◎							イ-2	2・5・8・11月25日	10年春号で休刊
キン	近代柔道	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 22日	
キン	金融経済統計月報	ときわ総合サービス	月刊	③							カ-1	毎月 末日	13年2月号で中止
クウ	ku:nel	マガジンハウス	隔月刊	③	②						ア-4	奇月 20日	
クウ	Good Housekeeping [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	不定期	
クウ	月刊クーヨン	クレヨンハウス	月刊	③							イ-1	毎月 3日	
クワ	暮らしと健康	保健同人社	月刊	①							イ-1	毎月 2日	12年6月号で休刊
クワ	暮らしの手帖	暮らしの手帖社	隔月刊	◎	②	⑤	②	②			ア-4	奇月 25日	
クワ	COURRIER Japon	講談社	月刊	③					③		ア-2	毎月 25日	
クル	月刊ぐるっと千葉	ちばマガジン	月刊	◎		①					ア-3	毎月 21日	
クル	CREA	文藝春秋	月刊	①		①					ア-4	毎月 7日	
クル	CREA TRAVELLER	文藝春秋	季刊	①			②				ウ-1	3・6・9・12月10日	
クル	クレヨンハウス通信	クレヨンハウス	月刊							◎		毎月 1日	06年度で中止
クワ	CROSS BEAT	シンコー・ミュージック	月刊	①							ウ-5	毎月 18日	13年11月号で休刊
クワ	クロワッサン	マガジンハウス	月2回	①	①	①	①	①			ア-3	毎月10・25日	
クワ	クロワッサンPremium	マガジンハウス	月刊	①							ア-3	毎月 20日	「&Premium」へ変更
クワ	群像	講談社	月刊	◎							ウ-6	毎月 7日	
クア	ケアマネジャー	中央法規出版	月刊	③							ク-3	毎月 27日	
クイ	クイコとマナブ 首都圏版	リクルート	月刊	①							ア-3	毎月 25日	
クイ	芸術新潮	新潮社	月刊	◎		③					イ-2	毎月 25日	
クイ	経済界	経済界	隔週刊						③			隔週火曜日	
クイ	経済セミナー	日本評論社	隔月刊						③			奇月 27日	
クイ	毛糸だま	日本ヴォーグ社	季刊	③		③					ア-5	2・5・8・11月5日	
クワ	GOETHE(ゲーテ)	幻冬舎	月刊						②			毎月 24日	
ケン	現代思想	青土社	月刊	◎							イ-3	毎月 27日	
ケン	現代詩手帖	思潮社	月刊	◎							イ-3	毎月 28日	
ケン	現代のエスプリ	至文堂	月刊	③							イ-3	毎月 12日	11年10月号で休刊

種	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦の下2桁)
ケン	現代の図書館	日本図書館協会	季刊	◎							ア-1	3・6・9・12月15日	
ケン	建築知識	エクスナレッジ	月刊	⑤							ク-1	毎月20日	
ケン	建築文化	彰国社	隔月刊	◎							ク-1	隔月25日	04年12月号で休刊
ケン	剣道日本	スキージャーナル社	月刊	③							イ-4	毎月25日	
コウ	工業材料	日刊工業新聞社	月刊	③							ク-1	毎月15日	
コウ	航空情報	酣燈社	月刊	③							ウ-1	毎月21日	
コウ	公募ガイド	公募ガイド社	月刊	①							ア-3	毎月9日	
コカ	小型全国時刻表	交通新聞社	月刊		①							毎月20日	
コク	國文学	学燈社	月刊	◎							エ-3	毎月10日	09年7月号で休刊
コク	国文学解釈と鑑賞	ぎょうせい	月刊	◎							エ-3	毎月12日	11年10月号で休刊
ココ	Co-CoLife	スリーディメンション	季刊	③							ク-3	1・4・7・10月	11年冬号で休刊
ココ	こころの科学	日本評論社	隔月刊						③			偶月25日	
コス	COSMOPOLITAN [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	不定期	
コト	ことばの翼 詩歌句	北溟社	不定期	◎							エ-3	不定期	
コト	子どもと科学よみもの	科学読物研究会	月刊	◎							子供	毎月1日	
コト	子どもとしょかん	東京子ども図書館	季刊	◎		⑤					子供	1・4・7・10月20日	
コト	子どもと昔話	古今社	季刊	◎							子供	1・4・7・10月20日	
コト	子供の科学	誠文堂新光社	月刊	③		③					子供	毎月10日	
コト	子どものしあわせ	草土文化	月刊	③							オ-1	毎月30日	13年4月号で中止
コト	こどもの図書館	児童図書館研究会	月刊	◎		⑤					子供	毎月25日	行徳13年3月号で中止
コト	こどものとも	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月3日	
コト	こどものとも (0・1・2)	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月3日	
コト	こどものとも(年少版)	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤				子供	毎月3日	
コト	こどものとも(年中向き)	福音館書店	月刊	◎		⑤					子供	毎月3日	
コト	月刊こどもの本棚	日本こどもの本研究会	月刊	◎							子供	毎月15日	
コト	こどもブティックcucito	ブティック社	季刊	③	②	③					ア-5	2・5・8・11月28日	平田13年春号で中止
コト	月刊子ども論	クレヨンハウス	月刊	◎							子供	毎月26日	06年3月号で休刊
コハ	Cobalt	集英社	隔月刊	①		①					エ-1	偶月1日	
コモ	Como	主婦の友社	月刊	③	①						イ-1	毎月28日	
コル	ゴルフダイジェスト	ゴルフダイジェスト社	月刊	③		①					イ-4	毎月21日	
コリ	碁ワールド	日本棋院	月刊	①		①					ウ-4	毎月20日	
サイ	CYCLE SPORTS	八重洲出版	月刊						③			毎月20日	
サイ	saita	セブン&アイ出版	月刊	①	①						ア-3	毎月7日	
サス	The Sneaker	角川書店	隔月刊	②							エ-1	偶月30日	11年4月号で休刊
サツ	サッカーマガジン ZONE	ベースボール・マガジン社	月刊	③		①					イ-4	毎月24日	
サニ	THE21	PHP研究所	月刊	①							カ-1	毎月10日	
サヒ	SAPIO	小学館	月刊			③						毎月10日	
サフ	SURFIN' LIFE	マリン企画	月刊	③							イ-3	毎月10日	
サラ	サライ	小学館	月刊	①		①	①				ア-2	毎月10日	
サラ	サラサーテ	せきれい社	隔月刊	③							ウ-5	奇月2日	
サン	サンキュ	ベネッセ・コーポレーション	月刊	①		①					ア-3	毎月2日	
サン	サンデー毎日	毎日新聞社	週刊	③	①						ア-2	毎週火曜日	
サン	3分クッキング	KADOKAWA	月刊	③							ア-5	毎月16日	
サン	散歩の達人	交通新聞社	月刊	①	①						ウ-1	毎月21日	
シエ	JR時刻表	交通新聞社	月刊		①	①						毎月20日	平田13年4月号で中止
シエ	JJ	光文社	月刊	①							ア-4	毎月23日	
シエ	JTB時刻表	JTBパブリッシング	月刊	①			①	①	半年		ウ-1	毎月20日	
シエ	CNN ENGLISH EXPRESS	朝日出版社	月刊	①							エ-2	毎月6日	
シカ	月刊自家用車	内外出版社	月刊	①							ウ-4	毎月26日	
シキ	CQ ham radio	CQ出版	月刊	①							ウ-3	毎月19日	
シシ	CG(CAR GRAPHIC)	カーグラフィック	月刊				①					毎月1日	
シセ	しぜん	フレーベル館	月刊	◎							子供	毎月1日	13年3月号で中止
シソ	思想	岩波書店	月刊	◎							エ-3	毎月29日	
シテ	CDジャーナル	音楽出版社	月刊	①							ウ-5	毎月20日	
シト	児童心理	金子書房	月刊	③							オ-1	毎月12日	
シナ	シナリオ	シナリオ作家協会	月刊	◎							イ-2	毎月3日	
シヤ	月刊社会教育	国土社	月刊	◎							オ-1	毎月15日	
シヤ	社会教育	東京官書普及	月刊	◎							オ-1	毎月1日	
シヤ	JaZZ JAPAN	ジャズジャパン	月刊	①							ウ-5	毎月23日	
シヤ	JAPAN FITNESS	ジャパンフィットネス	月刊	③							イ-3	毎月28日	
シユ	週刊朝日	朝日新聞社	週刊	③		①		①			ア-2	毎週火曜日	
シユ	週刊アスキー	KADOKAWA	週刊	①		①					ケ-1	毎週火曜日	
シユ	週刊金曜日	金曜日	週刊	①		①					ア-2	毎週金曜日	

種	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦の下2桁)
シ	週刊サッカーマガジン	ベースボール・マガジン社	週刊	③		①					イ-4	毎週火曜日	「サッカーマガジンZONE」へ変更
シ	週刊新潮	新潮社	週刊	③	①	①	①	①	①		ア-2	毎週木曜日	
シ	週刊ダイヤモンド	ダイヤモンド社	週刊	①		①		①	①		カ-1	毎週月曜日	
シ	週刊東洋経済	東洋経済新報社	週刊	①		①			①		カ-1	毎週月曜日	
シ	週刊プロレス	ベースボール・マガジン社	週刊	③							イ-4	毎週水曜日	
シ	週刊文春	文芸春秋	週刊	③	①	①	①	①	①		ア-2	毎週木曜日	
シ	週刊ベースボール	ベースボール・マガジン社	週刊	③		①					イ-4	毎週水曜日	
シ	自遊人	自遊人	季刊			③						3・6・9・12月26日	
シ	住宅建築	建築資料研究社	隔月刊	⑤							ク-1	毎月 19日	
シ	住民と自治	自治体研究社	月刊	③							オ-3	毎月 11日	
シ	出版月報	全国出版協会	月刊	①							ア-1	毎月 25日	13年3月号で中止
シ	出版ニュース	出版ニュース社	旬刊	③							ア-1	毎月1・11・21日	
シ	JUNON	主婦と生活社	月刊			①						毎月 23日	
シ	月刊ジュニアエラ	朝日新聞出版	月刊		③							毎月 15日	
シ	NHK趣味の園芸	NHK出版	月刊	③	①	①	①	①			ウ-2	毎月 21日	
シ	NHK趣味の園芸やさいの時間	NHK出版	月刊	③	①						ウ-2	毎月 21日	
シ	ジュリスト	有斐閣	月刊	◎					①		オ-3	毎月 25日	駅南13年4月号で中止
シ	NHK将棋講座	NHK出版	月刊		①							毎月 16日	
シ	将棋世界	日本将棋連盟	月刊	①		①					ウ-4	毎月 3日	
シ	商業界	商業界	月刊						③			毎月 1日	
シ	小説現代	講談社	月刊	◎							ウ-6	毎月 22日	
シ	小説新潮	新潮社	月刊	◎	①	①		①			ウ-6	毎月 22日	
シ	小説すばる	集英社	月刊	◎							ウ-6	毎月 17日	
シ	小説宝石	光文社	月刊	◎							ウ-6	毎月 22日	
シ	月刊消費者	日本消費者協会	月刊			⑤						毎月 1日	11年4月号で休刊
シ	情報の科学と技術	情報科学技術協会	月刊	◎							ア-1	毎月 1日	
シ	月刊女性情報	パド・ウイメンズ・オフィス	月刊							◎		毎月 23日	13年3月号で中止
シ	女性展望	市川房枝記念会	年11回							◎		毎月 10日	
シ	初等教育資料	東洋館出版社	月刊	⑤							オ-1	毎月 28日	13年3月号で中止
シ	Think!	東洋経済新報社	季刊						⑤			1・4・7・10月25日	
シ	新建築	新建築社	月刊	⑤							ク-1	毎月 1日	
シ	新潮	新潮社	月刊	◎		③			①		ウ-6	毎月 7日	
シ	新潮45	新潮社	月刊	③							ア-2	毎月 18日	
シ	新電気	オーム社	月刊	③							ク-1	毎月 1日	
シ	新聞ダイジェスト	新聞ダイジェスト社	月刊	③							カ-1	毎月 15日	
シ	人民画報[中国語]	人民画報社 輸入元:穂高書店	月刊	③							イ-5	毎月 1日	
ス	スイミング・マガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-3	毎月 11日	
ス	数学セミナー	日本評論社	月刊	③							エ-2	毎月 12日	
ス	数理科学	サイエンス社	月刊	③							エ-2	毎月 20日	
スキ	スキーグラフィック	芸文社	月刊	③							イ-3	毎月 10日	
ス	SCREEN	近代映画社	月刊	①							イ-2	毎月 21日	
ス	ススめる!びあ	びあ	隔週刊			①					ア-3	隔週木曜日	11年8月4・18日号で休刊
ステ	すてきな奥さん	主婦と生活社	月刊	①	①	①					ア-3	毎月 2日	14年5月号で休刊
ステ	すてきにハンドメイド	NHK出版	月刊	③	①	①	①	①			ア-5	毎月 21日	
ステ	stereo	音楽之友社	月刊	①							ウ-5	毎月 19日	
スト	ストライカーDX	学研マーケティング	隔月刊	③							子供	毎月 12日	
スト	STORY	光文社	月刊	①	①	①					ア-3	毎月 1日	
スハ	すばる	集英社	月刊	◎							ウ-6	毎月 6日	
スホ	SPORTS GRAPHIC NUMBER	文芸春秋	隔週刊	③		①			①		イ-3	隔週木曜日	
スマ	NHK住まい自分流 DIY入門	NHK出版	月刊	⑤							ア-5	毎月 20日	11年3月号で休刊
スマ	SUMAI NO SEKKEI	扶桑社	隔月刊	⑤		③					ア-5	奇月 21日	
スマ	smart	宝島社	月刊	①							エ-1	毎月 24日	
スモ	相撲	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 28日	
セイ	税理	ぎょうせい	月刊	③							カ-2	毎月 20日	
セイ	清流	清流出版	月刊	①							ア-4	毎月 1日	
セイ	正論	産経新聞社	月刊	③							ア-2	毎月 1日	
セカ	世界	岩波書店	月刊	◎		③					ア-2	毎月 8日	
セク	ゼクシィ 首都圏版	リクルート	月刊	①							ア-5	毎月 23日	13年5月号で中止
セツ	設備と管理	オーム社	月刊	③							ク-1	毎月 11日	
セフ	SEVENTEEN	集英社	月刊	①							エ-1	毎月 1日	
セン	選択	選択	月刊	⑤							ア-2	毎月 1日	
セン	宣伝会議	宣伝会議	月刊						③			毎月 1日	
ソウ	装苑	文化出版局	月刊	③		①					ア-5	毎月 28日	

ミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦の下2桁)
ソウ	社快	マキノ出版	月刊	①							イ-1	毎月 16日	
ソト	ソトコト	木楽舎	月刊	⑤							ア-4	毎月 5日	
ソフ	Software Design	技術評論社	月刊	①							ケ-3	毎月 18日	
タイ	大法輪	大法輪閣	月刊	◎							エ-3	毎月 8日	
タイ	DIME	小学館	月刊	①		①					ア-4	毎月 16日	
タイ	TIME アジア版[英語]	輸入元:タイムインク社	週刊	③		①					イ-5	毎週火曜日	
タイ	THE TIMES MAGAZINE[英語]	THE TIMES	週刊	①							イ-5	毎週	新聞付録
タイ	ダイヤモンド Zai	ダイヤモンド社	月刊	①		①			②		カ-2	毎月 21日	
タウ	ダ・ヴィンチ	KADOKAWA	月刊	◎	①			①			ア-1	毎月 6日	
タウ	たくさんのふしぎ	福音館書店	月刊	◎		⑤		⑤			子供	毎月 3日	南行徳13年4月号で中止
タザ	Tarzan	マガジンハウス	月2回	①							イ-4	第2・4木曜日	
タツ	タッチダウン	タッチダウン	月刊	③							イ-4	毎月 30日	
タチ	旅	新潮社	隔月刊	①							ウ-1	奇月 20日	12年3月号で休刊
タチ	旅の手帖	交通新聞社	月刊	①	①	①		①			ウ-1	毎月 10日	
タマ	たまごクラブ	ベネッセ・コーポレーション	月刊	①			①				イ-1	毎月 15日	
タン	短歌	KADOKAWA	月刊	◎							エ-3	毎月 25日	
タン	ダンスファン	白夜書房	月刊	③							イ-3	毎月 27日	
タン	DANCE MAGAZINE	新書館	月刊	③							イ-2	毎月 27日	
タン	dancyu	ブレジデント社	月刊	③		①					ア-5	毎月 6日	
チイ	ちいさい・おおきい・よわい・つよい	ジャパンマシニスト社	隔月刊	◎	②	③					イ-1	偶月 25日	
チイ	ちいさなかながくのとも	福音館書店	月刊	◎		⑤		⑤			子供	毎月 3日	
チハ	Chiba Walker	角川グループパブリッシング	隔週刊	◎							ア-3	隔週火曜日	09年3月号で休刊
チホ	地方史研究	岩田書院	隔月刊	③							オ-2	偶月下旬	
チホ	地方自治	ぎょうせい	月刊	◎							オ-3	毎月 5日	
チャ	チャイルド・ヘルス	診断と治療社	月刊						⑤			毎月 1日	
チャ	CHANTO	主婦と生活社	月刊			①					ア-3	毎月 7日	
チュ	中央公論	中央公論新社	月刊	◎		③					ア-2	毎月 10日	
チュ	中等教育資料	ぎょうせい	月刊	⑤							オ-1	毎月 28日	13年3月号で中止
チョ	月刊朝鮮 [朝鮮語]	朝鮮日報社	月刊	③							イ-5	毎月 1日	13年4月号で中止
チリ	月刊地理	古今書院	月刊	⑤							オ-2	毎月 25日	
チリ	治療	南山堂	月刊	⑤					⑤			毎月 1日	駅南13年3月号で中止
チル	チルチンびと	風土社	季刊	⑤							ア-5	3・6・9・12月11日	
ツク	創	創出版	月刊	◎							ア-2	毎月 7日	
ツリ	つり人	つり人社	月刊	①		①					ウ-2	毎月 25日	
テア	テアトロ	カモミール社	月刊	◎							イ-2	毎月 13日	
ティ	DVD&ブルーレイでーた	KADOKAWA	月刊	①							ウ-3	毎月 20日	
ティ	ディテール	彰国社	季刊	③							ケ-1	3・6・9・12月15日	
テサ	デザインの世界	美術出版社	隔月刊	③							キ-1	奇月 27日	10年4月号で休刊
テツ	鉄道ジャーナル	鉄道ジャーナル社	月刊	①							ウ-1	毎月 21日	
テツ	鉄道ピクトリアル	電気車研究会	月刊			①						毎月 20日	
テツ	鉄道ファン	交友社	月刊	③							子供	毎月 21日	
テニ	Tennis Magazine	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 21日	
テレ	TVガイド 関東版	東京ニュース通信社	週刊	①							ウ-3	毎週水曜日	
テン	点字ジャーナル	東京ヘレン・ケラー協会	月刊	①							障害	毎月 25日	
テン	天然生活	地球丸	月刊			③	①					毎月 20日	
テン	天文ガイド	誠文堂新光社	月刊	③							ケ-2	毎月 5日	
トウ	Tokyo Walker	KADOKAWA	隔週刊	①							ア-3	隔週火曜日	
トウ	東京カレンダー	東京カレンダー	月刊						②			毎月 21日	
トウ	東京人	都市出版	月刊	③							ア-2	毎月 3日	
トウ	陶磁郎	双葉社	季刊	◎							イ-2	不定期	06年48号で休刊
トウ	ドゥーパ	学研マーケティング	隔月刊						③			奇月 8日	
トウ	陶遊	新企画出版局	隔月刊	◎							イ-2	奇月 25日	12年2月号で休刊
トク	特選街	マキノ出版	月刊	①				①			ア-4	毎月 3日	
トク	特別支援教育研究	東洋館出版	月刊	◎							オ-1	毎月 28日	
トシ	図書館界	日本図書館研究会	隔月刊	◎							ア-1	奇月 17日	
トシ	図書館雑誌	日本図書館協会	月刊	◎							ア-1	毎月 22日	
トフ	飛ぶ教室	光村図書出版	季刊	◎							子供	1・4・7・10月25日	13年SPRINGより図書登録
トホ	土木技術	土木技術社	月刊	③							ケ-1	毎月 28日	
トラ	ドライバー	八重洲出版	月刊		①							毎月 20日	
トラ	トランジスタ技術	CQ出版	月刊	③							キ-2	毎月 10日	
ナシ	NATIONAL GEOGRAPHIC [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 4日	
ナシ	NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版	日経ナショナルジオグラフィック	月刊	③							ケ-2	毎月 30日	
ナシ	NURSING	学研マーケティング	月刊	③							ケ-3	毎月 20日	

種	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦の下2桁)
ニッ	日経アーキテクチュア	日経BP社	月2回	⑤							ク-1	毎月10・25日	
ニッ	日経WinPC	日経BP社	月刊	①							ク-1	毎月29日	13年11月号で休刊
ニッ	日経ウーマン	日経BP社	月刊	①		①		①			ア-3	毎月7日	
ニッ	日経エンタテインメント!	日経BP社	月刊			①						毎月4日	
ニッ	日経おとなのOFF	日経BP出版センター	月刊				①		②			毎月6日	
ニッ	日経会社情報	日本経済新聞出版社	季刊	⑤							カ-2	3・6・9・12月15日	
ニッ	日経kids+	日経ホーム出版社	月刊	③							イ-1	毎月18日	10年2月号で休刊
ニッ	日経コミュニケーション	日経BP社	月刊	①							ケ-5	毎月1日	
ニッ	日経コンピュータ	日経BP社	月2回	①							ケ-4	隔週木曜日	
ニッ	日経サイエンス	日経サイエンス	月刊	③		③					ケ-2	毎月25日	
ニッ	日経ソフトウェア	日経BP社	月刊	①							ケ-2	毎月24日	
ニッ	日経デザイン	日経BP社	月刊	③							キ-1	毎月24日	
ニッ	日経TRENDY	日経BP出版センター	月刊	①		①	①				カ-1	毎月4日	
ニッ	日経パソコン	日経BP社	月2回	①							ケ-4	第2・4月曜日	
ニッ	日経ビジネス	日経BP社	週刊	①		①			①		カ-1	毎週月曜日	
ニッ	日経ビジネスAssocie'	日経BP社	月刊		①	①		①				毎月10日	
ニッ	日経PC21	日経BP社	月刊	①			①	①			ケ-2	毎月24日	
ニッ	日経PCビギナーズ	日経BP社	月刊	①	①						ケ-1	毎月13日	13年10月号で休刊
ニッ	日経ヘルス	日経BP社	月刊	①				①			イ-1	毎月2日	
ニッ	日経トップリーダー	日経BP社	月刊	①							カ-1	毎月1日	
ニッ	日経マネー	日経BP社	月刊	①	①	①					カ-1	毎月21日	
ニッ	日経メディカル	日経BP社	月刊						③			毎月10日	
ニホ	日本カメラ	日本カメラ社	月刊	①							ウ-2	毎月20日	
ニホ	日本古書通信	日本古書通信社	月刊	③							ア-1	毎月15日	
ニホ	日本児童文学	小峰書店	隔月刊	◎							子供	奇月9日	
ニホ	日本の参考図書:四季版	日本図書館協会	季刊	◎							図書	1・4・7・10月	
ニホ	日本の美術	至文堂	月刊	◎							イ-2	毎月12日	11年10月号で休刊
ニホ	日本歴史	吉川弘文館	月刊	⑤							オ-2	毎月25日	
ニユ	Newsweek [英語]	輸入元:TRC	週刊	③							イ-5	毎週火曜日	12年12月31日号で休刊
ニユ	Newsweek 日本版	阪急コミュニケーションズ	週刊	③		①			①		ア-2	毎週火曜日	駅南13年4月2日号で中止
ニユ	月刊Newsがわかる	毎日新聞社	月刊	◎							エ-1	毎月15日	
ニユ	Newtype	KADOKAWA	月刊			③						毎月10日	
ニユ	Newton	ニュートンプレス	月刊	◎		①					ク-2	毎月26日	
ニユ	THE NEW YORKER [英語]	輸入元:OCS	週刊	③							イ-5	毎週木曜日	14年3月31日号で中止
ネイ	nature	輸入元:OCS	週刊	⑤							イ-5	毎週木曜日	13年3月28日号で中止
ネコ	猫生活	ペットライフ社	隔月刊	①							ウ-4	偶月12日	14年1月号で休刊
ネコ	猫びより	辰巳出版	隔月刊	①							ウ-4	偶月12日	
ネハ	ネバーランド	てらいんく	季刊	◎							子供	2・5・8・11月5日	10年Vol.14で中止
ネン	ねんきん生活。	主婦与生活社	季刊					③				1・4・7・10月15日	
ノジ	ノジュール(nodule)	JTBパブリッシング	月刊			③						毎月28日	
ノマ	ノーマライゼーション	日本障害者リハビリテーション協会	月刊	③							ク-3	毎月1日	
ノン	non・no	集英社	月刊	①		①					ア-4	毎月20日	
ハイ	Hi Wind	マリン企画	季刊	③							イ-3	3・6・9・12月5日	
ハイ	俳句	KADOKAWA	月刊	◎		③					エ-3	毎月25日	
ハイ	BiCYCLE CLUB	えい出版社	月刊	①		①					ウ-4	毎月20日	
ハウ	HOUSING	リクルート	月刊	⑤			①	①			ア-5	毎月21日	
ハス	HERS	光文社	月刊	①							ア-4	毎月12日	
ハス	バスケットボール	日本文化出版	月刊	③							イ-4	毎月25日	
ハチ	PATi・PATi	ソニー・マガジズ	月刊	①							エ-1	毎月9日	13年10月号で休刊
ハッ	パッチワーク通信	パッチワーク通信社	隔月刊	③							ア-5	偶月22日	
ハナ	Hanako	マガジンハウス	隔週刊	①				①			ア-3	第2・4木曜日	
ハナ	花時間	角川グループパブリッシング	季刊	①							INF	3・6・9・12月7日	
ハハ	Harvard Business Review	ダイヤモンド社	月刊	③					①		カ-1	毎月10日	駅南13年4月号で中止
ハハ	母の友	福音館書店	月刊	◎		①	①		②		子供	毎月3日	
ハレ	VOLLEYBALL	日本文化出版	月刊	③							イ-4	毎月15日	
ハン	判例時報	判例時報社	旬刊	◎							オ-3	毎月1・11・21日	
ハン	判例タイムズ	判例タイムズ社	月刊	◎							オ-3	毎月25日	
ピン	ビジネスアイエネコ	日本工業新聞社	月刊	③							ク-1	毎月28日	
ピン	月刊ビジネスアスキー	アスキー・メディアワークス	月刊	③							カ-1	毎月24日	10年3月号で休刊
ピン	ビジネスチャンス	サクセスマーケティング	隔月刊						③			偶月22日	
ピン	ビジネス法務	中央経済社	月刊						⑤			毎月21日	
ピン	PC fan	毎日コミュニケーションズ	月刊			①						毎月24日	11年9月号で休刊
ピン	美術手帖	美術出版社	月刊	◎							イ-2	毎月17日	

種	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦の下2桁)
ビツ	bizmom	ベネッセコーポレーション	季刊	①							イ-1	3・6・9・12月13日	13年より「たまごクラブ」増刊扱い
ビツ	BIG tomorrow	青春出版社	月刊						③			毎月 25日	
ビテ	ビデオSALON	玄光社	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
ヒト	Hit&Run	ベースボール・マガジン社	隔月刊	③							子供	奇月 27日	
ヒハ	BE-PAL	小学館	月刊	③		①					イ-3	毎月 10日	
ヒヤ	百楽	ケイアイ	月刊						②			毎月 1日	12年4月号で休刊
ヒヨ	ひよこクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	①			①				イ-1	毎月 15日	
ヒラ	ひらがなタイムズ [英語]	ヤック企画	月刊	③							イ-5	毎月 20日	
フィ	フィーメール	ブティック社	季刊			①						2・5・8・11月12日	13年12月号で休刊
フォ	Foresight(フォーサイト)	新潮社	月刊	③							ア-2	毎月第3土曜日	10年4月号で休刊
フク	月刊福祉	全国社会福祉協議会	月刊	③							ク-3	毎月 9日	
フシ	婦人画報	ハースト婦人画報社	月刊	①							ア-3	毎月 1日	
フシ	婦人公論	中央公論新社	月2回	③	①	①	①	①			ウ-6	毎月7・22日	
フシ	婦人之友	婦人之友社	月刊	③							ウ-6	毎月 12日	
フラ	FRaU	講談社	月刊	①							ア-3	毎月 12日	
フラス	プラス1リビング	主婦の友社	季刊	⑤	①						ア-5	2・5・8・11月16日	
ブリ	BRIDGE	ロッキング・オン	季刊	③							ウ-5	3・6・10・12月15日	
フル	フルコンタクトKARATE	福昌堂	月刊	③							イ-4	毎月 23日	
フル	BRUTUS	マガジンハウス	月2回			①						毎月1・15日	
フル	プレジデント	プレジデント社	月2回	①			①		①		カ-1	第2・4月曜日	
フル	プレジデント Family	プレジデント社	季刊	③			①		②		イ-1	3・6・9・12月5日	
フル	Pre-mo	主婦の友社	季刊			①						1・4・7・10月15日	
フル	プレーン	宣伝会議	月刊	③							キ-1	毎月 1日	
フン	文学	岩波書店	隔月刊	◎							エ-3	奇月 25日	
フン	文学界	文藝春秋	月刊	◎							エ-3	毎月 7日	
フン	文藝	河出書房新社	季刊	◎							ウ-6	1・4・7・10月7日	
フン	文藝春秋	文藝春秋	月刊	◎	①	③	①	①	①		ア-2	毎月 10日	
フン	別冊文藝春秋	文藝春秋	隔月刊	◎							ウ-6	偶月 8日	
フン	文藝春秋SPECIAL	文藝春秋	季刊	⑤							ア-2	2・5・8・11月27日	
ベース	ベースボールマガジン	ベースボール・マガジン社	隔月刊	①							子供	奇月 19日	13年5月号で中止
ベビ	Baby-mo	主婦の友社	季刊			①		①				3・6・9・12月15日	
ペン	pen	阪急コミュニケーションズ	月2回	③							ア-4	毎月1・15日	
ボイ	Voice	PHP研究所	月刊	①							ア-2	毎月 10日	
ボウ	法学教室	有斐閣	月刊	◎							オ-3	毎月 28日	
ボウ	法学セミナー	日本評論社	月刊	◎							オ-3	毎月 12日	
ボウ	邦楽の友	邦楽の友社	月刊	③							イ-2	毎月 28日	13年3月号で中止
ボウ	放送文化	NHK出版	季刊	③							キ-1	2・5・8・11月24日	11年秋号で休刊
ボウ	訪問看護と介護	医学書院	月刊	⑤							ク-3	不定期	
ボウ	法律時報	日本評論社	月刊	◎							オ-3	毎月 27日	
ボク	ボクシングマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 15日	
ボス	月刊BOSS	経営塾	月刊						③			毎月 22日	
ホビ	Hobby JAPAN	ホビージャパン	月刊	①							ウ-3	毎月 25日	
ポプ	月刊ポプラディア	ポプラ社	月刊	⑤		③					子供	毎月 15日	11年4月号で休刊
ホーム	HOMES AND GARDENS	輸入元:紀伊國屋書店	月刊	③							イ-5	毎月 10日	
ホーム	ホームヘルプ	オークラ出版	隔月刊	⑤							ク-3	偶月 21日	09年9月号で中止
ホル	VOLT	徳間書店	季刊						③			3・6・9・12月26日	
ホン	本 読書人の雑誌	講談社	月刊	◎							ア-1	毎月 25日	
ホン	ほんとうの時代Life+	PHP研究所	月刊			③						毎月 18日	12年12月号で休刊
ホン	本の雑誌	本の雑誌社	月刊	③		①					ア-1	毎月 10日	
マイ	毎日が発見	KADOKAWA	月刊	①							ア-3	毎月 28日	
マッ	MAC FAN	マイナビ	月刊	①							ケ-1	毎月 29日	
マト	Mart	光文社	月刊	①				①	③		ア-4	毎月 28日	
マリ	Marine Diving	水中造形センター	月刊	③							イ-3	毎月 10日	
ミス	ミステリマガジン	早川書房	月刊	◎		①					ウ-6	毎月 25日	
ミセ	ミセス	文化出版局	月刊	①	①		①				ア-3	毎月 7日	
ミセ	ミセスのスタイルブック	文化出版局	季刊	③							ア-5	2・4・6・10月12日	
ミミ	MIMI	全日本聾唖連盟	季刊	①							ク-3	3・6・9・12月15日	
ミュ	ミュージカル	ミュージカル社	隔月刊	①							イ-2	奇月 5日	
ミョ	Myojo	集英社	月刊	①							INF	毎月 23日	
ミン	みんなの図書館	教育史料出版会	月刊	◎							ア-1	毎月 10日	
メフ	メフィスト(小説現代別冊)	講談社	不定期	◎							ウ-6	不定期	
メン	MEN'S EX	世界文化社	月刊			①						毎月 6日	
メン	MEN'S CLUB	ハースト婦人画報社	月刊	①							ア-4	毎月 24日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦の下2桁)
メ	MEN'S NON・NO	集英社	月刊	①							ア-4	毎月 10日	
モア	MORE	集英社	月刊	①		①					ア-4	毎月 28日	
モエ	MOE	白泉社	月刊	③		①					エ-1	毎月 3日	
モタ	モーターサイクリスト別冊	八重洲出版	隔月刊	③							ウ-4	偶月 15日	
モタ	Motor Magazine	モーターマガジン社	月刊	③		③					ウ-4	毎月 1日	
モタ	モダンリビング	ハースト婦人画報社	隔月刊	⑤							ア-5	偶月 7日	
モノ	monoマガジン	ワールドフォトプレス	月2回	①							ア-4	毎月2・16日	
モン	文部科学時報	ぎょうせい	月刊	⑤							オ-1	毎月 25日	12年3月号で休刊
ヤマ	山と溪谷	山と溪谷社	月刊	③		①					イ-3	毎月 15日	
ユウ	ゆうゆう	主婦の友社	月刊	①							ア-3	毎月 1日	
ユホ	ゆほびか	マキノ出版	月刊	①							イ-1	毎月 16日	
ユリ	ユリイカ	青土社	月刊	◎							エ-3	毎月 27日	
ヨウ	幼稚園	小学館	月刊	①							子供	毎月 1日	
ヨム	yomyom	新潮社	季刊	◎							ウ-6	2・5・8・11月1日	
ライ	ライト&ライフ	東京ヘルン・ケラー協会	月2回	①							障害	毎月1・15日	
ラグ	ラグビーマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
ラン	ランナーズ	アールピーズ	月刊	③		①					イ-3	毎月 22日	
ラン	ランニングマガジン・クリール	ベースボール・マガジン社	月刊						③			毎月 22日	
リ	LEE	集英社	月刊			①	①	①			ア-3	毎月 7日	
リク	月刊陸上競技	講談社	月刊	③							イ-4	毎月 14日	
リダ	READER'S DIGEST[英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 5日	
リョ	瞭望[中国語]	瞭望周刊社 輸入元:穂高書店	週刊	③							イ-5	毎週月曜日	13年12月30日号で中止
リョ	旅行読売	旅行読売	月刊	①							ウ-1	毎月 2日	
レキ	歴史街道	PHP研究所	月刊		①							毎月 6日	
レキ	歴史読本	KADOKAWA	月刊	③		①					ウ-6	毎月 24日	
レコ	レコード芸術	音楽之友社	月刊	③							ウ-5	毎月 20日	
レタ	レタスクラブ	KADOKAWA	月2回	①			①				ア-5	毎月10・25日	
ロック	Rockin' on	ロッキング・オン	月刊			①						毎月 1日	
ロック	ROCKIN' ON JAPAN	ロッキング・オン	月刊	①							エ-1	毎月 30日	
ロン	論座	朝日新聞社	月刊	⑤							ア-2	毎月 5日	08年10月号で休刊
ワカ	和楽	小学館	月刊			③						毎月 1日	
ワン	ワンダーフォーゲル	山と溪谷社	年6回						③			奇月 10日	

購入タイトル数	390	327	36	107	36	37	45	3
---------	-----	-----	----	-----	----	----	----	---

注1: 所蔵館名欄○数字は、保存年限を示す。◎は永年保存。

注2: 配架欄は中央図書館の分野別雑誌架を示す。

注3: 網掛けはタイトル変更、休刊、購入中止等になったもの。

(2) 寄贈雑誌一覧

平成26年7月1日現在

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイス	配架	備考(年は西暦の下2桁)
アウ	あうる 12年冬号より「図書館の学校」に変更	図書館流通センター	隔月刊	◎							ア-1	
アナ	あなたとわたしと性(セクシュアリティ)	アーニー出版								○		
アフ	aff(農林水産省広報誌)	農林統計協会	月刊	①			○				キ-1	
イチ	いちかわ	(株)エピック	月刊	◎登		○					ア-2	
ウマ	馬の科学	日本中央競馬会	隔月刊	②							イ-3	
エシ	ACE 建設業界	日本建築業連合会	月刊	①							ク-1	
エス	ESTRELA	統計情報研究開発センター	月刊	①							オ-2	
エヌ	NABAニューズ・レター	NABA	不定期							○		
エネ	エネルギーレビュー	エネルギーレビューセンター	月刊	②							キ-2	
エフ	FFIジャーナル	FFIジャーナル編集	季刊	②							キ-2	
カイ	外務省調査月報	外務省第一国際情報官室	不定期	③							オ-3	10年3月号で寄贈中止
カク	学遊園	丸善	半年刊	◎登							オ-1	07年26号で休刊
カワ	河	河	月刊	◎登							エ-3	
カン	環境儀	国立環境研究所	季刊	③							キ-3	
カン	季刊 環境研究	環境調査センター	季刊	◎登							キ-3	
キャ	Cabinett	時事画報社	月2回	②							ア-2	10年4月号で休刊
キョ	行政&情報システム	行政情報システム研究所	隔月刊	①							オ-2	
クロ	クロスロード	国際協力機構	月刊	②							オ-3	11年4月号で休刊
クロ	クローバー	ジェイ・ブロード	年3回	③登							ク-3	
ケツ	月刊 京都	白川書院	月刊	②登							ウ-1	
コウ	航空と文化	日本航空協会	年2回	②							キ-1	
コウ	公営企業	地方財務協会	月刊	①							オ-3	
コウ	広報	日本広報協会	月刊	①							オ-2	
コウ	高齢社会をよくする女性の会会報	高齢社会をよくする女性の会	隔月刊							○		
コク	国土交通	国土交通省	隔月刊	②							キ-1	
コク	国立国会図書館月報	国立国会図書館	月刊	◎登							ア-1	
コク	国立女性教育会館 研究紀要	国立女性教育会館	年刊							○		
コヒ	Coffee Break	全日本コーヒー協会	年2回	③							キ-2	
コヒ	コピライト	著作権情報センター	月刊	◎							ア-1	13年3月号で寄贈中止
コリ	Koreana	韓国国際交流財団	季刊	②							オ-3	
コミ	The Community	地域社会研究所	年2回	②							ア-2	
サス	The Sneaker	角川書店	隔月刊	②登							エ-1	11年4月号で休刊
サナ	サ～ナ sana	イフ	季刊	②登							ク-3	
シェ	ジェンダー研究	お茶の水女子大学ジェンダー研究センター	年刊							○		
シチ	自治体国際化フォーラム	自治体国際化協会	月刊	②			○				オ-2	
シチ	自治フォーラム	第一法規出版	月刊	②							オ-3	11年3月号で休刊
シニ	しにか	国際交流基金アジアセンター	月刊	◎							オ-2	04年3月号Vol.15で休刊
シヤ	JICA'S World	国際協力機構	月刊	②			○				オ-3	「mundi」へ変更
シヤ	JAXA'S	宇宙航空研究開発機構	隔月刊	③							ク-2	
シヤ	シャープ技報	シャープ	年2回	②							キ-2	
シヤ	JAF Mate	JAF	月刊	①							ウ-4	
シュ	首都高	首都高速サービス推進協会	季刊	②							キ-1	
シュ	春秋	春秋社	月刊	◎登							ア-1	
ショ	情報公開	情報管理研究センター	季刊	②							オ-2	11年3月40号で寄贈中止
ショ	書齋の窓	有斐閣	隔月刊	◎登		○	○				ア-1	
ショ	女性ニューズ	全国婦人新聞社	旬刊							◎		06年夏号で休刊
シル	シルバー人材センター	労務行政	月刊	①			○				オ-1	
シン	信金中金月報	信金中央金庫	月刊	①							カ-1	
スク	スクウェア21	全国経営者団体連合会	隔月刊	②							カ-1	12年3月13日号で寄贈中止
セイ	青春と読書	集英社	月刊	◎登							ア-1	
セイ	清流	清流出版	月刊	②							ア-4	12年12月号で寄贈中止
セカ	世界と議会	尾崎行雄記念財団	月刊	①							オ-3	
ソハ	蕎麦春秋	タイムライフ出版社	季刊	②登							カ-1	
ソウ	創文	創文社	季刊	◎登							ア-1	10年12月号で休刊。11年より季刊で再刊
ソウ	総務省広報誌	総務省	月刊	②			○				オ-2	
タノ	たのくら	明光企画	月刊			◎						07年12月号で休刊

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイス	配架	備考(年は西暦の下2桁)
チク	ちくま	筑摩書房	月刊	◎登							ア-1	
チホ	地方自治情報	地方行政総合研究センター	月刊	③							オ-3	10年3月号で休刊
チュ	中国図書	内山書店	月刊	◎							ア-1	12年2月号で休刊
ツハ	翼の王国	全日空	月刊	①							ウ-1	
テン	電撃文庫MAGAZINE	メディアワークス	月刊	①登							エ-1	
トリ	TALK TALK	心の開発集団JAM	季刊	②							ア-2	
トシ	図書	岩波書店	月刊	◎登	○	○	○				ア-1	
トシ	図書館の学校	図書館振興財団	季刊	◎登							ア-1	
ト	都道府県展望	全国知事会	月刊	◎							ア-2	11年3月号で休刊
トラ	とらいべる TRYVEL	日本ユースホステル協会	季刊	①							ウ-1	
トラ	DRAGON MAGAZINE	富士見書房	隔月刊	①							エ-1	11年5月号で寄贈中止
ナミ	波	新潮社	月刊	◎波							ア-1	
ニチ	にちぎん	日本銀行	季刊	②							カ-2	
ネツ	net way	首都高速サービス推進協会	季刊	②							キ-1	10年春号で休刊
ノン	のんびる	バルシステム生活協同組合連合会	月刊	①登							ア-4	
ハイ	俳句界	文學の森	月刊	③登							エ-3	
ハス	Her Story	世界平和女性連合	月刊	②							オ-2	
ハツ	はっぴーママ	明光企画	隔月刊	②登		③					イ-1	『ママともぷらす』へ変更
ハー	Harvard Business Review	ダイヤモンド社	月刊						①登			
フィ	Fishing Cafe	シマノ	年3回	②登			○				ウ-2	
フジ	FUJITSU飛翔	富士通	年2回	②							カ-2	11年1月号で休刊
フト	武道	日本武道館	月刊	①							イ-4	
フー	Priv. (プライヴ)	日経BP	季刊	③							ア-3	12年2月号で寄贈中止
フン	月刊 文化財	第一法規株式会社	月刊	③登								12年冬号で寄贈中止
ホウ	法苑	新日本法規	季刊	②							オ-3	
ホーム	ホームエコノミストワイズ	山雄生活社	月刊	①							ア-3	
ホン	本が好き!	光文社	月刊	◎							ア-1	10年1月号で休刊
ホン	本郷	吉川弘文館	季刊	◎登		○					ア-1	
ホン	本 読書人の雑誌	講談社	月刊	◎	○	○	○				ア-1	14年6月号で寄贈中止
ホン	本の旅人	角川書店	月刊	◎登							ア-1	
ホン	本の話	文芸春秋	月刊	◎							ア-1	11年10月号で休刊
ママ	ママともぷらす	明光企画	隔月刊	②登		③					イ-1	
マモ	MAMOR	扶桑社	月刊	②登							オ-2	
ミス	みすず	みすず書房	月刊	◎登							ア-1	
ミス	水とともに	水資源協会	月刊	①							ク-1	
ミト	緑と水のひろば	東京都公園協会	季刊				○					
ミラ	未来	未来社	月刊	◎登							ア-1	
ミル	ミルククラブ	中央酪農会議	季刊	②							キ-1	
ミン	みんてつ	日本民営鉄道協会	季刊	②							キ-1	
ミン	みんなの生涯学習	東京都教育庁	季刊	②							オ-1	
ムケ	無限大	日本IBM	半年刊	②							ア-2	13年夏号で冊子版休刊
ムン	mundi	国際協力機構	月刊	②							オ-3	
ユビ	UP	東京大学出版会	月刊	◎登		○	○				ア-1	
ヨホ	予防時報	日本損害保険協会	季刊	②			○				ア-2	11年4月245号で休刊
ヨロ	europe	駐日欧州委員会代表部	隔月刊	②							オ-3	11年春号で休刊
リハ	リベラルタイム	タイムライフ出版社	月刊	②登							カ-1	
レキ	歴博	国立歴史民俗博物館	隔月刊		○		○					
ロウ	労働判例	産労総合研究所	月2回	◎登							オ-3	
ワタ	私たちの広場	明るい選挙推進協会	月刊	①							オ-2	11年3月317号で休刊
ワイ	わいんぐ	ゆめすく企画	季刊	①							YA	

寄贈雑誌タイトル数	75	67	2	6	10	0	1	5
-----------	----	----	---	---	----	---	---	---

注1: 所蔵館名○数字は、保存年限を示す。◎は永年保存。「登」は所蔵登録あり。

注2: 配架欄は中央図書館の分野別雑誌架を示す。

注3: 網掛けは休刊、中止を示す。

(3) 中央図書館収集地域雑誌・定期刊行物一覧

平成26年4月1日現在

	タイトル	発行機関	配架・分類※
1	アエルデ 市川・本八幡版	スターツ出版株式会社	BOX(書庫)
2	あしなみ(葦波)	市川市少年センター	緑ファイル
3	あっさり君:浦安市郷土博物館ニュース	浦安市郷土博物館	ピンクファイル
4	eパートナーちば	ちば県民共生センター	青ファイル
5	市川いきものマップ:野鳥観察舎四季の便り	行徳野鳥観察舎友の会	緑ファイル
6	市川市医師会会報	市川市医師会	図書登録(I/P6)
7	いちかわ市議会だより	市川市議会	BOX(市川)
8	いちかわし公民館だより for Kids	市川市教育委員会公民館センター	緑ファイル
9	いちかわ市史編さんだより	市川市文化国際部文化振興課	緑ファイル
10	市川自然博物館だより	市立市川市自然博物館	緑ファイル
11	いちかわ白ばら:せんきょ	市川市明るい選挙推進協議会	緑ファイル
12	市川図書館だより	市川市中央図書館	緑ファイル
13	いちかわ夢マガジン:市川市メールマガジン	市川市	I/F5ファイル
14	市川よみうり	市川よみうり新聞社	BOX(市川)
15	生命のにぎわいとつながり:生物多様性ちばニュースレター	千葉県環境生活部自然保護課	青ファイル
16	Event Guide:市川市文化振興財団の催し物案内	市川市文化振興財団	緑ファイル
17	West Wind:メディアセンター報	和洋女子大学メディアセンター	黄ファイル
18	West Library(千葉県立西部図書館だより)	千葉県立西部図書館	青ファイル
19	SSU市川会報	SSU市川	黄ファイル
20	沖	沖発行所	BOX(市川)
21	かいづか:会報	市川博物館友の会	緑ファイル
22	科学館ニュース(千葉県立現代産業科学館)	千葉県立現代産業科学館	青ファイル
23	学校図書館支援センター通信	市川市学校図書館支援センター	I/Q4ファイル
24	鎌ヶ谷市郷土資料館だより	鎌ヶ谷市郷土資料館	ピンクファイル
25	鎌ヶ谷市史研究	鎌ヶ谷市教育委員会	図書登録(C22.4)
26	かわらば〜ん!	ASA	黄ファイル
27	瓦版 大木戸:千葉県立房総のむら館報	千葉県立房総のむら	青ファイル
28	記念館だより(市川市東山魁夷記念館)	市川市東山魁夷記念館	Z/H5ファイル
29	教育いちかわ	市川市教育委員会	I/Q1ファイル
30	教育広報夢気球	千葉県教育委員会	青ファイル
31	行政関係資料(新着案内)	千葉県文書館行政資料室	青ファイル
32	行徳文化ホールI&Iイベントカレンダー	行徳文化ホールI&I	緑ファイル
33	Green Port Report	成田国際空港株式会社	BOX(千葉)
34	京成らいいん	京成電鉄	BOX(千葉)
35	芸文協ちば	千葉県芸術文化団体協議会	青ファイル
36	京葉タイムス	有)行徳ニュース社	BOX(市川)
37	月刊いちかわ	エピック	BOX(市川)
38	県警からのお知らせ	千葉県読売防犯協会	青ファイル
39	けんこうChiba	ちば県民保健予防財団	青ファイル
40	県水だより	千葉県水道局	BOX(千葉)
41	考古・歴史博物館だより	市川市立考古博物館/歴史博物館	緑ファイル
42	国府台経済研究	千葉商科大学経済研究所	図書登録(I/Q3)
43	広報いちかわ	市川市	I/F5ファイル
44	国際交流つうしん	ちば国際コンベンションビューロー	青ファイル
45	国際交流伝言板	ちば国際コンベンションビューロー	青ファイル
46	こちら119	市川市消防局	緑ファイル
47	こどもエコネットちば	千葉県環境生活部	青ファイル
48	コミサポだより/コミュニティサポートだより	コミュニティーサポート委員会	緑ファイル
49	コミュニティーペーパーいちかわ新聞	明光企画	BOX(市川)
50	コミュニティークラブ遊びの情報	市川市教育委員会地域教育課	緑ファイル
51	コミュニティーペーパー行徳新聞	行徳新聞社(明光企画)	BOX(市川)
52	コルトン ハピネス プレス	ニッケコルトンプラザ	黄ファイル
53	しいむじな:房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター	房総の山のフィールド・ミュージアム	青ファイル
54	CUC:View & Vision	千葉商科大学経済研究所	図書登録(I/Q3)
55	C'n	千葉市美術館	ピンクファイル

	タイトル	発行機関	配架・分類※
56	JICAシニアボランティア千葉	千葉県JICAシニアボランティアの会	黄ファイル
57	[ジェイシイエヌ・プラス]plus	いちかわケーブルネット株式会社	BOX(市川)
58	JCNケーブルテレビマガジン	ジャパンケーブルネット株式会社	BOX(市川)
59	市史研究いちかわ	市川市役所	図書登録(I/B0)
60	自然通信	自然通信社	製本後図書登録(I/U0)
61	City Voice :市川の街から	市川市	図書登録(I/F5)
62	じゅんかんニュース	市川市環境清掃部	緑ファイル
63	生涯学習ひろば:千葉市生涯学習センター情報紙	千葉市生涯学習センター	ピンクファイル
64	情報紙一寸法師	読売新聞一寸法師事務局	黄ファイル
65	昭和学院短期大学紀要	昭和学院短期大学	図書登録(I/Q3)
66	新樹	中津攸子	図書登録(I/A5)
67	すずがも通信:行徳野鳥観察舎友の会会報	行徳野鳥観察舎友の会	緑ファイル
68	住まい新聞:市川新聞・行徳新聞別冊	明光企画	黄ファイル
69	千本銀杏	風の会	製本後図書登録(I/A5)
70	たかっぼ通信:大利根 川のフィールドミュージアムレター	千葉県立中央博物館大利根分館	青ファイル
71	ちいき新聞 市川北部版	地域新聞社 船橋支社	BOX(市川)
72	ちいき新聞 市川中央版	地域新聞社 船橋支社	BOX(市川)
73	ちいき新聞 中山版	地域新聞社 船橋支社	BOX(市川)
74	ちいき新聞 本八幡版	地域新聞社 船橋支社	BOX(市川)
75	ちいき新聞 八幡北版	地域新聞社 船橋支社	BOX(市川)
76	知識は旅をする(千葉県立東部図書館だより)	千葉県立東部図書館	青ファイル
77	ちばNPO・ボランティア活動ニュースレター	千葉県環境生活部	青ファイル
78	ちば環境行政	千葉県環境行政連絡協議会	図書登録(C10/T0)
79	ちば経済季報	千葉経済センター	BOX(千葉)
80	千葉県環境研究センターニュース	千葉県環境研究センター	青ファイル
81	千葉県議会時報	千葉県議会事務局	図書登録(C10/H5)
82	ちば県議会だより	千葉県議会	BOX(千葉)
83	千葉県生物多様性センター研究報告	千葉県環境生活部自然保護課	図書登録(C10/U6)
84	ちば県民だより	千葉県総合企画部	BOX(千葉)
85	千葉県立中央博物館研究報告 人文科学	千葉県立中央博物館	図書登録(C10/R3)
86	千葉県立中央博物館自然誌研究報告	千葉県立中央博物館	図書登録(C10/R3)
87	ちば里山新聞	ちば里山センター	黄ファイル
88	千葉市史編さんだより	千葉市史編さん担当	ピンクファイル
89	千葉生物誌	千葉県生物学会	図書登録(C10/U6)
90	ちばNEWS:ふあいびい	東日本高速道路株式会社	青ファイル
91	千葉の園芸	千葉県園芸協会	青ファイル
92	ちばの統計	千葉県総合企画部統計課	C10/M1ファイル
93	ちばの博物館	千葉県博物館協会	青ファイル
94	千葉文化(千葉県立中央図書館報)	千葉県立中央図書館	青ファイル
95	中央学院大学社会システム研究所紀要	中央学院大学社会システム研究所	図書登録(C22.1)
96	中央学院大学商経論叢	中央学院大学商学部	図書登録(C22.1)
97	中央学院大学人間・自然論叢	中央学院大学商学部・法学部	図書登録(C22.1)
98	中央博物館だより(千葉県立中央博物館)	千葉県立中央博物館	C10/R3ファイル
99	定年時代:千葉版	新聞編集センター	BOX(千葉)
100	展望ちば	千葉県経済協議会	BOX(千葉)
101	どうしょくぶつえんニュース	市川市動植物園	緑ファイル
102	利根川文化研究	利根川文化研究会	図書登録(C20.05)
103	なかやま	中山法華経寺	黄ファイル
104	成田山仏教研究所紀要	成田山仏教研究所	図書登録(C23.2)
105	日展ニュース(中山忠彦責任編集)	社)日展	Y/ナ ファイル
106	ニューファミリーけいよう	ニューファミリー新聞社	BOX(市川)
107	ばわ〜あつぷいちかわ:市川商工会議所会報	市川商工会議所	緑ファイル
108	BIGいちかわ	市川青色申告会	緑ファイル
109	ひまわり倶楽部	ちばぎん総合研究所	BOX(千葉)
110	FIL通信	市川図書館友の会	緑ファイル
111	ふみくら	千葉市文庫連絡協議会	黄ファイル
112	ふれあい:市川市子ども会・育成会だより	市川市子ども会育成会連絡協議会	緑ファイル

	タイトル	発行機関	配架・分類※
113	ふれあい毎日	東葛毎日新聞社	BOX(市川)
114	ヘルシースクールだより	市川市教育委員会保健体育課	緑ファイル
115	房総の文化財	千葉県教育振興財団	青ファイル
116	ボランティア・NPO情報誌	市川市企画部	I/N0ファイル
117	まいたうん:市川・本八幡版	加藤新聞舗	BOX(市川)
118	まいたうん:浦安・行徳版	加藤新聞舗	BOX(市川)
119	埋やちよ:千葉県八千代市埋蔵文化財通信	八千代市教育委員会	ピンクファイル
120	楨:文学同人誌	文学グループ楨の会	図書登録(C34.1)
121	真木(千葉県俳句作家協会会報)	千葉県俳句作家協会事務局	青ファイル
122	松戸史談	松戸史談会	図書登録(C22.8)
123	学人ニュース:図書館まなびトーク	千葉県立西部図書館	青ファイル
124	真間:季刊	真間山弘法寺	BOX(市川)
125	ママともぶらす 東京ベイ・千葉版	榊明光企画	BOX(市川)
126	ミーティアムガイド:市川市公民館主催講座情報	市川市教育委員会公民館センター	BOX(市川)
127	みどりのふおーらむ:市川緑の市民フォーラム会報	市川緑の市民フォーラム	黄ファイル
128	みどりの道:外環千葉県区間情報誌	国土交通省関東地方整備局	BOX(市川)
129	MUSEUM LETTER ミュージアムレター	市川市文学ミュージアム	緑ファイル
130	みる つくる かたる:千葉県立美術館報	千葉県立美術館	青ファイル
131	ミレニアム	社)千葉県医師会	青ファイル
132	モラロジー教育	財)モラロジー研究所	黄ファイル
133	UNESCOいちかわ	市川市ユネスコ協会	黄ファイル
134	読売地域防犯ニュース	読売新聞	黄ファイル
135	LOUNGE ラウンジ	千葉銀行広報室	BOX(千葉)
136	リフォームガイド:千葉エリア版	産経新聞社	BOX(千葉)
137	例月出納検査結果の報告について	市川市監査委員	I/F7ファイル
138	歴博	国立歴史民俗博物館	BOX(千葉)
139	Rose Member's News	市川市文化振興財団	緑ファイル
140	和洋教育	和洋国府台女子中学校・高等学校	図書登録(I/Q3)
141	和洋女子大学紀要	和洋女子大学	図書登録(I/Q3)

注1:配架・分類欄の色は分類しているファイルの色を示す。(緑:市川市 青:千葉県 ピンク:県内他市町村 黄:団体・民間施設)

(4) 新聞ほか一覧

平成26年8月1日現在

ミ	タイトル	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南
アサ	Asahi WEEKLY[英語]	○					
アサ	朝日新聞	◎	○	◎	○	○	○
アサ	朝日中学生ウィークリー	○					
イン	International New York Times[英語]	○					
イン	International Herald Tribune[英語]	○		13年10月「International New York Times」に名称変更			
オヤ	おやばと(寄贈)	○		○			
カン	官報	⑤		⑤			
コウ	高校生新聞(寄贈)	○					
コウ	公明新聞	○					
サン	産経新聞	○		○			
サン	サンケイスポーツ			○			
シャ	社会新報	○					
シャ	The Japan Times[英語]	○		○			
シュ	週刊読書人	○					
シュ	自由民主	○					
シン	しんぶん赤旗	○					
シン	人民日報 海外版[中国語]	○		○	行徳13年3月で中止		
スホ	スポーツニッポン	○					
セイ	政府刊行物新聞(寄贈)	○					
タイ	The Times [英語]	○					
チハ	千葉県報	⑤		①	①	①	①
チハ	千葉日報	◎		○			○
チュ	中小企業振興(寄贈)						○
テン	点字毎日	○					
テン	点字毎日活字版	○		13年3月で中止			
トウ	東亜日報 日本版[韓国語]	○					
トウ	東京新聞	○					
ニッ	日刊工業新聞	○					
ニッ	日刊スポーツ	○	○	○	○	○	
ニッ	日経ヴェリタス	○					○
ニッ	日経産業新聞	○					
ニッ	日経MJ(流通新聞)	○					
ニホ	日本経済新聞	◎	○	○	○	○	○
フク	福島民報(寄贈)	○					○
フク	福島民友(寄贈)	○					○
マイ	毎日小学生新聞	○					
マイ	毎日新聞	○		○			
ミン	民主(寄贈)	○					
ユエ	USA TODAY [英語]	○					
ヨミ	読売新聞	◎	○	○	○	○	○

注1: 所蔵館名欄 ◎縮刷版あり ○所蔵あり ①1年保存 ⑤5年保存
注2: 網掛けはタイトル変更、休刊、購入中止等になったもの。

保存状況

新聞原紙

中央(原則として1年)

平田・行徳・信篤・南行徳(6ヶ月)

駅南(3ヶ月)

※朝日新聞、読売新聞、毎日新聞の地方版のみ新聞原紙

中央:平成22年1月～

「萬朝報」明治25年11月～大正9年12月
「日本」明治22年2月～明治39年6月

マイクロフィルム * 現在閲覧休止

「千葉日報」昭和32年～平成7年

「市川市民新聞」昭和27年～昭和42年

「京葉新聞」昭和43年～平成13年

「京葉子ども新聞」昭和40年～昭和56年

「朝日新聞縮刷版」

「朝日新聞縮刷版復刻版」

中央:明治21年7月～

欠号:昭和13年1～2月

欠号:昭和14年9月

欠号:昭和15年5月

欠号:昭和27年11月

欠号:昭和29年4月

欠号:昭和30年12月

欠号:昭和31年3月, 5～12月

欠号:昭和34年11月

欠号:昭和35年11月

欠号:昭和39年10月

欠号:昭和41年8月

欠号:昭和45年11月

欠号:昭和49年6月, 8月

欠号:昭和50年2月

行徳:昭和57年3月～

「読売新聞縮刷版」

昭和33年9月～

欠号:昭和41年8月

「読売新聞縮刷版復刻版」

昭和20年1月～昭和23年12月

「毎日新聞縮刷版」

昭和32年11月～12月

昭和56年3月～昭和59年12月

平成20年1月～

「日本経済新聞縮刷版」

昭和52年1月～昭和54年12月

昭和55年4月～

「千葉日報縮刷版」(平成16年4月～CD-ROM化)

昭和52年4月～平成16年3月

欠号:昭和60年7月 欠号:昭和63年7月

欠号:昭和61年7月 欠号:平成元年7月

欠号:昭和62年7月

「千葉日報製本版」

平成16年4月～12月

「千葉日報原紙」

平成17年1月～

12. 市川図書館友の会

F I L (Friends of ICHIKAWA LIBRARY)

①発足

平成6年9月18日

②目的

市川市中央図書館でのボランティア活動を通じて図書館と図書館員を応援し、人と人との触れ合いを目的とする。

③会員数

94名(平成26年4月1日現在)

④役員(平成26年度)

会 長：椎名昭洋
副会長：尾高有子 橋智子
会 計：鈴木吉則 大山秀子
監 事：富田道子 瀧上智子

⑤入会手続

会員資格 会の目的に賛同する人
会 費 ・個人会員 年額 1,000円
・賛助会員 年額 5,000円
特 典 一切なし
受付窓口 毎月第1・第3日曜日
11:00~15:00
中央図書館ブラウジングコーナー入り口

⑥活動

○図書館の仕事の一部を補助する。
○日常の実践活動のほかに次のような活動をする。
・年2回の図書館講座
・リサイクルブック市の運営と募金活動
・年1回の図書館見学会
・主に学生を対象にした夏休みボランティア体験の実施

⑦運営

会と日常の実践活動を円滑に運営するために、活動内容ごとに5つの部で構成している。

ア. アレンジ部

返却された本の配架と書棚の整理作業を主に行っている。ほかに、図書館利用者の便宜を図ったり、書架案内などを行ったりしている。休館日を除く毎日、開館時間から夕方まで、それぞれ会員の許す時間内が活動時間となっている。平成25年度の活動は261日で延べ1,416人、1日平均5.4人。

イ. レファ・サポート部

レファレンスカウンターを通じて請求された図書を閉架書庫内からいち早く探し出すことが第一の仕事となっている。ほかに、本の修理も行っている。

平成25年度の活動は253日間で延べ407人、1,022時間。

ウ. インフォメーション部

図書館内での案内業務、新入会員のための館内見学や説明をするほか、リサイクルブック市などイベントでは館内整理のアナウンスも引き受ける。第3水曜日10:30から正午まで、発声練習や身体をほぐすための柔軟体操を行うと共に、館内での役割を身に付けるための勉強会を開いている。

エ. 広報部

会の活動を知らせる会報「F I L通信」を発行しているため、その取材活動と発行作業を行う。平成25年度は、77~79号を発行した。

オ. 総務部

入会の申込みと継続会費の受付を毎月第1・第3日曜日の11:00~15:00に図書館入り口で行う。また、リサイクルブック市及び各種イベントの受付、準備を実施している。リサイクルブック市では参加者より賛助寄付金を募り、中央図書館及び行徳図書館に備品の一部を購入して寄贈している。

⑧事務局

会長と副会長で組織。対外折衝の窓口として、各地の図書館や友の会、行政、学生などへの対応、また、運営委員会開催及び議事録の作成を行っている。

⑨運営委員会

役員と各部長、副部長で構成。友の会の活動を計画するための定例会議を毎月1回(第4土曜日10:30~12:00)開催し、会の運営について協議している。

13. 視察・講師派遣等

(1) 視察

月 日	視 察 団 体 名	目 的	人数
4/12 (金)	韓国・原州市市職員	施設見学	10
4/25 (木)	埼玉県三郷市立図書館	市川駅南口図書館視察	2
5/10 (金)	埼玉県三郷市教育委員会	市川駅南口図書館視察	4
5/13 (月)	韓国・富川州市長他	施設見学	13
5/15 (水)	滋賀県東近江市市議団	学校とのネットワーク	12
7/12 (金)	秋本のりこ議員他	施設見学	8
8/3 (土)	アメリカ・ガーデナー市青少年代表団	施設見学	9
10/9 (水)	大阪府枚方市図書館	学校図書館支援サービス	13
10/17 (木)	高知県高知市立市民図書館	学校図書館支援事業	1
10/17 (木)	山梨県立図書館協力会	友の会ボランティア活動	25
10/25 (金)	静岡県教育委員会	学校図書館支援事業	4
11/21 (木)	愛知県安城市中央図書館	学校図書館支援事業	1
11/26 (火)	市川市市政戦略会議	中央図書館・行徳図書館	7
11/30 (土)	市川市市政戦略会議	中央図書館・行徳図書館	6
12/18 (水)	韓国・富川州市職員	施設見学	11
2/6 (木)	茨城県立図書館ボランティア	施設見学	30
2/16 (日)	千葉経済短期大学・齋藤誠一氏他	施設見学	2
3/13 (木)	八千代市緑ヶ丘図書館	コンピュータシステム	4

(2) 講師派遣等

月 日	テーマ (講師)	集會名、主催団体等 (講演場所)
5/20 (月)	図書館経営の基本と政策立案の方法 (松本雅貴)	2013 年度中堅職員ステップアップ研修 (2) (日本図書館協会)
6/16 (月)	政策・提言文書の作成 (松本雅貴)	2013 年度中堅職員ステップアップ研修 (2) (日本図書館協会)
10/18 (金)	市川市立図書館の障がい者サービス (中村美鈴)	平成 25 年度岩手県図書館職員・図書館協議会 合同研修会 岩手県図書館協会 (いわて県民情報交流センター)
10/24 (木)	事例報告：市川市中央図書館における展 示の工夫について (中村美鈴)	平成 25 年度第 2 回市立図書館相互協力担当者 会議 千葉県立西部図書館 (千葉県立西部図書館)
11/5 (火)	現代の図書館の動向 (叶多泰彦)	図書館基礎講座 (日本図書館協会)

2/27 (木)	整理分析：地域活性化と図書館、その建築－「市川市中央図書館（大型商業施設隣接）」を事例として（叶多泰彦）	第35回日本図書館協会施設委員会 図書館建築研修会 (川崎市立中原図書館)
----------	------------------------------------------------------	------------------------------------------

14. 市川市立図書館関係記事一覧

(1) 執筆記事	「タイトル」 『掲載紙』	執筆者 (出版社 刊行年)	掲載ページ
	「公立図書館による「望ましい基準」のとらえ方・活かし方：経営サイクルに関する規定を中心に（特集「図書館の望ましい基準」をどうとらえるか）」	叶多泰彦／著	『図書館雑誌』 Vol.107, No.5 (日本図書館協会 2013年5月) 276-278 ページ
	「ある日のおはなし会 小学生のためのこわいお話会」	豊田貴子／著	『こどもの図書館』 Vol.60, No.11 (児童図書館研究会 2013年11月) 17 ページ
	「科学の本と科学あそび」	(児童資料(1) 講師塚原博氏) 高柳公香／著	『こどもの図書館』 Vol.60, No.12 (児童図書館研究会 2013年12月) 5 ページ
	「公共図書館と学校図書館の連携ネットワーク」	福島康子／著	『初等教育資料』 No.909 (東洋館出版社 2014年1月) 36-39 ページ
	「整理分析：地域活性化と図書館、その建築：「市川市中央図書館（大型商業施設隣接）」を事例として」	叶多泰彦／著	『にぎわい・ふれあい空間を考える：これからの図書館における仕掛けと場のづくり方（第35回図書館建築研修会）』 (日本図書館協会 2014年2月) 79-88 ページ
	「何でも気軽にお尋ねください」	藤井彩／著	市川市役所のWORK [2014] (市川市役所 2014年3月)

(2) 紹介記事	「記事見出しタイトル」	【コラム名】 『掲載紙』	(出版社 刊行年)	掲載ページ	
	「哲学研究第一人者渡邊二郎コーナー 市川市中央図書館に設置」	『市川よみうり』	2013年5月4日号, No.1688	2面	
	「「場所としての図書館」再考」	【◆特集◆場所としての図書館】	根本彰／著	『現代の図書館』 第51号第2号, 通巻206号 (日本図書館協会 2013年6月) 51-60 ページ	
	「シルバーセンターの協力で再開 資料の自宅配送サービス 市川市中央図書館」	『市川よみうり』	2013年7月27日号, No.1699	2面	
	「女性から見た戦争」	『東京新聞』	2013年8月6日 千葉中央版	26面	
	「女性4人が戦時体験語る」	『市川よみうり』	2013年8月10日号, No.1701	1面	
	「市教育委員会における小・中学校図書館の整備推進の要因－4市の事例から」	渡辺暢恵／著	『日本図書館情報学会誌』 Vol.59 No.3, 通巻195号 (日本図書館情報学会 2013年9月)	101-118 ページ	
	「「生きる力」を育む読書教育～図書館の学校支援サービス～」	【人をつなぐ未来へつなぐ】<その31>	『市川よみうり』	2013年10月26日号, No.1711	2面
	「行徳駅「行徳図書館」周辺をちょいぶら」	【ぶちさんぽ】	『a e l d e (アエルデ) : 浦安・行徳版』	第26巻1号, 通巻90号 (スターツ出版 2014年1月) 11 ページ	

市川市広報のイベント記事、マイタウンいちかわは除く。

15. 条例・規則等

○市川市立図書館の設置及び管理に関する条例

平成20年12月12日

条例第39号

改正 平成23年12月7日 条例第45号

市川市立図書館設置条例（昭和39年条例第47号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 本市は、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するため、図書館法（昭和25年法律第118号。以下「法」という。）第10条の規定に基づき、図書館を設置する。

（名称及び位置等）

第2条 図書館の名称及び位置は、次の表のとおりとする。

名称	位置
市川市行徳図書館	市川市末広1丁目1番31号
市川市信篤図書館	市川市高谷1丁目8番1号
市川市南行徳図書館	市川市相之川1丁目2番4号
市川市市川駅南口図書館	市川市市川南1丁目10番1号

2 前項に定めるもののほか、本市に市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成6年条例第22号。以下「生涯学習センター条例」という。）に基づき、市川市中央図書館を設置する。

（平23条例45・一部改正）

（事業）

第3条 図書館においては、法第3条各号に掲げる事項を実施する。

（館外貸出しを受けることができるもの）

第4条 法第3条第1号に規定する図書館資料（以下「図書館資料」という。）の館外貸出し（以下「館外貸出し」という。）を受けることができるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらのもので構成される団体であって読書会等を主催するものとする。ただし、教育委員会が適当と認めるものは、この限りでない。

（館外貸出しの登録）

第5条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ教育委員会の登録を受けなければならない。ただし、生涯学習センター条例第10条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

2 前項本文の登録（以下「登録」という。）の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 登録の日から起算して3年

(2) 団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで

3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に登録の更新の申請をしなければならない。

4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年

(2) 団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

（平23条例45・一部改正）

（登録の申請等）

第6条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に登録の申請をしなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請をしたものが第4条に規定するものであるときは、その登録をするもの

とする。

3 教育委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例（平成16年条例第37号）第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード（第9条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。）の返還を受ける者であるときは、この限りでない。

4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に申請して、その再交付を受けることができる。

5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（変更の届出）

第7条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を教育委員会に届け出なければならない。

（登録の取消し）

第8条 教育委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

(1) 第4条に規定するものでなくなったとき。

(2) 不正の手段により登録（第5条第3項の登録の更新を含む。）を受けたとき。

（館外貸出しの承認等）

第9条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券（生涯学習センター条例第11条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。）又は館外貸出対応住基カードを提示して、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 教育委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

(1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。

(2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。

(3) 生涯学習センター条例第14条第2項第2号に該当するとき。

（平23条例45・一部改正）

（館外貸出しを受けることができる図書館資料等）

第10条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受けることができる図書館資料	館外貸出しを受けることができる図書館資料の数量（現に館外貸出しを受けている図書館資料及び生涯学習センター条例に基づく館外貸出しを受けている図書館資料の数量を含む。）	館外貸出しを受けることができる期間
個人	図書	20	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を受けた日から起算して31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日

（平23条例45・一部改正）

（館外貸出しの制限）

第11条 図書館資料のうち貴重図書その他教育委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(開館時間)

第12条 図書館の開館時間は、次の表の左欄に掲げる図書館の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区分	開館時間
市川市行徳図書館	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日にあつては、午後5時）まで
市川市信篤図書館及び市川市南行徳図書館	午前9時30分から午後5時まで
市川市市川駅南口図書館	午前9時30分から午後9時（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時）まで

(休館日)

第13条 図書館の休館日は、次の表の左欄に掲げる図書館の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区分	休館日
市川市行徳図書館及び市川市市川駅南口図書館	1 月曜日（その日が祝日法に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日） 2 毎月末日（その日が1に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い1に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日） 3 1月1日から同月4日まで 4 12月28日から同月31日まで
市川市信篤図書館及び市川市南行徳図書館	1 月曜日 2 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） 3 毎月末日（その日が1若しくは2に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い1及び2に掲げる日、日曜日並びに土曜日以外の日） 4 1月2日から同月4日まで 5 12月28日から同月31日まで

(入館の制限等)

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、図書館を利用するもの（第1号及び第2号において「利用者」という。）に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 利用者が公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 利用者が図書館の施設、附属設備又は図書館資料（以下「施設等」という。）を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他図書館の管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

(損害賠償)

第15条 施設等を壊し、汚し、又は失わせたものは、速やかに、原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

(指定管理者による管理)

第16条 教育委員会は、市川市市川駅南口図書館の管理を指定管理者（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 法第3条各号（第5号を除く。）に掲げる事項を行うこと。
- (2) 図書館利用券を交付し、及び再交付すること。
- (3) 館外貸出しの承認を行うこと。
- (4) 入館を禁じ、及び退館を命ずること。
- (5) 施設等の維持管理（軽微なものに限る。）を行うこと。

(6) その他前各号に掲げる業務を行うに当たり必要な行為をすること。

- 3 指定管理者が行う市川市市川駅南口図書館の管理の基準は、市川市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例（平成16年条例第2号）に定めるもののほか、第4条、第6条第3項及び第4項並びに第9条から第14条までに定めるところによる。この場合において、これらの規定の適用については、第4条ただし書中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第6条第3項本文中「教育委員会は、登録」とあるのは「指定管理者は、教育委員会が登録」と、同条第4項中「教育委員会に」とあるのは「指定管理者に」と、第9条及び第10条ただし書中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第12条ただし書及び第13条ただし書中「教育委員会が必要と認める」とあるのは「指定管理者が教育委員会の承認を得た」と、第14条中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」とする。

（委任）

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。ただし、改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（以下「新条例」という。）第2条第1項、第12条及び第13条の規定（市川市市川駅南口図書館に係る部分に限る。）並びに第16条の規定は、同月30日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に改正前の市川市立図書館設置条例（次項において「旧条例」という。）に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、新条例第5条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。
- 3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、新条例第6条第3項本文の規定により交付された図書館利用券とみなす。

附 則（平成23年12月7日条例第45号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例又は第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき20以上の数量の図書の館外貸出しを受けている個人は、その数量が20未満となるまでの間は、新たに第1条の規定による改正後の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づく図書の館外貸出しを受けることができない。

〇市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則

平成21年 3月31日

教育委員会規則第6号

改正 平成23年 3月25日教委規則第2号

平成24年 3月14日教委規則第2号

市川市立図書館規則（平成6年教育委員会規則第11号）の全部を改正する。

（趣旨）

第1条 この規則は、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（平成20年条例第39号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（運営状況の評価等）

第1条の2 教育委員会は、図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

（平24教委規則2・追加）

（蔵書の構築）

第2条 教育委員会は、図書館の蔵書の構築に関する指針を定め、これに基づき当該蔵書の構築を行うものとする。

2 教育委員会は、市民等から資料の寄贈又は寄託の申出があったときは、前項の指針に適合するか否かを調査し、適合すると認めるときは、当該資料を図書館資料として収蔵することができる。

3 教育委員会は、公の刊行物その他の資料を収集するため、国、県、県内の市町村その他の団体に当該資料の提供を依頼するものとする。

（平24教委規則2・一部改正）

（館内利用）

第2条の2 教育委員会は、図書館の適正な利用環境を維持するため、館内の利用方法を定める等の必要な措置を講ずるものとする。

2 図書館を利用するものは、前項の規定により講じられた措置に基づき、図書館資料を閲覧し、又は視聴するものとする。

（平24教委規則2・追加）

（レファレンスサービス）

第3条 教育委員会は、図書館を利用するものに対し、レファレンスサービス（そのものの求めに応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行うことをいう。次項において同じ。）を提供するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、レファレンスサービスに係る事項が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、レファレンスサービスを提供しないものとする。

- (1) 法令等の規定により公表を禁じられている事項
- (2) 古文書、美術品等の鑑定及び価格に関する事項
- (3) 身上、医療又は法律の相談に関する事項
- (4) 学習課題、卒業論文その他これらに類する事項
- (5) その他教育委員会がレファレンスサービスの提供を不相当と認める事項

3 教育委員会は、レファレンスサービスを提供するために必要があると認めるときは、公立図書館等にレファレンスサービスに係る情報の提供を依頼するものとする。

4 教育委員会は、公立図書館等からレファレンスサービスに係る情報の提供の依頼を受けたときは、図書館が保有する情報を提供することができる。ただし、当該依頼に係る情報が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

（平24教委規則2・一部改正）

（登録の申請等）

第4条 条例第6条第1項の規定による登録の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる書類を教育委員会に提出して行うものとする。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録・更新申請書（様式第1号）
- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録・更新申請書（様式第2号）及び団体構成員名簿（様式第3号）

- 2 前項の場合において、当該申請をするもの（団体にあつては、その代表者）は、運転免許証、健康保険証その他の住所及び氏名を確認するため教育委員会が適当と認める書類（本市に勤務し、又は通学する者にあつては、当該書類及び身分証明書、学生証その他の本市に勤務し、又は通学する者であることを確認するため教育委員会が適当と認める書類）を提示しなければならない。
- 3 前2項の規定は、条例第5条第3項の規定による登録の更新の申請について準用する。この場合において、第1項中「条例第6条第1項の規定による登録」とあるのは「条例第5条第3項の規定による登録の更新」と、「書類」とあるのは「書類及び図書館利用券又は条例第6条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード」と読み替えるものとする。
- 4 前項の規定により読み替えて適用される第1項の書類及び図書館利用券又は条例第6条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの提出期間は、条例第5条第2項の登録の有効期間の満了する日の前日の1月前の日から当該登録の有効期間の満了する日までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

（平23教委規則2・一部改正）

（登録の実施）

第5条 条例第6条第2項の規定による登録は、市川市立図書館館外貸出登録簿（様式第4号）に次に掲げる事項を記載することにより行うものとする。

- (1) 住所及び氏名（団体にあつては、その名称及び代表者の氏名）
- (2) 登録年月日及び登録番号

（図書館利用券）

第6条 条例第6条第3項本文に規定する図書館利用券は、図書館利用券（様式第5号）とする。

（図書館利用券の再交付の申請）

第7条 条例第6条第4項の規定による図書館利用券の再交付の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を教育委員会に提出して行うものとする。この場合において、第4条第2項の規定は、当該申請について準用する。

- (1) 個人 市川市立図書館利用券再交付申請書（個人用）（様式第6号）
- (2) 団体 市川市立図書館利用券再交付申請書（団体用）（様式第7号）

（変更の届出）

第8条 条例第7条の規定による登録の申請事項の変更の届出は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる届出書を教育委員会に提出して行うものとする。この場合において、当該届出書を提出するものは、当該変更を証する書類を当該職員に提示しなければならない。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録申請事項変更届出書（様式第8号）
- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録申請事項変更届出書（様式第9号）

（図書館資料の貸出しの予約等）

第9条 条例第6条第3項本文に規定する図書館利用券又は同項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの交付を受けたもの（本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であつて読書会等を主催するものに限る。）は、貸出しを希望する図書館資料について、教育委員会に対し、当該図書館資料の貸出しの予約、他の市川市立図書館からの取寄せの申出等を行うことができる。

2 教育委員会は、前項の規定による予約、申出等を受けた場合において、公立図書館等に当該図書館資料（コンパクトディスクその他の視聴覚資料を除く。）が所蔵されていることを確認したときは、当該公立図書館等に対し、当該図書館資料の借受けを申し出ることができる。

（平24教委規則2・追加）

（図書館資料の複製等）

第10条 教育委員会は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、図書館資料の複製を行うものとする。

2 図書館資料の複製を依頼しようとするものは、市川市立図書館資料複製申込書（様式第10号）を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、図書館資料の複製を行うことにより当該図書館資料が壊れ、又は汚れるおそれがあると認めるときは、前項の規定による依頼を拒否することができる。

4 第2項の規定による依頼に基づき行う図書館資料の複製に要する費用は、当該依頼をしたものの負担とする。

(平24教委規則2・旧第9条繰下)

(障害者サービス)

第11条 条例第6条第2項の規定による登録を受けた者のうち、身体障害、高齢、傷病等により図書館を利用することが困難な者に対する図書館資料の貸出し等に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24教委規則2・追加)

(指定管理者による管理)

第12条 指定管理者が市川市市川駅南口図書館の管理を行う場合におけるこの規則の規定の適用については、第2条の2、第3条、第7条、第9条及び第10条第1項から第3項までの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平24教委規則2・旧第10条繰下・一部改正)

(補則)

第13条 この規則に定めるもののほか、市川市立図書館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24教委規則2・追加)

附 則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。ただし、第10条の規定は、同月30日から施行する。

附 則 (平成24年3月14日教育委員会規則第2号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

〇市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例

平成6年9月28日

条例第22号

改正 平成15年6月25日 条例第42号
平成17年9月22日 条例第38号
平成19年12月20日 条例第44号
平成20年12月12日 条例第40号
平成23年12月7日 条例第45号
平成25年3月25日 条例第20号

(設置)

第1条 本市は、市民が生涯にわたって学習する機会を広く提供することにより、市民の生涯学習の振興及び普及を図るため、生涯学習センターを設置する。

(名称及び位置)

第2条 生涯学習センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 市川市生涯学習センター

位置 市川市鬼高1丁目1番4号

(事業)

第3条 生涯学習センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 生涯学習情報の提供に関すること。
- (2) 生涯学習支援体制の整備充実に関すること。
- (3) 生涯学習のための指導者及び助言者の養成及び研修に関すること。
- (4) その他生涯学習の振興及び普及を図るために必要な事項に関すること。

(施設等)

第4条 前条の事業を行うため、生涯学習センターに次の表の左欄に掲げる施設を置き、各施設の主な業務は、同表の右欄に定めるとおりとする。

施設名	業務
市川市中央図書館	図書館法（昭和25年法律第118号）第3条各号に掲げる事項に関すること。
市川市文学ミュージアム	(1) 文学、映像等に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。 (2) 文学、映像等の調査研究に関すること。 (3) 文学、映像等に係る講座、講演会等の開催に関すること。 (4) 施設及び附属設備の利用に関すること。
市川市教育センター	(1) 教育課程の調査研究に関すること。 (2) 教育関係職員の研修に関すること。 (3) 教育関係資料及び情報の収集、作成及び提供に関すること。 (4) 教育相談に関すること。
市川市中央こども館	(1) 児童の健全な遊びの指導に関すること。 (2) 児童の健康増進の指導に関すること。 (3) 児童の生活相談に関すること。 (4) 子育てを支援するものと児童との交流を図ることその他児童の健全な育成に関すること。 (5) 児童厚生員及び遊びの指導者等の養成に関すること。

2 市川市文学ミュージアム（以下「文学ミュージアム」という。）は、次に掲げるもので構成する。

- (1) 通常展示フロア
- (2) 企画展示室
- (3) グリーンスタジオ（控室を含む。）
- (4) ベルホール
- (5) 文学研修室

- (6) 映像メディア編集室
- (7) アナウンスブース
- (8) 音楽スタジオ
- (9) 資料室

3 市川市教育センター（以下「教育センター」という。）に所長その他の必要な職員を置く。

（平17条例38・平20条例40・平25条例20・一部改正）

（運営）

第5条 生涯学習センターは、生涯学習センターを構成する各施設相互の連携を図ることにより、生涯学習に関する総合施設として有機的に運営されなければならない。

（使用することができるもの）

第6条 文学ミュージアム（第4条第2項第5号から第8号までに掲げるものに限る。）を使用することができるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体とする。ただし、市長が適当と認めるものは、この限りでない。

2 市川市中央こども館（以下「中央こども館」という。）を使用することができるものは、本市に住所を有する18歳未満の者及びその保護者並びにこれらの者で構成される団体とする。ただし、市長が適当と認めるものは、この限りでない。

（平17条例38・平20条例40・平25条例20・一部改正）

（使用の許可等）

第7条 文学ミュージアム（第4条第2項第3号から第8号までに掲げるものに限る。以下この条、次条第1項、第20条及び第21条第1項において同じ。）を使用しようとするものは、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の許可をしないことができる。

- (1) 文学ミュージアムを使用しようとするものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 文学ミュージアムを使用しようとするものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 文学ミュージアムを使用しようとするものが営利を目的として使用するおそれがあるとき。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（第21条第1項第6号において「暴力団」という。）の利益になるとき。
- (5) その他文学ミュージアムの管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

3 中央こども館を使用しようとするものは、規則で定める名簿に住所、氏名その他規則で定める事項を記入しなければならない。

4 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、中央こども館を使用させないことができる。

- (1) 中央こども館を使用しようとするものがその事業に係る目的に適合しない目的で中央こども館を使用しようとするとき。
- (2) 中央こども館を使用しようとするものが前条第2項に規定するものに該当しないとき。
- (3) 中央こども館を使用しようとするものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (4) 中央こども館を使用しようとするものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (5) その他中央こども館の管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

5 市長は、文学ミュージアムの管理運営上必要があると認めるときは、第1項の許可について条件を付けることができる。

（平17条例38・全改、平19条例44・平20条例40・平25条例20・一部改正）

（使用料）

第8条 前条第1項の許可を受け、文学ミュージアムを使用するもの及び第4条第2項第2号に掲げるものにおいて行う特別の企画による展示を観覧する者は、市川市使用料条例（平成11年条例第39号）に定める使用料を納めなければならない。

2 中央こども館の使用料は、無料とする。

3 生涯学習センターの自動車駐車場（以下「駐車場」という。）を使用するものは、市川市使用料条例に定める使用料を納めなければならない。ただし、次に掲げる自動車を駐車する場合については、この限りでない。

- (1) 道路交通法（昭和35年法律第105号）第39条第1項に規定する緊急自動車

- (2) 身体障害者、知的障害者又は精神障害者が乗車している自動車
- (3) 市が主催する講座、講演会、研修会等において講師を務める者が乗車している自動車
- (4) 市川市中央図書館（以下「中央図書館」という。）、中央こども館等においてボランティア活動を行う者が乗車している自動車
- (5) その他使用料を徴収する必要がないものとして市長が特に認める自動車

4 前項の使用料は、自動車が駐車場から出場する際に、駐車場を使用したものから徴収する。

（平15条例42・平20条例40・平25条例20・一部改正）

（館外貸出しを受けることができるもの）

第9条 中央図書館の図書館法第3条第1号に規定する図書館資料（以下「図書館資料」という。）の館外貸出し（以下「館外貸出し」という。）を受けることができるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものとする。ただし、教育委員会（以下「委員会」という。）が適当と認めるものは、この限りでない。

（平20条例40・追加、平25条例20・一部改正）

（館外貸出しの登録）

第10条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ委員会の登録を受けなければならない。ただし、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（平成20年条例第39号。以下「図書館条例」という。）第5条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

2 前項本文の登録（以下「登録」という。）の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 個人 登録の日から起算して3年
- (2) 団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで

3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の更新の申請をしなければならない。

4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年
- (2) 団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

（平20条例40・追加、平23条例45・一部改正）

（登録の申請等）

第11条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の申請をしなければならない。

2 委員会は、前項の規定による申請をしたものが第9条に規定するものであるときは、その登録をするものとする。

3 委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例（平成16年条例第37号）第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード（第14条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。）の返還を受ける者であるときは、この限りでない。

4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に申請して、その再交付を受けることができる。

5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（平20条例40・追加）

（変更の届出）

第12条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を委員会に届け出なければならない。

（平20条例40・追加）

（登録の取消し）

第13条 委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

- (1) 第9条に規定するものでなくなったとき。
- (2) 不正の手段により登録（第10条第3項の登録の更新を含む。）を受けたとき。

（平20条例40・追加）

（館外貸出しの承認等）

第14条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券（図書館条例第6条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。）又は館外貸出対応住基カードを提示して、委員会の承認を受けなければならない。

2 委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

- (1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。
- (3) 図書館条例第9条第2項第2号に該当するとき。

（平20条例40・追加、平23条例45・一部改正）

（館外貸出しを受けることができる図書館資料等）

第15条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受けることができる図書館資料	館外貸出しを受けることができる図書館資料の数量（現に館外貸出しを受けている図書館資料及び図書館条例に基づく館外貸出しを受けている図書館資料の数量を含む。）	館外貸出しを受けることができる期間
個人	図書	20	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を受けた日から起算して31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日

（平20条例40・追加、平23条例45・一部改正）

（館外貸出しの制限）

第16条 図書館資料のうち貴重図書その他委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（平20条例40・追加）

（開館時間）

第17条 生涯学習センターを構成する各施設の開館時間は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、委員会（文学ミュージアム及び中央こども館にあっては、市長）が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区分	開館時間
中央図書館	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日にあつては、午後6時）まで
文学ミュージアム	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時）まで。ただし、第4条第2項第9号に掲げるものにあつては、午前10時から午後5時までとする。
教育センター	午前10時から午後5時まで
中央こども館	午前10時から午後6時（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後5時）まで

(平20条例40・追加、平25条例20・一部改正)

(休館日)

第18条 生涯学習センターを構成する各施設の休館日は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、委員会（文学ミュージアム及び中央子ども館にあっては、市長）が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区分	休館日
中央図書館、文学ミュージアム及び中央子ども館	(1) 月曜日（その日が祝日法に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日） (2) 毎月末日（その日が前号に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前号に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日） (3) 1月1日から同月4日まで (4) 12月28日から同月31日まで
教育センター	(1) 月曜日 (2) 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） (3) 毎月末日（その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日） (4) 1月2日から同月4日まで (5) 12月28日から同月31日まで

(平20条例40・追加、平25条例20・一部改正)

(駐車場の供用日等)

第19条 駐車場の供用日は、前条の規定により生涯学習センターを構成する各施設のすべてが休館する日以外の日とする。

2 駐車場の供用時間は、午前9時45分から午後7時40分（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時10分）までとする。

3 前2項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、これらに規定する駐車場の供用日又は供用時間を変更することができる。

(平20条例40・追加)

(使用権の譲渡等の禁止)

第20条 第7条第1項の許可を受け、文学ミュージアムを使用するものは、その使用する権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(平17条例38・一部改正、平20条例40・旧第9条繰下、平25条例20・一部改正)

(使用の停止等)

第21条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、文学ミュージアムの使用を停止し、使用の許可を取り消し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 文学ミュージアムを使用するものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 文学ミュージアムを使用するものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 文学ミュージアムを使用するものが使用の目的に違反したとき。
- (4) 文学ミュージアムを使用するものが使用の許可に際して付された条件に違反したとき。
- (5) 文学ミュージアムを使用するものがこの条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (6) 暴力団の利益になるとき。
- (7) その他文学ミュージアムの管理運営上支障があるとき。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、中央子ども館の使用を停止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 中央子ども館を使用するものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 中央子ども館を使用するものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 中央子ども館を使用するものが使用の目的に違反したとき。
- (4) 中央子ども館を使用するものが使用の際に指示された事項に違反したとき。

- (5) 中央こども館を使用するものがこの条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (6) その他中央こども館の管理運営上支障があるとき。

(平15条例42・平17条例38・平19条例44・一部改正、平20条例40・旧第10条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

(入館の制限等)

第22条 委員会又は市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、生涯学習センターを利用する者(第1号及び第2号において「利用者」という。)に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 利用者が公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 利用者が生涯学習センターの施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他生涯学習センターの管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

(平15条例42・平17条例38・一部改正、平20条例40・旧第11条繰下・一部改正)

(駐車拒否等)

第23条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、駐車場における自動車の駐車を拒否することができる。

- (1) 駐車しようとする自動車に発火性又は引火性を有する物品その他危険な物品が積載されているとき。
- (2) 駐車しようとする自動車駐車場の施設、設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他駐車場の管理上支障があるとき。

2 駐車場を使用するものは、第19条に規定する駐車場の供用日及び供用時間以外に自動車を駐車してはならない。ただし、市長が適当と認めるものについては、この限りでない。

(平20条例40・追加)

(意見聴取)

第24条 市長は、必要があると認めるときは、第7条第2項第4号又は第21条第1項第6号に該当するかどうかについて、千葉県市川警察署長の意見を聴くことができる。

(平19条例44・追加、平20条例40・旧第12条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

(損害賠償)

第25条 生涯学習センターの施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせたものは、速やかに、原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

(平15条例42・平17条例38・一部改正、平19条例44・旧第12条繰下、平20条例40・旧第13条繰下・一部改正)

(中央図書館の分館の設置等)

第26条 中央図書館の奉仕機能を充実させるため、中央図書館に分館を設置し、その名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 市川市中央図書館平田図書室

位置 市川市平田1丁目20番16号

- 2 市川市中央図書館平田図書室(以下「平田図書室」という。)の開室時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。
- 3 平田図書室の休室日は、次のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休室日を設けることができる。
 - (1) 月曜日
 - (2) 祝日法に規定する休日(その日が月曜日に当たるときは、その翌日)
 - (3) 毎月末日(その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日)
 - (4) 1月2日から同月4日まで
 - (5) 12月28日から同月31日まで

4 第22条の規定は平田図書室における入室の制限等について、前条の規定は平田図書室における損害賠償について、それぞれ準用する。この場合において、第22条中「委員会又は市長」とあるのは「委員会」と、「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と、「入館」とあるのは「入室」と、「退館」とあるのは「退室」と、前条中「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と読み替えるものとする。

(平19条例44・旧第13条繰下、平20条例40・旧第14条繰下・一部改正)

(委任)

第27条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則（文学ミュージアム、中央こども館及び駐車場にあっては、規則）で定める。

(平19条例44・旧第14条繰下、平20条例40・旧第15条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

附 則 (抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成6年11月1日から施行する。ただし、附則第4項の規定は、公布の日から施行する。

(市川市教育センター設置条例の廃止)

3 市川市教育センター設置条例（昭和36年条例第9号）は、廃止する。

(市川市立中央図書館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止)

4 市川市立中央図書館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例（昭和63年条例第20号）は、廃止する。

附 則（平成15年6月25日条例第42号）

この条例は、平成15年10月1日から施行する。

附 則（平成17年9月22日条例第38号）抄

(施行期日)

1 この条例は、平成17年11月15日から施行する。

附 則（平成19年12月20日条例第44号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成20年12月12日条例第40号）

(施行期日)

1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例(次項において「旧条例」という。)に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第10条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。

3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、改正後の第11条第3項本文の規定により交付された図書館利用券とみなす。

附 則（平成23年12月7日条例第45号）

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例又は第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき20以上の数量の図書の館外貸出しを受けている個人は、その数量が20未満となるまでの間は、新たに第1条の規定による改正後の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づく図書の館外貸出しを受けることができない。

附 則（平成25年3月25日条例第20号）

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から起算して5月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。（平成25年7月規則第41号で、同25年7月20日から施行）

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に改正前の第7条第1項の規定により教育委員会から使用の許可を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第7条第1項の規定により市長から使用の許可を受けたものとみなす。

○市川市中央図書館の管理に関する規則

平成6年10月18日
教育委員会規則第9号

改正 平成8年2月7日教委規則第1号
平成10年6月10日教委規則第7号
平成15年8月13日教委規則第11号
平成17年2月16日教委規則第3号
平成18年3月22日教委規則第1号
平成19年10月24日教委規則第14号
平成19年12月20日教委規則第18号
平成21年3月19日教委規則第4号
〔題名改正〕
平成23年3月25日教委規則第2号
平成24年3月14日教委規則第1号
平成25年7月12日教委規則第5号
〔題名改正〕

(趣旨)

第1条 この規則は、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成6年条例第22号。以下「条例」という。）第27条の規定に基づき、市川市中央図書館（分館を含む。以下同じ。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(平21教委規則4・平25教委規則5・一部改正)

(運営状況の評価等)

第2条 教育委員会（以下「委員会」という。）は、市川市中央図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

(平24教委規則1・追加)

(蔵書の構築)

第2条の2 委員会は、市川市中央図書館の蔵書の構築に関する指針を定め、これに基づき当該蔵書の構築を行うものとする。

- 2 委員会は、市民等から資料の寄贈又は寄託の申出があったときは、前項の指針に適合するか否かを調査し、適合すると認めるときは、当該資料を図書館資料として収蔵することができる。
- 3 委員会は、公の刊行物その他の資料を収集するため、国、県、県内の市町村その他の団体に当該資料の提供を依頼するものとする。

(平21教委規則4・全改、平24教委規則1・旧第2条繰下・一部改正)

(館内利用)

第2条の3 委員会は、市川市中央図書館の適正な利用環境を維持するため、館内の利用方法を定める等の必要な措置を講ずるものとする。

- 2 市川市中央図書館を利用するものは、前項の規定により講じられた措置に基づき、図書館資料を閲覧し、又は視聴するものとする。

(平24教委規則1・追加)

(レファレンスサービス)

第3条 委員会は、市川市中央図書館を利用するものに対し、レファレンスサービス（そのものの求めに応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行うことをいう。次項において同じ。）を提供するものとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、委員会は、レファレンスサービスに係る事項が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、レファレンスサービスを提供しないものとする。

- (1) 法令等の規定により公表を禁じられている事項
- (2) 古文書、美術品等の鑑定及び価格に関する事項
- (3) 身上、医療又は法律の相談に関する事項
- (4) 学習課題、卒業論文その他これらに類する事項

(5) その他委員会がレファレンスサービスの提供を不相当と認める事項

3 委員会は、レファレンスサービスを提供するために必要があると認めるときは、公立図書館等にレファレンスサービスに係る情報の提供を依頼するものとする。

4 委員会は、公立図書館等からレファレンスサービスに係る情報の提供の依頼を受けたときは、市川市中央図書館が保有する情報を提供することができる。ただし、当該依頼に係る情報が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

(平21教委規則4・全改、平24教委規則1・一部改正)

(登録の申請等)

第4条 条例第11条第1項の規定による登録の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる書類を委員会に提出して行うものとする。

(1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録・更新申請書(様式第1号)

(2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録・更新申請書(様式第2号)及び団体構成員名簿(様式第3号)

2 前項の場合において、当該申請をするもの(団体にあつては、その代表者)は、運転免許証、健康保険証その他の住所及び氏名を確認するため委員会が相当と認める書類(本市に勤務し、又は通学する者にあつては、当該書類及び身分証明書、学生証その他の本市に勤務し、又は通学する者であることを確認するため委員会が相当と認める書類)を提示しなければならない。

3 前2項の規定は、条例第10条第3項の規定による登録の更新の申請について準用する。この場合において、第1項中「条例第11条第1項の規定による登録」とあるのは「条例第10条第3項の規定による登録の更新」と、「書類」とあるのは「書類及び図書館利用券又は条例第11条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード」と読み替えるものとする。

4 前項の規定により読み替えて適用される第1項の書類及び図書館利用券又は条例第11条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの提出期間は、条例第10条第2項の登録の有効期間の満了する日の前日の1月前の日から当該登録の有効期間の満了する日までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

(平21教委規則4・全改、平成23教委規則2・一部改正)

(登録の実施)

第5条 条例第11条第2項の規定による登録は、市川市立図書館館外貸出登録簿(様式第4号)に次に掲げる事項を記載することにより行うものとする。

(1) 住所及び氏名(団体にあつては、その名称及び代表者の氏名)

(2) 登録年月日及び登録番号

(平21教委規則4・全改)

(図書館利用券)

第6条 条例第11条第3項本文に規定する図書館利用券は、図書館利用券(様式第5号)とする。

(平21教委規則4・全改)

(図書館利用券の再交付の申請)

第7条 条例第11条第4項の規定による図書館利用券の再交付の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を委員会に提出して行うものとする。この場合において、第4条第2項の規定は、当該申請について準用する。

(1) 個人 市川市立図書館利用券再交付申請書(個人用)(様式第6号)

(2) 団体 市川市立図書館利用券再交付申請書(団体用)(様式第7号)

(平21教委規則4・全改)

(変更の届出)

第8条 条例第12条の規定による登録の申請事項の変更の届出は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる届出書を委員会に提出して行うものとする。この場合において、当該届出書を提出するものは、当該変更を証する書類を当該職員に提示しなければならない。

(1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録申請事項変更届出書(様式第8号)

(2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録申請事項変更届出書(様式第9号)

(平21教委規則4・全改)

(図書館資料の貸出しの予約等)

第8条の2 条例第11条第3項本文に規定する図書館利用券又は同項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード

の交付を受けたもの（本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものに限る。）は、貸出しを希望する図書館資料について、委員会に対し、当該図書館資料の貸出しの予約、他の市川市立図書館からの取寄せの申出等を行うことができる。

- 2 委員会は、前項の規定による予約、申出等を受けた場合において、公立図書館等に当該図書館資料（コンパクトディスクその他の視聴覚資料を除く。）が所蔵されていることを確認したときは、当該公立図書館等に対し、当該図書館資料の借受けを申し出ることができる。

（平24教委規則1・追加）

（図書館資料の複製等）

第9条 委員会は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、図書館資料の複製を行うものとする。

- 2 図書館資料の複製を依頼しようとするものは、市川市立図書館資料複製申込書（様式第10号）を委員会に提出しなければならない。

- 3 委員会は、図書館資料の複製を行うことにより当該図書館資料が壊れ、又は汚れるおそれがあると認めるときは、前項の規定による依頼を拒否することができる。

- 4 第2項の規定による依頼に基づき行う図書館資料の複製に要する費用は、当該依頼をしたものの負担とする。

（平21教委規則4・追加）

（障害者サービス）

第9条の2 条例第11条第2項の規定による登録を受けた者のうち、身体障害、高齢、傷病等により市川市中央図書館を利用することが困難な者に対する図書館資料の貸出し等に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

（自動車図書館）

第9条の3 委員会は、図書館資料を広く市民の利用に供するため、市内を巡回する自動車図書館により図書館資料の貸出し等を行うものとする。

- 2 自動車図書館が巡回する場所、貸し出す図書館資料その他自動車図書館の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

（補則）

第10条 この規則に定めるもののほか、市川市中央図書館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

附 則

（施行期日）

- 1 この規則は、平成6年11月1日から施行する。

（図書館利用券等の取扱い）

- 2 市川市立図書館規則（昭和58年教育委員会規則第15号）に基づき交付された図書貸出券及び市川市立図書館規則（平成6年教育委員会規則第11号）に基づき交付される図書館利用券は、市川市中央図書館において館外貸出しを受ける場合に使用することができる。

附則（平成24年3月14日教育委員会規則第1号）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附則（平成25年7月12日教育委員会規則第5号）

この規則は、平成25年7月20日から施行する。

○市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針

平成21年3月30日

改正 平成25年12月20日

平成26年8月26日

(趣旨)

第1条 この指針は、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則（平成21年教育委員会規則第6号）第2条及び市川市中央図書館の管理に関する規則（平成6年教育委員会規則第9号）第2条の2の規定に基づき、市川市立図書館の資料収集、保存及び除籍等について必要な事項を定める。

(蔵書構築の基本)

第2条 市川市の図書館（以下、「図書館」という。）は、すべての市民が、教養、調査研究及びレクリエーションのために、各自の自由な意思に基づいて利用する生涯学習の場であるとともに、地域文化の発展を支え、住みよい地域社会の形成に寄与する教育機関であるという公共図書館の基本的役割を果たすために、ユネスコ公共図書館宣言（1994年採択）の精神に則り、蔵書の構築を行うものとする。

(収集にあたっての基本的姿勢)

第3条 図書館は、図書館の自由に関する宣言（1979年改訂 社団法人日本図書館協会総会決議）前文の本旨に基づき、市民のニーズを総合的に勘案して収集に努める。

- 2 対立する意見のある問題については、バランスを考慮し、できるだけ客観的な立場で書かれている資料を幅広く収集する。
- 3 著者の思想的、宗教的又は党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。
- 4 図書館に置かれる専門的職員（以下、「図書館員」という。）の個人的関心や好みによって選択しない。
- 5 個人、組織又は団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり紛糾をおそれて自己規制したりしない。
- 6 図書館の収集した資料がどのような思想や主張をもっていようと、それを図書館又は図書館員が支持することを意味しない。

(収集資料の範囲)

第4条 収集する資料の範囲は、国内で刊行される資料を中心とし、幅広く多様な形態のものを収集する。ただし、書き込むこと、切り取ること若しくは組み立てることを目的として作られた資料又は著しく破損しやすい資料は原則として収集しない。

(収集資料の種類)

第5条 収集する資料の種類は、次の各号のとおりとする。

- (1) 図書（一般図書、参考図書、児童図書及び外国語図書）
- (2) 逐次刊行物
- (3) 地域資料
- (4) 視聴覚資料
- (5) 障害者用資料
- (6) 電磁的記録
- (7) その他

(資料別収集方針)

第6条 資料の種類別収集方針は、次の各号のとおりとする。

(1) 図書

- ア 一般図書については、市民の教養、調査研究及びレクリエーション等に資する資料を収集する。ただし、学習参考書、受験参考書及び各種試験問題集は原則として収集しない。
- イ 参考図書については、市民の調査研究に必要な辞典、事典、便覧、統計、目録、索引及び書誌等を幅広く収集する。
- ウ 児童図書については、子どもの読書活動を推進するため、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような資料を収集する。
- エ ヤングアダルト図書については、児童図書又は一般図書の枠にとらわれず、中学生及び高校生を対象とした資料を幅広く収集する。
- オ 外国語図書については、多文化サービスを展開させるため、各種言語で書かれた資料を収集する。

(2) 逐次刊行物

- ア 新聞については、主要な全国紙を中心に収集する。
- イ 雑誌については、各分野における最新の動向が提供できるように、各分野の主要なものを幅広く収集する。
- ウ 年鑑、年報及び白書については、(1)ア及びイの規定を準用する。
- エ 法規集及び判例集については、最新の情報を提供できるように、加除式資料を収集する。

(3) 地域資料

- ア 地域資料は、市川市及び千葉県に関する資料とし、これらのうち市川市に関する資料については、文化的、地理的特性に立脚した特色ある資料を、図書を中心に、パンフレット、地図等形態にとらわれず、幅広く積極的に収集する。ただし、古文書は収集しない。
- イ 地域資料の逐次刊行物については、系統的に収集する。
- ウ 市民文庫は市民の著作、伝記及び評論について収集する。
- エ 市川市の行政資料については、積極的に収集する。
- オ 特別コレクション（永井荷風、東山魁夷、星野道夫及び渡邊二郎）については、網羅的に収集する。ただし、直筆原稿及びオリジナル作品は原則として収集しない。

(4) 視聴覚資料

- ア 録音資料については、市民の趣味、教養及びレクリエーション等に資するため、クラシック音楽、ポピュラー音楽、児童音楽、演芸及び文学作品等の基本的作品及び代表的演者による作品を中心に収集する。
- イ 映像資料については、活字ではなく音と映像によって情報を得るという視聴覚資料の特性を生かせるような、映画、記録及び演芸等の基本的作品を中心に、図書館での貸出許諾が得られているものの中から収集する。

- (5) 障害者用資料 障害者用資料については、図書館利用が困難な市民の要求に応えるため、点字資料、録音図書、大活字本、布の絵本及び字幕・手話入りビデオ等を収集する。

- (6) 電磁的記録 電磁的記録については、必要に応じて収集する。

(中央図書館及び地域図書館の収集方針)

第7条 図書館は、各々の館の規模、機能及び地域性に応じ、概ね次の各号に掲げる方針に基づいて資料収集を計画的に行い、体系的な蔵書の構築を図るものとする。

- (1) 中央図書館においては、図書館の中心館として、地域図書館、分室及び図書館関連施設等への協力及び支援を行うため、以下に掲げる資料を幅広く収集する。

ア 市民の生活、趣味及びレクリエーション等に資する資料。

イ 調査研究に役立つ、基本的、入門的乃至専門的資料。ただし、細分化された個別の高度な専門的資料を除く。

(2) 地域図書館及び分室においては、市民の身近な図書館として、地域性を考慮し、資料を収集する。

(収集計画)

第8条 前条の規定を実施するために、各々の館の資料収集計画を別に定める。

(収集資料の選定)

第9条 収集資料の選定にあたっては、この指針に基づいて図書館員の合議によって行い、中央図書館長が決定する。

(寄贈資料等の収集)

第10条 寄贈資料及び寄託資料等の受入れについては、前条の規定を準用する。

(資料の保存)

第11条 各資料の利用方法、利用度又は利用年限を考慮し保存する。

2 図書館として体系的な資料構成を図るため、中央図書館又は各地域図書館で保存する資料を選択し、効率的な保存を行う。

3 市川市に関する資料については、地域の歴史を後世に伝えるため保存する。

4 逐次刊行物の保存年限については、別に定める。

(除籍の目的)

第12条 常に適正な資料構成を維持し、また資料を更新し、活力ある蔵書の充実を図るために除籍を行う。

(除籍の対象資料)

第13条 除籍の対象となる資料及び基準は次の各号のとおりとする。

(1) 汚損・破損

ア 汚損・破損が甚だしく、修理不可能又は修理する価値がないと認めたもの。

イ 一部汚破損が甚だしく全体が利用に耐えないもの。

(2) 不用

ア 時間の経過によって、内容が古くなり、保存価値がなくなったもの。

イ 時間の経過によって、利用の可能性が低下したもの。

ウ 新版・改訂版又は同種資料の入手によって、代替可能となったもの。

(3) 数量更正 すでに受入れの済んでいる資料を分冊若しくは合冊しようとするもの。

(4) 移管 市川市の内部において所属換えをするもの。

(5) 亡失

ア 3回の資料点検を経て、調査してもなお所在不明なもの。

イ 貸出資料のうち督促等の努力にもかかわらず、10年以上回収不能なもの。

ウ 利用者が汚損・破損又は紛失した資料で、やむを得ない事情により現品での弁償が不可能なもの。

エ 不可抗力による災害その他の事故により汚損・破損又は紛失した資料で、その発生事実が証明されたもの。

(除籍資料の選定)

第14条 除籍資料の選定にあたっては、この指針に基づいて図書館員の合議によって行い、中央図書館長が決定する。

(補則)

第15条 前各条に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める

附 則 この指針は、平成21年4月1日から施行する。

○図書館法

昭和25年4月30日

法律第118号

最終改正 平成23年12月30日法律第122号

第一章 総則

(この法律の目的)

第一条 この法律は、社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）の精神に基き、図書館の設置及び運営に関し必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。

(定義)

第二条 この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの（学校に附属する図書館又は図書室を除く。）をいう。

2 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

(図書館奉仕)

第三条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

一 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルム等の収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「図書館資料」という。）を収集し、一般公衆の利用に供すること。

二 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。

三 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。

四 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。

五 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。

六 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。

七 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。

八 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。

九 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

(司書及び司書補)

第四条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。

3 司書補は、司書の職務を助ける。

(司書及び司書補の資格)

第五条 次の各号のいずれかに該当する者は、司書となる資格を有する。

一 大学を卒業した者で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したもの

二 大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

三 次に掲げる職にあつた期間が通算して三年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

イ 司書補の職

ロ 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの

ハ ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するもの

2 次の各号のいずれかに該当する者は、司書補となる資格を有する。

一 司書の資格を有する者

二 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者で次条の規定による司書補の講習を修了したもの

（司書及び司書補の講習）

第六条 司書及び司書補の講習は、大学が、文部科学大臣の委嘱を受けて行う。

2 司書及び司書補の講習に関し、履修すべき科目、単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。ただし、その履修すべき単位数は、十五単位を下ることができない。

（司書及び司書補の研修）

第七条 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、司書及び司書補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

（設置及び運営上望ましい基準）

第七条の二 文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

（運営の状況に関する評価等）

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

（協力の依頼）

第八条 都道府県の教育委員会は、当該都道府県内の図書館奉仕を促進するために、市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会に対し、総合目録の作製、貸出文庫の巡回、図書館資料の相互貸借等に関して協力を求めることができる。

（公の出版物の収集）

第九条 政府は、都道府県の設置する図書館に対し、官報その他一般公衆に対する広報の用に供せられる独立行政法人国立印刷局の刊行物を二部提供するものとする。

2 国及び地方公共団体の機関は、公立図書館の求めに応じ、これに対して、それぞれの発行する刊行物その他の資料を無償で提供することができる。

第二章 公立図書館

（設置）

第十条 公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

第十一条 削除

第十二条 削除

（職員）

第十三条 公立図書館に館長並びに当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が必要と認める専門的職員、事務職員及び技術職員を置く。

2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、図書館奉仕の機能の達成に努めなければならない。

（図書館協議会）

第十四条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第十五条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第十六条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

（入館料等）

第十七条 公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。

第十八条 削除

第十九条 削除

(図書館の補助)

第二十条 国は、図書館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、図書館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第二十一条 削除

第二十二条 削除

第二十三条 国は、第二十条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

- 一 図書館がこの法律の規定に違反したとき。
- 二 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。
- 三 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

第三章 私立図書館

第二十四条 削除

(都道府県の教育委員会との関係)

第二十五条 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、指導資料の作製及び調査研究のために必要な報告を求めることができる。

2 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、その求めに応じて、私立図書館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

(国及び地方公共団体との関係)

第二十六条 国及び地方公共団体は、私立図書館の事業に干渉を加え、又は図書館を設置する法人に対し、補助金を交付してはならない。

第二十七条 国及び地方公共団体は、私立図書館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき、援助を与えることができる。

(入館料等)

第二十八条 私立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対する対価を徴収することができる。

(図書館同種施設)

第二十九条 図書館と同種の施設は、何人もこれを設置することができる。

2 第二十五条第二項の規定は、前項の施設について準用する。

参考：図書館記載部分を抜粋

市川市教育振興基本計画

第2期【平成26年度～30年度】

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育



平成26年1月
市川市教育委員会

【基本的方向と施策の体系】

基本的方向	目標	施策の方向	施策
1 子どもの姿	自分や他人を大切にし、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる	1-1 自分を大切にし、他人を思いやる気持ちを養い、豊かな心を育む P15	<ul style="list-style-type: none"> ◎人と関わる力を身に付ける活動の充実 ◎余を大切にする教育の推進 ◎道徳教育の充実 ◎体験活動の充実 ◎読書教育の推進
		1-2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を固め、活用する力を育成する P18	◎豊かな学力を育成する取り組みの推進
		1-3 健康に関する意識を高め、健やかな体を育成する P20	<ul style="list-style-type: none"> ◎健康な生活習慣を身に付ける取り組みの推進 ◎食育の推進 ◎体力向上の取り組みの推進
		1-4 社会的な問題に関する認識を深め、意欲と実践力を育む P23	<ul style="list-style-type: none"> ◎環境学習の充実 ◎情報教育の推進 ◎キャリア教育の推進 ◎防災教育の推進
		1-5 日本や郷土市川の歴史や文化を学び、国際社会の中で生きる力を育む P26	<ul style="list-style-type: none"> ◎歴史や文化に関する教育の推進 ◎外国語教育・国際理解教育の推進
2 家庭・学校・地域の姿	自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を表現する	2-1 家族の心をつなぐを大切にし、心身の成長を育む家庭の教育力の充実を目指す P29	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭教育の充実に向けた取り組みの推進 ◎子育てに関する学習機会や相談機能の提供
		2-2 子どもと教職員とのつながりを大切にし、子ども一人一人の夢を育む学校の教育力の向上を目指す P31	<ul style="list-style-type: none"> ◎教職員の指導力の向上 ◎学校間の連携の推進 ◎学校評価の推進とその結果に基づく学校運営の改善 ◎教職員が子どもと向き合う時間の拡大 ◎特色ある学校運営を支援する職員研修の充実
		2-3 人とのつながりを大切にし、子どもの成長を支える地域の教育力の向上を目指す P34	◎地域を支える人材の育成と地域活動を支援するシステムの充実
		2-4 家庭・学校・地域のつながりを大切にし、市川の教育力の向上を目指す P36	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭・学校・地域の連携を図る取り組みの推進 ◎家庭・地域と連携した学校の活性化
3 市川の教育の姿	教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する	3-1 幼児期の教育を推進するための環境を整える P39	<ul style="list-style-type: none"> ◎生きる力の基礎を育む教育の推進 ◎子育て支援の充実
		3-2 一人一人に前向きな教育的支援を推進する P41	<ul style="list-style-type: none"> ◎特別支援教育の推進 ◎子どもや保護者を支援する体制の充実 ◎教育機会均等の確保
		3-3 安全・安心で充実した教育環境を実現する P43	<ul style="list-style-type: none"> ◎子どもの安全・安心を確保する家庭・学校・地域の取り組みの推進 ◎防犯の子どもを居場所づくりの推進 ◎学校の危機管理体制の充実 ◎いじめ、暴力行為などへの対応の強化 ◎安全で質の高い教育環境の整備
		3-4 生涯を通して学び続けられる学習環境を実現する P46	<ul style="list-style-type: none"> ◎生涯学習機会の充実 ◎図書館機能を活用した学習活動の充実 ◎博物館などの活用を通じた学習活動の推進 ◎公民館を活用した地域の学習拠点づくり ◎文化財の保護と活用
		3-5 責任ある教育行政を確立する P49	◎教育委員会機能の充実に向けた取り組み

● 第4章 基本的方向と施策 ●

◇施策の方向 3-4 生涯を通して学び続けられる学習環境を実現する

《施策一覧》

3-4 生涯を通して学び続けられる学習環境を実現する

- ◎ 生涯学習機会の充実
- ◎ 図書館機能を活用した学習活動の充実
- ◎ 博物館などの活用を通じた学習活動の推進
- ◎ 公民館を活用した地域の学習拠点づくり
- ◎ 文化財の保護と活用

子どもから大人まで、一人一人がそれぞれのライフステージに応じて、自主的、主体的に活動できるように、多様な学習ニーズにも的確に応えられる体制づくりが必要です。また、学んだ成果を地域社会に還元することができるように努め、地域の教育力の向上を図ることも大切です。

市川市では、多様な学習ニーズに応えるサービスの充実を一層進めるとともに、図書館や博物館、公民館などの社会教育施設を情報の発信源や学びの拠点として有効に活用し、誰もが生涯を通して学び続けることのできる学習環境の実現を目指します。

● 第4章 基本的方向と施策 ●

◆施策の内容◆

3-4-1 生涯学習機会の充実

一人一人に十分な文化・スポーツ活動の機会や多様な学習情報を提供するため、情報発信を積極的に行うとともに、相談体制の充実を図ります。また、関係機関と連携・協働することにより、さまざまな分野で学んだ成果を地域で活用することのできる機会を充実します。

成果指標	現状 (H25)	目標 (H30)
「生涯学習に関する情報提供や相談体制は十分だ」と回答する人の割合	46%	50%

3-4-2 図書館機能を活用した学習活動の充実

誰もが利用しやすい図書館サービスを提供するため、社会情勢や生活の変化に応じた市民のニーズを把握することに努め、資料の収集やレファレンスサービス^{*1}の充実、図書館ネットワーク^{*2}の一層の活用を図ります。また、郷土市川について学ぶ機会の拡充を図るため、行政資料や地域資料の積極的な収集を進めます。

成果指標	現状 (H25)	目標 (H30)
「図書館に満足している」と回答する人の割合	91% (H24)	95%

*1 レファレンスサービス・・・事実情報や文献資料を求めている利用者に対して、図書館員が図書館資料を使って答えたり、回答に含まれる情報源を提示・照会したりする人的サービス

*2 図書館ネットワーク・・・図書館と関連施設を結び、図書館資料の予約・取り寄せ・返却などができるシステム

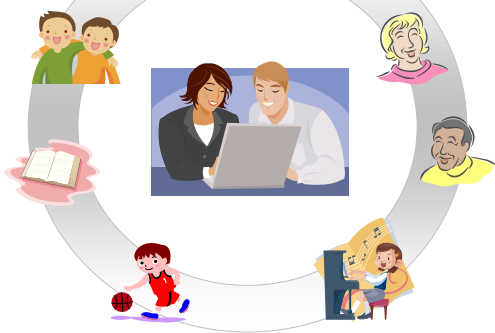
資料(2)

参考: 図書館記載部分を抜粋

第3次 市川市生涯学習推進計画

【平成22年度～平成26年度】

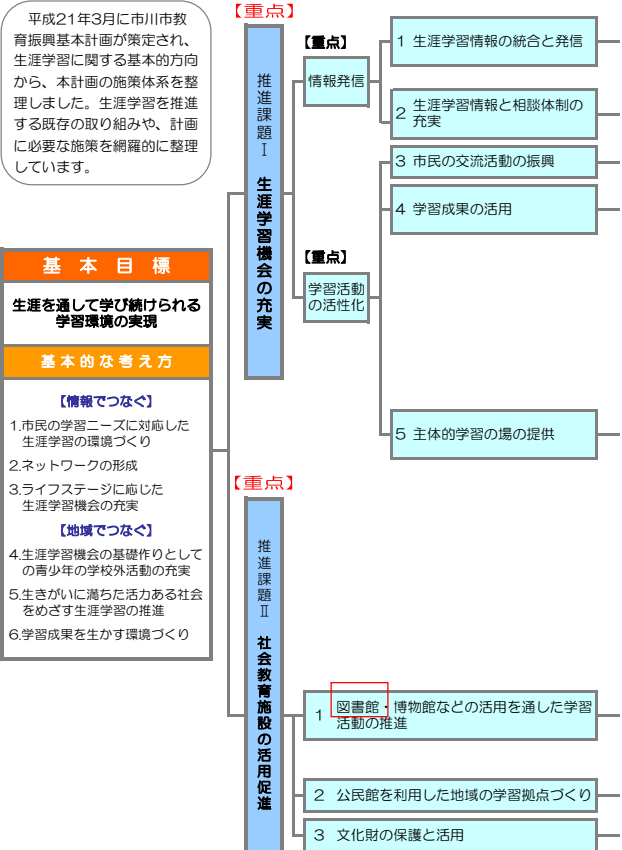
『生涯を通して学び続けられる
学習環境の実現』を目指して



平成22年8月 市川市教育委員会

4 推進の体系

施策の方向



基本目標
生涯を通して学び続けられる
学習環境の実現

基本的な考え方

【情報でつなぐ】

- 1.市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり
- 2.ネットワークの形成
- 3.ライフステージに応じた生涯学習機会の充実

【地域でつなぐ】

- 4.生涯学習機会の基礎作りとしての青少年の学校外活動の充実
- 5.生きがいと満ちた活力ある社会をめざす生涯学習の推進
- 6.学習成果を生かす環境づくり

推進課題II 社会教育施設の活用促進

図書館や博物館、公民館などの社会教育施設を情報の発信源や学びの拠点として有効に活用し、誰もが生涯を通して学び続けることのできる学習環境の実現を目指します。

施策の方向1 図書館・博物館などの活用を通じた学習活動の推進

基本施策1) 図書館サービスの向上

誰もが利用しやすい図書館サービスを提供するため、蔵書の収集やレファレンスサービスの充実、図書館ネットワークのいっそうの活用を図ります。
また、郷土市川について学ぶ機会の拡充を図るため、行政資料や地域資料の積極的な収集を進めます。

① 図書館事業の充実

事業名	図書館サービスの充実				
事業概要 ①～⑦	142. 登録・貸出・返却	(中央図書館)			
	143. リクエストサービス	(中央図書館)			
	144. 読書会等への団体サービス	(中央図書館)			
	145. 図書館利用に障害のある方へのサービス	(中央図書館)			
	146. 自動車図書館サービス	(中央図書館)			
	147. ヤングアダルトサービス	(中央図書館)			
	148. 宅配サービス	(中央図書館)			
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	登録者数	140,000人	141,000人	142,000人	143,000人
過去5年の達成度	高4・③・2・1低 達成度の理由 市民へのPRにより登録者数が増加した。				
事業名	図書館資料の充実				
事業概要 ①②	149. 図書、雑誌、視聴覚資料の収集	(中央図書館)			
	150. 地域行政資料、特別コレクションの収集・保存	(中央図書館)			
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	開架図書を8年で更新するための購入冊数	55,000冊	55,000冊	55,000冊	55,000冊
過去5年の達成度	高4・③・2・1低 達成度の理由 更新率に課題が残るが、計画的に資料の更新を進めることができた。				

基本施策 ページ 具体化の方策

◎は、教育振興基本計画<実施計画編>との整合施策です

1) 全庁的な取り組みの強化	◎P20	①庁内の生涯学習推進の整備 ②千葉県及び近隣市町村との連携
2) 高等教育機関・NPO・民間との連携	◎P21	①高校・大学等との連携 ②NPO・民間との連携
1) 学習情報提供・相談の充実	◎P22	①行政各種の情報システムとの連携 ②学習情報の総合的な収集・整理 ③生涯学習相談体制の整備・充実
1) 地域交流・団体活動等の支援	◎P23	①地域交流活動の推進 ②各種団体・グループ等の支援
1) 学習成果と人材の活用	◎P25	①学習成果の評価・活用 ②指導者の育成と確保 ③地域の人材活用の推進
1) 家庭教育力の充実	◎P27	①家庭教育の充実 ②親子対象の学習機会の充実 ③母子保健事業の充実
2) 地域教育力の充実	◎P30	①青少年の健全育成 ②コミュニティクラブの充実
3) 家庭・学校・地域の連携の充実	◎P32	①コミュニティサポートの充実
4) 環境教育力の充実	◎P33	①生活環境学習機会の充実 ②自然環境学習機会の充実
5) 市民生活の充実	P35	①生活と安全学習機会の充実 ②雇用推進相談の充実
6) ボランティア・NPO活動の充実	◎P38	①ボランティアの学習機会の充実
7) 芸術・文化・国際交流の充実	◎P39	①芸術・文化活動への支援 ②国際交流機会の充実
8) 健康・スポーツの充実	◎P42	①健康づくりの推進 ②生涯スポーツの振興
9) 男女共同参画社会の充実	◎P44	①男女共同参画センター事業の充実
10) 心豊かな福祉社会の充実	P44	①福祉の学習機会の充実 ②高齢者の学習活動の支援 ③障害者の学習活動の支援
1) 図書館サービスの向上	◎P47	①図書館事業の充実
2) 博物館活用の充実	◎P50	①博物館活用の充実
3) 生涯学習関連施設の充実	◎P53	①社会教育関係施設の充実 ②情報化に対応した学習機会の充実
1) 地域に密着した公民館運営の推進	◎P56	①公民館事業の充実
1) 文化財の保護と活用	◎P60	①文化財の保護と活用 ②文化施設(資源)の整備と活用

事業名	資料相談				
事業概要	151. レファレンスサービス (中央図書館)				
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	受付件数				
	58,000件	58,500件	59,000件	59,500件	60,000件
過去5年の達成度	高4・③・2・1低	達成度の理由 多くのレファレンスに適切に回答することができた。			
事業名	主催事業の実施				
事業概要	152. 書籍等の特集展示 (中央図書館)				
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	特集展示実施回数				
	年12回	年12回	年12回	年12回	年12回
過去5年の達成度	高④・3・2・1低	達成度の理由 図書館資料を効果的に展示し利用が図られた。			
事業名	リサイクル啓発事業				
事業概要①②③	153. リサイクルブック市 (中央図書館) 154. 奇贈本の受付・奇贈本回収箱の設置 (中央図書館) 155. 拾得物を利用した傘の無料貸出し (中央図書館)				
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	参加者数(リサイクルブック市)				
	1,700人	1,700人	1,700人	1,700人	1,700人
過去5年の達成度	高④・3・2・1低	達成度の理由 不要資料の有効活用が図られた。			
事業名	広報・啓発活動				
事業概要①②	156. 「市川市の図書館」「図書館だより」「市川市関係新聞記事索引」「新参者業務月報」等の広報物及びパンフレットの発行 (中央図書館) 157. 小学生向けブックリスト「本のほけっと」中高生向け通信「Young Adult通信」等の広報物の発行 (中央図書館)				
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	「市川市の図書館」(年度版)の発行				
	1回発行	1回発行	1回発行	1回発行	1回発行
過去5年の達成度	高④・3・2・1低	達成度の理由 図書館事業の報告として年1回発行した。			
事業名	図書館情報システム整備事業				
事業概要①②	158. 検索システムの充実 (中央図書館) 159. 民間データベースの充実 (中央図書館)				
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	民間データベース導入件数				
	11件	11件	11件	11件	11件
過去5年の達成度	高④・3・2・1低	達成度の理由 民間データベースの導入により、より高度なレファレンスへの対応が可能となった。			

事業名	子ども図書館事業の充実				
事業概要①②③	160. 絵本の読み聞かせ・素話の会 (中央図書館) 161. 学級文庫の貸出 (中央図書館) 162. 夏休み中の図書館PRイベントの開催 (中央図書館)				
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	参加人数				
	2,400人	2,500人	2,600人	2,600人	2,600人
過去5年の達成度	高4・③・2・1低	達成度の理由 読み聞かせにより、子どもと本の橋渡しができた。			
事業名	マルチメディアへの対応				
事業概要①②	163. インターネット端末の開放 (中央図書館) 164. インターネット接続環境の提供 (中央図書館)				
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	インターネット端末未利用回数				
	6,000回	6,000回	6,000回	6,000回	6,000回
過去5年の達成度	高④・3・2・1低	達成度の理由 所蔵資料以外の情報を提供することができた。			
事業名	ボランティアの充実				
事業概要①	165. 読み聞かせ講座の開催 (中央図書館)				
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	開催回数				
	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
過去5年の達成度	高④・3・2・1低	達成度の理由 読み聞かせに関する知識の伝授ができた。			
事業概要②	166. 市川図書館友の会、市川点訳朗読友の会、点訳ピーアィ、商だれの会、きらきらサークル (中央図書館)				
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	施設ボランティアとの連携・協力体制を更に深め、障害者サービスの充実や障害者資料の増加を図る。				
過去5年の達成度	高④・3・2・1低	達成度の理由 施設ボランティアとの連携・協力体制を図ることができた。			
事業名	市民図書室の充実				
事業概要①	167. 市民図書室の管理運営事業 (中央図書館)				
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	利用者数				
	44,000人	44,000人	44,000人	44,000人	44,000人
過去5年の達成度	高④・3・2・1低	達成度の理由 地域に根ざした図書室として多くの利用があった。			

事業概要②	168. 読み聞かせの会 (市民図書室)				
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	地域の子供たちへの絵本の普及のため定期的に会を開催する。				
過去5年の達成度	高④・3・2・1低	達成度の理由 定期的に開催され、絵本の普及活動ができた。			

基本施策2) 博物館活用の充実

博物館の持つさまざまな機能を活用し、体験活動の充実や、講師派遣などの教育普及サービスを活かした学習活動を推進します。

① 博物館活用の充実

教育振興基本計画・実施計画編3-4-7
図書館・博物館などの活用を通じた学習活動の推進

事業名	考古博物館事業				
事業概要①	169. 展示事業(常設展・企画展・巡回展等) (考古博物館)				
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	来館者数				
	22,000人	22,000人	22,000人	22,000人	22,000人
過去5年の達成度	高4・③・2・1低	達成度の理由 想定した来館者数をほぼ確保できた。			
事業概要②	170. 教育普及事業(教室・見学会・講演会等) (考古博物館)				
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	参加者数				
	600人	600人	600人	600人	600人
過去5年の達成度	高4・③・2・1低	達成度の理由 参加者には好評を得ており、概ね計画通り実施できた。			
事業概要③	171. 教育普及事業(縄文体験学習及びU関連研修会・ボランティア指導員養成講座等) (考古博物館)				
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	参加者数				
	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人	1,300人
過去5年の達成度	高4・③・2・1低	達成度の理由 参加者には好評を得ており、概ね計画通り実施できた。			
事業概要④	172. 教育普及事業(市川歴史カレッジ) (考古博物館)				
数値目標等	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
	受講者数				
	400人	400人	400人	400人	400人
過去5年の達成度	高4・③・2・1低	達成度の理由 概ね計画通り実施できた。			

市川市立図書館中期計画

平成23年4月1日

1 はじめに

本市図書館は、昭和25年(1950)9月に市川小学校内に併設されたことをもって嚆矢とします。昭和32年(1957)5月には葛飾八幡宮境内に本格的な市立図書館として移設され、その後、行徳、信篤、南行徳の各図書館及び平田図書室が相次いで開設されました。平成6年(1994)11月には、老朽化した八幡の市立図書館に代わって鬼高に建設された市川市生涯学習センター内に中央図書館が新設され、さらに平成21年4月には、JR市川駅南口の1-L i n kタウンいちかわ ザ タワーズ ウェスト内に市川駅南口図書館が新たに開館したところです。現在本市では、基幹施設である中央図書館を中心に5館1室によって市内図書館サービスを行っています。

市川市立図書館は、図書館法に基づき、市川市総合計画、市川市教育振興基本計画、市川市生涯学習推進計画、公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準等に沿って事業を展開していきます。

そして本計画は、市川市教育振興基本計画実施計画（平成21年度～23年度）に基づき、市川市立図書館が、これからの図書館経営および政策展開の方向性についてあらわしていくことで、計画的運営を図るために策定した中期計画です。なお、本計画の期間は平成23年度から平成25年度の3年間とします。

2 現状と課題

本市図書館は、創立から今日に至るまで半世紀を超える歴史を刻んでまいりましたが、この間、幅広い資料の収集と提供、子ども読書活動の推進、図書館ネットワークの整備と拡充、レファレンスサービスの質的向上を図る一方、学校とのネットワーク事業の実施、情報技術の積極的な活用等々、時代に即応した多彩な事業を展開してまいりました。

こうした図書館事業を背景に、本市図書館の平成21年度の利用状況は、利用者数約89万2千人、貸出点数約339万点を記録しており、利用は年々増加しています。中央図書館開館により、飛躍的な発展を遂げてきた本市図書館ですが、開館準備時の社会環境や図書館像は既に20年近く昔のものとなっています。その後、平成13年には文部科学大臣より「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が告示され、平成18年に文部科学省より発表された『これからの図書館像』（報告書）は全国の図書館に大きな影響を与えています。

現在の公共図書館は多くの課題を抱えております。業務のアウトソーシング化の流れの中で、市川駅南口図書館は、本市図書館で初めての指定管理者制度導入例となりました。また、開館時間や開館日の拡大が全国的な潮流になっている中で、本市においても平成21年4月から中央図書館と行徳図書館の祝日開館と開館時間の拡充を条例改正により本実施いたしました。さらに平成20年には図書館法を含む社会教育関連3法の改正が行われ、図書館の新たなあり方が形成されつつあります。

今後は指定管理者による管理運営の評価と検証を着実に行うと同時に、図書館サービスに対する利用者アンケートを実施し、将来を見据えた本市図書館サービス全体の方向性を総合的に示していかなくてはならないと考えております。

3 中期計画に位置づける目標

中央図書館建設時に設定した基本方針である3つの柱、「レファレンスワークの強化」「市内各館での児童サービスの核としての機能」「学校図書館との協力」を見直し、今後の目指すべき方向性を、公立図書館の使命（ミッション）と位置づけ、改めて6つの柱を設定します。この使命に基づき、図書館の実現する価値や果たすべき役割を明確にしながら、平成23年度から平成25年度に渡る中期計画を策定し、市民の期待に応えられるよう努めてまいります。

（1）学びを支える図書館

「身近に図書館が利用できるよう、図書館ネットワークの整備」

誰もが使いやすい図書館システムの整備をはかるとともに、物流の円滑化を進めることにより、迅速で効率的な資料提供をするなど、利用のしやすさを高めていきます。また、図書館未設置地域への図書館設置の検討や自動車図書館の巡回、返却ポストの設置、関連施設等との連携を進めていきます。

（2）情報拠点としての図書館

①「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

日常の疑問から仕事上の疑問まで、課題解決に対応できるよう資料の更新に努め、利用に応じた適正な蔵書構成の維持と充実を図ります。また、市民の趣味、教養等に資するため、活字資料の他、視聴覚資料の充実を図ります。心身等、図書館を利用する上でハンデキャップがある方が、それぞれの状況に応じた資料が利用できるよう、障害者向資料の収集に努めます。

②「ICタグによる蔵書管理」

ICチップの特徴を最大限に活用した、効果的な蔵書管理を図り、市民にとって魅力のある棚揃えを実現します。自動貸出機の導入によるセルフサービス化を進め、貸出・返却業務等の効率化を図り、職員の人的な能力を案内・調査相談など、より質の高いサービスへと集中させます。

③「レファレンスサービスの充実」

市民の調査研究活動を積極的に支援します。的確に資料を探せるよう、案内・回答機能の一層の充実を図ります。電磁的記録も含め多様な情報源を用意し、誰もが資料や情報を入手しやすい環境の整備を進めます。継続的に職員研修を行い、質の高いサービスを組織的に行います。

（3）子どもの成長をサポートする図書館

①「発達に応じた豊かな読書のための環境の整備」

子どもの発達に応じて読書活動を支援できるよう、子どもが読書の楽しさを知るきっかけを作り、読書の幅を広げていけるような資料収集に努めます。また、子どもと本を結びつける行事の実施や、ブックリストの作成・配布など子どもが読書に親しむ機会の提供に努めます。

②「教育センターや学校図書館との連携」

新指導要領に沿った資料の収集を計画的に行い、学習活動に役立つ資料の充実に努め、調べ学習を支援します。学校における読書環境整備のため学級文庫の充実を図ります。子どもの自ら学ぶ力を育むため、資料や情報を有効に活用し、教育センターや学校図書館との連携を進めます。

（4）地域の文化を育む図書館

「市川市の歴史・文化の保存と継承」

郷土市川について、自分の住む地域について知り、学ぶ手がかりとなる資料として、地域社会

の歴史、文化、行政などに関する資料、並びに地域で作成、発行された地域資料や行政資料の積極的な収集を進めます。これら資料による学ぶ機会の拡充を図るためにも、ホームページ等を利用した、地域情報の発信を行っていきます。

(5) 連携や協働で多様なサービスを展開する図書館

①「市民ボランティアとの連携の強化と活動のバックアップ」

図書館ボランティアとの連携を強化し、その活動をバックアップします。また、障害者サービスに関するボランティアとの連携も充実させていきます。

②「市内外の関係機関とのネットワークの充実による、質の高いサービスの提供」

大学図書館と協力し、住民が公共図書館のサービスを通じて大学図書館の持つ専門的な資料を利用できるようにします。

(6) まちづくりを支える図書館

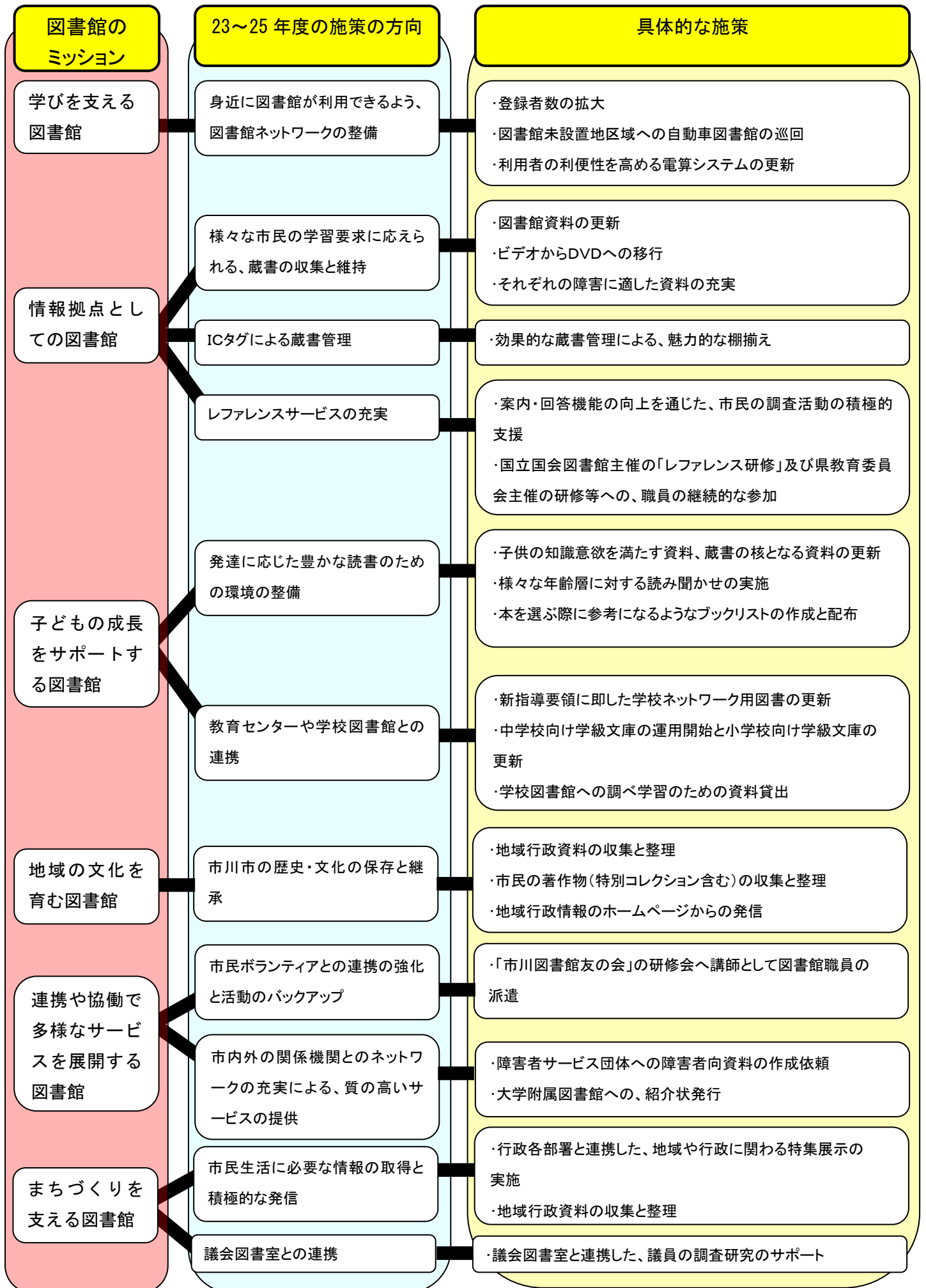
①「市民生活に必要な情報の取得と積極的な発信」

行政各部署と連携することで、市民生活に必要な最新の情報を市民の多様なニーズに沿って提供します。行政のPRの拠点として、新しい制度や仕組みの周知・普及等、行政課題への取り組みを支援します。

②「議会図書室との連携」

図書館法第3条第4項に基づき、議会図書室と相互連携し、図書館の有する情報資源を議会図書室を通じて市川市議会に提供します。

施策の体系図



4 中期計画に位置づける実施計画

「身近に図書館が利用できるよう図書館ネットワークの整備」

登録者数	図書館登録者の拡大		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	150,000人	151,000人	152,000人
自動車図書館利用者数	図書館未設置地区域への自動車図書館の巡回		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	5,300人	5,500人	5,700人
図書館電算システム更新	利用者の利便性を高める、図書館電算システムの整備		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	更新	継続(整備)	継続(整備)

「様々な市民の学習要求に答えられる、蔵書の収集と維持」

資料更新冊数	図書館資料の更新（児童書数含む）		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	60,000冊*	55,000冊	55,000冊
DVDの購入点数	ビデオからDVDへの移行		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	500点*	250点	250点
障害者資料の製作・収集	それぞれの障害に適した資料の充実		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	400点	400点	400点

*23年度は、図書館資料購入について国からの交付金があるため、他年度より目標値が高い。

「ICタグによる蔵書管理」

ICタグ付与進行状況	効果的な蔵書管理による、魅力的な棚揃えの実現		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	計画の策定	中央図書館蔵書 ICタグ付与	地域館蔵書 ICタグ付与

「レファレンスサービスの充実」

受付件数	案内・回答機能の向上を通じた、市民の調査研究活動の積極的支援		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	62,800	63,300	63,800
参加状況	国立国会図書館主催の「レファレンス研修」及び県教育委員会主催の研修等への、職員の継続的な参加		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	各研修への職員の参加	各研修への職員の参加	各研修への職員の参加

「発達に応じた豊かな読書のための環境の整備」

児童資料更新冊数	子どもの知識欲を満たす資料や、蔵書の核となる資料の更新		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	10,000冊	10,000冊	10,000冊
読み聞かせの会参加者数	様々な年齢層に対する読み聞かせの会を実施		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	1,000人	1,100人	1,200人
進行状況	子どもや周囲の大人が本を選ぶ際の参考になるようなブックリストの作成と配布		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	『本のぼけっと』 作成・配布	『本のぼけっと』 作成・配布	『本のぼけっと』『読んであげたい絵本改訂版』 作成・配布

「教育センターや学校図書館との連携」

学校ネットワーク用図書の更新	新指導要領に即した学校ネットワーク用図書の更新		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	200冊	200冊	200冊
学級文庫の更新	中学校向け学級文庫の運用開始と小学校向け学級文庫の更新		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	中学校向け学級文庫の運用開始 小学校向け学級文庫の更新 2,000冊*	小学校向け学級文庫の更新 200冊	小学校向け学級文庫の更新 200冊
貸出依頼の受付件数	教育センターや学校図書館との連携の推進		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	500件	500件	500件

*23年度は、図書館資料購入について国からの交付金があるため、他年度より目標値が高い。

「市川市の歴史と文化の保存と継承」

地域行政資料受入数	市川市の地域行政資料の収集と整理		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	1,500冊	1,500冊	1,500冊
市民文庫特別コレクション受入数	市民の著作物(特別コレクションを含む)の収集と整理		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	150冊	150冊	150冊
進行状況	地域行政情報のホームページからの発信		

年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	情報発信に向けた情報の収集及び整理	地域行政情報の発信	地域行政情報の発信

「市民ボランティアとの連携の強化と、活動のバックアップ」

実施回数	「市川図書館友の会」の研修会に図書館職員を講師として派遣		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	4回	4回	4回
依頼点数	障害者サービス団体への障害者資料の作成の依頼		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	20点	20点	20点

「市内外の関係機関とのネットワークの充実による、質の高いサービスの提供」

実施回数	大学付属図書館への紹介状の発行		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	100回	100回	100回

「市民生活に必要な情報の取得と積極的な発信」

実施回数	行政各部署と連携した、地域や行政に関わる特集展示の実施		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	3回	4回	5回
地域行政資料受入数	市川市の地域行政資料の収集と整理		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	1,500冊	1,500冊	1,500冊

「議会図書室との連携」

進行状況	議会図書室と連携した、議員の調査研究のサポート		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	連携の開始	連携事業の充実	連携事業の充実

平成 26 年度・目標値等

1.学びを支える図書館

施策の方向 「身近に図書館が利用できるよう図書館ネットワークの整備」

実施計画	目標値	
図書館登録者の拡大	登録者数	152,000 人
図書館未設置地域への自動車図書館の巡回	自動車図書館利用者数	5,700 人
利用者の利便性を高める、図書館電算システムの整備	図書館電算システム更新	継続(整備)

2.情報拠点としての図書館

施策の方向 1 「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

実施計画	目標値	
図書館資料の更新（児童書数含む）	資料更新冊数	48,900 冊
ビデオから DVD への移行	DVD の購入点数 (中央・駅南の合計)	150 点
それぞれの障害に適した資料の充実	障害者資料の製作・収集	400 点

施策の方向 2 「IC タグによる蔵書管理」

実施計画	目標値	
効果的な蔵書管理による、魅力的な棚揃えの実現	IC タグ付与進行状況	地域館蔵書 IC タグ付与

施策の方向 3 「レファレンスサービスの充実」

実施計画	目標値	
案内・回答機能の向上を通じた、市民の調査研究活動の積極的支援	受付件数	64,300 件
国立国会図書館主催の「レファレンス研修」及び県教育委員会主催の研修等への、職員の継続的な参加	参加状況	各研修への職員の参加

3.子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向 1 「発達に応じた豊かな読書のための環境の整備」

実施計画	目標値	
子どもの知識欲を満たす資料や、蔵書の核となる資料の更新	児童資料更新冊数	10,000 冊
様々な年齢層に対する読み聞かせの会を実施	読み聞かせの会参加数	1,300 人 *1
子どもや周囲の大人が本を選ぶ際の参考になるようなブックリストの作成と配布	実施状況	『本のほけっと』の作成・配布

*1 中央図書館での参加者数（全館合計では 2,300 人を目標値とする）

施策の方向2 「教育センターや学校図書館との連携」

実施計画	目標値	
新指導要領に即した学校ネットワーク用図書の更新	学校ネットワーク用 図書の更新	200冊
中学校向け学級文庫の運用開始と小学校向け学級文庫の更新	学級文庫の整備	資料の買い替え
教育センターや学校図書館との連携の推進	貸出依頼の受付件数	500件

4.地域の文化を育む図書館

施策の方向 「市川市の歴史と文化の保存と継承」

実施計画	目標値	
市川市の地域行政資料の収集と整理	地域行政資料受入数	1,500冊
市民の著作物(特別コレクションを含む)の収集と整理	市民文庫特別コレク ション受入数	150冊
地域行政情報のホームページからの発信	実施状況	地域行政情報の発信

5.連携や協働で多様なサービスを展開する図書館

施策の方向1 「市民ボランティアとの連携の強化と、活動のバックアップ」

実施計画	目標値	
「市川図書館友の会」の研修会に図書館職員を講師として派遣*2	実施回数	4回
障害者サービス団体への障害者資料の作成の依頼	依頼点数	20点

*2 講師派遣のほか、友の会との連携含む

施策の方向2 「市内外の関係機関とのネットワークの充実による、質の高いサービスの提供」

実施計画	目標値	
大学附属図書館への紹介状の発行	実施回数	100回

6.まちづくりを支える図書館

施策の方向1 「市民生活に必要な情報の取得と積極的な発信」

実施計画	目標値	
行政各部署と連携した、地域や行政に関わる特集展示の実施	実施回数	6回
市川市の地域行政資料の収集と整理	地域行政資料受入数	1,500冊

施策の方向2 「議会図書室との連携」

実施計画	目標値	
議会図書室と連携した、議員の調査研究のサポート	進行状況	連携事業の充実

資料（４）

平成 25 年度 市川市立図書館評価報告書

平成 26 年 9 月

1. 趣旨

この報告書は、「図書館法」（昭和 25 年法律第 118 号）第 7 条の 3、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成 24 年文部科学省告示第 172 号）、「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」（平成 21 年教育委員会規則第 6 号）第 1 条の 2 及び「市川市立中央図書館の管理に関する規則」（平成 6 年教育委員会規則第 9 号）第 2 条に基づき、平成 25 年度の市川市立図書館の運営状況について評価・分析を行いサービス向上に資するものである。

2. 評価内容

「市川市立図書館中期計画」（平成 23 年度～平成 25 年度）の具体的な施策に沿って行った、取り組み内容と数値目標の達成度に基づき、平成 25 年度の市川市立図書館の評価を行った。

3. 評価の基準について

1) 数値目標が設定されている項目の評価

具体的な施策の各項目の目標数値に対して、以下の表の左の割合を達成したとき、右の評価（A～Dの 4 段階）とした。

目標値に対する達成度	評価
100%超	A
100%以下～75%以上 *注	B
90%未満～50%以上 *注	C
50%未満	D

*注 評価の傾斜配分について
目標数値の桁数に応じて、桁数の少ない数値の場合は割合を低く、また、桁数の多い数値の場合は割合を高く設定した。

2) 数値目標の設定がない項目の評価

具体的な施策の各項目の実施目標に対して、取り組みの内容により右の評価（A～Dの 4 段階）とした。

実施内容	評価
目標どおり取り組みを実施し、目標を上回る成果があった。	A
目標どおり取り組みを実施し、一定の成果をあげた。	B
取り組みを実施したが、十分な成果をあげることができなかった。	C
実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。	D

4. 評価結果

平成 25 年度は、「市川市立図書館中期計画」の具体的な施策全 24 項目のうち、A評価が 16 項目、B評価が 5 項目、評価外が 3 項目という結果になった。評価外のうち 2 項目については、当該年度において当初予算として査定されなかったものであり、図書館所掌業務として評価し難いことから評価外とした。今後は、適切な評価指標のあり方を検証し、次期計画に活かしたい。

細部においては、課題が残るものもあったが、総合的には全て「B」評価以上であったため、目標は概ね達成でき一定の成果をあげたといえる。

「市川市立図書館中期計画」に基づく図書館評価結果（平成25年度）

市川市立図書館のサービス向上を図るため、「市川市立図書館中期計画」に沿って行った平成25年度の図書館運営について、取り組み内容と数値目標達成度に基づき、評価を行いましたので報告いたします。

1. 学びを支える図書館

施策の方向 「身近に図書館が利用できるよう、図書館ネットワークの整備」

具体的な施策	総合評価	結果	目標値等	
登録者数の拡大(登録者数)	B	136,570	152,000	人
図書館未設置区域への自動車図書館の巡回(利用者数)	A	6,565	5,700	人
利用者の利便性を高める、電算システムの整備	A	改善	整備	

評価 図書館を利用したことがない市民の利用を促すため、広報やHPでイベントのPRを行い、学校への学級訪問では子どもたちに図書館の利用を呼び掛けたが、登録者数については目標値に届かなかった。
 図書館未設置区域を巡回する自動車図書館の利用者数については、目標を達成することができた。
 電算システムにおいては、利用者蔵書検索システム(OPAC)の貸出延長や予約変更の方法に改善を加え、利用者の利便性を高めることができたことは評価できる。

課題 広報や市の公式HPを活用し、未登録者へ向けて魅力あるイベントを実施し、PR等を行っていくことで登録率を上げていく必要がある。また、図書館未設置区域の北部地域へはサービス拡大の要望もあり、自動車図書館の巡回だけではなく、関連施設等の活用方法が課題である。

方向性 平成26年度は市制施行80周年、中央図書館開館20周年を迎えるため、図書館でも集客力のある記念イベントを計画・実施し、未登録者へ向けて更なるPRを展開する。また、平成26年度は図書館未設置区域の北部地域にある大野公民館図書室でCDの返却受付を試行するが、その結果をふまえ関連施設の活用方法等を検討していく。

2. 情報拠点としての図書館

施策の方向 ①「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」
 ②「ICタグによる蔵書管理」
 ③「レファレンスサービスの充実」

具体的な施策	総合評価	結果	目標値等	
図書資料の更新(受入冊数)-①	B	52,870	55,000	冊
ビデオからDVDへの移行(中央・駅南でのDVD受入点数)-①	—	66	320	点
それぞれの障害に適した資料の充実(各種資料の受入点数)-①	A	421	400	点
効果的な蔵書管理による、魅力的な棚揃えの実現(ICタグ付与・進行状況等)-②	—	次年度予算の確保	地域館へ付与	
案内・回答機能の向上を通じた、市民の調査活動の積極的支援(レファレンス件数)-③	A	69,348	63,800	件
国立国会図書館主催の「レファレンス研修」及び県教育委員会主催の研修等への、職員の継続的な参加(一人当たり年2回の参加を目標とした人数)-③	A	144	106	人

評価 図書資料受入数は、目標値には達しなかったが、寄贈資料を活用し、資料の更新に努めることができた。DVD受入数は、DVDの資料費が予算配分されず、図書の資料費の一部を充てたものの、映像資料に関しては著作権の問題から寄贈資料を活用することができないため、評価外とした。

効果的な蔵書管理のため計画中のICタグ導入と集密書架設置については、過去数年に渡り予算要求を続けた結果、集密書架一部設置を行うことができ、蔵書の維持管理の面で前進した。また、平成26年には集密書架の一部設置の継続及び行徳図書館の新刊図書へのICタグ導入が決まった。

レファレンス受付件数は目標を達成することができた。また、研修参加については、全館的に積極的に行い、レファレンスサービスの充実につながった。

課題 蔵書の構築に関しては、計画的に資料が更新されるよう継続的な資料費の確保が必要ではあるが、限られた資料費を十分に活かせるような資料の選定を行っていくことが課題である。集密書架を一部設置したが、効率的な蔵書管理を図るため、資料保存についての全館的な計画が必要である。

方向性 資料の選定については、引き続き蔵書構成や利用状況をきめ細かく分析して資料選定を行っていくとともに、更なる寄贈資料の積極的活用を全館で進めていく。資料保存についての全館的な計画を作成し、効率的な蔵書管理を進めていく。

3. 子どもの成長をサポートする図書館

- 施策の方向 ①「発達に応じた豊かな読書のための環境の整備」
②「教育センターや学校図書館との連携」

具体的な施策	総合評価	結果	目標値等	
子どもの知識欲を満たす資料や、蔵書の核となる資料の更新(受入冊数)-①	B	9,278	10,000	冊
様々な年齢層に対する読み聞かせの会を実施(全館での参加者)-①	A	2,122	2,100	人
子どもや周囲の大人が本を選ぶ参考となるブックリストの作成と配布-①	A	作成配布	作成配布	
新指導要領に即した学校ネットワーク用図書更新(受入冊数)-②	B	186	200	冊
中学校向け学級文庫の運用開始と小学校向け学級文庫の更新(受入冊数)*1-②	—	目標達成	200	冊
教育センターや学校図書館との連携の推進(貸出依頼の受付件数)-②	A	533	500	件

*1学級文庫は、平成23年度に国からの「住民生活に光をそそぐ交付金」により資料更新し、目標達成につき評価外とした。

評価 図書資料の更新に当たっては、目標値に達することができなかったが、寄贈資料の活用により更新に努めることができた。特に学校ネットワーク用図書については、博物館からの寄贈により、複本を揃えることができた。また、小学生に向けたブックリスト「本のぼけっと」の発行だけではなく、年齢別幼児向けリスト「よんであげたいえほん」の改訂・発行も併せて行うことができた。教育センターや学校図書館と連携している事業(学校図書館支援センター事業)では、各校から積極的な貸出依頼があった。

課題 読み聞かせの会等の図書館行事への参加者は微増であるが、更に参加をうながすための方策が必要である。図書館資料は、計画的な更新を図ることが必要であり、それには継続的な資料費の確保が重要ではあるが、限られた資料費を効果的に活かせる資料の選定が課題である。

方向性 子育てに関わる関係部署と連携を図り、「いちかわっこWEB」等に情報を発信するなど周知に努める。また、保護者や子どもたちに関わる大人への講座なども開催頻度や内容を見直していく。平成26年度は市制施行80周年、中央図書館開館20周年を迎えるため、文学ミュージアム・こども館・学校など関係部署と協力し、図書館の利用拡大につながるよう情報発信をしていく。

4. 地域の文化を育む図書館

- 施策の方向 「市川市の歴史・文化の保存と継承」

具体的な施策	総合評価	結果	目標値等	
地域行政資料の収集と整理(受入冊数)	A	1,980	1,500	冊
市民の著作物(特別コレクション含む)の収集と整理(受入冊数)	A	573	150	冊
地域行政情報のホームページからの発信	A	発信	発信	

評価 中央図書館では新たな特別コレクションとして、ご遺族から寄贈を受けた資料や草稿類等によるコレクション「渡邊二郎」コーナーを新設した。地域行政資料は全館とも寄贈を含めて積極的に収集し、整理したことは評価できる。

ホームページからの情報発信については、平成24年度に資料整理を行った「市川ゆかりの人検索」を更新し、市川ゆかりの作家家のページ「渡邊二郎」を新たに作成した。

課題 収容量に限られる地域館では、地域行政資料の保存が困難なため、中央図書館への保管転換を進めていく必要がある。また、中央図書館では、地域行政資料を永年で保存していくためのスペースの確保と資料の劣化対策が引き続き課題である。

方向性 集密書架の一部設置による資料保存の再配置を計画する中で、地域行政資料の保存スペースの十分な確保を図り、地域館からの資料受入れを進めていく。また、資料の劣化対策として、著作権保護期間満了の資料の電子化等も計画していく。

収集保存してきた地域行政資料を広く活用できるように、資料の整理を行い、ホームページからの情報発信に努める。

5. 連携や協働で多様なサービスを展開する図書館

- 施策の方向 ①「市民ボランティアとの連携の強化と活動のバックアップ」
②「市内外の関係機関とのネットワークの充実による、質の高いサービスの提供」

具体的な施策	総合評価	結果	目標値等	
「市川図書館友の会」との連携(連携回数)*2 -①	A	6	4	回
障害者サービス団体への障害者向資料の作成の依頼(依頼による作成点数)-②	A	33	20	点
大学附属図書館への紹介状の発行(発行回数)-②	A	109	100	回

*2中期計画では友の会講座への講師派遣回数としていたが、友の会の活動内容により回数は異なるため様々な活動での連携回数とした。

評価 市川図書館友の会と、中央・行徳のリサイクルブック市を共催した。また図書館からは友の会講座の講師として職員を派遣し、友の会は図書館来館者アンケートの配布や夏休み体験ボランティアの受け入れに協力をするなど、連携をとることができた。

障害者サービス関連のボランティア団体への資料作成依頼は、布の絵本、布のおもちゃ、DAISY図書の製作数が目標数を大きく上回り、障害者向資料の充実を図ることができたことは評価できる。

紹介状発行のうち大きな割合を占める千葉商科大学附属図書館の紹介状希望者は増加傾向にあり、目標値を超えることができた。

課題 ボランティア活動の拡充と多様な図書館サービスの充実を図るため、引き続き、生涯学習に関わる市民ボランティアや関連機関との連携強化が課題である。

方向性 平成26年度はリサイクルブック市に加えて、中央図書館開館20周年の記念イベントが予定されているため、ボランティア団体とより一層連絡を密にし、連携したイベント等を実施していく。

市内大学図書館との連携サービスについては、引き続き市民にPRしていく。

6. まちづくりを支える図書館

- 施策の方向 ①「市民生活に必要な情報の取得と積極的な発信」
②「議会図書室との連携」

具体的な施策	総合評価	結果	目標値等	
行政各部署と連携した、地域や行政に関わる特集展示の実施(実施回数)-①	A	6	5	回
地域行政資料の収集と整理(受入冊数)-①	A	1,980	1,500	冊
議会図書室と連携した、議員の調査研究のサポート-②	B	継続	充実	

評価 行政各部署と連携した特集展示の実施は、保健センター、文学ミュージアム、動植物園、雇用労政課と、平成24年度と異なる課と連携した。また市の公式フェイスブックも活用し、市民に有用な情報発信をすることができた。他に、図書館の主催事業として、千葉県文書館の講師による初の歴史講座を行った。

地域行政資料の収集受入は全館で進めており、市民に必要な情報提供に繋がった。
議員からのレファレンス依頼を受け、議員の調査研究、政策立案に資することができた。

課題 図書館が行政PRの拠点として位置付けられるよう、中央図書館だけではなく地域館でも行政各部署と連携した情報発信を行うことが引き続き課題である。

議会図書室へは図書館から定期的なPRを行い、連携を継続させていく必要がある。

方向性 平成26年度は市制施行80周年を迎えるため、図書館でも行政各部署と連携し、記念事業を実施していく。また、中央図書館の開館20周年に併せた講座、展示などを行い、市民への情報発信を行う。

図書館に新しく導入されたデータベース情報など、議会事務局を含めた行政各部署に積極的にPRしていく。

平成25年度 総合結果

平成25年度は、特に、2.「情報拠点としての図書館」では集密書架の一部設置により効率的な蔵書管理を進めることができ、研修参加については全館的に積極的に行い、レファレンスサービスの充実につながった。また、4.「地域の文化を育む図書館」では新規特別コレクションの設置を行い、地域行政資料の受入冊数においては全館で寄贈資料を活用し、大幅に目標値を超え、成果を上げることができた。

一方、図書館登録者数は目標値を下回っており、図書館を利用したことのない市民に対して魅力的なイベントがPRできるような方策が必要である。また、DVDの資料費が予算配分されなかったため評価外としたが、図書館として各種資料の収集についての優先順位をどのように考えるか明確にし、限りある資料費を十分活かせるような資料の選定をしていくことが課題である。

総合的には、平成24年度に引き続き全ての項目がB判定以上だったため、平成25年度も6つのミッションにおいて目標は概ね達成でき、一定の成果を上げることができたといえる。

資料 (5)

平成 25 年度 市川市立図書館 来館者アンケート報告書

平成 26 年 3 月 28 日
市川市立図書館

1. 実施について

(1) 調査の目的

市川市中央図書館と地域図書館(4館)における利用の実態や満足度を把握し、今後の図書館運営に活かすため、来館者アンケート調査を実施した。

(2) 調査概要

実施日 : 平成 26 年 1 月 24 日(金)から 25 日(土)まで
 実施時間 : 午前 10 時～各館閉館時間
 実施場所 : 中央図書館 (こどもとよかんを含む)
 地域図書館 (行徳図書館・南行徳図書館・信篤図書館・平田図書室)
 対象者 : 中学生以上
 対象者数 : 中央図書館 有効回答数 200 以上を目標とする
 地域図書館 有効回答数 4 館合計で 200 以上を目標とする

(3) 調査実施状況

実施場所	実施期間	配布数	回収数
中央図書館	1月24日(金)～1月25日(土)	488	453

回収率 92.8%

地域図書館

行徳図書館	1月24日(金)～1月25日(土)	145	125
信篤図書館	"	42	39
南行徳図書館	"	43	43
平田図書室	"	60	60
地域図書館 合計		290	267

回収率 92.1%

(4) 集計・分析にあたって

無回答の場合はカウントしていないため、設問ごとに回答者数は異なる。

アンケート結果概説

図書館を利用した満足度を設問 5 と 6 で尋ねた。総合的な満足度は中央図書館 96.3%、行徳図書館 88.8%、小規模地域館 3 館平均で 90.9% (信篤 85.7% 南行徳 92.5% 平田 94.6%) と全体的に高く、中央図書館はこれまでで最高の満足度となった。

また、職員への対応については、全ての館で 90% 以上の非常に高い満足度が示された。蔵書量に関しては、中央館での満足度の高さに比較して地域館では低いものの、図書館を利用した成果として「探していた情報知識を得ることができた」「面白い本に触れて充実した時間が過ごせた」と感じている方が大多数であり、地域に密着した図書館として概ね満足して利用されている様子がうかがえる。資料の収容量に制限のある地域館の利用者でも、図書館全体の資料や情報を活用できる機能の向上と利用の P.R. に努めたい。

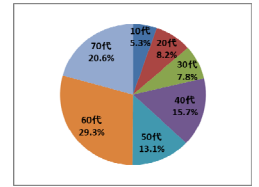
2 集計結果について

2-1 中央図書館集計結果

設問 1. [利用者の属性]

ア. 年齢

年齢については、453 件の調査票回収のうち 451 名の方に回答をいただいた。
 年齢は、「60 代」の方が 29.3% と最も多く、次に「70 代以上」の方が 20.6% と、この 2 つの利用年齢層で半分を占めた。続いて「40 代」の方が、15.7% だった。



	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
回答者数	24	37	35	71	59	132	93	451
	5.3%	8.2%	7.8%	15.7%	13.1%	29.3%	20.6%	100%

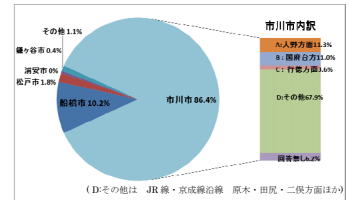
有効回答者 451 未記入 2

イ. 住所

住所については、450 名の方に回答をいただいた。

「市川市」の方が 86.4% と最も多く、つづいて「船橋市」の方が 10.2%、次に「松戸市」が 1.8% の順となっており、隣接市の中では船橋市在住の方の利用が高いことが分かる。

また、今回は市内のどの地域の居住者の利用が多いかの調査も行った。市域を 4 つの地域に分けたところ、中央図書館を中心とした周辺地域の方の利用が 67.9% を占めた。この地域以外では大野方面、国府台方面の地域からの利用が 20% を超えており、常設の図書館がない北部地域からも中央図書館に来館していることがわかる。



	市川市	船橋市	松戸市	浦安市	鎌ヶ谷市	その他	計
回答者数	389	46	8	0	2	5	450
	86.4%	10.2%	1.8%	0.0%	0.4%	1.1%	100%

有効回答者 450 未記入 3 その他 (八千代市、葛飾区等)

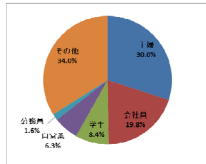
市川市内居住者地域別内訳

	A:大野方面	B:国府台方面	C:行徳方面	D:その他	無回答	計
回答者数	44	43	14	264	24	389
	11.3%	11.0%	3.6%	67.9%	6.2%	100%

有効回答者 385 無回答 24

ウ. 職業

職業については、430 名の方に回答を頂いた。
 職業は、「その他(無職を含む)」が 34.0% と最も多く、つづいて「主婦」が 30% となった。
 「会社員」の利用者は 19.8% であった。



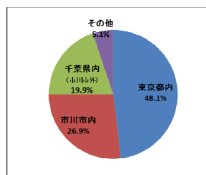
	主婦	会社員	学生	自営業	公務員	その他	計
回答者数	129	85	36	27	7	146	430
	30.0%	19.8%	8.4%	6.3%	1.6%	34.0%	100%

有効回答者 430 未記入 23

その他 (無職 35 パート 5 シルバー 1 フリーランス 1 フリーライター 1 会社顧問 1 年金 4 高校生 1 教師 1 リタイア 2)

エ. 勤務先・通学先

勤務先・通学先については、156 名の方に回答をいただいた。東京都内へ通勤・通学をしている方が 48.1% と最も多く、市川市内の 26.9% を大幅に上回った。市川市以外の千葉県内に通勤・通学をしている方は、19.9% だった。



	市川市内	千葉県内(市川市外)	東京都内	その他	計
回答者数	42	31	75	8	156
	26.9%	19.9%	48.1%	5.1%	100%

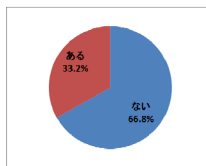
有効回答者 156 未記入 297 その他 (神奈川県 5 埼玉 1 山形 1)

設問 2. [中央図書館以外の利用]

問 2 では中央図書館以外の図書館の利用について尋ねた。

中央図書館以外の図書館も利用している方は、443 件の回答のうち 147 名で 33.2%、利用していない方は 296 名で 66.8% であった。

市内の図書館で中央図書館との併用が最も多いのは、市川駅南口図書館で 51 名であった。これは中央図書館に最も近い平田図書室よりも多い結果であり、駅前にあるという利便性が大きく影響していると思われる。



また、設問 1-イ(住所)との関連をみると、常設の図書館がない北部地域(A+B)に在住と答えた方の約 6 割は中央図書館のみ利用している。公民館図書室との併用は 8% 程度、駅南との併用は 15% 程度であった。

中央図書館以外の図書館利用

	ある	ない	計
	147	296	443
	33.2%	66.8%	100%

有効回答者 443 未記入 10

中央図書館以外に利用している図書館 (複数利用あり)

- ・市内図書館
 - 市川駅南口 51 平田 15 行徳 13 信篤 4
 - 市民図書室・公民館図書室 14
- ・市外図書館
 - 国会 1 県立西 1 県立東 1
 - 船橋市 14(船橋 2 船橋中央 6 船橋西 5 船橋東 1)
 - 浦安市 2 松戸市 1 白井 1
 - 東京都内 16 (都立 1 都立中央 1 日比谷 1 渋谷区 1 千代田区 1 港区 3 江戸川区 5 江東区 1 葛飾区 1 ほか区立 1)
 - ・学校図書館 7(大学 5 ほか学校図書館 2)

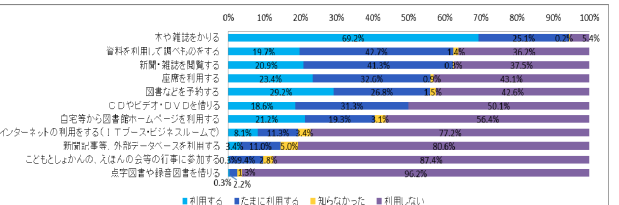
設問 3-①・② [中央図書館の利用]

問 3 では中央図書館の施設や資料等の利用状況について尋ねた。

各種サービスのなかで最も利用が多かったのは、「本や雑誌を借りる」で、「よく利用する」と「たまに利用する」を合わせて 94.3% となり、昨年とほぼ同じであった。次いで、「新聞・雑誌を利用する」「資料を利用して調べものをする」の順に利用が多くなっており、これらも昨年とほとんど変化がなかった。昨年と比べ、利用するという回答が増えたのは「座席を利用」「図書などの予約」「インターネットの利用」「外部データベースの利用」で(+4~6%)、減ったのは「CD・ビデオ・DVD の利用」(-5%) だった。

また、各サービスについて「知らなかった」と回答した方は昨年と比べ全体的に減っており、各種サービスについては周知が進んでいると考えられる。

	よく利用する	たまに利用する	知らなかった	利用しない	回答数
本や雑誌を借りる	281 69.2%	102 25.1%	1 0.2%	22 5.4%	406
資料を利用して調べものをする	69 19.7%	150 42.7%	5 1.4%	127 36.2%	351
新聞・雑誌を閲覧する	73 20.8%	144 41.3%	1 0.3%	131 37.5%	349
座席を利用する	76 23.4%	109 32.6%	3 0.9%	144 43.1%	334
図書などを予約する	68 20.2%	90 26.8%	5 1.5%	143 42.8%	336
CDやビデオ・DVDを借りる	93 18.6%	106 21.2%	0 0.0%	170 50.1%	389
市民館から図書館ホームページを利用する	89 21.2%	83 19.3%	10 3.1%	184 56.4%	386
インターネットの利用(予約/データベース利用)	28 8.1%	36 11.3%	11 3.6%	247 77.2%	382
新聞閲覧室・外部データベースを利用する	11 3.4%	35 11.0%	16 5.0%	257 80.6%	319
こどもとよかんの、よほんの会等の行事に参加する	1 0.3%	30 9.4%	9 2.8%	278 87.4%	318
点字図書や録音図書を借りる	1 0.3%	7 2.2%	4 1.3%	303 96.2%	315



＜利用しない理由＞

利用しない理由	使い方が分からない	使う必要がない	使い方がわからない	他の利用のため	その他	回答なし	合計
本や雑誌をかり	2	8	3	3	0	6	22
CDやビデオ・DVDを借り	6	78	31	17	4	36	170
新聞・雑誌を閲覧する	3	78	10	1	3	38	131
資料を利用して調べものをする	4	78	4	2	3	38	127
座席を利用する	4	91	2	7	4	38	144
図書などを予約する	13	66	6	14	6	38	143
インターネットを利用する	19	153	4	10	3	58	247
新聞記事等、外部データベースを利用する	18	158	13	5	3	60	257
自宅等から図書館ホームページを利用する	13	109	7	4	4	47	184
ことばじかん等の、入場券の発券の行事に参加する	3	185	9	3	11	67	278
風宇図書や読書図書を借り	4	293	10	3	9	74	393

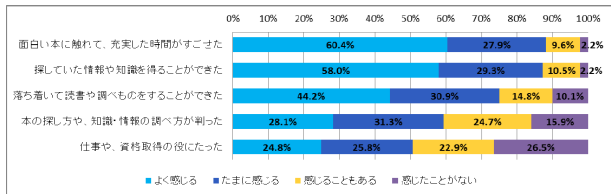
今回はサービスを利用しないと答えた方に、その理由を尋ねた。どのサービスも一番多かった理由は、‘使う必要がない’だった。設問3-②の理由についての自由記入でも、‘今は必要がない’‘必要になれば利用する’という記入が多かったため、図書館の便利な使い方などについて、積極的な情報発信を続けていきたい。

‘使い方が分からない’という理由でサービスを利用していない人は、全体的に少なかったが、図書などの予約・インターネット利用・外部データベース・図書館ホームページなど、IT 利用に関連したサービスが十数名ずつ‘使い方が分からない’を選択しており、他のサービスと比較して多くなっている。これらのサービスについては、分かりやすい案内など工夫に努めたい。

設問4. [利用した成果]

第4問は図書館を利用し、どのように感じたかを尋ねた。最も高かったのは「面白い本に触れて充実した時間が過ごせた」と「探していた情報知識を得ることができた」で、この2つについて利用した成果を感じたことがある人は約98%に及んだ。図書館を利用しより充実した時間が過ごせるよう、更に図書館サービスや機能の向上に努めたい。

	よく感じる	たまに感じる	感じることもある	感じることがない	回答数				
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	221	60.4%	102	27.9%	35	9.6%	8	2.2%	368
探していた情報や知識を得ることができた	210	58.0%	106	29.3%	38	10.5%	8	2.2%	362
落ち着いて読書や調べものをする事ができた	149	44.2%	104	30.9%	50	14.8%	34	10.1%	337
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	80	28.1%	100	31.3%	79	24.7%	51	15.9%	320
仕事や、資格取得の役にたった	76	24.8%	79	25.8%	70	22.9%	81	26.5%	306



設問7. [自由記入]

調査票 453 記入者 143 未記入 310 (記入率 31.6%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) A V資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) I Tに関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	29	趣味の本から、専門書、大きな活字の本まで様々な資料の充実について要望がある。新しい本への更新の希望が多い。
2 A V資料に関する記入	20	CD、DVDの資料の充実。新しいものを望む声が多い。
3 施設に関する記入	25	トイレの臭いが気になるという意見が多かった。食事ができるスペースの管理や増設の希望有り。
4 座席に関する記入	9	座席を増やしてほしいとの要望が多い。社会人席を分けているところ、ビジネスルームなどあるところがよいという意見有り。
5 I Tに関する記入	4	ホームページのさらなる充実。OPACの使いやすさを望む声がある。
6 マナーに関する記入	11	話し声や携帯、親子連れのマナーに関する意見が多い。
7 職員に関する記入	9	職員の対応がよい、本を棚に戻す際、利用者に対応して欲しいという意見があった。
8 運営に関する記入	37	休館日をなるべく少なくして欲しい、開館時間を早める等、開館時間の延長の希望がある。市外在住者からの貸出冊数拡大の希望あり。
9 感想	26	図書館に来るのが楽しみ、とても好きな場所といった良い印象の感想が多い。
10 その他の記入	10	

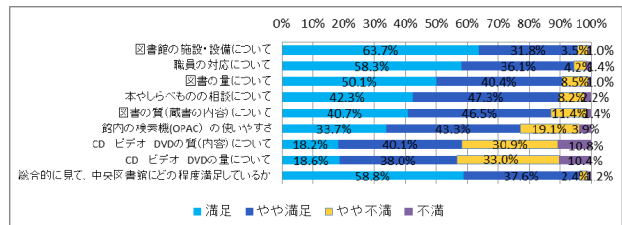
設問5-6. [満足度]

問5では普段利用している図書館の施設や資料、サービスについての個々の満足度を、問6では総合的な満足度を尋ねた。

「図書館の施設・設備」「職員の対応」については‘満足’と‘やや満足’を合わせると90%以上の非常に高い満足度が示された。続いて「図書の量」「本や調べものの相談」の満足度が高い。一方で視聴覚資料の量については満足度56.6%と低く、問9の自由記入の中でも視聴覚資料の充実を望む声も聞かれる。

総合的な満足度は96.3%と非常に高く、今後も引き続きこの満足度を維持できるよう、サービスの充実に努めている。

	満足	やや満足	やや不満	不満	回答数				
図書館の施設・設備について	254	63.7%	127	31.8%	14	3.5%	4	1.0%	399
職員の対応について	208	58.3%	129	36.1%	15	4.2%	5	1.4%	357
図書の量について	200	50.1%	161	40.4%	34	8.5%	4	1.0%	399
本やしらべもの相談について(館内のみや本・資料室内の相談であつた)	134	42.3%	150	47.3%	28	8.2%	7	2.2%	317
図書の質(蔵書の内容)について	146	40.7%	167	46.5%	41	11.4%	5	1.4%	359
館内の検索機(OPAC)の使いやすさ	95	33.7%	122	43.3%	54	19.1%	11	3.9%	282
CD ビデオ DVDの質(内容)について	49	18.2%	108	40.1%	83	30.9%	29	10.8%	269
CD ビデオ DVDの量について	52	18.6%	106	38.0%	92	33.0%	29	10.4%	279
中央図書館の満足度	241	58.8%	154	37.6%	10	2.4%	5	1.2%	410

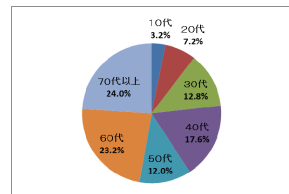


2-2) 行徳図書館集計結果

設問1. [利用者の属性]

ア. 年齢

年齢については、125件の調査票回収のうち、全ての方に回答をいただいた。今回の調査では、「70代以上」の方が24.0%と最も多く、次に「60代」の方が23.2%と、2つの利用年齢層で半数近くを占めた。

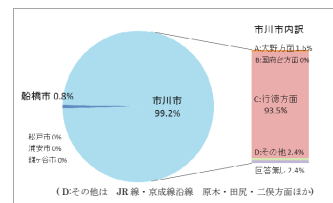


	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
回答者数	4	9	16	22	15	29	30	125
	3.2%	7.2%	12.8%	17.6%	12.0%	23.2%	24.0%	100%

有効回答者 125 未記入 0

イ. 住所

住所については125件の調査票回収のうち、全ての方に回答をいただいた。利用者の9割以上が行徳地域に在住で、それ以外の地域からの来館者は少数であることが分かった。



	市川市	船橋市	松戸市	浦安市	鎌ヶ谷市	その他	計
回答者数	124	1	0	0	0	0	125
	99.2%	0.8%	0%	0%	0%	0%	100%

有効回答者 125 未記入 0

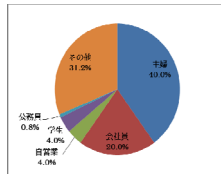
市川市内居住者地域別内訳

	A:大野台方面	B:国府台方面	C:行徳方面	D:その他	無回答	計
回答者数	2	0	116	3	3	124
	1.6%	0.0%	93.5%	2.4%	2.4%	100%

有効回答者 121 無回答 3

ウ. 職業

職業については、125 件の調査票回収数のうち、全ての方に回答をいただいた。「主婦」が 4 割、続いて「その他(無職を含む)」が 3 割、「会社員」2 割という結果になった。

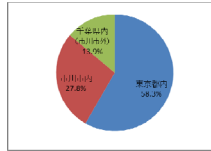


	主婦	会社員	自営業	学生	公務員	その他	計
回答者数	50	25	5	5	1	39	125
	40.0%	20.0%	4.0%	4.0%	0.8%	31.2%	100%

有効回答者 125 その他(無職 9 パート 2 アルバイト 2 年金 3 定年退職者 1 未記入 22)

エ. 勤務先・通学先

勤務先および通学先については、36 名の方に回答をいただいた。勤務先では、都内が半数以上となっており、市川市内と回答された方の約 2 倍であった。

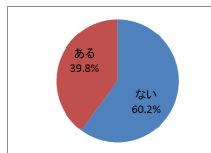


	市川市内	千葉県内 (市川市以外)	東京都内	その他	計
回答者数	10	5	21	0	36
	27.8%	13.9%	58.3%	0%	100%

有効回答者 36 未記入 89

設問 2. [行徳図書館以外の図書館の利用]

行徳図書館以外の図書館の利用について尋ねたところ、約 6 割の方が他の図書館を利用したことがあると回答した。



ある	ない	計
49	74	123
39.8%	60.2%	100%

有効回答者 123 未記入 2

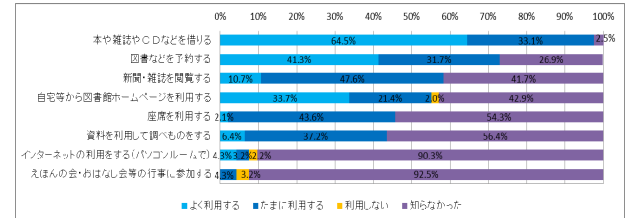
あると答えた方が利用している図書館 (複数利用あり)

- ・市内図書館 中央 23 信篤 1 南行徳 7 本行徳公民館 2
- ・市外図書館 船橋市 3(船橋 1 船橋中央 1 船橋西 1)浦安市 9
- ・東京都内 2(日比谷 1 千代田区 1 国会 1)

設問 3-①②. [行徳図書館の利用]

行徳図書館の施設や資料等の利用状況について尋ねたところ、「本や雑誌やCDなどを借りる」と回答された方は「よく利用する」「たまに利用する」を合わせて 97%を超えているが、「インターネットの利用(パソコンルーム)」及び「えほんの会・おはなし会等の行事に参加」については 9 割以上の方が「利用しない」と回答している。どのサービスも、「知らなかった」と回答した方は非常に少なく、サービスの周知は進んでいると考えられる。

	よく利用する	たまに利用する	知らなかった	利用しない	回答数
本や雑誌やCDなどを借りる	78 64.5%	0 33.1%	0 0.0%	3 2.5%	121
図書などを予約する	43 41.3%	33 31.7%	0 0.0%	28 26.9%	104
新聞・雑誌を閲覧する	33 10.7%	49 47.6%	0 0.0%	43 41.7%	103
自宅等から図書館ホームページを利用する	33 33.7%	21 21.4%	2 2.0%	42 42.9%	98
座席を利用する	2 2.1%	41 43.6%	0 0.0%	51 54.3%	94
資料を利用して調べものをする	6 6.4%	35 37.2%	0 0.0%	53 56.4%	94
インターネットの利用をする(パソコンルーム)	4 4.3%	3 3.2%	2 2.2%	84 90.3%	93
えほんの会・おはなし会等の行事に参加する	0 0.0%	4 4.3%	3 3.2%	86 92.5%	93



<利用しない理由>

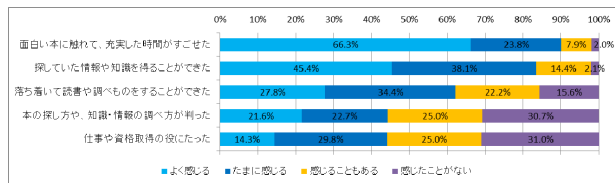
利用しない理由については、ほとんどの方は「使う必要がない」と回答したが、「使い方がわからない」と回答した方も数名ずついる。便利な使い方や分かりやすい案内など、積極的な情報発信に努めたい。

利用しない理由	使い方がわからない	使う必要がない	使い方がわからない	場所関係のため	その他	回答なし	合計
本や雑誌やCDなどを借りる	0	1	0	0	0	2	3
新聞・雑誌を閲覧する	0	32	3	0	1	7	43
資料を利用して調べものをする	2	37	4	0	1	9	53
座席を利用する	1	37	0	0	5	8	51
図書などを予約する	6	13	0	1	3	5	28
インターネットの利用をする(パソコンルーム)	7	57	0	0	2	18	84
自宅等から図書館ホームページを利用する	6	23	1	0	4	8	42
えほんの会・おはなし会等の行事に参加する	4	58	0	0	7	17	86

設問4. [利用した成果]

「面白い本に触れて充実した時間が過ごせた」「探していた情報知識を得ることができた」と利用した成果を感じたことがある人は約 98%と非常に高い数値だった。一方「仕事や、資格取得の役に立った」と「本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った」という設問に対して「感じたことがない」と回答された方が約 3 割あった。行徳地域の中心館として、資料の充実やレファレンスサービスのPRに努めていく。

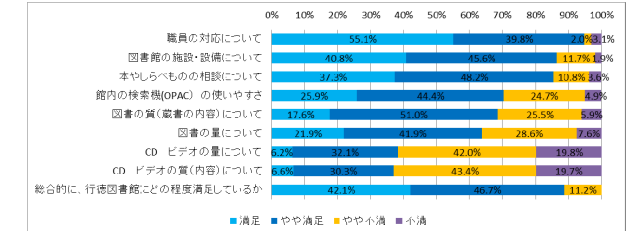
	よく感じる	たまに感じる	感じることもある	感じたことがない	回答数
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	67 66.3%	24 23.8%	8 7.9%	2 2.0%	101
探していた情報や知識を得ることができた	44 45.4%	37 38.1%	14 14.4%	2 2.1%	97
落ち着いて読書や調べものをするのができた	25 27.8%	31 34.4%	20 22.2%	14 15.6%	90
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	19 21.6%	20 22.7%	22 25.0%	27 30.7%	88
仕事や資格取得の役に立った	12 14.3%	25 29.8%	21 25.0%	26 31.0%	84



設問5-6. [行徳図書館の満足度]

行徳図書館の満足度について尋ねた結果、「職員の対応」については「満足」と「やや満足」を合わせると 94.9%という非常に高い満足度が示された。続いて「図書館の施設・設備」「本や調べものの相談」の満足度が高くなっている。それに対し、資料面の満足度が低くなっている。総合的な満足度は 88.8%となり、「職員の対応」など人的なサービスについて、利用者が一定の評価をした結果と考えられるが、資料の充実も努めていく。

	満足	やや満足	やや不満	不満	回答数
職員の対応について	54 55.1%	39 39.8%	2 2.0%	3 3.1%	98
図書館の施設・設備について	42 40.8%	47 45.6%	12 11.7%	2 1.9%	103
本やしらべものの相談について	31 37.3%	40 48.2%	9 10.8%	3 3.6%	83
館内の検索機(OPAC)の使いやすさ	21 25.9%	36 44.4%	20 24.7%	4 4.9%	81
図書の質(蔵書の内容)について	18 17.6%	52 51.0%	26 25.5%	6 5.9%	102
図書の量について	23 21.9%	44 41.9%	30 28.6%	8 7.6%	105
CD ビデオの量について	5 6.2%	28 32.1%	34 42.0%	16 19.8%	81
CD ビデオの質(内容)について	5 6.6%	23 30.3%	33 43.4%	15 19.7%	76
総合的に、行徳図書館ほどの程度満足しているか	45 42.1%	50 46.7%	12 11.2%	0 0.0%	107



設問7.〔自由記入〕

調査票 125 記入者 44 未記入 81 (記入率 35.2%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) A V資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) I Tに関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

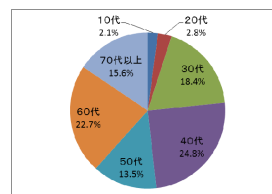
分類	意見数	分析等
1 資料に関する記入	14	新刊本が早く読みたいという意見が多数。
2 A V資料に関する記入	5	C Dが古い、量が少ないなど。
3 施設に関する記入	4	本の除菌器が2Fにも欲しい、広さが欲しいなどさまざま。
4 座席に関する記入	2	仕切りあり座席など、落ち着いて読めるスペースの希望あり。
5 I Tに関する記入	2	ホームページで購入希望ができれば助かるという意見あり。
6 マナーに関する記入	3	座席で居眠りしている人に対する苦情。
7 職員に関する記入	5	職員に対するお褒めの言葉。
8 運営に関する記入	12	駐車料金についてや、無休にして欲しいなどさまざま。
9 感想	6	概ね好意的で感謝の意見がほとんどだった。
10 その他の記入	5	特になし5件

2-3) 地域図書館(南行徳・信篤・平田)集計結果 グラフは3館合計で表示

設問1.〔利用者の属性〕

ア. 年齢

年齢については、142件の調査票のうち、141名の方に回答をいただいた。
最も多い年代は、南行徳で「30代」、信篤で「40代」、平田で「60代」と、各館で多少のばらつきがあるが、3館合計では「40代」の方が24.8%と最も多く、中央・行徳に比べ若干年齢層が若くなる。

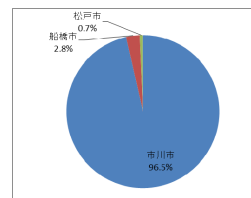


回答者数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
	3	4	26	35	19	32	22	141
	2.1%	2.8%	18.4%	24.8%	13.5%	22.7%	15.6%	100%

有効回答者 141 未記入 1

イ. 住所

住所については、すべての方から回答があり、市川市の方が96.5%と、そのほとんどを占めている。近隣市の中では「船橋市」在住の方の利用が多かった。



市川市内の居住地域については、ほぼ全員がアンケート回答館の周辺であり、地域に密着した図書館であることがわかる。

回答者数	市川市	船橋市	松戸市	浦安市	鎌ヶ谷市	その他	計
	137	4	1	0	0	0	142
	96.5%	2.8%	0.7%	0%	0%	0%	100%

有効回答者 142 未記入 0

市川市内居住者地域別内訳

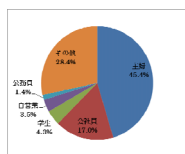
D:その他は JR線・京成線沿線 原木・田尻・二俣方面ほか

	A:大野方面	B:国府台方面	C:行徳方面	D:その他	無回答	計
南行徳	0	0	42	0	0	43
信篤	0	0	0	33	6	39
平田	1	3	1	49	1	55
	0%	0%	97.7%	0%	1	100%
	0%	0%	0%	84.6%	15.4%	100%
	1.8%	5.5%	1.8%	89.1%	1.8%	100%

有効回答者 129 無回答 8

ウ. 職業

職業については、141名の回答のうち「主婦」が最も多く45.4%、次に「その他(無職を含む)」が28.4%であった。続いて、「会社員」17.0%という結果になった。



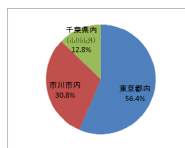
	主婦	会社員	学生	自営業	公務員	その他	計
回答者数	64	24	6	5	2	40	141
	45.4%	17.0%	4.3%	3.5%	1.4%	28.4%	100%

有効回答者 141 未記入 1

その他(無職 9 パート 3 年金 2 アルバイト 1 フリー 1 マッサージ師 1 無記入 23)

エ. 勤務先・通学先

勤務先および通学先は、39名の回答のうち「東京都内」が56.4%と最も多く、「市川市内」が30.8%、「千葉県内(市川市外)」が12.8%という結果だった。

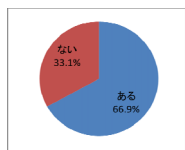


	市川市内	千葉県内 (市川市以外)	東京都内	その他	計
回答者数	12	5	22	0	39
	30.8%	12.8%	56.4%	0%	100%

有効回答者 39 未記入 102

設問2.〔他の図書館利用〕

来館中の図書館以外の図書館利用について尋ねたところ、半数以上の66.9%が「ある」と回答した。他に利用している図書館を館別に見ると、居住地の図書館と、中央・行徳のいずれか近い方の図書館を併用していることがわかる。



ある	ない	計
93	46	139
66.9%	33.1%	100%

有効回答者 139 未記入 3

あると答えた方が利用している図書館 (複数利用あり)
・市内図書館 中央 55 行徳 20 南行徳 1 信篤 1 駅南 13 福栄公民館 2
市川公民館 1 大学 1
・市外図書館 浦安市 3(浦安 1 新浦安 1 当代島 1)
・東京都内 6 (江戸川区 3 千代田区 1 都立中央 1 国会 1)

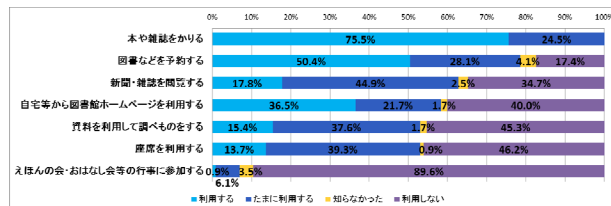
<参考>3館別「他に利用している図書館」の内訳(複数利用あり)

他図書館利用割合	市川市内							市川市外
	中央	行徳	南行徳	信篤	平田	駅南	公民館(大野・学校)	
南行徳	58.1%	3	15	-----	-----	-----	-----	6
信篤	61.1%	17	5	1	-----	-----	-----	1
平田	76.7%	36	-----	-----	13	1	1	2

設問3-①②.〔地域図書館の利用〕

施設や資料等の利用状況について尋ねたところ、「本や雑誌をかりる」では「よく利用する」と「たまに利用する」の合計が100%となり、回答したすべての方が本や雑誌借りに関わることが分かった。一方、「えほんの会・おはなし会等の行事の参加」について「利用しない」と答えた方は、89.6%が多かった。

	よく利用する	たまに利用する	知らなかった	利用しない	回答数				
本や雑誌をかりる	105	75.5%	34	24.5%	0	0.0%	139		
図書などを予約する	61	50.4%	34	28.1%	5	4.1%	21	17.4%	121
新聞・雑誌を閲覧する	21	17.8%	53	44.9%	3	2.5%	41	34.7%	118
自宅等から図書館ホームページを利用する	42	36.5%	25	21.7%	2	1.7%	46	40.0%	115
資料を利用して調べものをする	18	15.4%	44	37.6%	2	1.7%	53	45.3%	117
座席を利用する	16	13.7%	46	39.3%	1	0.9%	54	46.2%	117
えほんの会・おはなし会等の行事に参加する	1	0.9%	7	6.1%	4	3.5%	103	89.6%	115



<利用しない理由>

今回は利用しない理由も併せて尋ねた。どのサービスも「使う必要がない」という回答が一番多く、これは中央・行徳の結果と同じである。

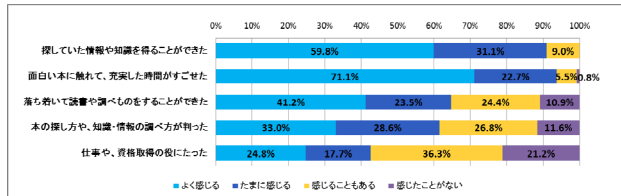
利用しない理由	使い方がわからない	使う必要がない	使いにくい	寄居性のため	その他	回答なし	合計
本や雑誌をかりる	0	0	0	0	0	0	0
新聞・雑誌を閲覧する	1	31	1	0	1	7	41
資料を利用して調べものをする	2	34	1	0	3	13	53
座席を利用する	2	39	1	0	4	8	54
図書などを予約する	3	10	1	1	2	4	21
自宅等から図書館ホームページを利用する	6	20	1	0	9	10	46
えほんの会・おはなし会等の行事に参加する	7	61	0	0	13	22	103

理由についての自由記入では、えほんの会等の行事の参加について「開催日が分からない」「日程や時間が合わない」といった記入が見受けられた。中央や行徳に比べ、開催頻度そのものが少ないことが原因の一つと考えられるため、開催日の周知方法や利用しやすい曜日や時間などについて検討していく。

設問4.〔利用した成果〕

問4は地域館を利用した成果について尋ねた。回答者全員が、「探していた情報や知識を得ることができた」と感じており、「面白い本に触れて、充実した時間がすごかった」についてもほとんどの人が感じたことがあると回答している。次に多かったのは「落ち着いて辞書や調べものをする事ができた」で、感じたことがある方は89.1%であった。一方、「仕事や、資格取得の役にたった」については、「感じたことがない」という回答が21.2%と他の項目に比べて多かった。求める内容によっては地域館の資料だけでは不十分であるため、資料の取容量に制限のある地域館の利用者でも、図書館全体の資料や情報を活用できる機能の向上と利用のPRに努めたい。

	よく感じる	たまに感じる	感じることもある	感じたことがない	回答数
探していた情報や知識を得ることができた	73 59.8%	30 31.1%	11 9.0%	0 0.0%	122
面白い本に触れて、充実した時間がすごかった	91 71.1%	29 22.7%	7 5.5%	1 0.8%	128
落ち着いて辞書や調べものをする事ができた	49 41.2%	28 23.5%	29 24.4%	13 10.9%	119
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	37 33.0%	32 28.6%	30 26.8%	13 11.6%	112
仕事や、資格取得の役にたった	28 24.8%	20 17.7%	41 36.3%	24 21.2%	113



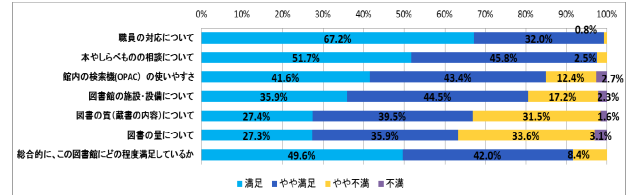
設問5-6.〔地域図書館の満足度〕

問5では普段利用している地域館の施設や資料、サービスについての個々の満足度を、問6では総合的な満足度を尋ねた。

どの項目も概ね‘満足’と‘やや満足’の回答が多いものの、「図書の数について」と「図書の質(蔵書の内容)」については、低めの満足度となっている。「職員の対応について」については、「満足」と「やや満足」の回答が非常に多く、昨年同様高い数値となった。

「総合的に見て、この図書館にどの程度満足しているか」については、「満足」と「やや満足」の合計が91.6%と、高い満足度となっている。小規模地域館は施設や蔵書は十分でない部分はあるが、居住地から近いことから、身近な図書館として概ね満足して利用されている様子がうかがえる。蔵書については、施設の取容量に限度があるが、利用者ニーズを捉えた資料の収集や更新に努めていく。

	満足	やや満足	やや不満	不満	回答数
職員の対応について	86 67.2%	41 32.0%	1 0.8%	0 0.0%	128
本やしらべものの相談について(相談のしやすさ・資料案内が的確かどうか)	62 51.7%	55 45.8%	3 2.5%	0 0.0%	120
館内の検索機(OPAC)の使いやすさ	47 41.6%	49 43.4%	14 12.4%	3 2.7%	113
図書館の施設・設備について	46 35.9%	57 44.5%	22 17.2%	3 2.3%	128
図書の質(蔵書の内容)について	34 27.4%	49 39.5%	39 31.5%	2 1.8%	124
図書の数について	35 27.3%	46 35.9%	43 33.6%	4 3.1%	128
総合的に見て、この図書館にどの程度満足しているか	65 49.6%	55 42.0%	11 8.4%	0 0.0%	131



〔参考〕館別の総合的満足度	信篤	85.7%	(回答 35名)
	南行徳	92.5%	(回答 40名)
	平田	94.6%	(回答 56名)

設問7.〔自由記入〕

調査票 142 記入者 47 未記入 95 (記入率 33%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

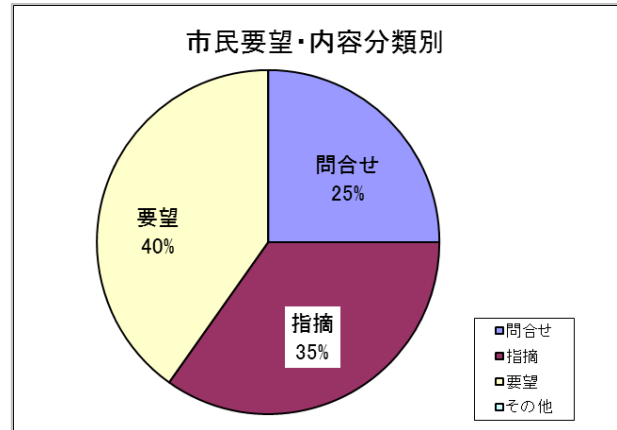
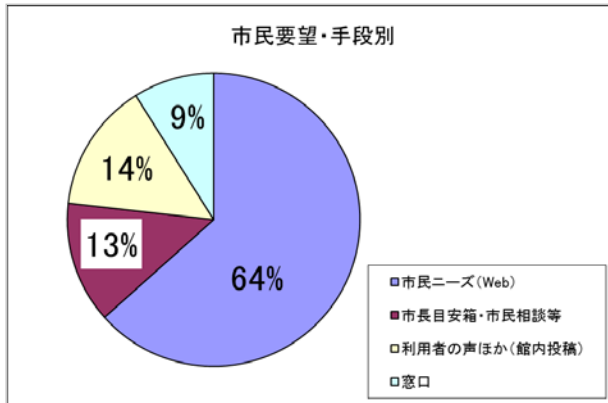
分類	南行徳	信篤	平田	合計	分析等
1 資料に関する記入	5	2	2	9	資料古い・増やしてほしいという希望が多い。
2 AV資料に関する記入	0	1	0	1	新しいCDが借りたい。
3 施設に関する記入	2	4	6	12	施設が狭いという意見が多いが、落ち着く、清潔という意見もある。 本の殺菌器の希望あり。
4 座席に関する記入	1	1	2	4	座席増加と席そのものの狭さについて
5 ITに関する記入	1	0	0	1	ホームページの使いやすさ向上について。
6 マナーに関する記入	0	1	0	1	新聞をめくる音についての意見。
7 職員に関する記入	1	0	3	4	「親切な対応」とお要めの言葉あり
8 運営に関する記入	2	1	1	4	こどものカードもホームページで貸出状況が分かるとよいという意見あり。
9 感想	4	7	4	15	概ね好意的で感謝の言葉である。
10 その他の記入	0	1	2	3	
合計	16	18	20	54	

資料（6）

市民要望（平成 25 年度）

市民要望・手段別		計
文書	市民ニーズ（Web）	71
	市長目安箱・市民相談等	15
	利用者の声ほか（館内投稿）	16
窓口		10
合計		112

市民要望・内容分類別		計
「問合せ」	…利用案内、施設案内等について	28
「指摘」	…対応の違い・悪さ、間違い等について	39
「要望」	…現状していないことに対して	45
「その他」	…情報提供、宣伝、許諾など	0
合計		112



約六割がホームページから投稿されており、「市長目安箱」「利用者の声」等もあわせて 91% が、文書による。

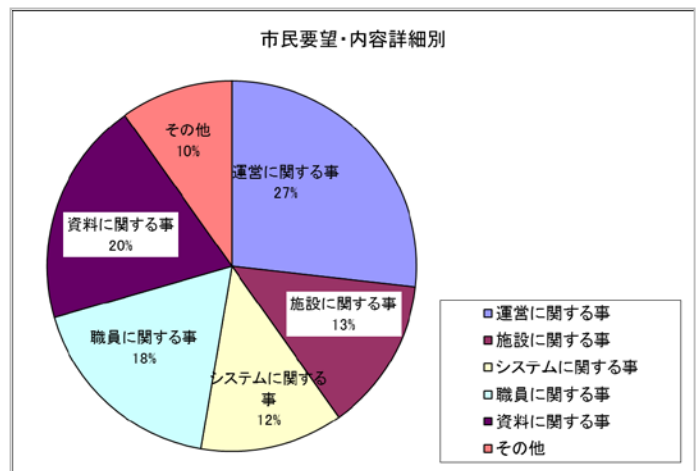
窓口でも多くの問合せが寄せられているが、職員の説明で納得し、要望にいたらないものと思われる。

「指摘」では、職員の対応に対する場合よりも、他の利用者のマナー向上を促すものが多かった。○返却期限を守らない利用者に対する措置を強く求める。

○新聞閲覧席で本を読む人を注意してほしい。
○ストールで足を投げ出して座っている人への注意をしてほしい。

○水濡れの本が多いのは、風呂場で本を読んでいる輩が多いのではないかと。

市民要望・内容詳細別	計
運営に関する事	30
施設に関する事（備品を含む）	15
システムに関する事（ホームページ含む）	14
職員に関する事（接遇・手続きミスを含む）	20
資料に関する事（寄贈・レファレンスを含む）	22
その他	11
合計	112



市 川 市 の 図 書 館

2 0 1 4

平成26年（2014）10月発行 第1版

編集・発行 市川市教育委員会 生涯学習部 中央図書館

〒272-0015 市川市鬼高1丁目1番4号 生涯学習センター内

T E L 047 (320) 3333 (機械音声応答)

047 (320) 3346 (直通)

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/index.html>
